

要 覧

GRIPS BULLETIN

2024



政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE FOR POLICY STUDIES

要 覧

GRIPS BULLETIN

2024

Welcome to GRIPS !

この『要覧 GRIPS BULLETIN』には、皆さんが本学で学ぶにあたり必要となる本学のルールや方針、各種手続き等が記載されています。また本学で学生生活を送るにあたり利用可能な様々なサービスについても説明があります。まずはこの冊子によく目を通して、実り豊かな学生生活を送ってほしいと思います。

皆さんが GRIPS で有意義な学生生活を過ごされることを願っています。

目 次

1. 2024 年 4 月入学者用学年暦	4
2. 就学上の心得	
学業上の不正行為	6
不正行為に対する処分について	7
ハラスメント	8
3. 履修の手引き	
履修登録	10
GRIPS Assessment Policy	11
科目番号の分類	17
科目番号の読み方	18
入学前の既修得単位等の単位認定について	19
他の大学院における授業科目の履修について	20
4. 修士課程	
修士課程における学位論文等の評価基準及び審査体制	21
修士課程の修了要件	22
修士課程プログラム	23
修士課程プログラム概要	29
カリキュラム	31
2024 年度授業科目及び担当教員一覧	45
政策研究データサイエンス認定証制度について	61
Global Studies 認定証制度について	63
時間割	64
5. 博士課程	
博士課程の概要	76
博士課程の修了要件	77
博士課程プログラムの構成	79
プログラム別履修概要	80
博士論文提出資格試験 (QE) 実施概要	81
QE および博士論文審査の標準的な実施時期	82
博士課程プログラム	83
カリキュラム	86
政策研究データサイエンス認証制度について	96
時間割	98
博士課程学生への経済的支援	100

6. データサイエンスセンター／プロフェッショナル・コミュニケーションセンター	
データサイエンスセンター	102
プロフェッショナル・コミュニケーションセンター	103
7. 学生生活	
図書館	105
OPAC の使い方	107
マイライブラリ	109
G-way と Microsoft Teams	
教育支援情報サービスシステム - GRIPS Gateway (G-way)	112
履修登録・成績照会	115
授業連絡	125
学籍異動・各種証明書の申請	129
個人設定	131
IT サービス	
IT サービス (IT サポートセンター)	132
G-way 2 段階認証システム	134
GRIPS メール	135
共有プリンタ	138
スキャナー	144
共用 PC	147
重要な確認事項	148
学内における学生の PC 使用について	149
教育支援課	150
学籍異動に関する案内	152
授業料及び奨学金	154
インターンシップ	155
施設	156
避難経路	158
セコム安否確認システムの登録について	161
保健管理センター	175
同窓会	176
8. 付録	
教員一覧	
幹部	177
アルファベット順	178
フロアマップ	180
本学へのアクセス	183

2024年4月入学者用学年暦（学生用）

(2024年4月 ～ 2025年3月)

月	日	月	火	水	木	金	土	備 考
4月		1	2	3	4	5	6	4/2 入学ガイダンス、4/2～16 履修登録(春学期・春前期)、4/4 春学期・春前期授業開始 4/17～23履修登録取消(春学期・春前期)
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30					
5月				1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31		
6月							1	6/3～12 履修登録(春後期)、6/4 春後期授業開始 6/13～17 履修登録取消(春後期)
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
	30							
7月		1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	*30	*31				
								*7/30～8/2 補講期間
8月					*1	*2	3	8/1～8/13 履修登録(夏学期) 8/5 夏学期授業開始
	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
								8/28 春学期成績発表
9月	1	2	3	4	5	6	7	9/11 国際プログラム学位記授与式
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30						

授業期間

	: 春前期 (4/4～6/3)	春学期 (4/4～7/29)
	: 春後期 (6/4～7/29)	
	: 夏学期 (8/5～9/30)	
	: 秋前期 (10/7～12/2)	秋学期 (10/7～1/28)
	: 秋後期 (12/3～1/28)	
	: 冬学期 (2/3～3/31)	
	: 休日 (日曜日、祝日、年末年始休暇)	

履修登録



10月				1	2	3	4	5	10/2～3 国際プログラム入学ガイダンス、10/2～17 履修登録(秋学期・秋前期) 10/7 秋学期・秋前期授業開始 10/18～24 履修登録取消(秋学期・秋前期) 10/25 夏学期成績発表
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30	31				
11月							1	2	
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
12月	1	2	3	4	5	6	7	12/2～12/16 履修登録(秋後期) 12/3 秋後期授業開始 12/17～19 履修登録取消(秋後期) 12/29～1/3 年末年始休暇	
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30	31						
1月				1	2	3	4	*1/29～1/31 補講期間、1/30～2/12 履修登録(冬学期)	
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	*29	*30	*31			
2月							1	2/3 冬学期授業開始 2/27 秋学期、冬学期成績発表	
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28			
3月							1	22/3/19 学位記授与式	
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
	30	31							

※日程が変更になる場合があります

学業上の不正行為

学業上の不正行為に対する本学の対応

本学における学業上の不正行為は、重大な違反行為となります。学業上の不正行為は、同輩である学生の士気に悪影響を及ぼし、大学の世評をおとしめます。よって、本学の教職員および学生の全員が、学業上の不正行為を防ぎ、阻止し、報告することとしています。

学業上の不正行為者には、寛大な措置が取られることはなく、停学または退学を含む厳重な処分が課せられる場合があります。処分の詳細については、「不正行為学生に対する処分について」を参照してください。

学業上の不正行為

学業上の不正行為とは、大学の教科学習および試験において不正な行動をすることや、他人の作成した論文またはレポートを自分自身の作成したものに見せかけること、またはその他の方法で不正な利を得ようとするものが含まれます。

学業上の不正行為の例

学業上の不正行為の例は以下のとおり。

- ・ テストまたは試験において他人になりすますこと、またはこのような手はずを整えること
- ・ 試験中に別の学生の解答を写すこと
- ・ 参考文献等の持ち込みを許可されない試験においてノート、ペーパー、その他の資料を参照すること
- ・ 教員から明確な同意を得ずに、別の講義で既に単位を受けた論文またはレポートを提出すること
- ・ 上記のような不正行為を幫助すること
- ・ データを改ざんすること。これは研究記録に研究が正確に示されないように研究材料または研究プロセスを操作すること、または調査データまたは調査結果を変更もしくは削除することを意味します。データの解釈についてはかなりの裁量の余地がありますが、データそのものは、操作または歪曲してはなりません。

盗作・剽窃

盗作・剽窃とは、論文またはレポートの作成において、必要かつ適切な出典参照を示さずに別の出典からアイデア、表現その他を写すことを指します。この出典には、公表・未公表の論文またはレポート、インターネット、および他の学生や教職員の論文またはレポートが含まれます。

盗作・剽窃の例

盗作・剽窃の例は以下のとおり。

- ・ 他人の完成した論文またはレポートの全部または一部を、自分の論文またはレポートとして提出すること
- ・ 別の著作者の論文またはレポートの全部または一部を、出典に対する参照を付けずに利用すること
- ・ 出典に対する参照なしに、他人のアイデア、解釈、記述、または結論を言い換える（自分自身の言葉で述べる）こと
- ・ 書面形式の論文またはレポートにおいて他人の論文またはレポートから文章、文章の一部を直接の引用を行う際に、引用符をつけず、また適切な出典参照を示さないこと
- ・ 他人の論文の全て（または相当部分）を使用することは、出典に対する参照があっても不可

研究倫理教育及び研究費コンプライアンス教育

本学では、研究活動上の不正行為を防止するため、研究者（学生含む）に求められる倫理規範等の修得に向け、研究倫理に関する e-learning 教材の受講を全ての学生に義務づけています。

また、研究費を受け取る場合や、RA 等で外部研究資金等の実施に携わる場合は、研究費コンプライアンス教育が義務づけられており、大学が提供する説明会等の受講（義務）及び e-learning 教材の研究費コンプライアンス教育部分の受講（推奨）が必要となります。詳細及び e-learning 教材の受講等に関しては、別途お知らせします。

不正行為に対する処分について

学業上の不正行為

学業上の不正行為とは、参考文献等の持ち込みを許されていない定期試験等において、自らが作成した文書、器具、他人の答案等を使用するなど、大学院生としてあるまじき行為等が対象となります。

また、論文またはレポートの作成において、他人が作成したものを盗用すること（盗作、剽窃）、調査データを改ざんすること、分析結果を偽ることなど、研究に携わる大学院生としてあるまじき行為等が対象となります。

学業以外不正行為

学業以外不正行為とは、犯罪行為、人権を侵害する行為など、本学の秩序を乱す行為、大学院生としての本分に反した行為等が対象となります。

処分の内容

不正行為者に対する処分は、訓告、停学、退学のいずれかです（学則第 56 条）。停学については、1 週間～3 ヶ月と 6 ヶ月の 2 種類とされています。

なお、処分の発効日は、原則として、処分通知書の交付日となります。

学業上の不正行為に対する取扱

- (1) 訓告処分を受けた場合、当該科目の履修は無効とされます。
- (2) 停学処分を受けた場合、当該科目の履修は無効とされます。さらに、当該学期（不正の発生した学期）または当該学年（不正の発生した学年）について、全科目の履修が無効とされる場合があります。
- (3) 停学期間中は、履修登録、授業出席、及び試験受験は認められません。

学業以外不正行為に対する取扱

事案に応じて決定されます。

処分の手続き

不正行為者に対する処分は、以下の手順にしたがって決定、実施されます。

- (1) 学業上の不正行為については、当該科目担当教員が不正行為等の経緯を研究科長に報告する。学業以外の不正行為については、事実を知り得た教職員が不正行為等の経緯を研究科長に報告する。
- (2) 研究科長は、学長に報告した上で、研究科長、学務担当副学長、プログラムディレクター、当該科目担当教員、その他必要と認める者から構成される調査委員会（委員長：研究科長）を設置する。
- (3) 調査委員会は不正行為等に関する事実関係を整理した上で、当該学生に対する処分案を作成し、学長に提案する。
- (4) 学長は、調査委員会からの提案を受けて最終処分案をまとめ、研究教育評議会の議を経た上で、決定する。
- (5) 学長は、決定された処分について当該学生に通知する。
- (6) 処分について不服申立てのあった場合には、学長が調査委員会に調査を付託する。調査委員会は申立て内容について調査し、その結果を学長に報告する。
- (7) 不正行為に対する処分案の内容が変更になった場合には、再度研究教育評議会に諮った上で、決定する。
- (8) 不正行為に対する処分は、当該学生の氏名及び学籍番号を除き、当該学生の所属、処分内容及び事由を学内に公示する。

ハラスメント

ハラスメントは、人権にかかわる問題であり、人間としての尊厳を傷つけ、研究教育及び労働環境の悪化を招きます。本学は、ハラスメント行為を断じて許さず、本学の構成員すべての人権をお互いに尊重しあい、その能力を十分発揮できる、ハラスメントのない環境づくりに取り組みます。

本学の学生は、多様な背景を持ち、多様な価値観や習慣を持っています。自分の国や地域で許容される行動や発言が、必ずしも他の国や地域で許容されるわけでないということを認識してください。学生の皆さんが安心し、多様な文化を享受できるキャンパス環境の構築に貢献できるよう、自分自身の行動を振り返ってみてください。

ハラスメントの定義

ハラスメントとは、人種、国籍、性別、出身地、宗教、政治的信条、年齢、職業、身体的特徴等、広く人格に関わる事項において、当事者の尊厳を損ない不快にさせる言動をいいます。

ハラスメントには、さまざまな態様がありますが、大学という場で問題となる典型的な例としては、セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメントやパワー・ハラスメントがあります。また、これらの態様は独立しているものではなく、さまざまなハラスメントと重複する場合があります。

大学の責務

学長は、ハラスメントの防止及び対策に関する施策等全般について責任を負います。また、構成員を監督する立場にある者は、ハラスメントのない良好な環境を確保するために、日常的な活動の中で指導等を行い、ハラスメントに関する認識を深めさせるとともに、ハラスメントに起因する問題が生じた場合には、適切に処理する責任を負います。

構成員の責務

本学のすべての構成員は、個人としての人格を尊重するとともに、人としての尊厳を傷つけることになるハラスメントを起こさないこと、また、その防止に努める義務を負い、ハラスメントにより修学上又は就労上の環境が害されることを防ぐため、次の

事項について留意しなければなりません。

- ①ハラスメントについて問題提起をする学生、職員及び関係者をいわゆるトラブルメーカーと見なしたり、ハラスメントに関する問題を当事者間の個人的な問題として片づけてしまったりしないこと。
 - ②ハラスメントに関する問題の加害者や被害者を出さないようにするために、周囲に対する気配りをし、必要な行動をとること。
- 具体的には、次の事項について、十分留意しながら必要な行動をとる必要があります。
- ・ハラスメントが見受けられる場合には、修学上又は就労上の環境に重大な悪影響が生じないうちに、機会をとらえて注意を促すなどの対応をとることが必要です。
 - ・ハラスメントの被害者は「恥ずかしい」、「トラブルメーカーというレッテルを貼られたくない」、「仕返しが怖い」などの考えから、他の人に対する相談をためらうことがあります。被害を深刻にしないように、気が付いたことがあれば相談すること、また、相談に乗ることが大切です。

ハラスメントを受けた場合の対応

ハラスメントに対しては、毅然とした態度をもって、相手に意思表示することが求められます。しかし、相手に伝えることが難しい場合は、一人で我慢したり悩んだりせず、信頼できる人に相談することが必要です。また、発生した日時・内容等について記録したり、第三者の証言を得たりしておくことが望ましいです。

苦情の相談

本学はハラスメント全般に関する悩み、相談、苦情に対応するための相談窓口として、複数のハラスメント相談員を置いています。相談員氏名及び相談のしかたは、学生用ポータルサイト **GRIPS Portal Site for Students** に掲載しておりますので、ご確認ください。

相談員へのホットラインとして、

「sodan-cukeii@grips.ac.jp」を設定しています。ここにメールをお送りいただくと、ハラスメント相談員全員にメールが届き、相談内容やご希望に応じ

た相談員が複数（原則2名）で対応します。相談したい相談員がいる場合は、相談員の氏名を明記してください。他の相談員に知られたくない場合は、相談員個人に連絡してください。ご相談は匿名でも受け付けています。

相談者に対する守秘義務を遵守し、相談したことによりさらなる被害に遭うことのないよう、適切に対応いたしますので、安心してご相談ください。

履修登録

履修登録のスケジュールは、2024 年 4 月入学者用学年暦で確認してください。

履修登録は、履修登録、履修登録取消の 2 つの期間から構成されています。

1. 履修登録期間は各学期開始前から 2 週間ほど設定されています。

履修登録期間には履修登録及びその削除ができます。

履修登録は履修登録期間内にものみ可能です。履修登録をせずに授業に出席し、試験を受けても単位は取得できません。

2. 履修登録取消期間では、履修登録の取り消しのみ可能です。期限を過ぎてからの取り消しはできません。この期間に履修を取り消した授業科目の成績は W (withdraw) となり、成績証明書に記載されます。夏学期及び冬学期は短期間のため履修登録取消期間は設定されていません。必要な場合は必ず履修登録期間内に削除を

してください。履修登録取消期間以降に受講を取り止めた場合には、成績は E 又は F (不合格) となります。

各授業科目の詳細は、シラバスをご覧ください。

<https://gast.grips.ac.jp/syllabus/>

履修登録方法

履修登録、変更、取消は、教育支援情報サービスシステム (GRIPS Gateway, G-way) により、オンラインで行ってください。

履修登録期間及び履修登録取消期間開始日の 9:00 (日本時間) から履修登録期間及び履修登録取消期間最終日の 17:00 (日本時間) までの間に登録または取り消しを行ってください。

※ G-way による履修登録方法については、「教育支援情報サービスシステム」のページをご覧ください。

GRIPS Assessment Policy

<p style="text-align: center;">GRIPS Assessment Policy</p> <p style="text-align: center;">Assessment Information Provided in Syllabus</p> <p>On information about assessment for each university course, regarding the goals to be attained and the assessment criteria, the following will be provided in the syllabus available at the beginning of the course.</p> <ul style="list-style-type: none"> • The goals to be attained • the marking/grading system to be used • the weight allocated to each significant grading component <p>Once a course has started, instructors may not change the requirements without (a) obtaining the agreement of all students concerned and (b) informing the Academic Support Team.</p> <p style="text-align: center;">Procedure before Issuance of Final Grades</p> <p>Assessment During the Course Instructors should promptly return all items for assessment completed during the term, with marks or grades and, where appropriate, comments to the students. Also, instructors must comply with the guidelines for grading (cf. 'Final Grades'), so that students can gauge their own performance against that of other members of the class. Students are advised to keep their returned original assignments in case they decide to appeal their final grades.</p> <p>Meeting All Assessment Requirements Course assessments may include different forms of assessment, such as class exercises, assignments, quizzes, tests and examinations. Students need to ensure that they have completed all the required items for assessment by the designated deadlines. Failure to attend a class in which instructions were given or work was assigned is not a valid reason for non-performance.</p>	<p style="text-align: center;">GRIPS成績評価基準(対訳) ※英文を正本とする。 シラバスに記載される 成績評価についての情報</p> <p>各授業科目の成績評価に関して、到達すべき目標及び成績の評価基準については、シラバスに以下の事項が記載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 到達すべき目標 • 使用される採点・成績評価のシステム • 成績評価における主要な各要因に与えられるウェイトについての情報 <p>講義開始後に教員がシラバス記載の事項を変更する場合は、関係する学生全員の賛同を得ること、また教務担当に報告することが必要となる。</p> <p style="text-align: center;">最終成績評価に先立つ手続き</p> <p>授業科目期間中の評価 教員は学期中に完成した評価対象アイテムを、採点または成績評価、および必要な場合にはコメントとともに速やかに学生に返却するべきである。また教員は、成績分布のガイドラインを遵守することで、学生がクラスの他のメンバーに比較した場合の自らの成績を正しく評価できるようにしなければならない。学生は、最終成績評価について不服申立する場合に備え、課題の原本を返却された場合はそれを保管しておく必要がある。</p> <p>すべての評価要件を満たすこと 授業科目においては、クラスでの課題や提出課題、小テスト、試験など様々な形式での評価が行われる。学生は指定された期間に、評価において必要とされる事項をすべて、確実に満たしていなくてはならない。指示や課題が出た時にクラスを欠席していた、というのは正当な理由と認められない。</p>
---	---

<p>Students' Own Work All work submitted for assessment must be the student's own work, and must not be the result of collaboration with others, unless it is clearly indicated in the assignment details that the submitted assignment may be a joint or collaborative effort. In all joint assignments, the student must specify the nature and extent of the collaboration and the identity of the collaborators.</p> <p>Special Consideration 1. Students who have suffered from serious illness, accident or any other incident beyond their control, which they believe has affected their assignment work, should complete and submit as soon as possible a "Request for Special Consideration" (form available at the Academic Support Team counter) along with any medical certificates or other certified official documents indicating the duration and severity of the problem to the Academic Support Team, who will forward them to the instructor.</p> <p>2. Students should note that work, family, and sporting and social commitments are not normally viewed as being beyond a student's control and so are not normally accepted as grounds for special consideration.</p> <p>3. If the student is not satisfied with the initial response to his/her "Request for Special Consideration," then the student may submit a request for further consideration to the Program Director via the Academic Support Team.</p> <p>4. For further information regarding applications for special consideration, contact the Academic Support Team.</p> <p>Course withdrawal procedure A student may withdraw from a course without penalty during the registration period. After the end of the registration period, students can still withdraw from courses before the final withdrawal deadline, but a grade of W will be shown on their transcript. Note: it is not permissible to withdraw after the withdrawal deadline. However, the Academic Support Team may allow a student to withdraw from a course after the withdrawal deadline in the cases listed below. Note: in such cases a grade of W will be shown on</p>	<p>提出課題の作成 評価のための提出課題はすべて学生が自身で作成しなければならない。共同作業や他人との協力が可能である旨が評価の詳細において明確に記載されていない限り、他人の協力を得て作成してはいけなない。共同作業で作成されたすべての提出課題には、協力の内容やその程度、また共同作業者の氏名が明記されなくてはならない。</p> <p>特別配慮 (1) 重病や偶発事故など不可抗力の事由のために、提出課題等の作成に影響を受けたと考える学生は、「特別配慮の申請」の申立書を可能な限り速やかに提出することとする。申立書には、その事由の期間やその重症度について具体的に記載された医師による診断書、またはその他公式に認定された文書を添付し、教務担当に提出する。教務担当はこの書類を教員に転送する。</p> <p>(2) 学生は、仕事、家族、スポーツおよび社交上の約束は通常不可抗力とはみなされず、従って通常は特別な配慮の根拠としては認められない、という点に注意する必要がある。</p> <p>(3) 学生が「特別配慮の申請」に対する当初の回答に満足できない場合には、プログラムディレクターに対し、教務担当を通じて更なる配慮の申請を提出することができる。</p> <p>(4) 特別な配慮のための申請に関するその他の情報については、教務担当に問い合わせること。</p> <p>授業科目登録の取消手続 履修登録期間中は、学生はペナルティなしで授業科目登録の取消しを行うことができる。履修登録期間の後でも、最終履修登録取消期限までは学生は履修登録の取消しを行うことができる。この場合には、学生の成績証明書には W 評価が記載されることになる。最終履修登録取消期限の後には、履修登録取消しは不可能となる。</p> <p>ただし、以下の学生は最終履修登録取消期限後に教務担当が履修登録の取消をすることがある。その場合、成績証明書には W 評価が記載される。</p>
---	--

the student's transcript.

- The case where a student takes a leave of absence, withdraws, or is deregistered from GRIPS before the grades are submitted by the instructor; or
- The case where the Dean deems it difficult for a student to continue studying due to circumstances beyond the student's control, such as a disaster or a political change.

The academic calendar stipulates the registration periods and withdrawal periods for each term and course type.

Final Grades

Final Grades

The following grading scale will be used for all courses.

A 90–100 Pass: Achieved the goal at a high level

B 80–89 Pass: Achieved the goal at a satisfactory level

C 70–79 Pass: Achieved the goal at a generally acceptable level

D 60–69 Pass: Achieved the goal at a minimum acceptable level

E 0–59 Fail: Did not achieve the goal

P Pass: Achieved the goal
(in courses designated Pass/Fail)

F Fail: Did not achieve the goal
(in courses designated Pass/Fail)

W Withdrawn

T Credit transferred

Grade Distribution Guidelines

For courses in which letter grades are assigned, the grade distribution should satisfy both the mean Grade Point Average (GPA) criterion (see (1)-3 below) and the reasonable distribution criterion (see (2) below).

(1)-1 Grade Point (GP)

The GPA system has been introduced at GRIPS to ensure the effectiveness of rigorous grading, to motivate students to pursue their own studies, to use the system for academic guidance, and to meet international educational standards.

A, B, C, D and E carry grade points of 4, 3, 2, 1 and 0, respectively.

・担当教員から成績が提出されるまでに休学、退学、除籍となった学生

・災害や政変等本人の責によらない事情のため、研究科長が履修継続困難と判断した学生

各学期における履修登録の日程については、学年暦に記載されている。

最終成績評価

最終成績評価

以下の評価基準が適用される。

A 90-100 合格 到達目標を高い水準で達成している

B 80-89 合格 到達目標を満足できる水準で達成している

C 70-79 合格 到達目標を概ね達成している

D 60-69 合格 到達目標を最低限の水準で達成している

E 0-59 不合格 到達目標を達成していない

P 合格 到達目標を達成している(合格・不合格を指定する授業科目の場合)

F 不合格 到達目標を達成していない(合格・不合格を指定する授業科目の場合)

W 登録取消し

T 単位互換認定

成績評価の分布に関するガイドライン

アルファベットで評価が記載される授業科目の場合には、平均Grade Point Average (GPA) 基準(以下(1)-3参照)および妥当な分布に関する基準(以下(2)参照)の双方を満たしているべきである。

(1)-1 Grade Point (GP)について

本学では、厳格な成績評価の実効性を担保し、学生自身が意欲的に学修を進めていくこと、学生に対する学習指導等に活用すること、及び国際的教育水準の達成を目的として、GPA 制度を導入している。

A、B、C、D、Eを、それぞれ4点、3点、2点、1点、0点とする。

<p>(1)-2 Calculation of GPA Calculate only for courses other than Category X for which a GP is granted. (* Ratings of P, F, W and T are not included in GPA.)</p> <p>GPA per Term =</p> <p>numerator / denominator, where</p> <p>numerator = total of (GP of each course to be calculated for the term x the number of credits for each course) and denominator = total number of credits for courses to be calculated for the term.</p> <p>GPA for the entire enrollment period =</p> <p>numerator / denominator, where</p> <p>numerator = total of (GP of each course to be calculated for the entire enrollment period x the number of credits for each course) and denominator = total number of credits for all courses to be calculated for the entire enrollment period.</p> <p>(1)-3. Mean Grade Point Average Criterion Courses should have a mean GPA between 3.1 and 3.5.</p> <p>(2). Reasonable Distribution Criterion The distribution of pass grades should be in accordance with the following guideline.</p> <p>A 20–50% of class B 30–70% of class C < 25% of class D < 10% of class</p> <p>If the grade distribution is not in accordance with the guideline, the instructor must provide a reason.</p> <p>Release of Course Results Course results are submitted to the Academic Support Team by the end of the third week after the end of the term. After the end of each term and within ten working days of the final submission date, each student will be issued an official results notice providing the details of courses completed and grades awarded.</p>	<p>(1)-2 GPAの計算式 区分X以外の科目で、GPが付与された科目についてのみ計算を行う。 (※P、F、W、Tの評価はGPAに含まれない。)</p> <p>学期毎のGPA =</p> <p>(分子) = (当該学期における計算対象科目のGP×単位数)の合計</p> <hr/> <p>(分母) = 当該学期における計算対象科目の単位数の合計</p> <p>全在学期間のGPA =</p> <p>(分子) = (全在学期間における計算対象科目のGP×単位数)の合計</p> <hr/> <p>(分母) = 全在学期間における計算対象科目の単位数の合計</p> <p>(1)-3 平均GPA基準 当該授業科目のGPA平均は3.1点から3.5点の範囲内となるべきである。</p> <p>(2) 妥当な分布に関する基準 成績評価の合格にかかる分布は以下の範囲内となるべきである。</p> <p>A クラスの20-50% B クラスの30-70% C クラスの25%未満 D クラスの10%未満</p> <p>成績評価の分布がガイドラインを満たさない場合には、教員はその理由を挙げなければならない。</p> <p>成績の発表 成績は学期終了から3週間以内に教務担当に提出される。学生全員に対する、修了した授業科目の詳細および各学期の成績評価を記載した公式結果の通知は、最終提出期日から、土曜日、日曜日及び祝日を除いた10日以内に発行される。</p>
---	---

Appeal	不服申立
<p>1. A student who wishes to appeal the grade must submit a request in writing to the Academic Support Team within two weeks of the announcement of the results (or within five days if the student is scheduled to receive a graduation judgement in that term and the grade to be discussed is related to the graduation judgement). The Academic Support Team shall send the request to the instructor in charge of the course with a copy to the Program Director. If the course instructor is the Program Director, then a copy shall be sent to the Dean.</p> <p>The instructor in charge of the course will review the content of the appeal and send a reply to the Academic Support Team by email with a carbon copy to the Program Director within three weeks of receiving the appeal from the student (or within one week if the student is scheduled to receive a graduation judgement in that term and the grade to be discussed is related to the graduation judgement). If the course instructor is the Program Director, then the carbon copy shall be sent to the Dean. The Academic Support will send the reply from the course instructor to the student.</p> <p>2. A secondary appeal can be made by the student if the student does not accept the reply of the course instructor. The student must submit a secondary appeal request in writing to the Academic Support Team within five days of receiving the reply from the course instructor. The Academic Support Team will send the secondary appeal request to the Dean. The Dean will set up an Examination Committee for Reexamination of Grades (consisting of the Dean, a member of the Board of Trustees in charge of Education, Program or course Director and where appropriate other faculty members nominated by the Dean), will reevaluate the grade in consultation with the committee members, and if the evaluation result is changed, will instruct the course instructor to revise the grade. The Dean will inform the result of the reevaluation within two weeks of receiving the request for a secondary appeal by the student to the Academic Support Team, and the Academic Support Team will notify the student.</p> <p>3. No objection to the secondary appeal shall be granted.</p>	<p>(1) 学生は授業科目における成績評価につき疑義がある場合には、成績発表後、2週間以内(その学期に修了判定対象であり、不服申立を行おうとする成績が修了判定に関わる場合は5日間以内)に、教育支援課教務担当に書面で不服申立を提出する。教育支援課教務担当は、授業科目担当教員に不服申立を送付し、当該プログラムまたはコースのディレクター(以下「ディレクター」)にも写しを送付する。授業科目担当教員とディレクターが同一人物である場合には、写しは研究科長に入れる。</p> <p>授業科目担当教員は内容を確認し、学生への回答を、申立を受理してから3週間以内(その学期に修了判定対象であり、不服申立を行おうとする成績が修了判定に関わる場合は1週間以内)に教育支援課教務担当に送付し、写しをディレクターに送付する。授業科目担当教員とディレクターが同一人物である場合には、写しは研究科長に入れる。教育支援課教務担当は授業科目担当教員からの回答を学生に送る。</p> <p>(2) 学生は授業科目担当教員の回答を受け入れない場合は、回答を受領後、5日以内に教育支援課教務担当に再不服申立を書面で提出する。教育支援課教務担当は研究科長に再不服申立を送付する。</p> <p>研究科長は成績再審査委員会(研究科長以外に、教育担当理事、プログラム/コース・ディレクター、および、必要に応じて研究科長が指名するもので構成される)をつくり、委員と協議して成績の再評価を行い、評価を変える場合は授業科目担当教員に成績修正の指示をする。研究科長は再不服申立を受理してから2週間以内に、再評価の結果を教育支援課教務担当に送付し、教育支援課教務担当は学生に回答を通知する。</p> <p>(3) 再不服申立への異議は認めない。</p>

3. 履修の手引き

<p>4. When the particular assessment undergoing reexamination is a group assignment, the formal request for review must be signed by all members of the group and submitted as specified above.</p> <p>5. As noted previously, students should keep all marked work that is returned to them, and other relevant material or information that would be useful (for example email correspondences between the instructor and the relevant student before making the appeal) in case those documents are required for reassessment after the appeal. Instructors in charge of a course should keep evidence related to grading, such as attendance records, examination responses, report assignments, and submitted assignments that are not returned, for a minimum of three weeks in case an appeal is lodged.</p> <p>6. The Director shall inform the student who has made the appeal in writing through the Academic Support Team, within two weeks of the filing of the appeal, the result of the reevaluation.</p>	<p>(4) 評価につき再考の対象となっている提出課題がグループで作成した課題である場合には、再考についての正式な要請にグループ全員が署名し、上記に従ってこれを提出する。</p> <p>(5) この不服申立の手続きの可能性を考えて、学生は、不服申立後の成績再評価に備えて、返却された採点済みの提出課題や、その他成績評価の参考になる資料・情報(たとえば、不服申立前に行われた学生と教員の間のemailのやりとりなど)を保管しておかなければならない。授業科目担当教員は、出席記録、試験問題やレポートの課題、返却しない提出課題等の成績評価の根拠となる資料を不服申立がある場合に備えて最短でも3週間は保管しておかなければならない。</p> <p>(6) ディレクターは、申し立てが受理されてから2週間以内に再評価の結果を書面にて教務担当を通じて申し立てを行った学生に伝える。</p>
<p style="text-align: center;">Repeating a Course</p> <p>1. In principle, students cannot repeat a course which they have already completed successfully. They can do so only with the permission of both the course instructor and their Director.</p> <p>2. Those who wish to repeat a course should submit a completed “Application to Repeat a Course” to the Academic Support Team after obtaining the approval* of both their Director and the course instructor. *Approval to repeat Japanese language courses is not required.</p> <p>3. Note: only the grade assigned in the <u>repeated</u> course will be shown on the student’s transcript.</p>	<p style="text-align: center;">再履修</p> <p>(1) 原則として、修得科目を再履修することはできないが、希望する学生の所属するプログラムディレクター及び授業科目担当教員が認めた場合にのみ、再履修することができる。</p> <p>(2) 既修得科目の再履修を希望する学生は、プログラムディレクター及び授業科目担当教員の許可*を得た上で、「再履修申請書」を教務担当に提出する。 * 日本語の語学の授業を再履修する場合は、これらの許可は不要である。</p> <p>(3) 成績表には、再履修時の成績のみが表示される。</p>

科目番号の分類

アルファベット順

AIP	ASEAN Initiatives Program
CUL	(文化政策)
DEV	総合系 (開発政策)
DMP	Disaster Management Policy Program Disaster Management Program
DRM	(防災・危機管理)
ECO	経済系
EPP	Economics, Planning and Public Policy Program
GEN	総合系 (総合)
GGG	GRIPS Global Governance Program
GLD	国際的指導力育成プログラム
GOV	政治系
IPR	知財
LAN	語学
MEP	Macroeconomic Policy Program
MOR	総合系 (オペレーションズリサーチ)
MSP	Maritime Safety and Security Policy Program
PAD	政治系 (行政)
PFP	Public Finance Program
PPP	(公共政策)
REG	(地域政策)
SSP	戦略研究プログラム
STI	(科学技術イノベーション政策)
YLP	Young Leaders Program

設置形態及び学問分野別

University Wide Courses

- ・ 経済系
ECO
- ・ 政治系 (政策科学、国際関係、行政)
GOV
PAD
- ・ 総合系 (文化政策、開発政策、防災・危機管理、教育政策、総合、オペレーションズリサーチ、公共政策、地域政策、科学技術イノベーション政策)
CUL
DEV
DRM
GEN
MOR
PPP
REG
STI
- ・ 語学
LAN

Program Specific Courses

AIP
EPP
GGG
GLD
IPR
MEP
MSP
PFP
YLP

Independent Program Courses

DMP
SSP

科目番号の読み方

4桁の数字の千の位は科目のレベルを示す

千の位の数字	科目のレベル
1	入門レベル
2	第2レベル
3	応用科目
4	論文指導等
5	その他特殊科目
6～9	博士課程科目

4桁の数字の百の位は分野を示す

・ 経済系科目 (ECO)

百の位の数字	分野
0	理論 (ミクロ経済学、マクロ経済学)
1	財政、社会保障、労働経済学
2	規制経済学、法と経済
3	都市経済学、交通経済学
4	国際経済学
5	環境経済学
6	金融、マクロ経済政策、金融政策
7	計量、費用便益分析
8	開発経済学
9	その他

・ 政治系科目 (GOV)

百の位の数字	分野
1	国内政治
2	国際政治
3	比較政治
4	地域研究
5	行政学
6	特定政策課題
7	政治哲学、政治思想
8	未定
9	その他

・ 教育政策系科目 (EDU)

百の位の数字	分野
1	政策マネジメント系
2	教育経済系
3	地域系
4	国際系
5	歴史系
6	その他

・ Disaster Management Policy Program (DMP)

百の位の数字	分野
0・1	Disaster Management Policy (Common subjects including thesis)
2・3	Seismology
4・5	Earthquake Engineering
6・7	Tsunami Disaster
8・9	Water-related Disaster Management

数字の後のアルファベット 1 文字目は使用言語を示す

E	英語
J	日本語

数字の後のアルファベット 2 文字目は同一講義が複数ある場合のセクションを示す

A	セクション A
B	セクション B

例

ECO1020EA	経済系 入門レベル 理論 英語 セクション A
-----------	-------------------------------------

入学前の既修得単位等の単位認定について

入学前の既修得単位等の単位認定

入学前に本学または他の大学院で修得した単位について、15 単位を上限に本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができます。なお、入学前の既修得単位等と他の大学院で履修した科目で単位認定できる上限はあわせて 20 単位までとなります。

認定条件

本学で開設している授業科目と同一の授業科目又は授業内容が同一の科目のみ認定されます。ただし、所属プログラムの趣旨に照らして、教育上有益と判断される場合に認定されるので、必ずしも申請が認められるわけではありません。

手続き

1. 既修得単位の認定を希望する場合は、教務担当に連絡し、下記書類を準備して自分が所属するプログラム又はコースディレクターに申し出てください。
 - (1) 入学前既修得単位認定申請書（本学様式）
 - (2) 他の大学院が発行した成績証明書
 - (3) 他の大学院で単位を修得した授業科目に係るシラバス又は授業の内容を記載した書類
2. ディレクターの承諾を得た上で、入学した月の月末までに(1)~(3)を教務担当に提出してください。
※手続きの詳細については別途教務担当から連絡します。

単位認定

単位認定の結果については、学内での審議を経て、教務担当から本人宛に通知します。

成績評価

単位認定された場合、単位互換認定を表す「T」として表記されます。

他の大学院における授業科目の履修について

他の大学院で履修した科目について

他の大学院との協議の上、教育上有益と認められた授業科目については、所定の手続きを経て履修することができます。また、修得した単位については15単位を上限に本学における授業科目として修得したものとみなすことができます。なお、入学前の既修得単位等と他の大学院で履修した科目で単位認定できる上限はあわせて20単位までとなります。

受講可能な科目

- ・単位互換協定を締結している大学院が開講し、学生が所属する教育プログラムの授業科目に相当または関連する授業科目
- ・上記の他、本学が特に教育上有益であると判断する科目

手続き

所定の期日までに、下記の書類を教務担当に提出してください。

- ・履修申請書（本学様式）

※期日や提出書類等の詳細については履修希望者に別途教務担当から連絡します。

履修の許可

相手先の大学院で履修が許可されたら、教務担当より本人宛に連絡します。

履修報告書

履修が終了したら、速やかに授業科目履修報告書（本学様式）を教務担当に提出してください。提出がない場合は単位認定することができないのでご注意ください。

単位認定

単位認定については、学内での審議を経て、教務担当から本人宛に通知します。不合格となった場合も本人宛に通知します。

成績評価

単位認定された場合は、単位互換認定を表す「T」として記載されます。不合格となった場合は、不合格を表す「F」として表記されます。

修士課程における学位論文等の評価基準及び審査体制

評価基準

本学学生は大部分が政府機関等からのミッドキャリアの派遣学生であるため、修士論文は政策形成能力の向上を目指すことを目的とし、各自の関心のある特定の政策的課題を取り上げ、各種の学際的学問分野（経済学、政治学、行政学、工学、及び学際領域）のディシプリンを用いた政策効果の分析及び政策評価等の政策分析を行っています。それぞれの教育プログラムにおいて修士論文又は特定の課題についての研究を評価する際は、その特性に応じて、各種の学問的方法論に基づいた客観的、合理的な分析であるか否かを基準とし、独自に評価を行うものとします。

なお、この評価基準は、各教育プログラムにおいて、入学時のガイダンスで周知するものとします。

審査体制

各教育プログラムごとに、論文発表会等を実施し、質疑応答を行った上で、複数の本学教員からなる審査委員による審査を経て、可否を判断します。この審査結果に基づき、修士課程委員会における審査を経て、研究教育評議会で最終的に可否判断を行います。

修士課程の修了要件

プログラム	修了要件	学位
公共政策プログラム ・地域政策コース ・インフラ政策コース ・防災・危機管理コース ・医療政策コース ・農業政策コース ・科学技術イノベーション政策コース ・国際協力コース ・まちづくり政策コース ・総合政策コース	履修方法（カリキュラム）(1) 修士課程 公共政策プログラムに掲げる授業科目のうち、区分Ⅰから4単位、区分Ⅱから8単位以上を履修し、合計30単位以上（区分Ⅹに属する授業科目の単位を除く。）を履修するとともに、特定の課題についての研究成果の審査に合格し、かつ最終試験に合格すること。（公共政策プログラムコース修了証については、本ページ下部を参照のこと。）	修士（政策研究） 修士（文化政策） 修士（インフラ政策） 修士（防災政策） 修士（公共政策）
科学技術イノベーション政策プログラム	履修方法（カリキュラム）(2) 修士課程 科学技術イノベーション政策プログラム（2年制）に掲げる授業科目のうち、区分Ⅰから4単位、区分Ⅱから18単位以上を履修し、合計30単位以上（区分Ⅹに属する授業科目の単位を除く。）を履修するとともに、特定の課題についての研究成果の審査に合格し、かつ、最終試験に合格すること。	修士（公共政策）
国際的指導力育成プログラム	履修方法（カリキュラム）(3) 修士課程 国際的指導力育成プログラムに掲げる授業科目のうち、区分Ⅰから4単位、区分Ⅱから20単位以上を履修し、合計30単位以上（区分Ⅹに属する授業科目の単位を除く。）を履修するとともに、特定の課題についての研究成果の審査に合格し、かつ最終試験に合格すること。	修士（政策研究）
戦略研究プログラム	履修方法（カリキュラム）(4) 修士課程 戦略研究プログラムに掲げる授業科目のうち、区分Ⅰから22単位、区分Ⅱから9単位以上を履修し、合計31単位以上（区分Ⅹに属する授業科目の単位を除く。）を履修するとともに、特定の課題についての研究成果の審査に合格し、かつ最終試験に合格すること。	修士（政策研究）

公共政策プログラムコース修了証

公共政策プログラムに所属し、

- (1) 公共政策プログラムカリキュラム区分Ⅲ選択科目におけるコース指定科目の各コースすべての単位（合計10単位）を取得し、
- (2) 特定の課題についての研究成果が当該コースの政策に係るものでありその審査に合格した場合

は、コース修了証が授与されます。

また、所属するコース以外の修了証や、修了証を複数得ることも可能です。その場合は、修

了証授与を希望するコースすべてについて、上記(1)及び(2)の条件を満たすことが必要です。具体的には、希望する各コースのコース指定科目すべてを履修すること、主指導教員及び副指導教員に各コースの担当教員が参画していること、研究テーマが各コースに関連するものであること、希望するコースの両方で最終審査を受けることが求められます。希望する方は、入学時に所属するコースのコースディレクターにご相談ください。

修士課程プログラム

修士課程(国内プログラム)

公共政策プログラム

公共政策プログラムは、中央省庁や地方自治体、民間企業等の幹部候補職員や、政策研究志望者など、様々な分野で政策研究を必要とする者を対象とし、高度な専門的知識を有するだけでなく、責務の自覚を持つ専門的指導者や新しいタイプの政策研究者を養成するためのプログラムです。

所属するコースによっては、英語による授業の履修が必須となる場合もあります。

公共政策プログラム 地域政策コース

地域政策コースは、地方創生や地方分権が進む中で、豊かな政策構想力と優れた行政運営能力を持つ将来の自治体幹部となる人材の養成を目的としています。

このコースは、全国の自治体から有望な若手職員を集め、将来の自治体幹部候補生として育成するための特別のコースです。自治体や地域に焦点を当てた講義科目を多数展開するとともに、学生は、最も今日的かつ先進的な政策課題を選択し、指導教員によるきめ細やかな指導の下、政策の企画・立案・戦略を構想し、ポリシーペーパーをまとめ上げます。

他コースや他プログラムを含め、全国の自治体から集う学生同士のネットワークは、本人及び自治体双方にとって貴重な財産となります。また、海外からの留学生と積極的な交流を図ることにより、グローバルな時代の自治体職員にふさわしい国際感覚が身に付くとともに、国際的な広がりを持った幅広いネットワークを形成することも可能です。

自治体の総務企画部門を中心に幅広い分野で活躍することができる、中央省庁の行政官を凌駕するような能力を備えた中核的人材・高度のジェネラリストを養成することを目指します。

公共政策プログラム インフラ政策コース

国の発展にとって重要な役割を果たす国土政策、都市政策、社会資本政策を中心に、その基礎となる経済学、政策評価、民間資金による社会資本整備・管理、事業に実施に必要なプロジェクトサイクルマネジメントや景観設計などについて重点的に教育します。修学期間は1年のコースと1年3ヶ月のコースを選択することができます。

経済の国際化に伴う地域間競争や水平分業、人口動向

の変化、地域間所得格差、地球環境問題など、国土政策、社会資本政策を取り巻く環境は大きく変化してきました。政策評価、事業評価、パブリックインボルブメント、PFIや指定管理者制度、社会資本の高齢化に伴うアセットマネジメントなど、従来の個別学問分野のみでは対応できない業務も拡大しています。これらの課題に対応して、官・民を問わず地域の活性化、環境整備、社会資本などに係る分野や組織において、我が国のリーダーとなる人材を養成することが本プログラムの目的です。

公共政策プログラム 防災・危機管理コース

本コースは、東日本大震災をはじめとするこれまでの災害等の教訓を踏まえ、今後想定される南海トラフ地震、首都直下地震、大規模水害等の巨大災害や重大事故、感染症パンデミック等の各種危機に備えて、防災・危機管理に関する最新の取組み、課題等について学ぶことにより、総合的な専門知識を有し、関連政策の企画や実践に係る高度な能力を有するエキスパートを養成することを目的としています。

このコースでは、行政学・経済学・政治学・工学など幅広い分野の知見を有機的に結びつけた教育パッケージを準備しています。また、多くの教員は、中央政府、地方自治体等における関連業務の実務経験が豊富で、実践的な政策能力を養う教育が行われます。さらに、関係する中央省庁や地方自治体などの災害関連機関、研究機関等との連携・協力により、先進的な教育・研究を目指します。

学生は、政策研究の基礎となる科目を履修するとともに、自ら設定した研究課題に関する論文を作成します。論文作成の過程では、ゼミや発表会を通じ、また、担当教員の個別指導を受けながら、問題分析能力や政策立案能力を高めていきます。

また、災害の被災地を訪れ、現地で苦勞されている方々の声を直接聞き、意見交換を行う被災地学習や、防災中核機関への訪問学習、中央省庁等の実務家による講義などを積極的に展開します。

本コースで1年間学んだ学生が、修士（防災政策）の学位を取得し、修了後、培った能力を国・自治体・企業等それぞれの所属で大いに発揮するとともに、防災・危機管理のネットワークを構築し、連携・協力を図ることにより、安全・安心の国・地域づくりに大きく寄与することを期待しています。

公共政策プログラム 医療政策コース

今日、人口構造の変化、経済構造の変容、医療技術の革新など、医療を取り巻く環境は激変しています。またCOVID-19 パンデミックは、医療にさらなる課題を突きつけました。高齢者人口がピークを迎える一方、労働力人口は激減する 2040 年頃を見据え、地域包括ケアの実現を目指し、制度をダイナミックにモデルチェンジして、持続可能性を高め、かつレジリエンスを強化していく必要があります。

医療政策コースは、こうした変革と激動の時代において、医療政策を展開する上で必要な理論・知識や分析手法を修得するとともに、医療やその関連分野の政策動向や課題の本質を理解し、総合的かつ実践的な政策展開を図ることができる人材の育成を目的としています。

講義や演習は理論的かつ体系的な内容を用意しつつ、同時に医療政策の実践的な展開に役立つ内容となるよう十分配慮します。

医療政策と一口にいても、自治体をはじめ派遣元が抱えている問題状況は様々ではありません。学生の関心も多様だと思われます。ポリシーペーパーの作成においては、学生の関心や派遣元が抱えるニーズ等を踏まえ適切なテーマを設定できるよう配慮するとともに、その内容が今後の政策展開に資するものとなるようきめ細やかな指導を行います。また作成過程を通じ、政策立案時に求められる論理的かつ視野の広い考察と、説得力のある説明を行う能力を培うことを目指しています。

公共政策プログラム 農業政策コース

少子・高齢化等に伴う国内のライフスタイルの変化や世界の食市場の規模拡大などが進む中、農産物や農山漁村の暮らしに付加価値をつけ、地域独自の魅力を創造していくことは、これからの地域活性化には無くてはならないアプローチです。このようなアプローチで地域を活性化するためには、現場に根差したユニークな政策を企画・立案し、これを農林漁業者や食品事業者などの民間のパートナーと協働して着実に実践することが必要となっています。

農業政策コースでは、政策研究・立案のプロフェッショナルによる実践的な講義、農業・食品産業などマーケット最前線のビジネスパーソンや農林水産省等中央省庁職員との交流、海外政府や他の自治体など多様なバックグラウンドを持つ学生とのネットワーク構築、学生の関心や各自治体が抱えるニーズ等を踏まえた今後の政策展開に資するポリシーペーパーの作成等を通じて、公共政策を展開する上で必要な理論・知識や分析手法を修得するとともに、農業やその関連分野の政策動向・課題の本

質を理解し、総合的かつ実践的な政策展開を図ることができる人材の育成を目指します。

公共政策プログラム 科学技術イノベーション政策コース

知識が経済・社会の発展に大きな影響を及ぼす知識基盤社会においては、科学技術イノベーション政策の役割は、科学知識の発展のためだけでなく、新産業創出や、雇用の確保、生活の質の向上、環境問題、さらにはSDGsを含めた社会課題の解決のためにも急速に高まっています。また、デジタル化の時代において研究開発やイノベーションの方法論も変化し、その政策やマネジメントのあり方の理解も必要となっています。

こうした背景のもと、本コースでは、科学技術イノベーション政策に関する学問的ならびに実務の専門知識に沿って、科学的アプローチを用いて、科学技術イノベーション政策や戦略の企画・立案・実行、評価、修正の実務をおこなうことができる専門職業人や、将来、博士課程に進学するなどして科学技術イノベーション政策に関する研究者になることを目指す者の育成を行います。

公共政策プログラム 国際協力コース

地球的規模で持続可能な開発目標（SDGs）の達成が求められる中、本コースは、国際開発・国際協力の分野において国内外の様々な立場から指導的役割を果たす人材を養成することを目標としています。

本コースの学生は、公共政策プログラム全体の必修科目・選択必修科目に加えて、コース指定科目として、英語で行われる国際開発関係の5つの専門科目を履修します。更に、選択科目として英語・日本語で行われる多様な科目を履修することができます。本学は、全学生の約3分の2が留学生という国際的な環境であることから、英語の科目では留学生たちと共に学ぶことになります。また、開発途上国が直面する課題、グローバルな開発課題、国際開発政策や国際協力事業の立案・実施にかかる諸問題等をテーマに、ポリシーペーパーを作成します。

これらを通じて、公共政策全体の基盤となる知識の習得に加えて、高度開発人材として求められる専門的知識の習得、世界各国の政府部門で働く留学生たちとの政策議論、人的ネットワーク形成の構築が可能となります。

公共政策プログラム まちづくり政策コース

少子高齢化の進展、人口減少社会への突入を迎え、日本の地方都市の多くは危機的な課題に直面する一方、外国人観光客の増加、テレワークの普及など地方都市がその魅力をアピールする機会が増えるなど、都市やまちの再生に真剣に向き合うべき時を迎えています。

このような背景の下、本コースは、まちづくりに関わる現実の様々な政策課題について、データや現地調査結果等の様々なエビデンスを用いた分析・評価を行い、その結果に基づいた政策立案（EBPM）ができる能力を持つ人材を養成することを目的としています。

本コースでは、ミクロ経済学をベースに、計量経済学、費用便益分析といった各種分析・評価手法を学ぶ科目、これらを用いた分析・評価事例や政策事例を学ぶ科目、分析・評価の結果を政策として実現するための法制度に関する科目など、多彩な科目を提供します。

また、上記の諸科目の履修を通じて得た知識を応用し、政策課題の分析・評価の結果に基づく修士論文を作成、政策提言を行うことを通じて、EBPMの実践能力を総合的に身につけることを目指します。

カリキュラムは、基礎から応用、知識から実践といったかたちで構成されているため、職種にかかわらず安心して学ぶことができます。

都市政策、まちの再生、住宅・建築政策のほか、環境、教育、労働、福祉といった広くまちづくりに関する政策に携わる国・地方自治体職員、独立行政法人職員や、公共部門と連携する企業の職員、コンサルタント、不動産鑑定士や建築士といった専門家、非営利組織職員等で、EBPMの実践に意欲を有する方を対象としています。

公共政策プログラム 総合政策コース

本コースは、多様なニーズの受け皿となるべく、多様な履修形態を整備しており、その柔軟性に特徴があります。このコースで学んだ学生が、公共政策の現場において、その能力を最大限発揮できるよう、問題分析能力と政策構想能力を修得するためのトレーニングを中心としたカリキュラムを組んでいます。

具体的には、各自の政策課題に応じて、履修する5科目を自己申告し、例えば、外交、防衛、財政、金融、産業、通商、環境、労働、福祉などの政策分野を特定します。本コースの修了には、自己申告5科目の履修と、特定した政策分野に関連する研究の実施が要件となります。入学後半年間で政策研究の基礎となる科目を集中的に履修し、その後半年間で、自ら設定した研究課題に関する論文を作成し、政策提言を行います。論文作成の過程では、指導教員による指導が行われ、問題分析能力や政策構想能力を高めることができます。

また、Global Studies 認定証を併せて修得することが推奨され、海外における研修と組み合わせたり、特定課題をより深く研究することを希望する学生には、フィールド・リサーチを必要とする修士論文の執筆を求めるなど、標準修了年限を前提としつつも、在籍期間の延長も

含めて、ニーズに応じた多様な履修形態を可能としています。

科学技術イノベーション政策プログラム

知識が経済・社会の発展に大きな影響を及ぼす知識基盤社会においては、科学技術イノベーション政策の役割は、科学知識の発展のためだけでなく、新産業創出や、雇用の確保、生活の質の向上、環境問題、さらにはSDGsを含めた社会課題の解決のためにも急速に高まっています。また、デジタル化の時代において研究開発やイノベーションの方法論も変化し、その政策やマネジメントのあり方の理解も必要となっています。

こうした背景のもと、本プログラムでは、科学技術イノベーション政策に関する学問的ならびに実務的専門知識に沿って、科学的アプローチを用いて、科学技術イノベーション政策や戦略の企画・立案・実行、評価、修正の実務をおこなうことができる専門職業人や、将来、博士課程に進学するなどして科学技術イノベーション政策に関する研究者になることを目指す者の育成を行います。

教授陣には、国内外の優れた科学技術イノベーション政策研究の専門家を揃え、さらに、より実践的な研究教育を行うため、科学技術イノベーション政策を専門とし、第一線で活躍する実務家を講師として迎えています。また、優れた研究者や実務家を招いた研究会、講演会も開催します。

平日夜間、土曜日の授業を中心とする2年制プログラムです。

国際的指導力育成プログラム

激動する世界のなかで、官民を問わず国際場裏で個人としてリーダーシップをとることのできる人材が求められています。現在の世界では、様々な地政学的変動が起きる中、欧米の先進国に加えて、グローバル・サウスと呼ばれる新興国・途上国も台頭して国際関係が複雑化し、日本政府や日本企業で国際業務を進める職員は、難しい舵取りを迫られています。

従来型の二国間外交に加えて多国間外交が頻繁に繰り上げられる世界では、これまで以上に国際情勢に通じ、戦略感覚にあふれ、コミュニケーション能力に優れ、敬意をもたれつつ指導力を発揮できる人材が求められています。さらにそのような「外交力」が必要とされるのは、外務省職員にとどまらず、いまやほぼすべての中央省庁、政府関係機関、地方自治体に及んでいます。民間企業にしても、国際政治情勢が急速に変化するなか、「地政学リスク」を的確に判断しつつ、関係企業との交渉、さらには各国政府や国際機関やNGOへの働きかけの

できる人材が求められています。日本のメディアもまた、世界情勢を日本に伝えるだけでなく、日本の情報を世界に発信することが必要とされています。

国際関係の体系的な理解や実践的トレーニングを重視している本プログラムは、このような人材育成に特化し、組織や国のブランドに依存しない、真の外交力を備え、組織の国際交渉を率いる人材を育成することを目的としています。

戦略研究プログラム

本プログラムは本学と防衛省防衛研究所との連携プログラムであり、安全保障・防衛政策に携わる日本及び各国の幹部級実務者に対し、より高度な政策立案・実施能力、情報収集・分析および発信能力、関係諸国との対話能力などを獲得するために必要な教育を実施するとともに、政策研究のための場を提供することを目的としています。

学生は、本学と防衛研究所において必修及び選択必修の各科目を履修します。必修科目としては、国際安全保障論、戦略理論、法と安全保障、経済と安全保障、各地域における安全保障問題など、安全保障に関する基礎的な知識から実務に活用できる科目や、戦争史原論や近代日本の軍事史など、長期的な視点から安全保障・防衛政策を考えるために必要な科目まで、広範に設定しています。

また、選択必修科目としては、米国、中国、朝鮮半島、東南アジア、南アジア、中東などについて地域別に安全保障問題を考察するための科目とともに、国際政治学概論、政軍関係概論、宇宙と安全保障、防衛産業・技術開発概論などの分野別の科目を、それぞれ学生の関心に応じて履修することができます。さらには、東アジアの歴史認識をめぐる諸問題など、安全保障政策に影響を与える課題に関する科目も開講されます。

さらに本プログラムでは、講義等で学んだことを実際の政策に結びつけるための手段として、政策シミュレーションを取り入れています。学生は、政策決定過程に関する講義を受けた後、各種のシナリオに基づいて安全保障・防衛政策のあり方を研究・討議するとともに、政府機関等の対応や関係諸国との調整、各種法制の適用などについて演習を行います。

最後に、修士論文にあたるリサーチペーパーについては、入学後なるべく早い時期にテーマと指導教員を決定し、修了までの1年間で執筆します。論文執筆にあたっては、各学生につき、原則、本学と防衛研究所から1名ずつ、計2名の教員が指導します。

修士課程(国際プログラム)

Young Leaders Program

ヤング・リーダーズ・プログラム (Young Leaders Program : YLP) は、2001年に開始した文部科学省の奨学金プログラムです。YLPは、アジア諸国等の将来のナショナル・リーダーの養成に貢献すること、各国の指導者層の間に人的ネットワークを創ること、我が国を含む諸国間の友好関係を構築すること、及び各国の政策立案機能を向上させることを目的としています。

本プログラムは、政策立案者及び将来の政治的指導者の養成を目的としたプログラムであることを特徴としています。日本の政治や経済についての理解を深め、同時に、地域・国際社会の政治経済について、比較と歴史的視点に基づいた知識を身につけさせることを目指しています。

本学では、2001年から行政コースを、2009年から地方行政コースを実施しています。いずれのコースも、行政学や政策研究に関する様々な科目が提供されるとともに、政治家や、政府高官、実業界の幹部、地域社会のリーダーとの政策論議の機会が用意されています。両コースを対象としたコロキウム及び講義とともに、行政コースにはフィールドトリップ、地方行政コースにはワークショップ、両コースにインディペンデント・スタディの提出が課されるなど、中央省庁や地方公共団体など他機関との連携により、実際の課題に即して政策研究を行う機会も設けられています。

One-year Master's Program of Public Policy (MP1)

1年制公共政策プログラム (MP1) のカリキュラムは必修科目、選択科目から成り立っており、4つの政策専門領域 (経済政策、国際開発政策、国際関係、公共政策) から1つの分野を選択し、より専門的な知識を習得していきます。その他の多様な選択科目では視野を広げたり知識を深めたりすることができます。同時に、政策実務担当者・経験者による実用性を重視した高度な教育も実施しています。

Two-year Master's Program of Public Policy (MP2)

2年制公共政策プログラム (MP2) は、1年制公共政策プログラム (MP1) を土台に、政策分析能力の向上により重点をおいた教育を施します。1年次には複数領域にまたがった基礎的な分析能力を身につけるとともに、4つの政策専門領域 (経済政策、国際開発政策、国際関係、公共政策) から1つの分野を選択してより専門的な分析能力を獲得していきます。あわせて、学術的・実務的な様々な選択科目を履修することができます。2年次には、

それまでに習得した専門的・実用的な知識・スキルを駆使して、選択した専門政策領域の教員の指導を受けつつ修士論文を執筆します。

Macroeconomic Policy Program

Macroeconomic Policy Program (MEP) は、マクロ経済の変動、国内外の財政・金融政策の影響や役割を理解し、政策対応ができるマクロ経済政策の専門家を育成することを目指しています。マクロ経済学の考え方を基礎とし、マクロ経済政策の分析、立案、実施を理論的及び実証的な手法と観点から教育するプログラムです。

本プログラムは、従来の Transition Economy Program を受け継いで発展したプログラムで、1年プログラムと2年プログラムがあります。1年プログラムの履修単位は34単位、2年プログラムは44単位です。短期間での学位取得を希望する方には1年プログラム、時間に余裕があり、修士論文を執筆したい方や分析技術の向上により一層専念したい方には2年プログラムを履修することを勧めます。

ポリシーペーパーや修士論文の執筆では、本プログラムの中心となる教授陣が演習を通じてきめ細やかな指導を行います。また、定期的に行われる GRIPS フォーラムは、国内外の政治経済に関する主要な問題について理解する絶好の機会を提供します。週に一度開催される研究会では最先端の経済学研究に接することができます。

本プログラムのカリキュラムは必修科目、選択必修科目、選択科目、その他の科目から成り立っています。マクロ経済学、ミクロ経済学、計量経済学を含む必修科目では、経済学の原理と理論及びマクロ経済政策の設計と評価に関する実践的な分析技術を養います。さまざまな選択必修科目及び選択科目を通じ、金融政策、財政政策、国際貿易、金融市場など、関心がある特定の領域において自分の専門性を高めることができます。

Public Finance Program

開発途上国の租税政策及び関税政策への知的支援の観点から、将来それらの分野で責任を負うこととなる若手行政官を主たる対象として、経済学を主とし、政治学ならびに行政学等に関する専門的教育を行うとともに、国税庁税務大学校、財務省税関研修所との連携による実践的教育 (Practicum) を実施し、我が国の政策経験を踏まえた高度な専門的行政能力の育成を目指しています。

本プログラムは、世界銀行 (WB) 及び世界税関機構 (WCO) の全面的な支援によって運営されており、Joint Japan / World Bank Graduate Scholarship Program による Tax Course と Japan-WCO Human Resource

Development Programme による Customs Course からなっています。

Economics, Planning and Public Policy Program

アジア最大の民主主義国のひとつであるインドネシアは、今、大きな変革が行われています。インドネシアの民主化と地方自治のプロセスは政治、経済及び社会を大きく変えています。この大変革を順調に乗り越えるためには、優秀な人材養成が急務です。

本プログラムは、インドネシアの中央政府及び地方自治体において、インドネシアのグッド・ガバナンスと経済発展に貢献できる人材を養成することを目的としています。修士課程1年目の教育をインドネシアの有力国立大学 (インドネシア大学、ガジャマダ大学、ブラウウィジャヤ大学、パジャジャラン大学) において行い、2年目の教育を本学で行う、2年間の共同プログラムです。このプログラムでは、経済学、政治学、公共政策、公的管理など、将来の職務に必要となるコア・スキルの育成に重点を置きつつ、多くの専門分野と幅広いテーマの中から、学生は個々のニーズにあった履修を選択できるようなっています。修了者に対しては、本学及びインドネシアの大学からそれぞれ修士の学位が授与されます。

学生はさらに、本学の教授陣や他のプログラムに在籍する世界中の行政官との交流を通じて、幅広いネットワークを形成することや国際感覚を身に付けることができます。

Disaster Management Policy Program

本プログラムには、「地震学・耐震工学・津波防災コース」「水災害リスクマネジメントコース」の2コースがあります。

(1) 地震学・耐震工学・津波防災コース

GRIPS-BRI Joint Program

地震学・耐震工学コースは、2005年に本学と国立研究開発法人建築研究所 (BRI)、独立行政法人国際協力機構 (JICA) との連携により開設されました。翌年の2006年には津波防災コースが追加開設されました。

地震災害は、他の自然災害と比較して、人命損失、家屋倒壊、社会的財産への打撃など、その被害が甚大であること、地震発生予知が困難であることなどから、その被害を軽減するための事前の防災対策が重要視されています。

先進国では、地震学、耐震工学及び津波防災分野の発展により防災対策の充実が図られ、社会が地震に対して、より安全になってきましたが、地震多発地域に存在する発展途上の国々では依然として地震や津波に対して脆弱

な状況が続いています。発展途上国における地震安全性を高めるためには、防災に係る技術と知識を先進国からそのまま移転するのではなく、それぞれの国の実情や社会システムに適合するような技術や制度を開発することが不可欠です。そのためには、地震学、耐震工学及び津波防災等における高度な知識や技術を備え、優れた行政能力を有する人材の養成が必要です。

このプログラムでは、講義と演習を通して、地震防災に必要な地震学、耐震工学及び津波防災分野の知識及び技術を修得し、日本の経験を基にした防災政策の理論と実践を学びます。加えて、実習と問題解決演習を通して、それぞれの国特有の問題に対して、習得した知識や技術、政策理論を適用させる能力を身につけさせることにより、開発途上国における地震・津波防災政策分野の専門家養成を目指します。

(2) 水災害リスクマネジメントコース

GRIPS-PWRI Joint Program

このコースは、2007年に本学と国立研究開発法人土木研究所（PWRI）、独立行政法人国際協力機構（JICA）との連携により、開設されました。

洪水や渇水などの水に関連する災害は、人類の持続可能な開発、貧困の削減を実施するために克服すべき主要な課題の一つです。激甚な水関連災害は、これまで世界各地で発生しており、近年、その数が増えつつあるだけでなく、人口の急激な増加、都市への人口・資産の集中、及びハイテクなどの資産の高度化に伴い、その被害・影響も増加する一方です。また、将来的には地球温暖化に伴う気候変動によって降雨量およびそのパターンの変化が予想されており、それによる水関連災害の深刻化・頻発化が懸念されます。併せて、地球温暖化に起因する海面上昇が世界的に予想され、沿岸域、河川下流のデルタ地域、小島嶼への影響がさらに深刻化することも予想されています。

これらの水関連災害の軽減のためには、堤防やダムなどのハード整備と、早期警報システムや洪水ハザードマップなどのソフト対策がバランス良く行われることが必要ですが、予算や人的資源が限られている発展途上国においては、それらに関する知識や技術を持つ技術者が少ないのが現状であり、高度な知識と技術を備えた優れた行政能力を有する人材の育成が急務とされています。

このプログラムでは、講義と演習を通じて、水文学や河川工学などの基礎工学、さらにソフト施策の立案に必要な総合洪水リスクマネジメントや洪水ハザードマップの知識及び技術を習得します。併せて、水関連災害軽減のための代表的施設であるダムや砂防施設に関する知識及び技術を習得します。加えて、実地での演習を通して、

習得した知識や技術、政策理論をそれぞれの国特有の問題に適用させる能力を身につけさせることにより、開発途上国における水関連災害防災政策分野の専門家養成を目指します。

Maritime Safety and Security Policy Program

海上保安政策プログラム（Maritime Safety and Security Policy Program）は、本学と海上保安庁、独立行政法人国際協力機構（JICA）との連携により開設されたプログラムで、日本国内・国外の海上保安機関で勤務する実務者を対象として、海上で発生する種々の課題に的確に対処するために必要な高度な知識、分析・提案能力及び国際的に通用するコミュニケーション能力を有する人材を育成することを目的としています。

カリキュラムは、本学の他の国際プログラムと同様の基礎科目である国際関係論や国際安全保障論に加え、海上保安機関に属する実務者として必要不可欠な海洋法、地域研究、海上保安政策など、本プログラムの特色ともいえる科目で構成されています。さらには、海上で発生する種々の事案への対応能力を身につけるべく、過去の事例などを参考にした、あるいはシナリオを用いた実務的な演習も実施しています。さらに、学生は、自身が個別のテーマを設定し、1年の就学期間中に上記の各科目で習得した知識のみならず、自らの実務経験や自身が調査し、身につけた知識も併せて、担当教員の指導を受けながらリサーチペーパーを執筆します。

学生は、毎年10月の入学後、翌年3月までは本学において必修及び選択必修の各科目を履修し、その後、7月までは海上保安大学校（広島県呉市）へ移動して授業・演習などを行います。海上保安大学校においては、必修科目として救難防災政策、海洋警察政策などを設定し、それ以外にも、実務者として必要となる分野を学生各自が選択できるように選択科目も設けています。選択科目においては、犯罪取り締まりに関する知識の習得や、政策策定の重要な要素となる理工学的素養の獲得が可能になるように配慮しています。

前述の通り、本プログラムは本学と海上保安大学校と2カ所で実施することになるので、オンラインを活用した指導などを行いながらリサーチペーパーの作成に取り組むことになります。

修士課程プログラム概要

プログラム		概要
4 月開始 (日本語で 実施)	公共政策プログラム	政策分析力、政策構想力を磨き、政策研究の最先端と実務の世界の架け橋となる人材を育成するとともに、複雑化・多様化する政策課題に対し、より総合的な視点から解決策を提示し、対応を図れる人材を育成する。
	地域政策コース	地域レベルにおいて、豊かな政策構想力と優れた行政運営能力を有し、高度のジェネラリストとして自治体の中枢を担うことができる人材を育成する。
	インフラ政策コース	国内外の地域開発政策や社会資本整備に携わる高度な専門家を育成する。
	防災・危機管理コース	安全・安心の国・地域づくりを進めるため、防災・危機管理政策について総合的な判断・企画立案・実践能力を有するエキスパートを育成する。
	医療政策コース	理論的かつ体系的な講義や医療政策の実践に役立つ演習を提供するとともに、医療政策に関するポリシー・ペーパーの作成指導を行うことを通じ、将来の医療政策を担う人材を育成する。
	農業政策コース	農業を核とする地域活性化のための政策（「農業政策」）に関する専門的知識・技術に加え、政策構想力と行政運営能力を有する人材を養成する。
	科学技術イノベーション政策コース	科学的なアプローチを用い、科学技術イノベーション政策の企画・立案、遂行、評価、修正を行うことができる人材を育成する。
	国際協力コース	地球的規模で持続可能な開発目標（SDGs）の達成が求められる中、国際開発・国際協力の分野で指導的役割を果たす人材を養成する。
	まちづくり政策コース	まちづくりに関わる政策課題について、エビデンスを用いた分析・評価に基づく政策立案（EBPM）ができる人材を養成する。
	総合政策コース	多様な政策領域に共通する基礎的な知識・技術に加え、既存の特定課題・分野に捉われず、自ら研究テーマを設定し、その分野に関する専門的知識・技能を習得することにより、より総合的な視点から解決策を提示し、対応を図れる人材を育成する。
	科学技術イノベーション政策プログラム	科学的なアプローチを用い、科学技術イノベーション政策の企画・立案、遂行、評価、修正を行うことができる人材を育成する。
	国際的指導力育成プログラム	国際情勢に通じ、戦略感覚とコミュニケーション能力を備え、組織の国際交渉などで優れた指導力を発揮できる人材を育成する。

4. 修士課程

10 月開始 (日本語・ 英語で実施)	戦略研究プログラム	安全保障・防衛政策に携わる日本及び各国の幹部級の実務者に対し、より良い政策立案・実施のために必要な高度で幅広い最新の知見を獲得するための教育を実施し、また実務経験に基づく研究活動の場を提供することを目的とする。
(英語で実施)	Young Leaders Program	アジアや中欧諸国等のナショナル・リーダーを育成し、日本を含め各国における行政分野のリーダー間のネットワークを構築する。
	One-year Master's Program of Public Policy (MP1) Two-year Master's Program of Public Policy (MP2)	多様な政策課題に対応できる高度な政策立案能力、分析能力を有する人材を育成する。
	Macroeconomic Policy Program	マクロ経済政策の専門家を育成する。
	Public Finance Program (Customs コースのみ 9 月開始)	開発途上国の租税政策及び関税政策専門家を養成する。
	Economics, Planning and Public Policy Program	インドネシアのグッド・ガバナンスと経済発展に貢献する人材を養成する。
	Disaster Management Policy Program	開発途上国における防災分野の専門家を養成する。
	Maritime Safety and Security Policy Program	海上で発生し得る種々の課題に対し、的確に対処できる高度な分析能力を有する人材を育成し、各国の実務家同士の国際的なネットワークを構築する。

2024年度 履修方法（カリキュラム） （１） 修士課程 公共政策プログラム

区 分	科目番号	科 目 名	担当教員	学 期	単位	修了に必要な単位
区分Ⅰ 必修科目	PPP4000J	政策論文演習	関係教員	夏～冬	4	4
区分Ⅱ 選択必修科目	ECO1000J	ミクロ経済学Ⅰ	畠中 薫里	春前	2	
	ECO1050J	マクロ経済学	横山 直	秋前	2	
	ECO2700J	計量経済学	黒澤 昌子	春	2	
	ECO2710J	費用便益分析	城所 幸弘	春後	2	8以上
	GOV2100J	政策過程論	飯尾 潤	春	2	
	GOV2520J	行政の改革・革新と政策評価	吉牟田 剛	春	2	
	GEN5020E	The World and the SDGs	KUDO Toshihiro, et al.	秋	1	
	GEN5030J	GRIPS ForumⅠ	岩間 陽子、飯塚 倫子	春	1	
	GEN5040J	GRIPS ForumⅡ	岩間 陽子、飯塚 倫子	秋	1	
	IPR1020J	民法の基礎	塩澤 一洋	春前	2	
	MOR1030J	* データサイエンス基礎	土谷 隆	春前	2	
	MOR1100J	* 政策科学のためのデータサイエンスと情報数理Ⅰ	土谷 隆、竹之内 高志	春	2	
	MOR2000J	計画と評価の数理	諸星 穂積	春	2	
	MOR2020J	** 実践データサイエンス	竹之内 高志	春後	2	
	MOR2100J	** 政策科学のためのデータサイエンスと情報数理Ⅱ	土谷 隆、竹之内 高志	秋	2	
	PAD3100J	EBPM概論	金本 良嗣、城所 幸弘、高橋 正史、他	春前	1	
	REG1200J	行政法の基礎	板垣 勝彦	春前	2	
区分Ⅲ 選択科目		コース指定科目（別紙参照）			2	30
					2	
					2	
					2	
					2	
	DEV2140J	景観・デザイン論	福井 恒明	春後	2	
	DEV2150J	都市学の理論と実践	岸井 隆幸、家田 仁	秋	2	
	DEV2160J	社会基盤整備のPPP/PFI	日比野 直彦	秋前	1	
	DEV2180J	水圏国土学	知花 武佳	秋後	1	
	DRM2050J	気象と災害	鈴木 靖	秋	2	
	DRM3010J	災害対策各論Ⅱ	山口 真司	秋	2	
	ECO2000J	ミクロ経済学Ⅱ	田中 誠	春後	2	
	ECO2020J	政府と市場	細江 宣裕	秋	2	
	ECO2600J	経済政策の理論と展開	松谷 明彦	秋	2	
	ECO2900J	ゲーム理論	未定	未定	2	
	ECO3100J	日本経済の現状と課題	未定	未定	2	
	ECO3330J	都市政策の空間分析	金本 良嗣、河端 瑞貴、安田 昌平	春	2	
	ECO3440J	世界経済の見方：国際的政策協調の中で	鷺見 周久	秋	2	
	ECO3620J	構造変化の下での財政金融政策	黒田 東彦	秋	2	
	ECO3750J	経済シミュレーション分析	細江 宣裕	夏	2	
	GOV2110J	日本政治と理論分析	竹中 治堅	春	2	
	GOV3500J	経済社会統計の整備と課題：国際的整備の潮流と日本の対応	西村 清彦、萩野 寛	夏	2	
	GOV6100J	政策過程論特別演習	飯尾 潤	春	2	
	PAD2040J	中小企業経営と地域経済	橋本 久義	春	2	
	PAD3110J	都市政策演習	城所 幸弘、岡本 亮介、細江 宣裕、金本 良嗣、高橋 正史	秋	2	
	MOR3010J	数理モデル分析演習	土谷 隆、諸星 穂積、竹之内 高志	秋	2	
	REG2310J	地方自治と行政学	木村 俊介	春	2	
		上記以外の授業科目				
区分Ⅳ その他		プロフェッショナル・コミュニケーションセンター開講科目				
備 考						
1 修了要件						
次の①及び②に示す要件を満たし、合計30単位(区分Ⅳに属する科目の単位を除く。)以上を履修するとともに、特定の課題についての研究成果の審査に合格し、かつ、最終試験に合格すること。						
① 区分Ⅰ 4単位						
② 区分Ⅱ 8単位以上						
2 授業科目は、年度途中で追加開設・変更される場合がある。						
3 授業内容が同様である日本語の授業科目と英語の授業科目の両方を履修した場合は、いずれか一方の単位を修了に必要な単位としてカウントする。						
4 *「データサイエンス基礎」と「政策科学のためのデータサイエンスと情報数理Ⅰ」の両方を履修した場合は、いずれか一方の単位を修了に必要な単位としてカウントする。						
5 **「実践データサイエンス」と「政策科学のためのデータサイエンスと情報数理Ⅱ」の両方を履修した場合は、いずれか一方の単位を修了に必要な単位としてカウントする。						
6 (別紙) コース指定科目の各コースすべての単位を取得し、特定課題研究が当該コースの政策に係るものである場合には、コースの修了証を授与する。						

4. 修士課程

(別紙) 2024年度 修士課程 公共政策プログラム コース指定科目一覧						
区 分	科目番号	科 目 名	担当教員	学 期	単 位	修了に必要な単位
区分Ⅲ 選択科目	REG1000J	地方行政論	横道 清孝	春	2	10
	REG1010J	地方財政論	羽白 淳	春前	2	
	REG2900J	地方行政特論	横道 清孝、外部講師	秋	2	
地域政策コース指定	REG2930J	地方財政特論	羽白 淳、外部講師	春	2	
	REG2940J	自治体改革論	高田 寛文、外部講師	秋	2	
	DEV2020E	Supply Chain Management for Infrastructure Planners	INOUE Satoshi	秋	2	
	DEV2040J	社会インフラと国土の政策論	家田 仁	春	2	
	DEV2080E	Infrastructure Systems Management	OZAWA Kazumasa	夏	2	
インフラ政策コース指定	DEV2100E	Transportation Planning and Policy	HIBINO Naohiko	春	2	
	DEV2500E	Nature Management and Infrastructure	CHIBANA Takeyoshi	夏	2	
	DRM2000J	防災と復旧・復興	室田 哲男、山口 真司	春	2	
	DRM2010J	災害リスクマネジメント	片山 耕治、山口 修	春後、夏	2	
	DRM3000J	災害対策各論Ⅰ	山口 真司	春	2	
防災・危機管理コース指定	DRM3020J	危機管理政策	室田 哲男、河村 和徳	春	2	
	DRM3030J	消防防災減災・被災地学習	武田 文男、室田 哲男	春後～秋	2	
	PAD2560J	社会保障総論	小野 太一	春	2	
	PAD2570J	医療政策論	島崎 謙治	春	2	
	PAD2710J	医療経営論	田極 春美	秋	2	
医療政策コース指定	PAD2720J	医療政策特論Ⅰ	小野 太一、外部講師	夏	2	
	PAD3030J	医療政策特論Ⅱ	小野 太一、外部講師	秋	2	
	REG2030J	食料・農業・農村政策特論Ⅰ	天羽 隆	春	2	
	REG2040J	食料・農業・農村政策特論Ⅱ	天羽 隆	秋	2	
	REG2050J	現代食料・農業論	高橋 仁志、外部講師	春	2	
農業政策コース指定	REG2950J	食料・農業・農村政策概論	塙 靖幸	春	2	
	REG3120J	「食」を通じた地域振興論	塙 靖幸	秋	2	
	STI1060J	科学技術イノベーション政策概論	林 隆之、隅藏 康一、鈴木 潤、根井 寿規、飯塚 倫子、角南 篤、有本 建男	春後	2	
	STI1070J	公的機関からのイノベーション創出	隅藏康一、林 隆之、飯塚倫子	春後	2	
	STI1100J	イノベーションと経済学	鈴木 潤	春前	2	
科学技術イノベーション政策コース指定	STI2020J	科学技術イノベーション政策史	有本 建男	春	2	
	STI2220J	科学技術イノベーション政策と評価	林 隆之	秋	2	
	ECO1800E	Economic Development of Southeast Asia	KUDO Toshihiro	秋	2	
	ECO2880E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	秋	2	
	ECO3840EA	Development Economics	YAMAUCHI Chikako	春	2	
国際協力コース指定	ECO3860E	Development History of Asia: Policy, Market and Technology	NAKAO Takehiko	春	2	
	ECO6090E	Theoretical Foundation of Economic Policy	TAKAHASHI Kazushi	秋	2	
	ECO2000J	ミクロ経済学Ⅱ	田中 誠	春後	2	
	ECO3700J	計量経済学の応用と実践	後藤 潤	夏	2	
	ECO3760J	費用便益分析の応用と実践	城所 幸弘	夏	2	
まちづくり政策コース	PAD1100J	都市政策の法律基礎	高橋 正史	春前	2	
	PAD3120J	まちづくり政策事例特論	辻田 昌弘、高橋 正史	夏、秋	2	
総合政策コース指定		学生が自ら研究テーマを設定し、それに基づいたコース指定科目 5 科目 *			10	

* 総合政策コース指定科目は、ディレクターの許可を得て履修する。なお、コース指定科目に冬学期の科目を選択することはできないので注意すること。

4. 修士課程

2024年度・2025年度 履修方法（カリキュラム） （2） 修士課程 科学技術イノベーション政策プログラム

区 分	科目番号	科 目 名	担当教員	学 期	単 位	修了に必要な単位
区分Ⅰ 必修科目	STI4000J	科学技術イノベーション政策論文演習Ⅰ	関係教員	春夏/秋冬	2	4
	STI4010J	科学技術イノベーション政策論文演習Ⅱ	関係教員	春夏/秋冬	2	
区分Ⅱ 選択必修科目	MOR1100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理Ⅰ	土谷 隆、竹之内 高志	春	2	18
	MOR2100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理Ⅱ	土谷 隆、竹之内 高志	秋	2	
	GOV2200EB	International Relations	BRUMMER Matthew	秋	2	
	STI1000E	Economics of Innovation	INTARAKUMNERD Patarapong	秋	2	
	STI1010J	科学技術政策過程論	角南 篤	隔年春	2	
	STI1060J	科学技術イノベーション政策概論	林 隆之、隅藏 康一、鈴木 潤、根井 寿規、飯塚 倫子、角南 篤、有本 建男	春後	2	
	STI1070J	公的機関からのイノベーション創出	隅藏 康一、林 隆之、飯塚 倫子	春後	2	
	STI1080J	科学技術イノベーション政策立案演習	林 隆之、七丈 直弘	夏	2	
	STI1090E	Politics of Innovation	BRUMMER Matthew	隔年春	2	
	STI1100J	イノベーションと経済学	鈴木 潤	春前	2	
	STI1110J	科学技術イノベーション政策のためのミクロ経済学	長根 裕美	秋後	2	
	STI2020J	科学技術イノベーション政策史	有本 建男	春	2	
	STI2030E	Bibliometrics and Applications	HAYASHI Takayuki	隔年春	2	
	STI2030J	ビブリオメトリクスとその応用	林 隆之	隔年春	2	
	STI2060E	Policy for Higher Education and University-Industry Cooperation	SUMIKURA Koichi	隔年春	2	
	STI2060J	高等教育・産学連携政策	隅藏 康一	秋	2	
	STI2070J	科学技術外交論	廣木 謙三、角南 篤	秋後	2	
	STI2080E	Comparative Analysis of Science, Technology and Innovation Policy: Asian Experiences	INTARAKUMNERD Patarapong	秋	2	
	STI2150E	Comparative Paths of Science, Technology and Innovation Policy	UEYAMA Takahiro	未定	2	
	STI2150J	科学技術イノベーション政策の史的比較	上山 隆大	未定	2	
	STI2160E	Outline of Energy Policy	TAKAHASHI Kazuaki	秋前	2	
	STI2170E	Energy and Environmental Science&Technology	NEI Hisanori, SHIBATA Yoshiaki	春	2	
	STI2190E	Roles of Intellectual Property Rights in Globalized World	SUMIKURA Koichi, ESCOFFIER Luca	隔年春	2	
	STI2200J	科学技術とアントレプレナーシップ	隅藏 康一、牧 兼充	春	2	
	STI2210E	Science, Technology and Innovation Policy in Developing Country Context	IZUKA Michiko	秋	2	
	STI2220J	科学技術イノベーション政策と評価	林 隆之	秋	2	
	STI2230E	Energy Data Analysis	未定	秋後	2	
	STI2250J	計量分析演習	鈴木 潤	秋前	2	
	STI2260J	科学技術行政システムと指標	林 隆之、飯塚 倫子、伊地知 寛博	春前	2	
	STI2270J	知的財産マネジメントⅠ	隅藏 康一	春	2	
	STI2280J	知的財産マネジメントⅡ	隅藏 康一	秋	2	
	STI2290J	デジタルトランスフォーメーション政策	飯塚 倫子、林 隆之	夏	1	
	STI2290E	Digital Transformation Policy	未定	未定	1	
	STI3050E	Energy Security	NEI Hisanori, KUTANI Ichiro	春	2	
	STI3060E	Energy Policy in Japan	NEI Hisanori	春	2	
	STI3100J	科学技術イノベーション政策特論Ⅰ	未定	未定	2	
	STI3110J	科学技術イノベーション政策特論Ⅱ	未定	未定	2	
	STI3120J	科学技術イノベーション政策特論Ⅲ	未定	未定	2	
	STI3130J	科学技術イノベーション政策特論Ⅳ	未定	未定	2	
	STI3140J	科学技術イノベーション政策特論Ⅴ	隅藏 康一	隔年夏	1	
	STI3150J	科学技術イノベーション政策特論Ⅵ	未定	隔年夏	1	
	STI3160J	科学技術イノベーション政策特論Ⅶ	上山 隆大	秋前	1	
	STI3170J	科学技術イノベーション政策特論Ⅷ	未定	未定	1	
区分Ⅲ 選択科目	PAD2040J	中小企業経営と地域経済	橋本 久義	春	2	30
		上記以外の授業科目（区分Ⅹに属する科目を除く）				
区分Ⅹ その他		プロフェッショナル・コミュニケーションセンター開講科目				

備 考

1 修了要件

次の①～②に示す要件を満たし、合計30単位以上を履修するとともに、特定の課題についての研究成果の審査に合格し、かつ、最終試験に合格すること。

- ① 区分Ⅰ 4単位
- ② 区分Ⅱ 18単位以上

2 授業科目は、年度途中で追加開設・変更される場合がある。

3 授業内容が同様である日本語の授業科目と英語の授業科目の両方を履修した場合は、いずれか一方の単位を修了に必要な単位としてカウントする。

4 このほか、九州大学の開講科目「科学技術社会論概説」「地域サステナビリティ」「東アジア地域の科学技術イノベーション政策」については、所定の手続きを経て、修了に必要な科目（区分Ⅱ 選択必修科目）として履修することができる。なお、九州大学の開講科目名は変更される場合がある。

4. 修士課程

2024年度・2025年度 履修方法（カリキュラム）（3） 修士課程 国際的指導力育成プログラム

区 分	科目番号	科 目 名	担当教員	学 期	単位	修了に必要な単位
区分Ⅰ 必修科目	GLD4000J	国際関係・外交政策論文演習	関係教員	秋 (2年目)	4	4

備 考

1 修了要件

次の①～②に示す要件を満たし、合計30単位以上を履修するとともに、特定の課題についての研究成果の審査に合格し、かつ、最終試験に合格すること。

- ① 区分Ⅰ 4単位
② 区分Ⅱ 20単位以上

2 授業科目は、年度途中で追加開設・変更される場合がある。

3 授業内容が同様である日本語の授業科目と英語の授業科目の両方を履修した場合は、いずれか一方の単位を修了に必要な単位としてカウントする。

Academic Year 2023-2024 Curriculum Master's Programs
(4) Strategic Studies Program 戦略研究プログラム

区分	科目番号	科目名	担当教員	学期	単位
区分Ⅰ 必修科目	SSP4301J/E	政策論文演習／Independent Study	関係教員	秋～夏	2
	SSP1011J	国際安全保障	兵頭 慎治	秋前	1
	SSP1013J	法と安全保障	永福 誠也	秋前	1
	SSP1014J	経済と安全保障	富川 英生	秋、冬	1
	SSP1015J	米国の安全保障政策	新垣 拓	秋前	1
	SSP1016J	東アジアの安全保障 1	山口 信治	秋前	1
	SSP1017J	戦争史原論	庄司 潤一郎	秋前	1
	SSP1018J	冷戦と日本の安全保障政策	立川 京一	秋前	1
	SSP1021J	紛争と国際社会	大西 健	秋後、冬	1
	SSP1022J	軍備管理・軍縮・不拡散	塚本 勝也	秋後、冬	1
	SSP1023J	地域安全保障 1（欧州、ロシア）	山添 博史	秋後、冬	1
	SSP1024J	地域安全保障 2（東南・南アジア、中東、オセアニア）	西野 正巳	冬、春前	1
	SSP1025J	東アジアの安全保障 2	渡邊 武	秋後、冬	1
	SSP1031J	科学技術と安全保障	大井 一史	冬、春前	1
	SSP1032J	社会の安全と危機管理	一政 祐行	冬、春前	1
	SSP1033J	近代日本の軍事史	進藤 裕之	冬、春前	1
	SSP1035J	新領域と安全保障	橋本 靖明	冬、春前	1
	SSP3301J	政策シミュレーション	松浦 吉秀	秋～春	4
区分Ⅱ 選択必修科目	SSP1101E	Introduction to Japan's Security	ISHIHARA Yusuke	秋前	1
	SSP2102J	中東の安全保障問題	小塚 郁也	秋前	1
	SSP2103J	東南アジアの安全保障	庄司 智孝	秋前	1
	SSP2104J	軍事史史料とこれからの文書・資料	菅野 直樹	秋前	1
	SSP2106J	朝鮮半島をめぐる安全保障	室岡 鉄夫	秋前	1
	SSP2108J	武力行使と国際法	永福 誠也	秋後、冬	1
	SSP2111J	日本軍事史	立川 京一	秋後、冬	1
	SSP2112J/E	国際政治学概論/Introduction to International Politics	塚本 勝也	秋後～春前	2
	SSP2113J	民間軍事会社の現状と課題	小野 圭司	秋後、冬	1
	SSP2114J	海洋安全保障	原田 有	秋前	1
	SSP2115J	東アジアの歴史認識をめぐる諸問題	庄司 潤一郎	秋後、冬	1
	SSP2116J	組織と調整	助川 康	冬、春前	1
	SSP2117J	イスラーム主義とテロリズム	西野 正巳	秋後～春前	2
	SSP2118J	戦後日本の安全保障政策と国際関係	中島 信吾	秋後、冬	1
	SSP2119J	宇宙と安全保障	橋本 靖明	冬、春前	1
	SSP2122J	再考 太平洋戦争への道	進藤 裕之	冬、春前	1
	SSP2124J	防衛生産・技術概論	富川 英生	秋後、冬	1
	SSP2125J	現代中国の外交	飯田 将史	秋後、冬	1
	SSP2127J	戦略策定法	有江 浩一	秋、冬	2
	SSP2128J	戦争と平和	石津 朋之	冬、春前	1
	SSP2133J	ユーラシアの戦略環境	山添 博史	冬、春前	1
	SSP2134J	宇宙開発利用特論（技術と動向）	大井 一史	冬、春前	1
	SSP2137J	ロシア軍事史	花田 智之	秋前	1
	SSP2138J	日米同盟の歴史	千々和 泰明	冬、春前	1
	SSP2141J	軍事組織の社会的考察	大井 一史	秋前	1
	SSP2142J	中国軍事史	藤井 元博	冬、春前	1
	SSP2143J	国際政治の中の韓国現代史と日韓関係	小池 修	冬、春前	1
	SSP2144E	The Post-War History of Japanese Security Affairs	ISHIHARA Yusuke	秋前	1
	SSP2145J	防衛法制論	林 浩一	冬、春前	1
	GEN5020E	The World and the SDGs	KUDO Toshihiro, et al.	Fall	1
	GOV1460E	The Making of Modern Japan	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Fall	2
	GOV2100E	Government and Politics in Japan	MASUYAMA Mikitaka	Fall	2
	GOV2200EA	International Relations	IWAMA Yoko	Fall	2
	GOV2200EB	International Relations	BRUMMER Matthew	Fall	2
	GOV2210E	International Political Economy	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2
	GOV2230E	Japanese Foreign Policy	PRESSELLO Andrea	Spring	2
	GOV2240EB	International Security Studies	MICHISHITA Narushige	Fall	2
	GOV2310E	Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2
	GOV3110E	Political Economy of Modern Japan	TBA	TBA	2
	GOV3230E	Transnational Organized Crime and Security	TBA	TBA	2
	GOV3240E	Non-Traditional Security	CROSS Kyoko	Fall	2
	GOV3280E	Analysis of Great Power Politics	IWAMA Yoko, et al.	Spring	2
	GOV3310E	Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veerayooth	Fall	2
	GOV6220E	Strategic Studies Research Seminar	MICHISHITA Narushige	Spring	2
	MSP3000E	International Law	SHIMOYAMA Kenji	Fall	2
	MSP3010E	International Law of the Sea	FURUYA Kentaro	Winter	2
	SSP5000E	Case Study on Maritime Safety and Security Policy	FURUYA Kentaro	Winter	1
区分Ⅲ 選択科目		上記以外の授業科目			
区分Ⅳ その他		プロフェッショナル・コミュニケーションセンター開講科目			

備 考
1 修了要件
次の①及び②に示す要件を満たし、合計31単位(区分Ⅳに属する科目の単位を除く。)以上を履修するとともに、特定の課題についての研究成果の審査に合格し、かつ、最終試験に合格すること。
① 区分Ⅰ 22単位
② 区分Ⅱ 9単位以上
2 授業科目は、年度途中で追加開設・変更される場合がある。
3 GOV2200EAとGOV2200EBはいずれか一方を履修することができる。
4 授業内容が同じである日本語の授業科目と英語の授業科目の両方を履修した場合は、いずれか一方の単位を修了に必要な単位としてカウントする。

4. 修士課程

Academic Year 2023-2024 Curriculum Master's Programs

(5)-1 Young Leaders Program (School of Government)

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	
I Required Courses	GEN5020E	The World and the SDGs	KUDO Toshihiro, et al.	Fall	1	13
	YLP5000E	Introduction to Japan	PRESSELLO Andrea	Fall (Session I)	2	
	YLP5010E	Colloquium	TAKADA Hirofumi	Fall, Spring	2	
	YLP5020E	Independent Study	MASUYAMA Mikitaka, et al.	Fall through Summer	4	
	YLP5040E	Tutorial	Various	Fall through Summer	2	
	YLP5030E	Field Trip	PRESSELLO Andrea	Fall	2	
II Recommended Courses	ECO1000EB	* Microeconomics I	WIE Dainn	Fall (Session I)	2	2
	ECO1020E	* Essential Microeconomics	KUROSAWA Masako	Fall	4	
	ECO3600E	** Contemporary Japanese Economy	NAKAJIMA Atsushi	Winter	2	2
	ECO3610E	** Japanese Economy	YOKOYAMA Tadashi	Spring (Session II)	2	
	ECO3810E	** Economic Development of Japan	TBA	TBA	2	2
	GOV2100E	*** Government and Politics in Japan	MASUYAMA Mikitaka	Fall	2	
	GOV2200EA	*** International Relations	IWAMA Yoko	Fall	2	4
	GOV2210E	**** International Political Economy	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2	
	GOV2240EA	**** International Security Studies	TOKUCHI Hideshi	Fall	2	
	GOV2310E	**** Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2	
	GOV2580E	**** Structure and Process of Government	YOSHIMUTA Tsuyoshi	Spring	2	30
	GOV5910E	Leadership and Knowledge Creation	NISHIHARA Ayano	Spring	2	
	GEN5030E	GRIPS Forum I	OHNO Izumi	Fall	1	
	GEN5040E	GRIPS Forum II	IWAMA Yoko, IIZUKA Michiko	Spring	1	
III Elective Courses	ECO1060EA	Macroeconomics I	HSU Minchung	Fall (Session I)	2	30
	ECO2020EA	Government and Market	OKAMOTO Ryosuke	Winter	2	
	ECO2790E	Data Science for Public Policy	GOTO Jun	Spring	2	
	ECO3400E	International Trade	HSU Minchung	Spring (Session I)	2	
	ECO3840EA	Development Economics	YAMAUCHI Chikako	Spring	2	
	GOV2230E	Japanese Foreign Policy	PRESSELLO Andrea	Spring	2	
	PAD2560E	Human Resources Management	TAKADA Hirofumi	Spring	2	
	PAD2680E	Social Security System in Japan	ONO Taichi	Winter	2	
	MOR1030E	Introduction to Data Science	TSUCHIYA Takashi	Fall(Session I)	2	
	MOR2020E	Data Science in Practice	TAKENOUCHI Takashi	Fall (Session II)	2	
	REG2100E	Local Government System and Finance	TAKADA Hirofumi	Fall	2	
	REG3010E	Local Governance in the Changing World	TAKADA Hirofumi	Spring	2	
		***** Selected Topics in Policy Studies I-IV				
		Courses not listed in this table				
X Others		***** Courses offered by the Center for Professional Communication				

Notes:

1. Graduation Requirements: Students must complete a minimum of 30 credits, 13 of which must come from Category I, at least 8 of which must come from Category II, and the rest can from Categories II and/or III.
2. Courses offered in the program are subject to change.
3. Students cannot take courses conducted in Japanese without the Director's approval.
If a student takes the same course in both English and Japanese, only one (2 credits) will count toward the degree.
4. * Students must complete a minimum of 2 credits from either Microeconomics I or Essential Microeconomics.
5. ** Students must complete a minimum of 2 credits from the following: ECO3600E, ECO3610E and ECO3810E.
6. *** Students must complete a minimum of 2 credits (one course) from either GOV2100E or GOV2200EA.
7. **** If a student takes only one course from Government and Politics in Japan or International Relations, he/she must take at least one course from the following: GOV2210E, GOV2240EA, GOV2310E, and GOV2580E.
8. ***** Course numbers, instructors, and terms will be announced following official determination of course offerings.
9. ***** Credits earned in these courses will not count toward the degree.
10. Students must take LAN0300E, LAN0310E and LAN0320E. Students may be exempted from taking LAN0310E depending on the result of the English Placement Test and may be exempted from taking LAN0320E if they obtain the approval of their main advisor.

Academic Year 2023-2024 Curriculum Master's Programs

(5)-2 Young Leaders Program (School of Local Governance)

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	
I Required Courses	GEN5020E	The World and the SDGs	KUDO Toshihiro, et al.	Fall	1	17
	REG2100E	Local Government System and Finance	TAKADA Hirofumi	Fall	2	
	REG3010E	Local Governance in the Changing World	TAKADA Hirofumi	Spring	2	
	YLP5000E	Introduction to Japan	PRESSELLO Andrea	Fall (Session I)	2	
	YLP5010E	Colloquium	TAKADA Hirofumi	Fall, Spring	2	
	YLP5510E	Independent Study	TAKADA Hirofumi, et al.	Fall through Summer	4	
	YLP5540E	Tutorial	Various	Fall through Summer	2	
	YLP5550E	Workshop	TAKADA Hirofumi	Fall	2	
II Recommended Courses	ECO1000EB	* Microeconomics I	WIE Dainn	Fall (Session I)	2	6
	ECO1020E	* Essential Microeconomics	KUROSAWA Masako	Fall	4	
	ECO3810E	Economic Development of Japan	TBA	TBA	2	
	GOV2100E	Government and Politics in Japan	MASUYAMA Mikitaka	Fall	2	
	GOV2200EA	International Relations	IWAMA Yoko	Fall	2	
	GOV2580E	Structure and Process of Government	YOSHIMUTA Tsuyoshi	Spring	2	
	GOV5910E	Leadership and Knowledge Creation	NISHIHARA Ayano	Spring	2	
	GEN5030E	GRIPS Forum I	OHNO Izumi	Fall	1	
	GEN5040E	GRIPS Forum II	IWAMA Yoko, IIZUKA Michiko	Spring	1	
III Elective Courses	ECO1060EA	Macroeconomics I	HSU Minchung	Fall (Session I)	2	30
	ECO2020EA	Government and Market	OKAMOTO Ryosuke	Winter	2	
	ECO2790E	Data Science for Public Policy	GOTO Jun	Spring	2	
	ECO3400E	International Trade	HSU Minchung	Spring (Session I)	2	
	ECO3840EA	Development Economics	YAMAUCHI Chikako	Spring	2	
	EPP1010E	East Asian Economies	KUDO Toshihiro, OTSUJI Yoshihiro	Winter	2	
	GOV2230E	Japanese Foreign Policy	PRESSELLO Andrea	Spring	2	
	GOV2240EA	International Security Studies	TOKUCHI Hideshi	Fall	2	
	PAD2560E	Human Resources Management	TAKADA Hirofumi	Spring	2	
	PAD2680E	Social Security System in Japan	ONO Taichi	Winter	2	
	PAD2740E	Small and Medium Enterprise and Technology	HASHIMOTO Hisayoshi	Fall	2	
	MOR1030E	Introduction to Data Science	TSUCHIYA Takashi	Fall(Session I)	2	
	MOR2020E	Data Science in Practice	TAKENOUCHI Takashi	Fall (Session II)	2	
		** Selected Topics in Policy Studies I-IV				
		Courses not listed in this table				
X Others		*** Courses offered by the Center for Professional Communication				

Notes:

1. Graduation Requirements: Students must complete a minimum of 30 credits, 17 of which must come from Category I, at least 6 of which from Category II, and the rest can from Categories II and/or III.
2. Courses offered in the Program are subject to change.
3. Students cannot take courses conducted in Japanese without Director's approval.
If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course (2 credits) will count toward the degree.
4. * A student can take either ECO1020E or ECO1000EB, and even in case a student takes ECO1020E, he/she must take at least four more credits from the other courses in this category.
5. ** Course Number, Instructor, and Term for these courses will be announced when the course is offered.
6. *** Credits earned in these courses cannot count toward the degree.
7. Students must take LAN0300E, LAN0310E and LAN0320E. Students may be exempted from taking LAN0310E depending on the result of the English Placement Test and may be exempted from taking LAN0320E if they obtain the approval of their main advisor.

4. 修士課程

Academic Year 2023-2024 Curriculum Master's Programs (6)-1 One-year Master's Program of Public Policy (MP1)
Academic Year 2023-2025 Curriculum Master's Programs (6)-2 Two-year Master's Program of Public Policy (MP2)

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	MP1	MP2
I Required Courses	PPP5010E	Independent Study	TANAKA Makoto, et al.	Fall through Spring	4	6	12
	PPP5070E	Tutorial II	Various	Fall through Spring	2		
	GEN5020E	The World and the SDGs	KUDO Toshihiro, et al.	Fall	1		
	GGG5010EB	* Policy Debate Seminar I	TANAKA Makoto, et al.	Winter	2		
	GGG5020EB	* Policy Debate Seminar II	TANAKA Makoto, et al.	Spring	2		
	PPP5060E	Tutorial I	Various	Fall	1		
III Elective Courses	ECO1000EB	Microeconomics I	WIE Dainn	Fall (Session I)	2	30	40
	ECO1020E	Essential Microeconomics	KUROSAWA Masako	Fall	4		
	ECO1060EA	Macroeconomics I	HSU Minchung	Fall (Session I)	2		
	ECO1080E	Essential Macroeconomics	YOKOYAMA Tadashi	Winter	2		
	ECO1600E	Monetary Economics (Money and Banking)	FUJIMOTO Junichi	Fall	2		
	ECO2000EB	Microeconomics II	WIE Dainn	Fall (Session II)	2		
	ECO2020EB	Government and Market	HATANAKA Kaori	Winter	2		
	ECO2060EA	Macroeconomics II	MATSUMOTO Hidehiko	Fall (Session II)	2		
	ECO2720EA	Introduction to Applied Econometrics	WIE Dainn	Fall	2		
	ECO2770E	Applied Econometrics	LITSCHIG Stephan	Winter	2		
	ECO2780E	Applied Econometrics Practice	LITSCHIG Stephan	Winter	2		
	ECO2880E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	Fall	2		
	ECO3210E	Competition and Regulatory Economics	TANAKA Makoto	Spring	2		
	ECO3310E	Transportation Economics	KIDOKORO Yukihiro	Winter	2		
	ECO3510E	Environmental Economics	MUNRO Alistair	Spring	2		
	ECO3530E	Resource and Energy Economics	TANAKA Makoto	Winter	2		
	ECO3840EB	Development Economics	KIJIMA Yoko	Winter	2		
	ECO3870E	Agricultural Development	KIJIMA Yoko	Spring (Session I)	2		
	ECO3890E	Development Econometrics	TAKAHASHI Kazushi	Summer	2		
	ECO6090E	Theoretical Foundation of Economic Policy	TAKAHASHI Kazushi	Fall	2		
	ECO6820E	Economics of Health and Education	YAMAUCHI Chikako	Fall	2		
	GOV1400E	International Relations in East Asia	TAKAGI Yusuke	Fall	2		
	GOV1900E	Comparative Development Studies of Asia	LIM Guanle	Winter	2		
	GOV2100E	Government and Politics in Japan	MASUYAMA Mikitaka	Fall	2		
	GOV2200EA	International Relations	IWAMA Yoko	Fall	2		
	GOV2210E	International Political Economy	CHEY Hyoun-kyu	Fall	2		
	GOV2230E	Japanese Foreign Policy	PRESSELLO Andrea	Spring	2		
	GOV2240EB	International Security Studies	MICHISHITA Narushige	Fall	2		
	GOV2310E	Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2		
	GOV2320E	Comparative State Formation	LIM Guanle	Spring (Session II)	2		
	GOV2460E	State and Politics in Southeast Asia	LIM Guanle	Spring (Session I)	2		
	GOV2580E	Structure and Process of Government	YOSHIMUTA Tsuyoshi	Spring	2		
	GOV3220E	Politics of Global Money and Finance	CHEY Hyoun-kyu	Fall	2		
	GOV3240E	Non-Traditional Security	CROSS Kyoko	Fall	2		
	GOV3280E	Analysis of Great Power Politics	IWAMA Yoko, et al.	Spring	2		
	GOV3310E	Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veerayooth	Fall	2		
	GOV3400E	International Relations in Europe	IWAMA Yoko	Spring	2		
	MOR1000E	Introduction to Quantitative Methods	MOROHOSI Hozumi	Fall	2		
	MOR1030E	Introduction to Data Science	TSUCHIYA Takashi	Fall(Session I)	2		
	MOR2020E	Data Science in Practice	TAKENOUCHI Takashi	Fall (Session II)	2		
	MOR2500E	Quantitative Social Systems Analysis	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Spring	2		
	STI2080E	Comparative Analysis of Science, Technology and Innovation Policy: Asian Experiences	INTARAKUMNERD Patarapong	Fall	2		
	STI2160E	Outline of Energy Policy	NEI Hisanori	Fall(Session I)	2		
	STI2230E	Energy Data Analysis	NEI Hisanori, SUEHIRO Shigeru	Fall(Session II)	2		
		Courses not listed in this table					
		** Selected Topics in Policy Studies I - IV					
X Others		*** Courses offered by the Center for Professional Communication					

Notes:

1. Graduation requirements for MP1: Students must complete a minimum of 30 credits, 6 of which must come from Category I, the remaining 24 should come from Category III.

Graduation requirements for MP2: Students must complete a minimum of 40 credits, 12 of which must come from Category I, the remaining 28 should come from Category III.

2. * Refer to the concentration guidelines regarding the courses that are recommended/required by each concentration.

3. Courses offered in the Program are subject to change.

4. Students cannot take courses conducted in Japanese without the Director's approval. If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course (2 credits) will count toward the degree.

5. ** Course number, instructor, and term for these courses will be announced when the course is offered.

6. *** Credits earned in these courses cannot count toward the degree.

7. Students must take LAN0300E, LAN0310E and LAN0320E. Students may be exempted from taking LAN0310E depending on the result of the English Placement Test and may be exempted from taking LAN0320E if they obtain the approval of their main advisor.

Academic Year 2023-2024 Curriculum Master's Programs (7)-1 Macroeconomic Policy Program (One year)
Academic Year 2023-2025 Curriculum Master's Programs (7)-2 Macroeconomic Policy Program (Two years)

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	MEP1	MEP2
I Required Courses	GEN5020E	The World and the SDGs	KUDO Toshihiro, et al.	Fall	1	19	13
	ECO1000EA	Microeconomics I	XING Yuying	Fall (Session I)	2		
	ECO1060EB	Macroeconomics I	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session I)	2		
	ECO2000EA	Microeconomics II	XING Yuying	Fall (Session II)	2		
	ECO2060EB	Macroeconomics II	FUJIMOTO Junichi	Fall (Session II)	2		
	ECO2720EB	Introduction to Applied Econometrics	IZUMI Yutaro	Fall	2		
	ECO3450E	International Finance	XING Yuying	Winter	2		
	MEP4000E	Tutorial (MEP1)	FUJIMOTO Junichi, et al.	Fall through Winter	2		
	MEP4010E	Policy Paper Seminar I	FUJIMOTO Junichi, et al.	Spring (Session I)	2		
	MEP4020E	Policy Paper Seminar II	FUJIMOTO Junichi, et al.	Spring (Session II)	2		
	MEP4100E	Tutorial (MEP2)	FUJIMOTO Junichi, et al.	Fall through Winter [1st year]	2		
	MEP4110E	Thesis Seminar I	FUJIMOTO Junichi, et al.	Fall (Session I) [2nd year]	2		
	MEP4120E	Thesis Seminar II	FUJIMOTO Junichi, et al.	Fall (Session II) [2nd year]	2		
	MEP4130E	Thesis Seminar III	FUJIMOTO Junichi, et al.	Winter [2nd year]	2		
II Recommended Courses	ECO1600E	Monetary Economics (Money and Banking)	FUJIMOTO Junichi	Fall	2	34	44
	ECO1800E	Economic Development of Southeast Asia	KUDO Toshihiro	Fall	2		
	ECO2020EA	Government and Market	OKAMOTO Ryosuke	Winter	2		
	ECO2610E	Finance and Economic Growth	TBA	TBA	2		
	ECO2760E	Applied Time Series Analysis for Macroeconomics	MIYAMOTO Hiroaki	Winter	2		
	ECO2770E	Applied Econometrics	LITSCHIG Stephan	Winter	2		
	ECO2780E	Applied Econometrics Practice	LITSCHIG Stephan	Winter	2		
	ECO2790E	Data Science for Public Policy	GOTO Jun	Spring	2		
	ECO2880E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	Fall	2		
	ECO3000E	Mathematics for Economic Analysis	MUNRO Alistair	Fall	2		
	ECO3102E	Public Finance I	BRAUN Richard Anton	Winter	2		
	ECO3104E	Political Economy	IZUMI Yutaro	Spring	2		
	ECO3110E	Fiscal Reform in Japan	OTA Hiroko	Fall	2		
	ECO3130E	Economics of Tax Policy	YAMAZAKI Akio	Winter	2		
	ECO3160E	Reform of Economic Policy in Japan	OTA Hiroko	Spring	2		
	ECO3200E	Economics of Law	HATANAKA Kaori	Spring	2		
	ECO3210E	Competition and Regulatory Economics	TANAKA Makoto	Spring	2		
	ECO3400E	International Trade	HSU Minchung	Spring (Session I)	2		
	ECO3470E	Empirics of Macroeconomic Policies and International Finance	TBA	TBA	2		
	ECO3480E	Theory and Practice of Central Banking: Japanese and Global Experience	KINOSHITA Tomohiro	Spring	2		
	ECO3510E	Environmental Economics	MUNRO Alistair	Spring	2		
	ECO3530E	Resource and Energy Economics	TANAKA Makoto	Winter	2		
	ECO3600E	Contemporary Japanese Economy	NAKAJIMA Atsushi	Winter	2		
	ECO3610E	Japanese Economy	YOKOYAMA Tadashi	Spring (Session II)	2		
	ECO3640E	Financial Economics	CHEN Jau-er	Spring	2		
	ECO3710E	Time Series Analysis	TBA	TBA	2		
	ECO3720E	Cost Benefit Analysis I	KIDOKORO Yukihiro	Winter	2		
	ECO3740E	Economic Modeling for Policy Simulations	HOSOE Nobuhiro	Summer	2		
	ECO3840EB	Development Economics	KUJIMA Yoko	Winter	2		
	ECO3860E	Development History of Asia: Policy, Market and Technology	NAKAO Takehiko	Spring	2		
	ECO3920E	Economic History and Institutions	IZUMI Yutaro	Spring	2		
	ECO6770E	Computer Programming for Economics	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session II)	2		
	PAD2690E	Modernization of Financial Sector: Lessons from Recent Financial Crises	NUNAMI Tadashi	Spring	2		
	PAD3020E	Policy Design and Implementation in Developing Countries	TBA	TBA	2		
	GEN5030E	GRIPS Forum I	OHNO Izumi	Fall	1		
	GEN5040E	GRIPS Forum II	IWAMA Yoko, IIZUKA Michiko	Spring	1		
	MOR1030E	Introduction to Data Science	TSUCHIYA Takashi	Fall (Session I)	2		
	MOR2020E	Data Science in Practice	TAKENOUCHI Takashi	Fall (Session II)	2		
	EPP1010E	East Asian Economies	KUDO Toshihiro, OTSUJI Yoshihiro	Winter	2		
		* Selected Topics in Policy Studies I - IV					
III Elective Courses	ECO6000E	Advanced Microeconomics I	YAMAZAKI Akio	Fall (Session I)	2	10	16
	ECO6010E	Advanced Microeconomics II	YAMAZAKI Akio	Fall (Session II)	2		
	ECO6020E	Advanced Microeconomics III	MUNRO Alistair	Spring (Session I)	2		
	ECO6030E	Advanced Microeconomics IV	TBA	Spring (Session II)	2		
	ECO6050E	Advanced Macroeconomics I	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session I)	2		
	ECO6060E	Advanced Macroeconomics II	FUJIMOTO Junichi	Fall (Session II)	2		
	ECO6070E	Advanced Macroeconomics III	BRAUN Richard Anton	Spring (Session II)	2		
	ECO6080E	Advanced Macroeconomics IV	HSU Minchung	Spring (Session I)	2		
	ECO6700E	Advanced Econometrics I	LITSCHIG Stephan	Fall (Session I)	2		
	ECO6710E	Advanced Econometrics II	HAYASHI Fumio	Fall (Session II)	2		
	ECO6720E	Advanced Econometrics III	TBA	TBA	2		
	ECO6730E	Advanced Econometrics IV	GOTO Jun	Spring (Session II)	2		
		Courses not listed in this table					
X Others		** Courses offered by the Center for Professional Communication					

1. Graduation Requirements: MEP1 Students must complete a minimum of 34 credits, 19 of which must come from Category I, and 10 from Category II. The remaining 5 credits may be taken from Categories II and/or III. MEP2 Students must complete a minimum of 44 credits, 21 of which must come from Category I, and 16 from Category II. The remaining 7 credits may be taken from Categories II and/or III.

2. Courses offered in the program are subject to change.

3. Students can not take courses conducted in Japanese without the consent of the Program Director.

If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course (2 credits) will count toward the degree.

4. *Course Number, Instructor, and Term for these courses will be announced when the course is offered.

5. ** Credits earned in these courses cannot count toward the degree.

6. Qualified students are those who have successfully completed the six courses (ECO1000E, ECO1060E, ECO2000E, ECO2060E, ECO2720E, ECO3000E) with a GPA equal to or higher than 3.5 over the six courses or MEP1 students who have excellent background in mathematics and econometrics and obtained the consent of the Program Director.

7. Students must take LAN0300E, LAN0310E and LAN0320E. Students may be exempted from taking LAN0310E depending on the result of the English Placement Test and may be exempted from taking LAN0320E if they obtain the approval of their main advisor.

4. 修士課程

Academic Year 2023-2024 Curriculum Master's Programs (8) Public Finance Program

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Tax	Customs
I Required Courses	PFP2520E	International Taxation of Japan	MATSUDA Naoki	Fall	2	10	10
	PFP5010E	Practicum at the National Tax Agency		Fall through Spring (Session I)	8		
	PFP5110E	Practicum in Customs Administration I	KONDO Yoshitomo	Fall	2		
	PFP5120E	Practicum in Customs Administration II	MATSUMOTO Takashi	Winter through Spring	2		
	PFP5130E	Practicum in Customs Administration III	KONDO Yoshitomo, YOSHIKAWA Daisuke, TSUDA Yuko, MURAYAMA Takamasa	Winter through Spring	4		
	PFP5210E	Intellectual Property Rights Enforcement at the Border	ABE Hiroaki	Spring (Session I)	2	10	10
	ECO1000EB	Microeconomics I	WIE Dainn	Fall (Session I)	2		
	ECO3102E	Public Finance I	BRAUN Richard Anton	Winter	2		
	ECO4120E	Thesis Seminar	WIE Dainn	Fall through Summer	4		
	ECO4130E	Tutorial (PF)	WIE Dainn	Fall	1		
	GEN5020E	The World and the SDGs	KUDO Toshihiro, et al.	Fall	1		
III Elective Courses	Highly Recommended	ECO1060EA	Macroeconomics I	HSU Minchung	Fall (Session I)	2	34
		ECO2000EB	Microeconomics II	WIE Dainn	Fall (Session II)	2	
		ECO2020EB	Government and Market	HATANAKA Kaori	Winter	2	
		ECO2720EB	Introduction to Applied Econometrics	IZUMI Yutaro	Fall	2	
		ECO3110E	Fiscal Reform in Japan	OTA Hiroko	Fall	2	
		ECO3130E	Economics of Tax Policy	YAMAZAKI Akio	Winter	2	
		ECO3160E	Reform of Economic Policy in Japan	OTA Hiroko	Spring	2	
		ECO3400E	International Trade	HSU Minchung	Spring (Session I)	2	
		ECO3840EB	Development Economics	KIJIMA Yoko	Winter	2	
		PAD2560E	Human Resources Management	TAKADA Hirofumi	Spring	2	
		PFP2500E	Multilateral Trading System and Customs Administration	KONDO Yoshitomo	Winter through Spring	2	
		ECO1600E	Monetary Economics (Money and Banking)	FUJIMOTO Junichi	Fall	2	
		ECO2060EA	Macroeconomics II	MATSUMOTO Hidehiko	Fall (Session II)	2	
		ECO2760E	Applied Time Series Analysis for Macroeconomics	MIYAMOTO Hiroaki	Winter	2	
		ECO2770E	Applied Econometrics	LITSCHIG Stephan	Winter	2	
		ECO2780E	Applied Econometrics Practice	LITSCHIG Stephan	Winter	2	
		ECO3000E	Mathematics for Economic Analysis	MUNRO Alistair	Fall	2	
		ECO3104E	Political Economy	IZUMI Yutaro	Spring	2	
		ECO3200E	Economics of Law	HATANAKA Kaori	Spring	2	
		ECO3710E	Time Series Analysis	TBA	TBA	2	
		ECO3860E	Development History of Asia: Policy, Market and Technology	NAKAO Takehiko	Spring	2	
		PAD2670E	Public Expenditure Management	TANAKA Hideaki	Spring	2	
		MOR1030E	Introduction to Data Science	TSUCHIYA Takashi	Fall (Session I)	2	
		MOR2020E	Data Science in Practice	TAKENOUCHI Takashi	Fall (Session II)	2	
			* Selected Topics in Policy Studies I - IV				
			Courses not listed in this table				
X Others		** Courses offered by the Center for Professional Communication					

Notes:

1. Graduation Requirements: Students must complete a minimum of 34 credits and meet the following requirements:

(a) Tax students must complete the following courses: PFP2520E, PFP5010E, ECO1000EB, ECO3102E, ECO4120E, ECO4130E and GEN5020E from Category I.

(b) Customs students must complete the following courses: PFP5110E, PFP5120E, PFP5130E, PFP5210E, ECO1000EB, ECO3102E, ECO4120E, ECO4130E and GEN5020E from Category I.

2. Courses offered in the Program are subject to change.

3. Students cannot take courses conducted in Japanese without Director's approval. If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course (2 credits) will count toward the degree.

4. *Course Number, Instructor, and Term for these courses will be announced later when the course is offered.

5. **Credits earned in these courses cannot count toward the degree.

6. Students must take LAN0300E, LAN0310E and LAN0320E. Students may be exempted from taking LAN0310E depending on the result of the English Placement Test and may be exempted from taking LAN0320E if they obtain the approval of their main advisor.

Academic Year 2023-2024 Curriculum Master's Programs

(9) Economics, Planning and Public Policy Program

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	
I Required Courses	EPP5010E	Independent Study (Policy Paper)		Fall through Spring	4	5
	GEN5020E	The World and the SDGs	KUDO Toshihiro, et al.	Fall	1	
II Recommended Courses	ECO1600E	Monetary Economics (Money and Banking)	FUJIMOTO Junichi	Fall	2	30
	ECO1800E	Economic Development of Southeast Asia	KUDO Toshihiro	Fall	2	
	ECO2000EB	Microeconomics II	WIE Dainn	Fall (Session II)	2	
	ECO2020EB	Government and Market	HATANAKA Kaori	Winter	2	
	ECO2060EA	Macroeconomics II	MATSUMOTO Hidehiko	Fall (Session II)	2	
	ECO2720EA	Introduction to Applied Econometrics	WIE Dainn	Fall	2	
	ECO2800E	Global Development Agendas and Japan's ODA	TBA	TBA	2	
	ECO2880E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	Fall	2	
	ECO3150E	Local Public Finance	TBA	TBA	2	
	ECO3160E	Reform of Economic Policy in Japan	OTA Hiroko	Spring	2	
	DEV2500E	Nature Management and Infrastructure	CHIBANA Takeyoshi	Summer	2	
	ECO3400E	International Trade	HSU Minchung	Spring (Session I)	2	
	ECO3530E	Resource and Energy Economics	TANAKA Makoto	Winter	2	
	ECO3600E	Contemporary Japanese Economy	NAKAJIMA Atsushi	Winter	2	
	ECO3610E	Japanese Economy	YOKOYAMA Tadashi	Spring (Session II)	2	
	ECO3840EB	Development Economics	KIJIMA Yoko	Winter	2	
	ECO3870E	Agricultural Development	KIJIMA Yoko	Spring (Session I)	2	
	EPP1010E	East Asian Economies	KUDO Toshihiro, OTSUJI Yoshihiro	Winter	2	
	EPP1400E	Social Policy and Development in ASEAN	TBA	TBA	2	
	GEN3000E	International Development Policy	OHNO Izumi	Winter	2	
	GOV1900E	Comparative Development Studies of Asia	LIM Guanle	Winter	2	
	GOV2100E	Government and Politics in Japan	MASUYAMA Mikitaka	Fall	2	
	GOV2460E	State and Politics in Southeast Asia	LIM Guanle	Spring (Session I)	2	
	GOV2580E	Structure and Process of Government	YOSHIMUTA Tsuyoshi	Spring	2	
	GOV3220E	Politics of Global Money and Finance	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2	
	GOV3240E	Non-Traditional Security	CROSS Kyoko	Fall	2	
	GOV3310E	Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veerayooth	Fall	2	
	PAD2550E	Foreign Direct Investment	TBA	TBA	2	
	PAD2560E	Human Resources Management	TAKADA Hirofumi	Spring	2	
	PAD2670E	Public Expenditure Management	TANAKA Hideaki	Spring	2	
	PAD2680E	Social Security System in Japan	ONO Taichi	Winter	2	
	PAD2740E	Small and Medium Enterprise and Technology	HASHIMOTO Hisayoshi	Fall	2	
	MOR1000E	Introduction to Quantitative Methods	MOROHOSI Hozumi	Fall	2	
	MOR1030E	Introduction to Data Science	TSUCHIYA Takashi	Fall(Session I)	2	
	MOR2020E	Data Science in Practice	TAKENOUCHI Takashi	Fall (Session II)	2	
	REG2100E	Local Government System and Finance	TAKADA Hirofumi	Fall	2	
	REG3010E	Local Governance in the Changing World	TAKADA Hirofumi	Spring	2	
		* Selected Topics in Policy Studies I - IV				
III Elective Courses		Courses not listed in this table				
X Others		** Courses offered by the Center for Professional Communication				

Notes:

1. Graduation Requirements: Students must complete a minimum of 30 credits, 5 of which must come from Category I and 25 from Category II (and III).

2. Courses offered in the Program are subject to change.

3. Students can not take courses conducted in Japanese without Director's approval.

If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course (2 credits) will count toward the degree.

4. * Course Number, Instructor, and Term for these courses will be announced when the courses are offered.

5. ** Credits earned in these courses cannot count toward the degree.

6. Students must take LAN0300E, LAN0310E and LAN0320E. Students may be exempted from taking LAN0310E depending on the result of the English Placement Test and may be exempted from taking LAN0320E if they obtain the approval of their main advisor.

4. 修士課程

Academic Year 2023-2024 Curriculum Master's Programs

(10)-1 Disaster Management Policy Program (Seismology, Earthquake Engineering and Tsunami Disaster Mitigation)

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	
I Required Courses	DMP4000E	Individual Study		Fall through Summer	10	10

Academic Year 2023-2024 Curriculum Master's Programs
(10)-2 Disaster Management Policy Program (Water-related Disaster Management)

Category	Course No.	Course Title	Instructor	Term	Credit		
I Required Courses	DMP4800E	Individual Study		Winter through Summer	10	10	
II Recommended Courses	DMP2000E	Disaster Management Policies A: from Regional and Infrastructure Aspect	HIBINO Naohiko	Fall	2		16
	DMP2010E	Disaster Management Policies B: from Urban and Community Aspect	KATAYAMA Koji	Fall	2		
	DMP2800E	Hydrology	MIYAMOTO Mamoru, KOIKE Toshio	Fall through Winter	2		
	DMP2810E	Hydraulics	HARADA Daisuke, EGASHIRA Shinji	Fall through Winter	2		
	DMP2820E	Basic Concepts of Integrated Flood Risk Management (IFRM)	TAKEUCHI Kuniyoshi	Fall through Winter	2		
	DMP2870E	Urban Flood Management and Flood Hazard Mapping	TANAKA Shigenobu	Fall through Winter	2		
	DMP3810E	Flood Hydraulics and River Channel Design	FUKUOKA Shoji	Fall through Winter	2		
	DMP3820E	Mechanics of Sediment Transportation and Channel Changes	EGASHIRA Shinji	Fall through Winter	2		
	DMP3840E	Control Measures for Landslide & Debris Flow	OSANAI Nobutomo	Fall through Winter	2		
	DMP2900E	Socio-economic and Environmental Aspects of Sustainability-oriented Flood Management	OHARA Miho, SUMI Tetsuya	Fall through Winter	2		
III Elective Courses	DMP1800E	Computer Programming	USHIYAMA Tomoki, HARADA Daisuke	Fall through Winter	1	30	
	DMP2890E	Practice on Integrated Flood Analysis System(IFAS)	SAYAMA Takahiro, RASMY Mohamed	Fall through Winter	1		
	DMP3802E	Practice on GIS and Remote Sensing Technique	RASMY Mohamed KAWASAKI Akiyuki	Fall through Winter	1		
	DMP3900E	Site Visit of Water-related Disaster Management Practice in Japan	KOIKE Toshio	Fall through Summer	1		
	DMP3910E	Practice on Open Channel Hydraulics	YOROZUYA Atsuhiko	Fall through Spring	1		
		* Selected Topics in Policy Studies I -IV					

Notes:

1. Graduation Requirements: Students must complete a minimum of 30 credits, 10 of which must come from Category I and 16 of which must come from Category II.

2. Courses offered in the Program are subject to change.

3. * Course Number, Instructor, and Term for the course will be announced later when the course is offered.

4. 修士課程

Academic Year 2023-2024 Curriculum Master's Programs (11) Maritime Safety and Security Policy Program

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	
I Required Course	MSP4000E	Independent Study	Various	Fall through Summer	4	22
	GOV1400E	International Relations in East Asia	TAKAGI Yusuke	Fall	2	
	GOV2200EA	International Relations	IWAMA Yoko	Fall	2	
	GOV2240EB	International Security Studies	MICHISHITA Narushige	Fall	2	
	MSP2000E	Maritime Police Policy	OKUZONO Junji	Winter	2	
	MSP3000E	International Law	SHIMOYAMA Kenji	Fall	2	
	MSP3010E	International Law of the Sea	FURUYA Kentaro	Winter	2	
	MSP3020E	Policy for Search & Rescue, Salvage and Maritime Disaster Prevention	YAMAJI Tetsuya	Spring	2	
	MSP5000E	Case Study on Maritime Safety and Security Policy I	FURUYA Kentaro	Fall	2	
	MSP5010E	Case Study on Maritime Safety and Security Policy II	FURUYA Kentaro	Winter through Spring	2	
II Recommended Courses	ECO1020E	Essential Microeconomics	KUROSAWA Masako	Fall	4	4
	ECO1080E	Essential Macroeconomics	YOKOYAMA Tadashi	Winter	2	
	ECO1800E	Economic Development of Southeast Asia	KUDO Toshihiro	Fall	2	
	ECO2020EB	Government and Market	HATANAKA Kaori	Winter	2	
	ECO3840EB	Development Economics	KIJIMA Yoko	Winter	2	
	EPP1010E	East Asian Economies	KUDO Toshihiro, OTSUJI Yoshihiro	Winter	2	
	GOV1460E	The Making of Modern Japan	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Fall	2	
	GOV2100E	Government and Politics in Japan	MASUYAMA Mikitaka	Fall	2	
	GOV2210E	International Political Economy	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2	
	GOV2310E	Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2	
	GOV2460E	State and Politics in Southeast Asia	LIM Guanle	Spring (Session I)	2	
	GOV3240E	Non-Traditional Security	CROSS Kyoko	Fall	2	
	GOV3280E	Analysis of Great Power Politics	IWAMA Yoko, et al.	Spring	2	
	GOV3310E	Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veerayooth	Fall	2	
	GEN3000E	International Development Policy	OHNO Izumi	Winter	2	
	GEN5020E	The World and the SDGs	KUDO Toshihiro, et al.	Fall	1	
	MOR1000E	Introduction to Quantitative Methods	MOROHOSI Hozumi	Fall	2	
	MSP2030E	Introduction to Oceanography	HORIUCHI Daishi	Spring	1	
	MSP2040E	Marine Environment and Pollution	KAWAMURA Noriko	Spring	1	
	MSP3030E	International Comparative Criminal Law	SHINTANI Kazuaki	Spring	2	
	MSP3100E	Introduction to International Maritime Safety and Security Conventions	FURUYA Kentaro	Summer	1	
	MSP2050E	Safety Management Systems I	NOMA Kiyotaka	Spring (Session I)	1	
	MSP2060E	Safety Management Systems II	YAMADA Tatsuto	Spring (Session II)	1	
	MSP3060E	Ship Maneuverability and Practical Operation	TBA	TBA	1	
	MSP3070E	Fundamentals of Advanced Energy Engineering	KANKI Takashi	Spring (Session II)	1	
	MSP3080E	Information Management System I	YAMANAKA Masaaki	Spring (Session I)	1	
	MSP3090E	Information Management System II	ISOZAKI Hiroomi	Spring (Session II)	1	
III Elective Courses		* Selected Topics in Policy Studies I - IV				4
		Courses not listed in this table				
X Others	LAN0010E	** Describing Tables and Figures	TBA	TBA	1	1
	LAN0150E	** Thesis Writing for MSP	O'NEILL Gavin	Fall(Session II)	1	
	LAN0160E	** Qualitative Writing	TBA	TBA	1	
	LAN0300E	** Introduction to Academic Research	PETCHKO Katerina, et al.	Fall(Session I)	1	
	LAN0310E	** Introduction to Academic Writing	O'NEILL Gavin, et al.	Fall(Session I)	1	
		** Other courses offered by the Center for Professional Communication				

Notes:

1. Graduation Requirements: Students must complete a minimum of 30 credits, 22 of which must come from Category I, and 8 from Category II.
2. Courses offered in the Program are subject to change.
3. If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course (2 credits) will count toward the degree.
4. * Course Number, Instructor, and Term for these courses will be announced when the courses are offered.
5. ** Credits earned in these courses cannot count toward the degree.
6. Students must take LAN0150E, LAN0300E and LAN0310E. Students may be exempted from taking LAN0310E depending on the result of the English Placement Test.

2024年度 授業科目及び担当教員一覧

◎＝必修
○＝選択必修または選択
▲＝履修不可

Economics

ECO

科目番号	科目名	担当教員	学期	単位数	公共	科学技術	GLD
EC01000J	ミクロ経済学Ⅰ	畠中 薫里	春前	2	○	○	○
EC01050J	マクロ経済学	横山 直	秋前	2	○	○	○
EC01800E	Economic Development of Southeast Asia	KUDO Toshihiro	秋	2	○	○	○
EC02000J	ミクロ経済学Ⅱ	田中 誠	春後	2	○	○	○
EC02020J	政府と市場	細江 宣裕	秋	2	○	○	○
EC02100J	財政政策	未定	未定	2	○	○	○
EC02200J	現代社会における法と経済	未定	未定	2	○	○	○
EC02600J	経済政策の理論と展開	松谷 明彦	秋	2	○	○	○
EC02700J	計量経済学	黒澤 昌子	春	2	○	○	○
EC02710J	費用便益分析	城所 幸弘	春後	2	○	○	○
EC02880E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	秋	2	○	○	○
EC02900J	ゲーム理論	未定	未定	2	○	○	○
EC03100J	日本経済の現状と課題	未定	未定	2	○	○	○
EC03300J	都市経済学	岡本 亮介	秋	2	○	○	○
EC03330J	都市政策の空間分析	金本 良嗣、河端 瑞貴、安田 昌平	春	2	○	○	○
EC03440J	世界経済の見方：国際的政策協調の中で	鷲見 周久	秋	2	○	○	○
EC03620J	構造変化の下での財政金融政策	黒田 東彦	秋	2	○	○	○
EC03700J	計量経済学の応用と実践	後藤 潤	夏	2	○	○	○
EC03750J	経済シミュレーション分析	細江 宣裕	夏	2	○	○	○
EC03760J	費用便益分析の応用と実践	城所 幸弘	夏	2	○	○	○
EC03770J	事業評価手法	TBA	TBA	2	○	○	○
EC03840EA	Development Economics	YAMAUCHI Chikako	春	2	○	○	○
EC03860E	Development History of Asia: Policy, Market and Technology	NAKAO Takehiko	春	2	○	○	○
EC06090E	Theoretical Foundation of Economic Policy	TAKAHASHI Kazushi	秋	2	○ (国際協力 コースのみ)	▲	▲

2024年度 授業科目及び担当教員一覧

Political Science, International Relations and Public Administration

GOV, PAD

科目番号	科目名	担当教員	学期	単位数	公共	科学技術	GLD
GOV2100J	政策過程論	飯尾 潤	春	2	○	○	○
GOV2110J	日本政治と理論分析	竹中 治堅	春	2	○	○	○
GOV2200EB	International Relations	BRUMMER Matthew	秋	2	○	○	○
GOV2500J	公共経営と制度・組織設計	吉牟田 剛	秋	2	○	○	○
GOV2520J	行政の改革・革新と政策評価	吉牟田 剛	春	2	○	○	○
GOV3500J	経済社会統計の整備と課題：国際的整備の潮流と日本の対応	西村 清彦、萩野 覚	夏	2	○	○	○
GOV6100J	政策過程論特別演習	飯尾 潤	春	2	○	○	○
PAD1100J	都市政策の法律基礎	高橋 正史	春前	2	○	○	○
PAD2030J	ベンチャー・中小企業と技術革新	未定	未定	2	○	○	○
PAD2040J	中小企業経営と地域経済	橋本 久義	春	2	○	○	○
PAD2560J	社会保障総論	小野 太一	春	2	○	○	○
PAD2570J	医療政策論	島崎 謙治	春	2	○	○	○
PAD2710J	医療経営論	田極 春美	秋	2	○	○	○
PAD2720J	医療政策特論 I	小野 太一、外部講師	夏	2	○	○	○
PAD3030J	医療政策特論 II	小野 太一、外部講師	秋	2	○	○	○
PAD3100J	EBPM概論	金本 良嗣、城所 幸弘、高橋 正史、他	春前	1	○	○	○
PAD3110J	都市政策演習	城所 幸弘、岡本 亮介、細江 宣裕、金本 良嗣、高橋 正史	秋	2	○(まちづくり政策コースのみ)	▲	▲
PAD3120J	まちづくり政策事例特論	辻田 昌弘、高橋 正史	夏、秋	2	○	○	○

◎＝必修
○＝選択必修または選択
▲＝履修不可

2024年度 授業科目及び担当教員一覧

◎＝必修
○＝選択必修または選択
▲＝履修不可

Multi Disciplinary Policy Studies
CUL, DEV, DRM, GEN, MOR, PPP, REG

科目番号	科目名	担当教員	学期	単位数	公共	科学技術	GLD
CUL1000J	文化政策研究の基礎	未定	未定	2	○	○	○
CUL2020J	文化資源論	未定	未定	2	○	▲	▲
CUL2110J	21世紀博物館工学	未定	未定	2	○	○	○
CUL2130J	日本・西欧の景観街づくり	未定	未定	2	○	○	○
CUL2140J	シアター・マネジメント	未定	未定	2	○	○	○
CUL2150J	グローバリゼーションと文化政策	未定	未定	2	○	○	○
DEV2020E	Supply Chain Management for Infrastructure Planners	INOUE Satoshi	秋	2	○	○	○
DEV2040J	社会インフラと国土の政策論	家田 仁	春	2	○	○	○
DEV2080E	Infrastructure Systems Management	OZAWA Kazumasa	夏	2	○	○	○
DEV2100E	Transportation Planning and Policy	HIBINO Naohiko	春	2	○	○	○
DEV2140J	景観・デザイン論	福井 恒明	春後	2	○	○	○
DEV2150J	都市学の理論と実践	岸井 隆幸、家田 仁	秋	2	○	○	○
DEV2160J	社会基盤整備のPPP/PFI	日比野 直彦	秋前	1	○	○	○
DEV2180J	水圏国土学	知花 武佳	秋後	1	○	○	○
DEV2500E	Nature Management and Infrastructure	CHIBANA Takeyoshi	夏	2	○	○	○
DEV4040J	インフラ政策特論	日比野 直彦、小澤 一雅	春前(2年目)	3	○	▲	▲
DRM2000J	防災と復旧・復興	室田 哲男、山口 真司	春	2	○	○	○
DRM2010J	災害リスクマネジメント	片山 耕治、山口 修	春後、夏	2	○	○	○
DRM2050J	気象と災害	鈴木 靖	秋	2	○	○	○
DRM3000J	災害対策各論Ⅰ	山口 真司	春	2	○	○	○
DRM3010J	災害対策各論Ⅱ	山口 真司	秋	2	○	○	○
DRM3020J	危機管理政策	室田 哲男、河村 和徳	春	2	○	○	○
DRM3030J	消防防災減災・被災地学習	武田 文男、室田 哲男	春後～秋	2	○	○	○
GEN4000J	政策研究演習	増山 幹高	春	2	○	○	○
GEN5020E	The World and the SDGs	KUDO Toshihiro, et al.	秋	1	○	○	○

4. 修士課程

2024年度 授業科目及び担当教員一覧

◎＝必修
○＝選択必修または選択
▲＝履修不可

科目番号	科目名	担当教員	学期	単位数	公共	科学技術	GLD
GEN5030J	GRIPS Forum I	岩間 陽子、飯塚 倫子	春	1	○	○	○
* GEN5040J	GRIPS Forum II	岩間 陽子、飯塚 倫子	秋	1	○	○	○
MOR1030J	データサイエンス基礎	土谷 隆	春前	2	○	○	○
** MOR2000J	計画と評価の数理	諸星 穂積	春	2	○	○	○
MOR2020J	実践データサイエンス	竹之内 高志	春後	2	○	○	○
* MOR3010J	数理モデル分析演習	土谷 隆、諸星 穂積、竹之内 高志	秋	2	○	○	○
** MOR1100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 I	土谷 隆、竹之内 高志	春	2	○	○	○
MOR2100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 II	土谷 隆、竹之内 高志	秋	2	○	○	○
PPP4000J	政策論文演習	関係教員	夏～冬	4	◎	▲	▲
REG1000J	地方行政論	横道 清孝	春	2	○	○	○
REG1010J	地方財政論	羽白 淳	春前	2	○	○	○
REG1200J	行政法の基礎	板垣 勝彦	春前	2	○	○	○
REG2030J	食料・農業・農村政策特論 I	天羽 隆	春	2	○	○	○
REG2040J	食料・農業・農村政策特論 II	天羽 隆	秋	2	○	○	○
REG2050J	現代食料・農業論	高橋 仁志、外部講師	春	2	○	○	○
REG2310J	地方自治と行政学	木村 俊介	春	2	○	○	○
REG2900J	地方行政特論	横道 清孝、外部講師	秋	2	○	○	○
REG2930J	地方財政特論	羽白 淳、外部講師	春	2	○	○	○
REG2940J	自治体改革論	高田 寛文、外部講師	秋	2	○	○	○
REG2950J	食料・農業・農村政策概論	埴 靖幸	春	2	○	○	○
REG3120J	「食」を通じた地域振興論	埴 靖幸	秋	2	○	○	○

* MOR1030JとMOR1100Jを両方修得した場合は、いずれか一方の単位を修了に必要な単位としてカウントする。

** MOR2020JとMOR2100Jを両方修得した場合は、いずれか一方の単位を修了に必要な単位としてカウントする。

2024年度 授業科目及び担当教員一覧

◎＝必修
○＝選択必修または選択
▲＝履修不可

Program Specific Courses

IPR, STI, GLD

科目番号	科目名	担当教員	学期	単位数	公共	科学技術	GLD
IPR1020J	民法の基礎	塩澤 一洋	春前	2	○	○	○
STI1000E	Economics of Innovation	INTARAKUMNERD Patarapong	秋	2	○	○	○
STI1010J	科学技術政策過程論	角南 篤	隔年春	2	○	○	○
STI1020E	Science and Technology in International Politics	未定	未定	2	○	○	○
STI1060J	科学技術イノベーション政策概論	林 隆之、偶蔵 康一、鈴木 潤、梶井 寿規、飯塚 倫子、角南 篤、有本 建男	春後	2	○	○	○
STI1070J	公的機関からのイノベーション創出	偶蔵 康一、林 隆之、飯塚 倫子	春後	2	○	○	○
STI1080J	科学技術イノベーション政策立案演習	林 隆之、七丈 直弘	夏	2	○	○	○
STI1090E	Politics of Innovation	BRUMMER Matthew	隔年春	2	○	○	○
STI1100J	イノベーションと経済学	鈴木 潤	春前	2	○	○	○
STI1110J	科学技術イノベーション政策のためのミクロ経済学	長根 裕美	秋後	2	○	○	○
STI2020J	科学技術イノベーション政策史	有本 建男	春	2	○	○	○
STI2030J	ビブリオメトリクスとその応用	林 隆之	隔年春	2	○	○	○
STI2030E	Bibliometrics and Applications	HAYASHI Takayuki	隔年春	2	○	○	○
STI2060J	高等教育・産学連携政策	偶蔵 康一	秋	2	○	○	○
STI2060E	Policy for Higher Education and University-Industry Cooperation	SUMIKURA Koichi	隔年春	2	○	○	○
STI2070J	科学技術外交論	廣木 謙三、角南 篤	秋後	2	○	○	○
STI2080E	Comparative Analysis of Science, Technology and Innovation Policy: Asian Experiences	INTARAKUMNERD Patarapong	秋	2	○	○	○
STI2150J	科学技術イノベーション政策の史的比較	上山 隆大	未定	2	○	○	○
STI2150E	Comparative Paths of Science, Technology and Innovation Policy	UEYAMA Takahiro	未定	2	○	○	○
STI2160E	Outline of Energy Policy	TAKAHASHI Kazuaki	秋前	2	○	○	○
STI2170E	Energy and Environmental Science&Technology	NEI Hisanori, SHIBATA Yoshiaki	春	2	○	○	○
STI2190E	Roles of Intellectual Property Rights in Globalized World	SUMIKURA Koichi, ESCOFFIER Luca	隔年春	2	○	○	○
STI2200J	科学技術とアントレプレナーシップ	偶蔵 康一、牧 兼充	春	2	○	○	○
STI2210E	Science, Technology and Innovation Policy in Developing Country Context	IIZUKA Michiko	秋	2	○	○	○

4. 修士課程

2024年度 授業科目及び担当教員一覧

◎＝必修
○＝選択必修または選択
▲＝履修不可

科目番号	科目名	担当教員	学期	単位数	公共	科学技術	GLD
STI2220J	科学技術イノベーション政策と評価	林 隆之	秋	2	○	○	○
STI2230E	Energy Data Analysis	未定	秋後	2	○	○	○
STI2250J	計量分析演習	鈴木 潤	秋前	2	○	○	○
STI2260J	科学技術行政システムと指標	林 隆之、飯塚 倫子、伊地知 寛博	春前	2	○	○	○
STI2270J	知的財産マネジメントⅠ	俣藏 康一	春	2	○	○	○
STI2280J	知的財産マネジメントⅡ	俣藏 康一	秋	2	○	○	○
STI2290J	デジタルトランスフォーメーション政策	飯塚 倫子、林 隆之	夏	1	○	○	○
STI2290E	Digital Transformation Policy	未定	未定	1	○	○	○
STI3050E	Energy Security	NEI Hisanori, KUTANI Ichiro	春	2	○	○	○
STI3060E	Energy Policy in Japan	NEI Hisanori	春	2	○	○	○
STI3100J	科学技術イノベーション政策特論Ⅰ	未定	未定	2	○	○	○
STI3110J	科学技術イノベーション政策特論Ⅱ	未定	未定	2	○	○	○
STI3120J	科学技術イノベーション政策特論Ⅲ	未定	未定	2	○	○	○
STI3130J	科学技術イノベーション政策特論Ⅳ	未定	未定	2	○	○	○
STI3140J	科学技術イノベーション政策特論Ⅴ	俣藏 康一	隔年夏	1	○	○	○
STI3150J	科学技術イノベーション政策特論Ⅵ	未定	隔年夏	1	○	○	○
STI3160J	科学技術イノベーション政策特論Ⅶ	上山 隆大	秋前	1	○	○	○
STI3170J	科学技術イノベーション政策特論Ⅷ	未定	未定	1	○	○	○
STI4000J	科学技術イノベーション政策論文演習Ⅰ	関係教員	春夏/秋冬	2	▲	◎	▲
STI4010J	科学技術イノベーション政策論文演習Ⅱ	関係教員	春夏/秋冬	2	▲	◎	▲
GLD1050J	外交アカデミーⅠ	粗 信仁	秋、冬	5	▲	▲	○
GLD1060J	外交アカデミーⅡ	粗 信仁	春 (2年目)	5	▲	▲	○
GLD2100J	国際関係の理論と研究方法	田中 明彦	春	2	○	○	○
GLD2410J	国際経済交渉論	篠田 邦彦	秋	2	○	○	○
GLD2420J	経済政策分析	川崎 研一	秋	2	○	○	○
GLD2500J	外交戦略論	番匠 幸一郎	春	2	○	○	○

2024年度 授業科目及び担当教員一覧

◎＝必修
○＝選択必修または選択
▲＝履修不可

科目番号	科目名	担当教員	学期	単位数	公共	科学技術	GLD
GLD2510J	外交交渉論	鶴岡 公二	冬	2	○	○	○
GLD2600J	安全保障論	廣中 雅之	春	2	○	○	○
GLD2900E	Principles of Effective Communication	PETCHKO Katerina, et al.	春	2	○	○	○
GLD3100E	Seminar on International Relations Theories and Research Methods	BRUMMER Matthew, TANAKA Akihiko	秋	2	○	○	○
GLD3110J	国際関係・外交シミュレーション	道下 徳成	春前	2	○	○	○
GLD3200J	国際経済法	米谷 三以	夏	1	○	○	○
GLD3210J	国際法と安全保障	古谷 健太郎	夏	1	○	○	○
GLD3220J	情報と安全保障	道下 徳成	夏	2	○	○	○
GLD3900E	Effective Communication for Global Leaders	PETCHKO Katerina, et al.	春	2	○	○	○
GLD3910E	Diplomatic Communication	PETCHKO Katerina, et al.	秋、冬	2	▲	▲	○
GLD4000J	国際関係・外交政策論文演習	関係教員	秋 (2年目)	4	○	○	◎
	政策研究特論Ⅰ～Ⅴ	未定	未定	各2	○	○	○
	政策研究特論Ⅵ	未定	未定	1	○	○	○
	政策研究特論(国際協力論)	大野 泉、松永 正英	春前	1	○	○	○
	政策研究特論(サイバーセキュリティ)	宮本 大輔	秋	2	○	○	○
	高崎経済大学開講科目				所定の手続きを経て、認められた場合に履修ができる。		
	九州大学開講科目						

4. 修士課程

2024年度 授業科目及び担当教員一覧

◎＝必修
○＝選択必修または選択
▲＝履修不可

Language

LAN

科目番号	科目名	担当教員	学期	単位数	公共	科学技術	GLD
LAN0010E	Describing Tables and Figures	TBA	TBA	1	○	○	○
LAN0150E	Thesis Writing for MSP	O' NEILL Gavin	秋後	1	recommended for MSP students		
LAN0160E	Qualitative Writing	TBA	TBA	1	○	○	○
LAN0170E	Abstract Writing for Japanese Students	ONO Keiko	秋前	1	for students in domestic programs		
LAN0190E	Academic Communication for Japanese Speakers	TBA	TBA	2	for Japanese students		
LAN0370E	Academic Research and Writing: A Primer for Public Policy Students	ONO Keiko	春前	1	▲	▲	○

Academic Year 2024-2025 List of Courses and Instructors (except DMP and SSP)

Economics

ECO

Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	YLP	MP1	MP2	MEP1	MEP2	PF	EPP	AIP	MSP	SSP	Domestic Programs	Remarks
ECO1000EA	Microeconomics I	XING Yuqing	Fall (Session I)	2	▲	▲	▲	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	If a student takes both Microeconomics I and Essential Microeconomics, only the credits from one of them will count toward the degree.
ECO1000EB	Microeconomics I	WIE Daim	Fall (Session I)	2	○	○	○	▲	▲	◎	○	○	○	○	○	
ECO1020E	Essential Microeconomics	KUROSAWA Masako	Fall	4	○	○	○	▲	▲	▲	○	○	○	○	○	
ECO1060EA	Macroeconomics I	HSU Minchung	Fall (Session I)	2	○	○	○	▲	▲	○	○	○	○	○	○	
ECO1060EB	Macroeconomics I	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session I)	2	▲	▲	▲	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO1080E	Essential Macroeconomics	YOKOYAMA Tadashi	Winter	2	○	○	○	▲	▲	○	○	○	○	○	○	
ECO1600E	Monetary Economics (Money and Banking)	FUJIMOTO Junichi	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO1800E	Economic Development of Southeast Asia	KUDO Toshihiro	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO2000EA	Microeconomics II	XING Yuqing	Fall (Session II)	2	▲	▲	▲	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO2000EB	Microeconomics II	WIE Daim	Fall (Session II)	2	○	○	○	▲	▲	○	○	○	○	○	○	
ECO2020EA	Government and Market	OKAMOTO Ryojoke	Winter	2	○	▲	▲	○	○	▲	▲	○	▲	▲	▲	
ECO2020EB	Government and Market	HATANAKA Kaori	Winter	2	▲	○	○	▲	▲	○	○	▲	○	○	○	
ECO2060EA	Macroeconomics II	MATSUMOTO Hidehiko	Fall (Session II)	2	○	○	○	▲	▲	○	○	○	○	○	○	
ECO2060EB	Macroeconomics II	FUJIMOTO Junichi	Fall (Session II)	2	▲	▲	▲	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO2610E	Finance and Economic Growth	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO2720EA	Introduction to Applied Econometrics	WIE Daim	Fall	2	○	○	○	▲	▲	▲	○	○	○	○	○	
ECO2720EB	Introduction to Applied Econometrics	IZUMI Yuaro	Fall	2	▲	▲	▲	◎	◎	○	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO2760E	Applied Time Series Analysis for Macroeconomics	LEON-GONZALEZ Roberto	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO2770E	Applied Econometrics	LITSCHIG Stephan	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO2780E	Applied Econometrics Practice	LITSCHIG Stephan	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO2790E	Data Science for Public Policy	GOTO Jun	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO2800E	Global Development Agendas and Japan's ODA	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO2880E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO2900E	Game Theory	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3000E	Mathematics for Economic Analysis	MUNRO Alistair	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3100E	Public Finance	BRAUN Richard Anton	Winter	2	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	
ECO3104E	Political Economy	IZUMI Yuaro	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3110E	Fiscal Reform in Japan	OTA Hiroko	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3120E	Public Finance and Fiscal Policy	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3130E	Economics of Tax Policy	YAMAZAKI Akio	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

4. 修士課程

Academic Year 2024-2025 List of Courses and Instructors (except DMP and SSP)

◎ = Required Course
○ = Recommended or Elective Course

▲ = Closed Course. Students in the program are NOT allowed to take the course.

Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	YLP	MP1	MP2	MEP1	MEP2	PF	EPP	AIP	MSP	SSP	Domestic Programs	Remarks
ECO3150E	Local Public Finance	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3160E	Reform of Economic Policy in Japan	OTA Hiroko	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3170E	Labor Economics	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3200E	Economics of Law	HATANAKA Kaori	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3210E	Competition and Regulatory Economics	TANAKA Makoto	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3310E	Transportation Economics	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3400E	International Trade	HSU Minchung	Spring (Session I)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3450E	International Finance	XING Yuqing	Winter	2	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	
ECO3470E	Empirics of Macroeconomic Policies and International Finance	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3480E	Theory and Practice of Central Banking: Japanese and Global Experience	KINOSHITA Tomohiro	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3510E	Environmental Economics	MUNRO Alistair	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3530E	Resource and Energy Economics	TANAKA Makoto	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3600E	Contemporary Japanese Economy	NAKAJIMA Asushi	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3610E	Japanese Economy	YOKOYAMA Tadashi	Spring (Session II)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3630E	Japanese Financial System	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3640E	Financial Economics	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3660E	Empirical Finance	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3670E	Japan and the Global Economy I	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3680E	Japan and the Global Economy II	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3710E	Time Series Analysis	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3720E	Cost Benefit Analysis I	KIDOKORO Yukihito	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3730E	Cost Benefit Analysis II	TBA	TBA	2	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	* For those who have completed Cost Benefit Analysis I (ECO3720E)
ECO3740E	Economic Modeling for Policy Simulations	HOSOE Nobuhiro	Summer	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3810E	Economic Development of Japan	HASHINO Tomoko, MATSUNAGA Masaei	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3840EA	Development Economics	YAMAUCHI Chikako	Spring	2	○	○	○	▲	▲	○	▲	○	▲	○	○	MP1, MP2 and PF students can take either ECO3840EA or ECO3840EB.
ECO3840EB	Development Economics	KIJIMA Yoko	Winter	2	▲	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	▲	
ECO3860E	Development History of Asia: Policy, Market and Technology	NAKAO Takehiko	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3870E	Agricultural Development	KIJIMA Yoko	Spring (Session I)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3890E	Development Econometrics	TAKAHASHI Kazushi	Summer	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3920E	Economic History and Institutions	IZUMI Yuuro	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO4110E	Labor and Health Economics	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

Academic Year 2024-2025 List of Courses and Instructors (except DMP and SSP)

◎ = Required Course
○ = Recommended or Elective Course

▲ = Closed Course: Students in the program are NOT allowed to take the course.

Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	YLP	MP1	MP2	MEP1	MEP2	PF	EPP	AIP	MSP	SSP	Domestic Programs	Remarks
ECO4120E	Thesis Seminar	WIE Dalim	Fall through Summer	4	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO4130E	Tutorial (PF)	WIE Dalim	Fall	1	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO6000E	Advanced Microeconomics I	YAMAZAKI Aki	Fall (Session I)	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO6010E	Advanced Microeconomics II	YAMAZAKI Aki	Fall (Session II)	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO6020E	Advanced Microeconomics III	MUNRO Alistair	Spring (Session I)	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO6030E	Advanced Microeconomics IV	TBA	Spring (Session II)	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO6050E	Advanced Macroeconomics I	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session I)	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO6060E	Advanced Macroeconomics II	FUJIMOTO Junichi	Fall (Session II)	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO6070E	Advanced Macroeconomics III	BRAUN Richard Anton	Spring (Session I)	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO6080E	Advanced Macroeconomics IV	HSU Minchung	Spring (Session II)	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO6700E	Advanced Econometrics I	LEON-GONZALEZ Roberto	Fall (Session I)	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO6710E	Advanced Econometrics II	LITSCHIG Stephan	Fall (Session II)	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO6720E	Advanced Econometrics III	TBA	TBA	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO6730E	Advanced Econometrics IV	GOTO Jun	Spring (Session II)	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO6770E	Computer Programming for Economics	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session I)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO6900E	Theoretical Foundation of Economic Policy	TAKAHASHI Kazushi	Fall	2	▲	○	○	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO8820E	Economics of Health and Education	YAMAUCHI Chikako	Fall (Session I)	2	▲	○	○	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	

** For those who have successfully completed the six courses (ECO1000E, ECO1060E, ECO2000E, ECO2060E, ECO2720E, ECO3000E) with a GPA higher than 3.5 over the six courses.

Political Science, International Relations and Public Administration

GOV, PAD

Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	YLP	MP1	MP2	MEP1	MEP2	PF	EPP	AIP	MSP	SSP	Domestic Programs	Remarks
GOV1400E	International Relations in East Asia	TAKAGI Yusuke	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	
GOV1460E	The Making of Modern Japan	PRESSELLO Andrea	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV1900E	Comparative Development Studies of Asia	LIM Guanle	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV2100E	Government and Politics in Japan	MASUYAMA Mikiaka	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV2200EA	International Relations	IWAMA Yoko	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	▲	○	Students except MSP and SSP can take either ECO3840EA or ECO3840EB.
GOV2200EB	International Relations	BRUMMER Matthew	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
GOV2210E	International Political Economy	CHEY Hyoun-kyu	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV2230E	Japanese Foreign Policy	PRESSELLO Andrea	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
GOV2240EA	International Security Studies	YOSHIZAKI Tomonori	Fall	2	○	▲	▲	○	○	○	○	○	▲	▲	○	
GOV2240EB	International Security Studies	MICHISHITA Nanushige	Fall	2	▲	○	○	▲	▲	▲	▲	▲	◎	○	○	

4. 修士課程

Academic Year 2024-2025 List of Courses and Instructors (except DMP and SSP)

◎ = Required Course

○ = Recommended or Elective Course

▲ = Closed Course: Students in the program are NOT allowed to take the course.

Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	YLP	MP1	MP2	MEP1	MEP2	PF	EPP	AIP	MSP	SSP	Domestic Programs	Remarks
GOV2310E	Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV2320E	Comparative State Formation	LIM Guarie	Spring (Session II)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
GOV2460E	State and Politics in Southeast Asia	LIM Guarie	Spring (Session I)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV2580E	Structure and Process of Government	YOSHIMUTA Tsuyoshi	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV3220E	Politics of Global Money and Finance	CHEY Hyung-kyu	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV3240E	Non-Traditional Security	CROSS Kyoko	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV3280E	Analysis of Great Power Politics	IWAMA Yoko, et al.	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV3310E	Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veerayooth	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV3400E	International Relations in Europe	IWAMA Yoko	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV5910E	Leadership and Knowledge Creation	NISHIHARA Ayano	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV6220E	Strategic Studies Research Seminar	MICHISHITA Nanushige	Spring	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	
PAD1010E	Social Science Questions and Methodologies	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
PAD2550E	Foreign Direct Investment	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
PAD2560E	Human Resources Management	TAKADA Hirofumi	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
PAD2580E	Global Governance: Leadership and Negotiation	TBA	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
PAD2610E	Fiscal and Monetary Policies in Japan	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
PAD2670E	Public Expenditure Management	TANAKA Hideaki	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
PAD2680E	Social Security System in Japan	ONO Taichi	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
PAD2690E	Modernization of Financial Sector: Lessons from Recent Financial Crises	NUNAMI Tadashi	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
PAD2740E	Small and Medium Enterprise and Technology	HASHIMOTO Hisayoshi	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
PAD3020E	Policy Design and Implementation in Developing Countries	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

Multi Disciplinary Policy Studies

CUL, DEV, GEN, MOR, REG, STI

Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	YLP	MP1	MP2	MEP1	MEP2	PF	EPP	AIP	MSP	SSP	Domestic Programs	Remarks
DEV2020E	Supply Chain Management for Infrastructure Planners	INOUE Saboshi	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Elective course for DM(Ph.D) students.
DEV2080E	Infrastructure Systems Management	OZAWA Kazumasa	Summer	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
DEV2100E	Transportation Planning and Policy	HIBINO Naohiko	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
DEV2500E	Nature Management and Infrastructure	CHIBANA Takeyoshi	Summer	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Elective course for DM(Ph.D) students.
GEN3000E	International Development Policy	OHNO Izumi	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GEN5010E	Introduction to Public Policy Studies	TBA	TBA	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

Academic Year 2024-2025 List of Courses and Instructors (except DMP and SSP)

◎ = Required Course
○ = Recommended or Elective Course

▲ = Closed Course. Students in the program are NOT allowed to take the course.

Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	YLP	MP1	MP2	MEP1	MEP2	PF	EPP	AIP	MSP	SSP	Domestic Programs	Remarks
GEN5020E	The World and the SDGs	KUDO Toshihiro, et al.	Fall	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	
GEN5030E	GRIPS Forum I	IWAMA Yoko, IIZUKA Michiko	Fall	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
GEN5040E	GRIPS Forum II	IWAMA Yoko, IIZUKA Michiko	Spring	1	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	▲	
MOR1000E	Introduction to Quantitative Methods	MOROHOSI Hozumi	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
MOR1030E	Introduction to Data Science	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
MOR1050EA	Introduction to Data Science I	TSUCHIYA Takashi	Fall (Session I)	2	▲	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	
MOR1050EB	Introduction to Data Science I	MOROHOSI Hozumi	Fall (Session I)	2	○	▲	▲	▲	▲	▲	○	○	○	○	○	
MOR2020E	Data Science in Practice	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
MOR2050E	Introduction to Data Science II	TAKENOUCHI Takashi	Fall (Session II)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
MOR2500E	Quantitative Social Systems Analysis	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
MOR3050E	Practice STATA	TSUCHIYA Takashi	Winter	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
MOR3060E	Practice R	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Winter	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
REG2100E	Local Government System and Finance	TAKADA Hirofumi	Fall	2	◎*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	* Required for YLP-School of Local Governance students.
REG3010E	Local Governance in the Changing World	TAKADA Hirofumi	Spring	2	◎*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	* Required for YLP-School of Local Governance students.
ST11000E	Economics of Innovation	INTARAKUMNERD Patarapong	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ST11090E	Politics of Innovation	BRUMMER Matthew	Biyearly Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ST12030E	Bibliometrics and Applications	HAYASHI Takayuki	Biyearly Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ST12060E	Policy for Higher Education and University-Industry Cooperation	SUMIKURA Koichi	Biyearly Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ST12080E	Comparative Analysis of Science, Technology and Innovation Policy, Asian Experiences	INTARAKUMNERD Patarapong	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ST12150E	Comparative Paths of Science, Technology and Innovation Policy	UEYAMA Takahiro	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ST12160E	Outline of Energy Policy	TAKAHASHI Kazuaki	Fall (Session I)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ST12170E	Energy and Environmental Science&Technology	NEI Hisanori, SHIBATA Yoshiaki	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ST12190E	Roles of Intellectual Property Rights in Globalized World	SUMIKURA Koichi, ESCOFFIER Luca	Biyearly Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ST12210E	Science, Technology and Innovation Policy in Developing Country Context	IIZUKA Michiko	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ST12230E	Energy Data Analysis	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ST12290E	Digital Transformation Policy	TBA	TBA	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ST13050E	Energy Security	NEI Hisanori, KUTANI Ichiro	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	
ST13060E	Energy Policy in Japan	NEI Hisanori	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

4. 修士課程

Academic Year 2024-2025 List of Courses and Instructors (except DMP and SSP)

Program Specific Courses

AIP, EPP, GGG, MEP, MSP, PFP, PPP, YLP

◎ = Required Course
○ = Recommended or Elective Course
▲ = Closed Course: Students in the program are NOT allowed to take the course.

Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	YLP	MP1	MP2	MEP1	MEP2	PF	EPP	AIP	MSP	SSP	Domestic Programs	Remarks
AIP5000E	Introduction to Japan	PRESSELLO Andrea	Fall (Session I)	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	
AIP5010E	Colloquium I	TAKADA Hirofumi	Fall	1	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	
AIP5020E	Independent Study	MASUYAMA Mikiaka, et al.	Fall through Summer	4	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	
AIP5040E	Tutorial	MASUYAMA Mikiaka	Fall through Summer	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	
AIP5050E	AOIP Workshop	MASUYAMA Mikiaka	Fall through Winter	6	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	
EPP1010E	East Asian Economies	KUDO Toshihiro	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
EPP1400E	Social Policy and Development in ASEAN	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
EPP5010E	Independent Study (Policy Paper)	KUDO Toshihiro et al.	Fall through Spring	4	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	
GGG5010EB	Policy Debate Seminar I	TANAKA Makoto, et al.	Winter	2	▲	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
GGG5020EB	Policy Debate Seminar II	TANAKA Makoto, et al.	Spring	2	▲	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
GGG5110E	Tutorial I	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***To register for this course, follow the procedure explained in the syllabus.
GGG5120E	Tutorial II	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	
GGG5130E	Tutorial III	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	
GGG5140E	Tutorial IV	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	
GGG5150E	Tutorial V	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	
MEP4000E	Tutorial (MEP1)	FUJIMOTO Junichi, et al.	Fall through Winter	2	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
MEP4010E	Policy Paper Seminar I	FUJIMOTO Junichi, et al.	Spring (Session I)	2	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
MEP4020E	Policy Paper Seminar II	FUJIMOTO Junichi, et al.	Spring (Session II)	2	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
MEP4030E	Policy Paper Seminar III	TBA	TBA	2	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
MEP4100E	Tutorial (MEP2)	FUJIMOTO Junichi, et al.	Fall through Winter [1st year]	2	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
MEP4110E	Thesis Seminar I	FUJIMOTO Junichi, et al.	Fall (Session I) [2nd year]	2	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
MEP4120E	Thesis Seminar II	FUJIMOTO Junichi, et al.	Fall (Session II) [2nd year]	2	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
MEP4130E	Thesis Seminar III	FUJIMOTO Junichi, et al.	Winter [2nd year]	2	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
MEP4140E	Thesis Seminar IV	TBA	TBA	2	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
MSP2000E	Maritime Police Policy	OKUZONO Junji	Winter	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
MSP2030E	Introduction to Oceanography	HORIUCHI Daishi	Spring	1	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	
MSP2040E	Marine Environment and Pollution	KAWAMURA Noriko	Spring	1	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	
MSP2050E	Safety Management Systems I	NOMA Kiyotaka	Spring (Session I)	1	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	
MSP2060E	Safety Management Systems II	YAMADA Tatsuho	Spring (Session II)	1	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	
MSP3000E	International Law	SHIMOYAMA Kenji	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	
MSP3010E	International Law of the Sea	FURUYA Kentaro	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	

Academic Year 2024-2025 List of Courses and Instructors (except DMP and SSP)

◎ = Required Course
○ = Recommended or Elective Course

▲ = Closed Course. Students in the program are NOT allowed to take the course.

Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	YLP	MP1	MP2	MEP1	MEP2	PF	EPP	AIP	MSP	SSP	Domestic Programs	Remarks
MSP3020E	Policy for Search & Rescue, Salvage and Maritime Disaster Prevention	YAMAJI Tetsuya	Spring	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	
MSP3030E	International Comparative Criminal Law	SHINTANI Kazuaki	Spring	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	
MSP3060E	Ship Maneuverability and Practical Operation	TBA	TBA	1	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	
MSP3070E	Fundamentals of Advanced Energy Engineering	KANKI Takashi	Spring (Session II)	1	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	
MSP3080E	Information Management System I	YAMANAKA Masaaki	Spring (Session I)	1	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	
MSP3090E	Information Management System II	ISOZAKI Hiroomi	Spring (Session II)	1	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	
MSP3100E	Introduction to International Maritime Safety and Security Conventions	FURUYA Kentaro	Summer	1	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	
MSP4000E	Independent Study	Various	Fall through Summer	4	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	
MSP5000E	Case Study on Maritime Safety and Security Policy I	FURUYA Kentaro	Fall	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	
MSP5010E	Case Study on Maritime Safety and Security Policy II	FURUYA Kentaro	Winter through Spring	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	
PPF2500E	Multilateral Trading System and Customs Administration	KONDO Yoshitomo	Winter through Spring	2	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	◎	▲	▲	
PPF2520E	International Taxation of Japan	MATSUDA Naoki	Fall	2	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	* Required for PF-Tax Students.
PPF5010E	Practicum at the National Tax Agency		Fall through Spring (Session I)	8	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	* Required for PF-Tax students.
PPF5110E	Practicum in Customs Administration I	KONDO Yoshitomo	Fall	2	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	* Required for PF-Customs students.
PPF5120E	Practicum in Customs Administration II	MATSUMOTO Takashi	Winter through Spring	2	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	* Required for PF-Customs students.
PPF5130E	Practicum in Customs Administration III	KONDO Yoshitomo, YOSHIKAWA Daisuke, TSUDA Yoko, MURAYAMA Takamasa	Winter through Spring	4	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	* Required for PF-Customs students.
PPF5210E	Intellectual Property Rights Enforcement at the Border	ABE Hiroaki	Spring (Session I)	2	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	* Required for PF-Customs students.
PPF5010E	Independent Study	TANAKA Makoto, et al.	Fall through Spring	4	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
PPF5060E	Tutorial I	Various	Fall	1	▲	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
PPF5070E	Tutorial II	Various	Fall through Spring	2	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
YLP5000E	Introduction to Japan	PRESSELLO Andrea	Fall (Session I)	2	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
YLP5010E	Colloquium	TAKADA Hirofumi	Fall, Spring	2	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
YLP5020E	Independent Study	MASUYAMA Mikiaka, et al.	Fall through Summer	4	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	* Required for YLP-School of Government students.
YLP5030E	Field Trip	PRESSELLO Andrea	Fall	2	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	* Required for YLP-School of Government students.
YLP5040E	Tutorial	Various	Fall through Summer	2	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	* Required for YLP-School of Government students.

4. 修士課程

Academic Year 2024-2025 List of Courses and Instructors (except DMP and SSP)

◎ = Required Course

○ = Recommended or Elective Course

▲ = Closed Course: Students in the program are NOT allowed to take the course.

Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	YLP	MP1	MP2	MEP1	MEP2	PF	EPP	AIP	MSP	SSP	Domestic Programs	Remarks
YLP5510E	Independent Study	TAKADA Hirofumi, et al.	Fall through Summer	4	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	* Required for YLP-School of Local Governance students.
YLP5540E	Tutorial	Various	Fall through Summer	2	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	* Required for YLP-School of Local Governance students.
YLP5550E	Workshop	TAKADA Hirofumi	Fall	2	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	* Required for YLP-School of Local Governance students.
	Selected Topics in Policy Studies I	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	Selected Topics in Policy Studies II	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	Selected Topics in Policy Studies III	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	Selected Topics in Policy Studies IV	TBA	TBA	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	Selected Topics in Policy Studies(Fiscal and Monetary Policy in a Changing World)	KURODA Haruhiko	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
	Selected Topics in Policy Studies(International Economic Policy Analysis)	KAWASAKI Kenichi	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
	Selected Topics in Policy Studies(Cybersecurity)	MIYAMOTO Daisuke	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
	Selected Topics in Policy Studies(Social Issue Workshop for Business-Driven Innovation)	HARADA Shihō	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	Selected Topics in Policy Studies(Economic Development based on ADB experiences)	YOSHINO Naoyuki	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

Language

LAN

Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	YLP	MP1	MP2	MEP1	MEP2	PF	EPP	AIP	MSP	SSP	Domestic Programs	Remarks
LAN1010J	Basic Japanese 1	PETCHKO Katerina, et al.	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
LAN1020J	Basic Japanese 2	PETCHKO Katerina, et al.	Winter	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
LAN1030J	Basic Japanese 3	PETCHKO Katerina, et al.	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
LAN2010J	Intermediate Japanese 1	PETCHKO Katerina, et al.	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
LAN2020J	Intermediate Japanese 2	PETCHKO Katerina, et al.	Winter	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
LAN2030J	Intermediate Japanese 3	PETCHKO Katerina, et al.	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	▲	
LAN3010J	Advanced Japanese 1	PETCHKO Katerina, et al.	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
LAN3020J	Advanced Japanese 2	PETCHKO Katerina, et al.	Winter	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
LAN3030J	Advanced Japanese 3	PETCHKO Katerina, et al.	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
LAN0010E	Describing Tables and Figures	TBA	TBA	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
LAN0150E	Thesis Writing for MSP	ONEILL Gavin	Fall(Session I)	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
LAN0160E	Qualitative Writing	TBA	TBA	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
LAN0170E	Abstract Writing for Japanese Students	ONO Keiko	Fall(Session I)	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
LAN0190E	Academic Communication for Japanese Speakers	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
LAN0300E	Introduction to Academic Research	PETCHKO Katerina, et al.	Fall(Session I)	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
LAN0310E	Introduction to Academic Writing	PETCHKO Katerina, et al.	Fall(Session I)	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
LAN0320E	Policy Paper Tutorial	PETCHKO Katerina, et al.	Spring	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
LAN0370E	Academic Research and Writing: A Primer for Public Policy Students	ONO Keiko	Spring(Session I)	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

Credits earned in LAN courses cannot be applied toward the degree.

政策研究データサイエンス認定証制度について

I 概要

本学は、一連のデータサイエンス関連科目の履修を通じて、学生がエビデンスに基づく政策立案に資する分析能力を獲得させることを目指し、政策研究データサイエンス（DS）認定証制度を設置している。以下に定める要件をすべて満たしたものには認定証を授与する。

II 認定証授与要件

① データサイエンスの基幹的・基礎的科目として下記科目のうち2単位以上を修得する。

- ・ データサイエンス基礎
- ・ 政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 I
- ・ 実践データサイエンス
- ・ 政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 II
- ・ Introduction to Data Science I
- ・ Introduction to Data Science II
- ・ Data Science for Public Policy

② 上記の①で修得した科目を含む、データサイエンス関連科目（次項「DS 関連科目群リスト」参照）を2単位×5=10単位以上を修得する。

※認定書の申請手続及びその他の注意事項については、別途案内するので確認すること。

4. 修士課程

DS関連科目群リスト/ List of DS-related Courses

As of April 1st, 2024

Course Number	Courses	Instructor	Term	Credit
MOR1000E	Introduction to Quantitative Methods	MOROHOSI Hozumi	Fall	2
*MOR1030E	Introduction to Data Science	TBA	TBA	2
*MOR1050EA	Introduction to Data Science I	TSUCHIYA Takashi	Fall(Session I)	2
*MOR1050EB	Introduction to Data Science I	MOROHOSI Hozumi	Fall(Session I)	2
*MOR2020E	Data Science in Practice	TBA	TBA	2
MOR2050E	Introduction to Data Science II	TAKENOUCHI Takashi	Fall (Session II)	2
MOR2500E	Quantitative Social Systems Analysis	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Spring	2
MOR3050E	Practice STATA	TSUCHIYA Takashi	Winter	1
MOR3060E	Practice R	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Winter	1
MOR6300E/J	Mathematical Modeling Analysis / 数理モデル分析	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Spring	2
MOR7011E	Quantitative Data Analysis	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Fall	2
ECO2720EA	Introduction to Applied Econometrics	WIE Dainn	Fall	2
ECO2720EB	Introduction to Applied Econometrics	IZUMI Yutaro	Fall	2
ECO2760E	Applied Time Series Analysis for Macroeconomics	LEON-GONZALEZ Roberto	Winter	2
ECO2770E	Applied Econometrics	LITSCHIG Stephan	Winter	2
ECO2780E	Applied Econometrics Practice	LITSCHIG Stephan	Winter	2
*ECO2790E	Data Science for Public Policy	GOTO Jun	Spring	2
ECO3000E	Mathematics for Economic Analysis	MUNRO Alistair	Fall	2
ECO3710E	Time Series Analysis	TBA	TBA	2
ECO3720E	Cost Benefit Analysis I	KIDOKORO Yukihiro	Winter	2
ECO3740E	Economic Modeling for Policy Simulations	HOSOE Nobuhiro	Summer	2
ECO3890E	Development Econometrics	TAKAHASHI Kazushi	Summer	2
ECO6770E	Computer Programming for Economics	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session II)	2
ECO6700E	Advanced Econometrics I	LEON-GONZALEZ Roberto	Fall (Session I)	2
ECO6710E	Advanced Econometrics II	LITSCHIG Stephan	Fall (Session II)	2
ECO6720E	Advanced Econometrics III	TBA	TBA	2
ECO6730E	Advanced Econometrics IV	GOTO Jun	Spring (Session II)	2
ECO7721EA	Introduction to Applied Econometrics (Advanced)	WIE Dainn	Fall	2
ECO7721EB	Introduction to Applied Econometrics (Advanced)	IZUMI Yutaro	Fall	2
ECO7771E	Applied Econometrics (Advanced)	LITSCHIG Stephan	Winter	2
STI2030E	Bibliometrics and Applications	HAYASHI Takayuki	Biyearly Spring	2
STI2230E	Energy Data Analysis	TBA	TBA	2
STI7031E	Bibliometrics and Applications	HAYASHI Takayuki	Biyearly Spring	2
STI7231E	Energy Data Analysis	TBA	TBA	2
*MOR1030J	データサイエンス基礎	土谷 隆	春前	2
*MOR1100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 I	土谷 隆、竹之内 高志	春	2
MOR2000J	計画と評価の数理	諸星 穂積	春	2
*MOR2020J	実践データサイエンス	竹之内 高志	春後	2
*MOR2100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 II	土谷 隆、竹之内 高志	秋	2
MOR3010J	数理モデル分析演習	土谷 隆、諸星 穂積、竹之内 高志	秋	2
ECO2700J	計量経済学	黒澤 昌子	春	2
ECO2710J	費用便益分析	城所 幸弘	春後	2
ECO3330J	都市政策の空間分析	金本 良嗣、河端 瑞貴、安田 昌平	春	2
ECO3700J	計量経済学の応用と実践	後藤 潤	夏	2
ECO3750J	経済シミュレーション分析	細江 宣裕	秋	2
ECO3760J	費用便益分析の応用と実践	城所 幸弘	夏	2
GOV6930J	社会科学方法論＝量的分析 (Social Science Methodology for Quantitative Analysis)	MASUYAMA Mikitaka	Fall	2
STI2030J	ビブリオメトリクスとその応用	林 隆之	隔年春	2
STI2250J	計量分析演習	鈴木 潤	秋前	2
STI7031J	ビブリオメトリクスとその応用	HAYASHI Takayuki	Biyearly Spring	2
STI7251J	計量分析演習	SUZUKI Jun	Fall (Session I)	2
	Selected Topics in Policy Studies(International Economic Policy Analysis)	KAWASAKI Kenichi	Spring	2

※1 “*”を付した科目はデータサイエンス基幹的・基礎的科目。

Courses with “*” are data science basic/core courses.

※2 開講学期の変更や開講しない場合がある。

The term of a course may be changed or it may not be offered.

※3 修了直前の夏学期または冬学期の科目は、成績評価のスケジュールの都合上、DS認定証授与要件には含まれない場合があるので注意すること。

Note that data science related courses completed in the summer or winter term immediately before completion may not be registered at the time of certificate judgement, due to the timing of grading.

Global Studies認定証制度について

I 概要

政策研究大学院大学では、日本人学生の英語科目履修の促進のため、Global Studies（GS）認定証を2024年4月から設置している。認定証にはAdvancedとBasicの2種類が存在し、以下に定める要件をすべて満たしたのものには認定証を授与する。

II 授与要件

Advanced

- ① 英語科目5科目（LAN科目以外）を修得する。
- ② 国際的指導力育成プログラム（GLD）の学生以外は「LAN0170E Abstract Writing for Japanese Students」を履修し、英語の論文Abstractを書く。GLDの学生は「LAN0370E Academic Research and Writing: A Primer for Public Policy Students」を履修する。

Basic

- ① 英語科目3科目（LAN科目以外）を修得する。
- ② GLDの学生以外は「LAN0170E Abstract Writing for Japanese Students」を履修し、英語の論文Abstractを書く。GLDの学生は「LAN0370E Academic Research and Writing: A Primer for Public Policy Students」を履修する。

LAN0170EまたはLAN0370Eの履修により、取得希望とみなし、修得した科目数に応じて修了時に認定証を授与する。別途認定証取得を申請する必要はない。

2024年3月6日現在

[illegible]

・時刻が変更になる場合があります。

Master's Programs TIMETABLE (Spring Session I: Apr.4 - Jun.3, 2024)																								As of March 6, 2024									
1 (9:00-10:30)						2 (10:40-12:10)						3 (13:20-14:50)						4 (15:00-16:30)						5 (16:40-18:10)						6 (18:20-19:50)			
Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room										
PFP 5010 E	Practicum at the National Tax Agency (PF)																																
MON	GOV 2460 E	State and Politics in Southeast Asia (Session I)						Lim	J		ECO 3860 E	Development History of Asia: Policy, Market and Technology						Nakao	F		GEN 5040 E	GRIPS Forum II				Iwama, Ezaka	Sokai-ro Hall						
TUE	ECO 6090 E	Advanced Macroeconomics IV (Session I)						Hsu	H		ECO 3870 E	Agricultural Development (Session I)						Kijima	J		GOV 6220 E	Strategic Studies Research Seminar				Michishita	I						
WED	PFP 5200 E	Practicum in Customs Administration II (PF)						Munro	H		ECO 3160 E	Political Economy						Izumi	G		GOV 2230 E	Japanese Foreign Policy				Pessallo	E						
	GOV 5910 E	Leadership and Knowledge Creation	Nishihara	E																													
	ECO 3920 E	Economic History and Institutions	Izumi	G																													
THU																																	
	ECO 3400 E																																
FRI																																	

*This timetable is subject to change.

2024年度 修士課程 春後期時間割 (2024年6月4日～2024年7月29日)

2024年3月6日現在

1限 (9:00-10:30)			2限 (10:40-12:10)			3限 (13:20-14:50)			4限 (15:00-16:30)			5限 (16:40-18:10)			6限 (18:20-19:50)			19:30-21:00						
科目番号	授業科目	教員	講義番号	科目番号	授業科目	教員	講義番号	科目番号	授業科目	教員	講義番号	科目番号	授業科目	教員	講義番号	科目番号	授業科目	教員	講義番号	科目番号	授業科目	教員	講義番号	
PAD 2560 J	社会保健論	小野	DEV 2100 E	Transportation Planning and Policy	Hibino	F	GOV 2100 J	日本政治と選挙分析	竹中	H	ECO 2000 J	Development History of Asia - Technology and Technology	Nakao	F	GRIPS Forum I	岩間、飯塚	PAD 2020 J	中小企業経営と地域経済	橋本(久)	L	STI 2020 J	科学技術イノベーション政策史	有本	H
DRM 2010 J	災害リスクマネジメント(事後期・夏)	片山、山口	REG 2310 J	地方自治と行政学	木村	C	GOV 2100 J	災害対策委員会	山口(真)	D	ECO 2000 J	政策研究演習	増山	C	GOV 6100 J	政策過程論特別演習	飯尾	研究会 夏・冬						
PAD 2560 J	社会保健論	小野	DEV 2100 E	Transportation Planning and Policy	Hibino	F	GOV 2100 J	日本政治と選挙分析	竹中	H	ECO 2000 J	Development History of Asia - Technology and Technology	Nakao	F	GRIPS Forum I	岩間、飯塚	PAD 2020 J	中小企業経営と地域経済	橋本(久)	L	STI 2020 J	科学技術イノベーション政策史	有本	H
DRM 2010 J	災害リスクマネジメント(事後期・夏)	片山、山口	REG 2310 J	地方自治と行政学	木村	C	GOV 2100 J	災害対策委員会	山口(真)	D	ECO 2000 J	政策研究演習	増山	C	GOV 6100 J	政策過程論特別演習	飯尾	研究会 夏・冬						
PAD 2560 J	社会保健論	小野	DEV 2100 E	Transportation Planning and Policy	Hibino	F	GOV 2100 J	日本政治と選挙分析	竹中	H	ECO 2000 J	Development History of Asia - Technology and Technology	Nakao	F	GRIPS Forum I	岩間、飯塚	PAD 2020 J	中小企業経営と地域経済	橋本(久)	L	STI 2020 J	科学技術イノベーション政策史	有本	H
DRM 2010 J	災害リスクマネジメント(事後期・夏)	片山、山口	REG 2310 J	地方自治と行政学	木村	C	GOV 2100 J	災害対策委員会	山口(真)	D	ECO 2000 J	政策研究演習	増山	C	GOV 6100 J	政策過程論特別演習	飯尾	研究会 夏・冬						
PAD 2560 J	社会保健論	小野	DEV 2100 E	Transportation Planning and Policy	Hibino	F	GOV 2100 J	日本政治と選挙分析	竹中	H	ECO 2000 J	Development History of Asia - Technology and Technology	Nakao	F	GRIPS Forum I	岩間、飯塚	PAD 2020 J	中小企業経営と地域経済	橋本(久)	L	STI 2020 J	科学技術イノベーション政策史	有本	H
DRM 2010 J	災害リスクマネジメント(事後期・夏)	片山、山口	REG 2310 J	地方自治と行政学	木村	C	GOV 2100 J	災害対策委員会	山口(真)	D	ECO 2000 J	政策研究演習	増山	C	GOV 6100 J	政策過程論特別演習	飯尾	研究会 夏・冬						
PAD 2560 J	社会保健論	小野	DEV 2100 E	Transportation Planning and Policy	Hibino	F	GOV 2100 J	日本政治と選挙分析	竹中	H	ECO 2000 J	Development History of Asia - Technology and Technology	Nakao	F	GRIPS Forum I	岩間、飯塚	PAD 2020 J	中小企業経営と地域経済	橋本(久)	L	STI 2020 J	科学技術イノベーション政策史	有本	H
DRM 2010 J	災害リスクマネジメント(事後期・夏)	片山、山口	REG 2310 J	地方自治と行政学	木村	C	GOV 2100 J	災害対策委員会	山口(真)	D	ECO 2000 J	政策研究演習	増山	C	GOV 6100 J	政策過程論特別演習	飯尾	研究会 夏・冬						
PAD 2560 J	社会保健論	小野	DEV 2100 E	Transportation Planning and Policy	Hibino	F	GOV 2100 J	日本政治と選挙分析	竹中	H	ECO 2000 J	Development History of Asia - Technology and Technology	Nakao	F	GRIPS Forum I	岩間、飯塚	PAD 2020 J	中小企業経営と地域経済	橋本(久)	L	STI 2020 J	科学技術イノベーション政策史	有本	H
DRM 2010 J	災害リスクマネジメント(事後期・夏)	片山、山口	REG 2310 J	地方自治と行政学	木村	C	GOV 2100 J	災害対策委員会	山口(真)	D	ECO 2000 J	政策研究演習	増山	C	GOV 6100 J	政策過程論特別演習	飯尾	研究会 夏・冬						
PAD 2560 J	社会保健論	小野	DEV 2100 E	Transportation Planning and Policy	Hibino	F	GOV 2100 J	日本政治と選挙分析	竹中	H	ECO 2000 J	Development History of Asia - Technology and Technology	Nakao	F	GRIPS Forum I	岩間、飯塚	PAD 2020 J	中小企業経営と地域経済	橋本(久)	L	STI 2020 J	科学技術イノベーション政策史	有本	H
DRM 2010 J	災害リスクマネジメント(事後期・夏)	片山、山口	REG 2310 J	地方自治と行政学	木村	C	GOV 2100 J	災害対策委員会	山口(真)	D	ECO 2000 J	政策研究演習	増山	C	GOV 6100 J	政策過程論特別演習	飯尾	研究会 夏・冬						
PAD 2560 J	社会保健論	小野	DEV 2100 E	Transportation Planning and Policy	Hibino	F	GOV 2100 J	日本政治と選挙分析	竹中	H	ECO 2000 J	Development History of Asia - Technology and Technology	Nakao	F	GRIPS Forum I	岩間、飯塚	PAD 2020 J	中小企業経営と地域経済	橋本(久)	L	STI 2020 J	科学技術イノベーション政策史	有本	H
DRM 2010 J	災害リスクマネジメント(事後期・夏)	片山、山口	REG 2310 J	地方自治と行政学	木村	C	GOV 2100 J	災害対策委員会	山口(真)	D	ECO 2000 J	政策研究演習	増山	C	GOV 6100 J	政策過程論特別演習	飯尾	研究会 夏・冬						
PAD 2560 J	社会保健論	小野	DEV 2100 E	Transportation Planning and Policy	Hibino	F	GOV 2100 J	日本政治と選挙分析	竹中	H	ECO 2000 J	Development History of Asia - Technology and Technology	Nakao	F	GRIPS Forum I	岩間、飯塚	PAD 2020 J	中小企業経営と地域経済	橋本(久)	L	STI 2020 J	科学技術イノベーション政策史	有本	H
DRM 2010 J	災害リスクマネジメント(事後期・夏)	片山、山口	REG 2310 J	地方自治と行政学	木村	C	GOV 2100 J	災害対策委員会	山口(真)	D	ECO 2000 J	政策研究演習	増山	C	GOV 6100 J	政策過程論特別演習	飯尾	研究会 夏・冬						
PAD 2560 J	社会保健論	小野	DEV 2100 E	Transportation Planning and Policy	Hibino	F	GOV 2100 J	日本政治と選挙分析	竹中	H	ECO 2000 J	Development History of Asia - Technology and Technology	Nakao	F	GRIPS Forum I	岩間、飯塚	PAD 2020 J	中小企業経営と地域経済	橋本(久)	L	STI 2020 J	科学技術イノベーション政策史	有本	H
DRM 2010 J	災害リスクマネジメント(事後期・夏)	片山、山口	REG 2310 J	地方自治と行政学	木村	C	GOV 2100 J	災害対策委員会	山口(真)	D	ECO 2000 J	政策研究演習	増山	C	GOV 6100 J	政策過程論特別演習	飯尾	研究会 夏・冬						
PAD 2560 J	社会保健論	小野	DEV 2100 E	Transportation Planning and Policy	Hibino	F	GOV 2100 J	日本政治と選挙分析	竹中	H	ECO 2000 J	Development History of Asia - Technology and Technology	Nakao	F	GRIPS Forum I	岩間、飯塚	PAD 2020 J	中小企業経営と地域経済	橋本(久)	L	STI 2020 J	科学技術イノベーション政策史	有本	H
DRM 2010 J	災害リスクマネジメント(事後期・夏)	片山、山口	REG 2310 J	地方自治と行政学	木村	C	GOV 2100 J	災害対策委員会	山口(真)	D	ECO 2000 J	政策研究演習	増山	C	GOV 6100 J	政策過程論特別演習	飯尾	研究会 夏・冬						
PAD 2560 J	社会保健論	小野	DEV 2100 E	Transportation Planning and Policy	Hibino	F	GOV 2100 J	日本政治と選挙分析	竹中	H	ECO 2000 J	Development History of Asia - Technology and Technology	Nakao	F	GRIPS Forum I	岩間、飯塚	PAD 2020 J	中小企業経営と地域経済	橋本(久)	L	STI 2020 J	科学技術イノベーション政策史	有本	H
DRM 2010 J	災害リスクマネジメント(事後期・夏)	片山、山口	REG 2310 J	地方自治と行政学	木村	C	GOV 2100 J	災害対策委員会	山口(真)	D	ECO 2000 J	政策研究演習	増山	C	GOV 6100 J	政策過程論特別演習	飯尾	研究会 夏・冬						
PAD 2560 J	社会保健論	小野	DEV 2100 E	Transportation Planning and Policy	Hibino	F	GOV 2100 J	日本政治と選挙分析	竹中	H	ECO 2000 J	Development History of Asia - Technology and Technology	Nakao	F	GRIPS Forum I	岩間、飯塚	PAD 2020 J	中小企業経営と地域経済	橋本(久)	L	STI 2020 J	科学技術イノベーション政策史	有本	H
DRM 2010 J	災害リスクマネジメント(事後期・夏)	片山、山口	REG 2310 J	地方自治と行政学	木村	C	GOV 2100 J	災害対策委員会	山口(真)	D	ECO 2000 J	政策研究演習	増山	C	GOV 6100 J	政策過程論特別演習	飯尾	研究会 夏・冬						
PAD 2560 J	社会保健論	小野	DEV 2100 E	Transportation Planning and Policy	Hibino	F	GOV 2100 J	日本政治と選挙分析	竹中	H	ECO 2000 J	Development History of Asia - Technology and Technology	Nakao	F	GRIPS Forum I	岩間、飯塚	PAD 2020 J	中小企業経営と地域経済	橋本(久)	L	STI 2020 J	科学技術イノベーション政策史	有本	H
DRM 2010 J	災害リスクマネジメント(事後期・夏)	片山、山口	REG 2310 J	地方自治と行政学	木村	C	GOV 2100 J	災害対策委員会	山口(真)	D	ECO 2000 J	政策研究演習	増山	C	GOV 6100 J	政策過程論特別演習	飯尾	研究会 夏・冬						
PAD 2560 J	社会保健論	小野	DEV 2100 E	Transportation Planning and Policy	Hibino	F	GOV 2100 J	日本政治と選挙分析	竹中	H	ECO 2000 J	Development History of Asia - Technology and Technology	Nakao	F	GRIPS Forum I	岩間、飯塚	PAD 2020 J	中小企業経営と地域経済	橋本(久)	L	STI 2020 J	科学技術イノベーション政策史	有本	H
DRM 2010 J	災害リスクマネジメント(事後期・夏)	片山、山口	REG 2310 J	地方自治と行政学	木村	C	GOV 2100 J	災害対策委員会	山口(真)	D	ECO 2000 J	政策研究演習	増山	C	GOV 6100 J	政策過程論特別演習	飯尾	研究会 夏・冬						
PAD 2560 J	社会保健論	小野	DEV 2100 E	Transportation Planning and Policy	Hibino	F	GOV 2100 J	日本政治と選挙分析	竹中	H	ECO 2000 J	Development History of Asia - Technology and Technology	Nakao	F	GRIPS Forum I	岩間、飯塚	PAD 2020 J	中小企業経営と地域経済	橋本(久)	L	STI 2020 J	科学技術イノベーション政策史	有本	H
DRM 2010 J	災害リスクマネジメント(事後期・夏)	片山、山口	REG 2310 J	地方自治と行政学	木村	C	GOV 2100 J	災害対策委員会	山口(真)	D	ECO 2000 J	政策研究演習	増山	C	GOV 6100 J	政策過程論特別演習	飯尾	研究会 夏・冬						
PAD 2560 J	社会保健論	小野	DEV 2100 E	Transportation Planning and Policy	Hibino	F	GOV 2100 J	日本政治と選挙分析	竹中	H	ECO 2000 J	Development History of Asia - Technology and Technology	Nakao	F	GRIPS Forum I	岩間、飯塚	PAD 2020 J	中小企業経営と地域経済	橋本(久)	L	STI 2020 J	科学技術イノベーション政策史	有本	H
DRM 2010 J	災害リスクマネジメント(事後期・夏)	片山、山口	REG 2310 J	地方自治と行政学	木村	C	GOV 2100 J	災害対策委員会	山口(真)	D	ECO 2000 J	政策研究演習	増山	C	GOV 6100 J	政策過程論特別演習	飯尾	研究会 夏・冬						
PAD 2560 J	社会保健論	小野	DEV 2100 E	Transportation Planning and Policy	Hibino	F	GOV 2100 J	日本政治と選挙分析	竹中	H	ECO 2000 J	Development History of Asia - Technology and Technology	Nakao	F	GRIPS Forum I	岩間、飯塚	PAD 2020 J	中小企業経営と地域経済	橋本(久)	L	STI 2020 J	科学技術イノベーション政策史	有本	H
DRM 2010 J	災害リスクマネジメント(事後期・夏)	片山、山口	REG 2310 J	地方自治と行政学	木村	C	GOV 2100 J	災害対策委員会	山口(真)	D	ECO 2000 J	政策研究演習	増山	C	GOV 6100 J	政策過程論特別演習	飯尾	研究会 夏・冬						
PAD 2560 J	社会保健論	小野	DEV 2100 E	Transportation Planning and Policy	Hibino	F	GOV 2100 J	日本政治と選挙分析	竹中	H	ECO 2000 J	Development History of Asia - Technology and Technology	Nakao	F	GRIPS Forum I	岩間、飯塚	PAD 2020 J	中小企業経営と地域経済	橋本(久)	L	STI 2020 J	科学技術イノベーション政策史	有	

・時間割が変更になる場合があります。

Master's Programs TIMETABLE (Spring Session II: Jun.4 - Jul.29, 2024)

As of March 6, 2024

1 (9:00-10:30)				2 (10:40-12:10)				3 (13:20-14:50)				4 (15:00-16:30)				5 (16:40-18:10)				6 (18:20-19:50)							
Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room				
MON	ECO 3450 E	Theory and Practice of Central Banking: Japanese and Global Experience	Kinoshita	F	ECO 3510 E	Japanese Economy (Session II)	Yokoyama	E	ECO 3800 E	Development History of Asia: Policy, Market and Technology	Nakao	F	GEN 5940 E	GRIPS Forum II	Iwama, Iizuka	Sodai Hall											
	DEV 2100 E	Transportation Planning and Policy	Hibino	F	ECO 3200 E	Economics of Law	Hatanaka	H	ECO 3160 E	Reform of Economic Policy in Japan	Ota	F	REG 3010 E	Local Governance in the Changing World									Takada	D			
	ECO 3840 EA	Development Economics	Yamauchi	G	ECO 3210 E	Competition and Regulatory Economics	Tanaka Makoto	G		Selected Topics in Policy Studies (International Economic Policy Analysis)	Kawasaki	K	GOV 6220 E	Strategic Studies Research Seminar	Michishita	I											
	PAD 2650 E	Modernization of Financial Sector: Lessons from Recent Financial Crises	Nurami	K	GOV 2320 E	Comparative State Formation (Session II)				LAN 1030 JA	Basic Japanese 3A	Petcho, et al.	G														
TUE														Selected Topics in Policy Studies(Fiscal and Monetary Policy in a Changing World) (Session II)										E			
	PFP 5120 E	Practicum in Customs Administration II (PF)	Masumoto Takashi	F	ECO 3510 E	Environmental Economics	Muno	H	ECO 3104 E	Political Economy	Izumi	G	LAN 1030 JB	Basic Japanese 3B	Petcho, et al.	J	GOV 2230 E	Japanese Foreign Policy	Pressello	E							
	GOV 5910 E	Leadership and Knowledge Creation	Nishihara	E	PFP 5130 E	Practicum in Customs Administration III (PF)								Kondo Yoshikawa, Tsuda, Murayama	F	STI 2190 E	Roles of Intellectual Property Rights in Globalized World	Sumikura, Escoffier	G								
	ECO 6070 E				Advanced Macroeconomics III (Session II)				LAN 3030 J	Advanced Japanese 3	Petcho, et al.	J															
WED	ECO 3920 E	Economic History and Institutions	Izumi	G																							
					PFP 2500 E	Multilateral Trading System and Customs Administration	Kondo	F	GOV 3400 E	International Relations in Europe	Iwama	H					GOV 3280 E	Analysis of Great Power Politics	Iwama, et al.	H							
					PAD 2670 E	Public Expenditure Management	Tanaka Hideo	C	ECO 3640 E	Financial Economics	Chen Jia-er	J					LAN 2030 J	Intermediate Japanese 3	Petcho, et al.	J							
					ECO 3610 E	Japanese Economy (Session II)	Yokoyama	E	ECO 6730 E	Advanced Econometrics (Session II)				Goto	I												
THU		Selected Topics in Policy Studies(Cybersecurity)	Miyamoto	E	ECO 2790 E	Selected Topics in Policy Studies	Goto	F	GOV 2580 E	Structure & Process of Government	Yoshimuta	F	MOR 2500 E	Quantitative Social Systems Analysis	Tschiya, Morohoshi, Takenouchi	I	YLP 5010 E	Colloquium (YLP)	Takada	TBA							
					STI 3050 E	Energy Security	Nei, Kutan	H	STI 3060 E	Energy Policy in Japan	Nei	H	STI 2170 E	Energy and Environmental Science&Technology	Nei, Shibata	H											
					PAD 2560 E	Human Resources Management	Takada	J																			
	*This timetable is subject to change.																										

4. 修士課程

2024年度 修士課程 夏学期時間割 (2024年8月5日～2024年9月30日)

2024年3月6日現在

月日	曜日	1限(9:00～10:30)			2限(10:40～12:10)			3限(13:20～14:50)			4限(15:00～16:30)			5限(16:40～18:10)			6限(18:20～19:50)			(19:30～21:00)							
		科目番号	科目	教員	履修単位	科目番号	科目	教員	履修単位	科目番号	科目	教員	履修単位	科目番号	科目	教員	履修単位	科目番号	科目	教員	履修単位	科目番号	科目	教員	履修単位		
8月5日	月	DEV 2080 E	Infrastructure Systems Management①②③							Ozawa	D										ECO 3750 J	経済シミュレーション分析①	綿江	G			
8月6日	火							PAD 3120 J	まちづくり政策事例特論①②				辻田、高橋(正)	E							ECO 3750 J	経済シミュレーション分析②	綿江	G			
8月7日	水	DEV 2080 E	Infrastructure Systems Management④⑤⑥							Ozawa	D	DEV 2500 E	Nature Management and Infrastructure①②			Chibana	D				GLD 3200 J	国際経済法①	米谷	E			
8月8日	木				ECO 3700 J	計量経済学的应用と実践①②			後藤	E																	
8月9日	金	DEV 2080 E	Infrastructure Systems Management⑦⑧⑨							Ozawa	D	DRM 2010 J	災害リスクマネジメント⑩(春後・夏)	片山、山口	D							ECO 3750 J	経済シミュレーション分析③	綿江	G		
8月10日	土	GLD 3220 J	情報と安全保障①②				道下	E																			
8月11日	日																										
8月12日	月																										
8月13日	火	DEV 2080 E	Infrastructure Systems Management⑩⑪⑫							Ozawa	D										ECO 3750 J	経済シミュレーション分析④	綿江	G			
8月14日	水				ECO 3700 J	計量経済学的应用と実践③④			後藤	E	DEV 2500 E	Nature Management and Infrastructure③④			Chibana	D				GLD 3200 J	国際経済法②	米谷	E				
8月15日	木	DEV 2080 E	Infrastructure Systems Management⑬⑭⑮							Ozawa	D																
8月16日	金	ネットワークメンテナンスのため、講義は実施しません。																									
8月17日	土																										
8月18日	日																										
8月19日	月							PAD 3120 J	まちづくり政策事例特論③④				辻田、高橋(正)	E							ECO 3750 J	経済シミュレーション分析⑤	綿江	G			
8月20日	火																										
8月21日	水				ECO 3700 J	計量経済学的应用と実践⑤⑥			後藤	E	DEV 2500 E	Nature Management and Infrastructure⑤⑥			Chibana	D				GLD 3200 J	国際経済法③	米谷	E				
8月22日	木																										
8月23日	金										DRM 2010 J	災害リスクマネジメント⑦(春後・夏)	片山、山口	D							ECO 3750 J	経済シミュレーション分析⑥	綿江	G			
8月24日	土	GOV 3500 J	経済社会統計の整備と課題:国際的整備の潮流と日本の対応①②③							西村、萩野	K																
		GLD 3220 J	情報と安全保障③④				道下	E																			
8月25日	日																										
8月26日	月							PAD 3120 J	まちづくり政策事例特論⑤⑥				辻田、高橋(正)	E							ECO 3750 J	経済シミュレーション分析⑦	綿江	G			
8月27日	火																										
8月28日	水				ECO 3700 J	計量経済学的应用と実践⑦⑧			後藤	E	DEV 2500 E	Nature Management and Infrastructure⑦⑧			Chibana	D				GLD 3200 J	国際経済法④	米谷	E				
8月29日	木																										
8月30日	金										DRM 2010 J	災害リスクマネジメント⑧(春後・夏)	片山、山口	D							ECO 3750 J	経済シミュレーション分析⑧	綿江	G			
8月31日	土	GOV 3500 J	経済社会統計の整備と課題:国際的整備の潮流と日本の対応④⑤⑥							西村、萩野	K																
		GLD 3220 J	情報と安全保障⑤⑥				道下	E																			
9月1日	日																										
9月2日	月							PAD 3120 J	まちづくり政策事例特論⑦⑧				辻田、高橋(正)	E							ECO 3750 J	経済シミュレーション分析⑨	綿江	G			

2024年度 修士課程 夏学期時間割 (2024年8月5日～2024年9月30日)

2024年3月6日現在																																	
月日	曜日	1限(9:00 ~ 10:30)				2限(10:40 ~ 12:10)				3限(13:20 ~ 14:50)				4限(15:00 ~ 16:30)				5限(16:40 ~ 18:10)				6限(18:20 ~ 19:50)				(19:30 ~ 21:00)							
		科目番号	科目	教員	講義室	科目番号	科目	教員	講義室	科目番号	科目	教員	講義室	科目番号	科目	教員	講義室	科目番号	科目	教員	講義室	科目番号	科目	教員	講義室								
9月3日	火									ECO 3760 J	費用便益分析の応用と実践①②				城所	F									GLD 3210 J	国際法と安全保障①	吉谷	E					
9月4日	水					ECO 3700 J	計量経済学の応用と実践③④				後藤	E	DEV 2500 E	Nature Management and Infrastructure⑤⑥				Chibana	D									GLD 3200 J	国際経済法⑤	米谷	E		
9月5日	木									ECO 3760 J	費用便益分析の応用と実践③④				城所	F													GLD 3210 J	国際法と安全保障②	吉谷	E	
9月6日	金													DRM 2010 J	災害リスクマネジメント⑦ (春後・夏)		片山、山口	D									ECO 3750 J	経済シミュレーション分析⑧	細江	G			
9月7日	土	GOV 3500 J	経済社会統計の整備と課題・国際的整備の潮流と日本の対応⑦⑧⑨							西村、萩野	K																						
		GLD 3220 J	情報と安全保障⑦⑧				蓮下	E																									
9月8日	日																																
9月9日	月									PAD 3120 J	まちづくり政策事例特論⑩⑪				住田、高橋 (正)	E									ECO 3750 J	経済シミュレーション分析⑩	細江	G					
9月10日	火									ECO 3760 J	費用便益分析の応用と実践⑤⑥				城所	F													GLD 3210 J	国際法と安全保障③	吉谷	E	
9月11日	水					ECO 3700 J	計量経済学の応用と実践⑩⑪				後藤	E	DEV 2500 E	Nature Management and Infrastructure⑩⑪				Chibana	D									GLD 3200 J	国際経済法⑥	米谷	E		
9月12日	木									ECO 3760 J	費用便益分析の応用と実践⑦⑧				城所	F													GLD 3210 J	国際法と安全保障④	吉谷	E	
9月13日	金													DRM 2010 J	災害リスクマネジメント⑦ (春後・夏)		片山、山口	D									ECO 3750 J	経済シミュレーション分析⑩	細江	G			
9月14日	土	GOV 3500 J	経済社会統計の整備と課題・国際的整備の潮流と日本の対応⑩⑪⑫							西村、萩野	K																						
		GLD 3220 J	情報と安全保障⑦⑧				蓮下	E																									
9月15日	日																																
9月16日	月																																
9月17日	火									ECO 3760 J	費用便益分析の応用と実践⑨⑩				城所	F													GLD 3210 J	国際法と安全保障⑤	吉谷	E	
9月18日	水					ECO 3700 J	計量経済学の応用と実践⑬⑭				後藤	E	DEV 2500 E	Nature Management and Infrastructure⑬⑭				Chibana	D									GLD 3200 J	国際経済法⑦	米谷	E		
9月19日	木									ECO 3760 J	費用便益分析の応用と実践⑪⑫				城所	F													GLD 3210 J	国際法と安全保障⑥	吉谷	E	
9月20日	金													DRM 2010 J	災害リスクマネジメント⑦ (春後・夏)		片山、山口	D									ECO 3750 J	経済シミュレーション分析⑪	細江	G			
9月21日	土	GOV 3500 J	経済社会統計の整備と課題・国際的整備の潮流と日本の対応⑬⑭⑮							西村、萩野	K																						
		GLD 3220 J	情報と安全保障⑨⑩				蓮下	E																									
9月22日	日																																
9月23日	月																																
9月24日	火									ECO 3760 J	費用便益分析の応用と実践⑬⑭				城所	F													GLD 3210 J	国際法と安全保障⑦	吉谷	E	
9月25日	水									ECO 3700 J	計量経済学の応用と実践⑮	後藤	E	DEV 2500 E	Nature Management and Infrastructure⑮		Chibana	D									GLD 3200 J	国際経済法⑧	米谷	E			
9月26日	木									ECO 3760 J	費用便益分析の応用と実践⑮	城所	F																	GLD 3210 J	国際法と安全保障⑧	吉谷	E
9月27日	金													DRM 2010 J	災害リスクマネジメント⑦ (春後・夏)		片山、山口	D									ECO 3750 J	経済シミュレーション分析⑪	細江	G			
9月28日	土	GLD 3220 J	情報と安全保障⑬⑭				蓮下	E																									
9月29日	日																																
9月30日	月									PAD 3120 J	まちづくり政策事例特論⑪⑫				住田、高橋 (正)	E									ECO 3750 J	経済シミュレーション分析⑪	細江	G					

※ PAD2720J 医療政策特論Ⅰは、夏学期に集中講義実施予定(詳細は教員より案内予定)。
※ ST1080J 科学技術イノベーション政策立案演習は、8月3日(土)、8月4日(日)、8月10日(土)に講義室Lで実施予定。
※ ST12290J デジタルトランスフォーメーション政策夏学期に集中講義実施予定(詳細は教員より案内予定)。
※ ST13140J 科学技術イノベーション政策特論Ⅴは、夏学期に集中講義実施予定(詳細は教員より案内予定)。
※ GLD3220J 情報と安全保障の15回目の日程は初回授業で通知。
※ 時間割が変更になる場合があります。

4. 修士課程

Master's Programs TIMETABLE (Summer: Aug.5 - Sep.30, 2024)

As of March 6, 2024

Course No.	Subjects	Professor	Time Schedule	Room
ECO3740E	Economic Modeling for Policy Simulations	Hosoe	Aug.5,9,13,19,23,26,30 (period 4,5) Sep. 2(period 5)	G
ECO3890E	Development Econometrics	Takahashi Kazushi	Tuesday, Thursday (period 3)	A
DEV2080E	Infrastructure Systems Management	Ozawa	Aug. 5,7,9,13 and 15 (period 1,2,3)	D
DEV2500E	Nature Management and Infrastructure	Chibana	Wednesday (period 4,5)	D

* This timetable is subject to change.

4

※G311C Diploma Communicationは火曜日（19:30～21:30）に原則開講される。この授業の実施日は講義としての外交アカデミーは実施しないので、両方履修することができる。ただし、G10学生のみが履修できる。

2024年度 修士課程 秋季課程 時間割 (2024年10月7日～2025年1月28日)

[illegible]

4. 修士課程

Master's Programs TIMETABLE (Fall Session I: Oct.7 - Dec.2, 2024)

As of March 6, 2024

1 (9:00-10:30)				2 (10:40-12:10)				3 (13:20-14:50)				4 (15:00-16:30)				5 (16:40-18:10)				6 (18:20-19:50)			
Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room
MON	PPP 5010 E																						
TUE	STI 2080 E	Comparative Analysis of Science, Technology and Innovation Policy: Asian Experiences	Itarakummed	E																			
WED	GOV 3220 E	Policies of Global Money and Finance	Chey	J																			
THU	ECO 3800 E	Contemporary Japanese Economy	Nakajima	F																			
FRI	ECO 1060 EA																						
SAT																							

* This timetable is subject to change.

Master's Programs TIMETABLE (Fall Session II: Dec.3, 2024 - Jan.28, 2025)												As of March 6, 2024			
1 (9:00-10:30)				2 (10:40-12:10)				3 (13:20-14:50)				4 (15:00-16:30)			
Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room
Practicum at the National Tax Agency (PF)															
MON	PFP 5010 E														
TUE	STI 2080 E	Comparative Analysis of Science, Technology and Innovation Policy: Asian Experiences	Itakurumied	E	ECO 1000 E	Monetary Economics (Money and Banking)	Fujimoto	M	ECO 2000 EB						
					STI 1000 E	Economics of Innovation	Itakurumied	E	ECO 6770 E						
					DEV 2020 E	Supply Chain Management for Infrastructure Planners	Inoue	D	ECO 1020 E						
					GOV 2310 E	Comparative Politics	Takenaka		ECO 6770 E						
					REG 2100 E	Local Government System and Finance	Takada	F							
						Selected Topics in Policy Studies: Innovation Policy for Business-Driven Innovation	Harada	J							
WED	ECO 6710 E														
THU	GOV 3220 E	Policies of Global Money and Finance	Chey	J	GOV 2240 EA	International Security Studies (YLP, MEP, PF, EPP, AP)	Yoshizaki	I	GOV 2210 E	International Political Economy	Chey	J	GOV 1400 E	International Relations in East Asia	Takagi
	STI 2210 E	Science, Technology and Innovation Policy in Developing Country Context	Izuka	C	ECO 2720 EB	Introduction to Applied Economics (MEP1, MEP2, PF, PA)	Izumi	L	ECO 2720 EA	Introduction to Applied Economics (YLP, MP1, MP2, EPP, AP, MSP)	Wie	M	PFP 2220 E	International Taxation of Japan	Matsuda
									PFP 5100 E	Practicum in Customs Administration I (PF)	Kondo	F			
	ECO 3600 E	Contemporary Japanese Economy	Nakajima	F	GOV 2100 E	Government & Politics in Japan	Masuyama	H	MOR 2050 E						
FRI	ECO 2090 EA	(YLP, MP1, MP2, PF, EPP, AP, MSP) (Session II)							ECO 6010 E						
	ECO 2090 EB	(MEP1, MEP2, PA) (Session II)													
	GEN 5010 E	The World and the SDGs	Kudo, et al.		ECO 2200 EA										
SAT															

* This timetable is subject to change.

4. 修士課程

2024年度 修士課程 冬学期時間割 (2025年2月3日～2025年3月31日)

2024年3月6日現在

科目番号	科目名	担当教員	学期	日程	講義室
GLD1050J	外交アカデミー I	粗 信仁	秋、冬	火木19:30～21:30	会議室 3C
GLD2510J	外交交渉論	鶴岡 公二	冬	月水19:30～21:00	E
GLD3910E	Diplomatic Communication	PETCHKO Katerina, et al.	秋、冬	火木19:30～21:30 ※外交アカデミーを 実施しない日	会議室 3C

* 時間割が変更になる場合があります。

As of March 6, 2024

1 (9:00-10:30)				2 (10:40-12:10)				3 (13:20-14:50)				4 (15:00-16:30)				5 (16:40-18:10)				6 (18:20-19:50)			
Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room				
MON	PFP 5010 E	Practicum at the National Tax Agency (PT)																					
	Selected Topics in Policy Studies(Economic Development based on ADB experiences)	Yoshino	J	ECO 2770 E	Applied Econometrics			Litschig	D	ECO 3720 E	Cost Benefit Analysis I							Kiddokoro	H				
								GOV 1900 E	Comparative Development Studies of Asia			Lim	C										
TUE	ECO 3840 EB	Development Economics (MP1, MP2, MEP, PF, EPP, MSP)			Kijima	F	ECO 2020 EB	Government and Market (MP1, MP2, PF, EPP, MSP)			Hatanaka	E	EPP 1010 E	East Asian Economies		Kudo	C	ECO 2020 EA	Government and Market (YLP, MEP1, MEP2, AIP)	Okamoto Ryosuke	C		
								ECO 1080 E	Essential Macroeconomics	Yokoyama	D												
WED	ECO 3100 E	Public Finance			Braun	F	ECO 3100 E	Economics of Tax			Yamazaki	H	EPP 1110 E	East Asian Economies		Kudo	C						
	Selected Topics in Policy Studies(Economic Development based on ADB experiences)	Yoshino	J						MOR 3050 E	Practice STATA		Tsuchiya	K										
THU		ECO 2780 E	Applied Econometrics Practice				Litschig	D	MOR 3080 E	Practice R		Tsuchiya	K	GEN 3000 E	International Development Policy		Ohno Izumi	E	ECO 2020 EA	Government and Market (YLP, MEP1, MEP2, AIP)	Okamoto Ryosuke	C	
	PFP 2500 E	Multilateral Trading System and Customs Administration	Kondo	F	ECO 3530 E	Resource and Energy Economics					Tanaka Makoto	E											
	ECO 1180 E	Essential Macroeconomics	Yokoyama	D																			
FRI																							
	ECO 3450 E	International Finance						Social Security System in Japan			Ono Taichi	G	PFP 5120 E	Practicum in Customs Administration II		Mastumoto Takashi	F						

* Intensive Course:

***This timetable is subject to change.**

博士課程の概要

基本理念

本学博士課程は、以下に掲げる人材の養成を基本理念とします。

- (1) 高度な研究能力を有する政策研究の研究者
- (2) 高度な実務的専門知識と学問的体系に沿った政策分析能力を有する実務家

教育目標

本学博士課程は、国際的スタンダードを満たす教育を通じて、

- (1) 高度な政策研究能力
- (2) 政策研究に必要な複数分野のディシプリン
- (3) 社会科学諸分野における論文作成能力を向上させます。

博士論文は、以下の基準を満たすものでなければなりません。

- (1) Policy-relevancy ないし policy implication を有するものであること。
- (2) それぞれの学術分野の研究動向や先行研究を踏まえ、かつ、オリジナリティーを示すものであること。

- (3) 特定政策に関する優れた分析に立脚するものであるか、鮮明な問題意識に立脚したレトロスペクティブな歴史的研究ないしはケーススタディーとして深い洞察を含むものであること。

上記基準を満たすためには、以下のいずれかを満たすことを必要要件とします。

- (1) 研究成果の一部が査読制を有する学術誌に掲載されたか、又は掲載が採択されていること。
- (2) 研究成果がすでに商業出版（出版助成等による出版を含む）されたか、あるいは予定されていること。
- (3) 上記(1)、(2)に相当すると認められる水準にあること。

設置プログラムの概要

本学博士課程には、GRIPS Global Governance Program (G-cube)、Policy Analysis、科学技術イノベーション政策、防災学、政策プロフェッショナルの5つのプログラムが設置されています。各プログラムの詳細については表1を参照してください。

博士課程の修了要件

履修指導

履修指導は、各学生が博士論文を完成させるために必要な科目全てを履修、修得することを目的として、それぞれの専門能力に応じて個別的、重点的にを行います。授業形式、指導方式は以下のとおりです。

- (1) 本学博士課程において提供される授業は、講義、演習、ゼミ形式等で行う。また、国際会議等における論文発表のための論文作成と発表演習、共同研究による論文作成と発表演習などを通じて行う場合もある。
- (2) 政策研究者を志向する者に対する指導は、概ね、各種ディシプリンに基づく学術的成果の発表、政策分析研究の成果発表等を目的として進められる。
- (3) 行政官キャリアを志向する者に対する指導は、概ね、特定政策に関する深い洞察力・歴史的検証に立脚したケーススタディーやレトロスペクティブスタディーを実施し、外部に対して発表することを目的として進める。

研究指導

本学博士課程における研究指導は、当該学生の研究課題と専門的能力、研究遂行能力に応じて、複数の指導教員によって構成される指導教員委員会(Advisory Committee)を通じて行います。指導教員委員会の構成は主指導教員1名、副指導教員1名以上3名以内とします。指導教員委員会は、当該学生の研究計画、これまでの科目履修状況等に応じて授業科目の履修についても指導します。授業科目の履修にあたっては、政策研究遂行上必要となる複数のディシプリン(主専攻・副専攻)を修得するものとします。

カリキュラム

プログラム別履修概要は表2に示すとおりです。博士論文提出資格試験(Qualifying Examination/以下QE)実施概要は表3に示すとおりです。

修了要件

本学博士課程においては、すべての学生は(1)履修要件を満たし、(2)QEに合格した上で、(3)論文の最終審査に合格することが要求されます(QEおよ

び博士論文審査の標準的な実施時期については表4および表5参照)。履修要件、QE、博士論文発表会、博士論文審査委員会の概要は以下のとおりです。

(1)原則として1年次終了前後に、表2に掲げたプログラム別履修概要の必要単位数を取得済みまたは取得が見込まれる場合、QEに臨むことができる。

(2)QEは筆記試験と口述試験で構成される(Policy Analysisプログラムでは、Basic QEとField QEが課される。詳細については表3および表4参照)。

博士論文執筆のために必要な基礎知識を筆記試験で確認し、研究能力と研究計画の妥当性について口述試験で確認する。

筆記試験は主指導教員による1科目、副指導教員または、主指導及び副指導教員により認定された指導教員以外の教員による2科目(政策プロフェッショナルプログラムで博士(政策研究)の学位を希望する場合は1科目)を任意の形式(in-class, take-home, open-note(book), closed-note(book))で行い、すべての科目で100点満点中60点以上を合格とする。

口述試験では学生による研究計画案をもとに質疑応答を行う。原則3名以上の審査委員全員の討議によって可否を決定する。筆記試験、口述試験に不合格の場合、6ヶ月以上の期間において、それぞれ2度目まで受験可能とする。筆記試験と口述試験の両試験に合格した場合に、QE合格とする。

(3)すべての博士課程学生は博士論文発表会において、研究成果を発表し、その正当性、妥当性、学術的貢献度を公表、立証しなければならない。通常45分の口頭発表の後、45分の質疑応答を行う。博士課程学生は、審査対象の博士論文を博士論文発表会の4週間前までに教育支援課プログラム運営担当に論文全文データを提出する。プログラム運営担当は学生からの提出物一式を博士論文審査委員会に提出する。

博士論文審査委員会

博士論文審査委員会は、指導教員委員会メンバー(主指導及び副指導教員)に加えて、外部審査委員1名、博士課程委員会委員長代理が加わり、合計4名または5名とします。審査は、発表会での質疑応答の状況を踏まえ、審査委員全員が評価基準5~1

5. 博士課程

の 5 段階のいずれかの評価を行い、評価の中央値が 5 となったものを合格とし、中央値が 1 となった場合に不合格とします。評価の中央値が 5 か 1 になるまで審査、評価、修正のプロセスを続けます。博士課程学生は、博士論文審査委員会の最終確認を受け

た後、全文データ最終稿を博士課程委員会及び研究教育評議会の 2 週間前までにプログラム運営担当に提出します。博士課程委員会及び研究教育評議会にて修了判定承認を受け、学位記が授与されます。

表1 博士課程プログラムの構成

前後期 区分	プログラム	受入 学生	フィールド (研究分野)	学位名	担当 ディレクター
5年 前期 ・ 後期 一貫 ／ 3年 後期	Policy Analysis 経済学の方法論を使い、日本および世界の 政策課題を理論的、実証的に研究・分析で きる者を育成する	日本人 留学生	経済	Ph.D. in Public Economics : 博士 (公共経済学) Ph.D. in Development Economics : 博士 (開発経済学) Ph.D. in International Economics : 博士 (国際経済学) Master of Arts in Public Economics : 修士 (公共経済学) Master of Arts in Development Economics : 修士 (開発経済学) Master of Arts in International Economics : 修士 (国際経済学)	Hsu
	GRIPS Global Governance Program (G-cube) 新しい世界秩序形成に参画する意思と能力 を併せ持つ国家・国際機関・産業界等の将 来のトップリーダーや、安全保障・外交政 策について高度な戦略性と専門性を持った 人材を養成する	日本人 留学生	政治、経済、 地域研究、 歴史、安全保 障・国際問題	Ph.D. in Advanced Policy Studies : 博士 (政策研究) Ph.D. in International Relations : 博士 (国際関係論) Ph.D. in International Development Studies : 博士 (国際開発研 究)	高橋
3年 後期	防災学 (Disaster Management) 水災害リスクマネジメント分野において国 及び国際的な戦略・政策の企画・実践を指 導し、研究者を育成できる人材を養成する	日本人 留学生	防災学	Ph.D. in Disaster Management : 博士 (防災学)	日比野
	科学技術イノベーション政策 (Science, Technology and Innovation Policy) 科学的なアプローチを用い、科学技術イノ ベーション政策の企画・立案、遂行、評価、 修正を行うことができる高度専門職業人と 高度な研究能力を有する研究者を育成する	日本人 留学生	科学技術イノベ ーション政策	Doctor of Policy Studies : 博士 (政策研究) Ph.D. in Public Policy : 博士 (公共政策分析)	林
	政策プロフェSSIONナル (Policy Professionals) 事例研究の蓄積を通じて、政策の現場と学 界の本質的な交流を促進し、高度な実務的 専門知識と政策分析能力を有する実務家を 養成する	日本人	事例研究	Doctor of Policy Studies : 博士 (政策研究) Ph.D. in Government : 博士 (政治・政策研究)	飯尾

表2 プログラム別履修概要

プログラム	フィールド (研究分野)	初年度 (QE 以前)	2 年目以降
Policy Analysis	経済	Basic QE 以前に、必修科目 6 科目 (12 単位) を履修する。Basic QE は、入学後 1 年以内 (5 年課程の学生においては 2 年以内) に合格しなければならぬ。Field QE を受けるには、Recommended Courses を 3 科目以上 (6 単位以上) 取得する必要がある。	必要に応じて経済系理論科目を履修し、Field QE に合格後、博士論文作成に努める。
GRIPS Global Governance Program (G-cube)	政治、経済、地域研究、歴史、安全保障、国際問題	カリキュラムに基づき 12 単位以上を履修し、研究計画を作成して QE を受験する。	チュートリアル、G-cube ワークショップを含めて必要単位を履修しつつ博士論文作成に努める。
防災学 (Disaster Management)	防災学	防災学に関する科目の中から 8 単位以上を履修する。	必要に応じて防災学に関する科目を中心に履修しつつ博士論文作成に努める。
科学技術イノベーション政策 (Science, Technology and Innovation Policy)	科学技術イノベーション政策	カリキュラムに基づき 10 単位以上 (科学技術イノベーション政策に関する学修歴がない場合は 16 単位以上を推奨) を履修するとともに、論文作成の骨格を準備する。	QE 終了後は、必要に応じて研究に必要な方法論などの知識を深め、論文指導セミナーに出席しながら博士論文作成に努める。
政策プロフェSSIONナル (Policy Professionals)	事例研究	政策プロフェSSIONナルカリキュラムに基づいて 10 単位以上 (これ以上を課す場合もある) を履修するとともに、論文作成の骨格を準備する。	必要に応じて政策プロフェSSIONナルカリキュラムに基づいて履修しつつ博士論文作成に努める。

表 3 博士論文提出資格試験 (QE) 実施概要

本学博士課程学生は、必要な科目を履修し、原則として 1 年次終了前後（※QE の標準的な実施時期については表 4 を参照）に必要な単位数を取得済みまたは取得が見込まれる場合、QE に臨むことができる。

QE は筆記試験と口述試験で構成される。Policy Analysis プログラムについては、Basic QE と Field QE で構成される。

プログラム	筆記試験 / Basic QE		口述試験 / Field QE	
	試験者 / 科目	実施方法	試験者	実施方法
Policy Analysis	主指導教員 / 以下の 3 科目 : -Microeconomics -Macroeconomics -Econometrics ※以下の科目を履修後、Basic QE の受験が可能 : -Advanced Microeconomics -Advanced Macroeconomics -Advanced Econometrics (それぞれのコースの I, II を履修)	1 日に 1 科目、 in-class, closed-book で筆記試験を行う	主指導教員及び副指導教員を 含む原則 3 名以上 Field QE の受験資格 : (a) Basic QE (全 3 科目) に 合格していること (b) Recommended Courses より 6 単位以上を取得し ていること (c) Graduate Seminar I を履 修済みであること (d) 主指導教員により承認さ れていること	学生の初期の研究結果の草稿 をもとに口頭発表を行い、質疑 応答を行う
GRIPS Global Governance Program (G-cube)	-主指導教員 / 1 科目 -副指導教員、または主・副指導教 員が適当と認定した教員 / 2 科目 計 3 科目	in-class / take-home のいずれか open / closed-book のいずれかを選択し、 筆記試験を行う	主指導教員及び副指導教員を 含む原則 3 名以上	学生の研究計画案をもとに口 頭発表を行い、質疑応答を行う
防災学 (Disaster Management)				
科学技術イノベーション政策 (Science, Technology and Innovation Policy)				
政策プロフェSSIONナル (Policy Professionals)	主指導教員 / 1 科目			

表 4 QE の標準的な実施時期

	PA		G-cube		科学技術イノベーション政策プログラム	防災学プログラム	政策プロフェッショナル
	3 年制	5 年制	3 年制	5 年制	3 年制	3 年制	3 年制
1 年目	-----Coursework-----						
	Basic QE	Basic QE	Written QE	Written QE			Written QE
2 年目			Oral QE	Oral QE	Written QE	Written QE	Oral QE
	Field QE				Oral QE	Oral QE	
3 年目							
	Defense	Field QE	Defense		Defense	Defense	Defense
4 年目							
5 年目		Defense		Defense			

表 5 博士論文審査の標準的な実施時期

	修了時期			
	3 月	6 月	9 月	12 月
博士論文審査委員の決定(→実施体制承認・博士課程委員会)	10 月第 3 または第 4 水曜日	1 月第 3 または第 4 水曜日	4 月第 3 または第 4 水曜日	7 月第 3 または第 4 水曜日
論文提出(→査読・審査実施の公表)	11 月	2 月	5 月	8 月
博士論文発表会・審査会	12 月	3 月	6 月	9 月
最終稿提出期限	下記博士課程委員会の 2 週間前			
審査結果の承認(博士課程委員会)	3 月第 1 水曜日	6 月第 3 または第 4 水曜日	9 月第 1 または第 3 水曜日	12 月第 2 または第 3 水曜日
審査結果の承認(研究教育評議会)・修了日	同上	同上	同上	同上

* 上記は評価が 4 以上の場合のスケジュール。評価がそれより低い場合にはこれよりも時間を要する。

* 博士課程委員会及び研究教育評議会は 8 月には実施していない。

* 実施時期は、年度により変更することがある。

博士課程プログラム

Policy Analysis Program(5年制・3年制)

(1) 目的

本プログラムでは、経済学の方法論を使い、日本および世界の政策課題を理論的、実証的に研究・分析できる者を育成します。

(2) プログラムの特色

- ① 学生は通常 10 月に入学し、標準修業年限は 5 年です。修士は 2 年で取得可能であり、既に経済学の修士を取得した上で本プログラムに入学する人は、最短 3 年で博士の学位を取得することも可能です。
- ② アドバンスドレベルのミクロ経済学、マクロ経済学、及び計量経済学を履修し、博士論文提出資格試験 (Qualifying Examination/以下 QE) に合格することによって、博士論文執筆に進むことができます。Policy Analysis Program については、Basic QE 及び Field QE が課されます。
- ③ 経済学の方法論の習得を必須とし、経済学の各論、および、政策分析の関連科目を履修することで、様々な政策課題に対応できる力を養います。
- ④ 政策分析に必要な経済学の方法論を習得することと並行して、講義・演習・研究会等の中で実際の政策立案や分析を行っている担当者や OB らと日常的に接することを通じて、問題意識の醸成とその解決策について考察する機会を提供します。
- ⑤ 入学者に対して必ずしも経済学に関する学位や予備知識を要求しませんが、経済学に関する知識と理解の程度に応じて、必修科目を履修する前にそれよりも基礎的な科目の履修を求めたり、あるいは、必修科目の一部の履修を免除するなど、学生の能力に応じた教育を行います。
- ⑥ 日本人だけでなく、外国人の学生も多く在籍するため、また博士号取得後直ちに国際的に通用する人材を輩出するため、すべての講義は英語で行われます。

(3) 専門分野 (取得可能な学位の種類)

プログラムにおいて以下の専門分野を設定し、それぞれにおいて MA 及び Ph. D. の学位を授与します。

Public Economics

Development Economics

International Economics

GRIPS Global Governance Program (G-cube) (3年制)

本プログラムは、新しい世界秩序、地域秩序の形成に参画する意思と能力を持ち、国家、国際機関、産業界などで指導的な役割を果たしうるトップリーダー(Leader of Leaders)の養成を目的としています。そのために、長期的かつ複眼的で幅広い視野からの確な判断をする能力と、歴史や教養に裏打ちされた大局観を培うよう、工夫されたカリキュラムを提供します。

まず、本プログラムでは、経済学、政治学、歴史、それぞれの分野の考え方の基本と主要な分析手法を習得する機会を提供します。その際、討論や学生が発表する機会を数多く設け、コミュニケーション能力の醸成を図ります。また、国家的な危機の対処に携わった人物、グローバルビジネスを展開する産業界のリーダー、世界共通の政策課題に取り組む国際機関のリーダーなどの体験談を聞き、大局観を身に着け、実践的に使えるように訓練します。講義、チュートリアル、論文指導、試験等はすべて英語で行います。

本プログラムは、ミッドキャリアの行政官のほか、さまざまな分野でグローバルな活躍を目指す、既に関連分野で修士号を持った学生を対象としています。

防災学プログラム(3年制)

近年、都市化や工業化の進展、気候変動などにより、水災害は世界中で増加・深刻化しており、激甚な被害が経済発展を著しく阻害しています。こうした災害に対する抵抗力を構築し持続的な開発を行うには、水災害リスクマネジメントの研究者や教育者、戦略・政策立案者の養成が求められています。政策研究大学院大学 (GRIPS) と土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM) は、国及び国際的な戦略・政策の企画・実践を指導し、研究者を育成することができる人材を養成することを目的とします。

本プログラムでは、すでに修士の学位を取得した者、もしくは同等の能力を有し、大学あるいは研究機関等での研究経験や水災害リスクマネジメント分野での実務経験を有する学生を受け入れます。本プログラムは英語で行われ、標準修業年限は3年です。

本プログラムには、東京大学との単位相互認定交換制度があります。また、ICHARM のリサーチ・アシスタント (ICHARM RA) として採用される可能性もあり、その場合には、ICHARM の研究補助業務に従事しながら、博士課程を修了することができます。これは、研究を行いながら ICHARM での実務を学び経験できる非常に良い機会になります。

科学技術イノベーション政策プログラム(3年制)

知識が経済・社会の発展に大きな影響を及ぼす知識基盤社会においては、科学技術イノベーション政策の役割は、科学知識の発展のためだけでなく、新産業創出や、雇用の確保、生活の質の向上、環境問題、さらには SDGs を含めた社会課題の解決のためにも急速に高まっています。また、デジタル化の時代において研究開発やイノベーションの方法論も変化し、その政策やマネジメントのあり方の理解も必要となっています。

こうした背景のもと、本プログラムでは、エビデンスベースのアプローチを用い、科学技術イノベーション政策の企画・立案、遂行、評価、修正を行うことができる人材の育成を目指します。特に、このような人材に求められる高度な政策研究能力と企画力、そのために必要となる複数のディシプリンの修得、社会科学諸分野における分析能力、高等教育での教授能力、高度の外国語能力を身につけた、行政官、実務者、研究者等を養成することを目指しています。

教授陣には、国内外の優れた科学技術イノベーション政策研究の専門家を揃え、さらにより実践的な研究教育を行うため、科学技術イノベーション政策を専門とし、第一線で活躍する実務家を講師として迎えています。また、優れた研究者や実務家を招いた研究会、講演会も開催します。

学位は、学術分野に確固たる理論的貢献をする論文を執筆した場合に授与する Ph.D. と事例研究・政策分析を軸として実務的貢献を重視した論文を執筆した場合に授与する Doctor の2種類を用

意し、志望者の希望や特性に応じた論文執筆指導を行います。

政策プロフェッショナルプログラム(3年制)

高度な実務的専門知識と政策分析能力を有する実務家を養成するという本学建学の理念に沿って、すでに政策に関わる職務経験を十分に積み、基礎的な政策分析能力をも備えた実務家などを対象に、事例研究を軸とした博士論文の執筆を主たる内容とする博士課程のプログラムが政策プロフェッショナルプログラムです。なお、本プログラムでは、プログラムの性格から、原則として Ph.D. とは違う学位である博士(政策研究) = Doctor of Policy Studies を授与していますが、入学前の修学経験や履修条件などを考慮して、場合によって、博士(政治・政策研究) = Ph.D. in Government を授与することがあります。

教育課程は、原則として入学後1年間で集中的に必要な講義・演習を履修するとともに、演習を通じて論文の骨格を作成し、2年目以降は、職場に戻って実務をこなしつつ、論文の完成を目指して研究を続け、入学後3年間で博士の学位を取得することを標準として設計されています(軽減された職務につきながら履修する場合、最初の集中的履修期間を2年にすることもできます)。

本プログラムは、それぞれがすでに持っている問題意識と経験を最大限に生かし、それに本学における学問分野のトレーニングを効率的に組み合わせることで、優れた事例研究を世に問うとともに、それを通じて高度な実務家としての能力に磨きを掛けることを目指しています。そのため、カリキュラムは、必要な学問分野における分析能力を身につける科目とともに、視野を広げるための科目や論文の書き方などの研究技術に関わる科目などを集中的に履修する仕組みとなっています。学問分野としては、政治・行政学を基盤としながら、経済学や国際関係論、法学、工学などさまざまな分野を総合的に応用することとします。

本プログラムは、原則として、すでに修士の学位を持つ政策に関わる実務家で、博士レベルの事例研究を遂行するに足る実務経験、あるいは研究能力を備えた者で、官公庁や報道機関、NPOなどに在籍し、10年以上の経験を有している者を対象とします。ただし、修士の学位を持たない場合や、経験年数が満たない場合にも、適性に応じて審査

の上で入学を認める場合があります。

本プログラムには、4月、8月、10月に入学が可能です。4月の入学を奨励し、転任などの都合で修学時期を確保するために必要なときなどに限って8月または10月の入学を認めています。入学時期のほか、出願者の入学前の準備状況・研究テ

ーマによって、能力にかかわらず入学がかなわない場合もありますので、受験希望者は、アドミッションズオフィスを通じて、早めにプログラム・ディレクターに事前相談を行うことをお勧めします。

5. 博士課程

Academic Year 2024-2029 Curriculum (1)-1 Policy Analysis (Five Year Ph.D. Course)

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Master's	Ph.D.
I Required Courses	ECO6000E	Advanced Microeconomics I	YAMAZAKI Akio	Fall (Session I)	2	16	8
	ECO6010E	Advanced Microeconomics II	YAMAZAKI Akio	Fall (Session II)	2		
	ECO6050E	Advanced Macroeconomics I	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session I)	2		
	ECO6060E	Advanced Macroeconomics II	FUJIMOTO Junichi	Fall (Session II)	2		
	ECO6700E	Advanced Econometrics I	LEON-GONZALEZ Roberto	Fall (Session I)	2		
	ECO6710E	Advanced Econometrics II	LITSCHIG Stephan	Fall (Session II)	2		
	ECO7010E	Graduate Seminar I	LITSCHIG Stephan, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro, GOTO Jun	Spring/Fall	4		
	ECO7020E	* Graduate Seminar II	LITSCHIG Stephan, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro, GOTO Jun	Spring/Fall	4		
	ECO7030E	* Graduate Seminar III	LITSCHIG Stephan, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro, GOTO Jun	Spring/Fall	4		
II Recommended Courses	ECO6020E	Advanced Microeconomics III	MUNRO Alistair	Spring (Session I)	2	30	38 (Including master's credits)
	ECO6030E	Advanced Microeconomics IV	TBA	Spring (Session II)	2		
	ECO6070E	Advanced Macroeconomics III	BRAUN Richard Anton	Spring (Session II)	2		
	ECO6080E	Advanced Macroeconomics IV	HSU Minchung	Spring (Session I)	2		
	ECO6720E	Advanced Econometrics III	TBA	TBA	2		
	ECO6730E	Advanced Econometrics IV	GOTO Jun	Spring (Session II)	2		
		See Auxiliary Table					
III Elective courses	ECO2720EB	Introduction to Applied Econometrics	IZUMI Yutaro	Fall	2	6	
	ECO3000E	Mathematics for Economic Analysis	MUNRO Alistair	Fall	2		
	ECO7040E	* Graduate Seminar IV	LITSCHIG Stephan, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro, GOTO Jun	Spring/Fall	4		
	ECO7050E	* Graduate Seminar V	LITSCHIG Stephan, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro, GOTO Jun	Spring/Fall	4		
		Courses not listed in this table (with Program Director's approval).					
X Others		** Courses offered by the Center for Professional Communication					
Notes: 1. Course requirements: For a Master's degree, students must complete a minimum of 30 credits, 16 of which must come from Category I, and 6 of which from Category II. For the Ph.D. degree, students must complete a minimum of 38 credits in total. Students must complete a minimum of 24 credits from Category I and 6 credits from Category II. 2. If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course will count toward the degree. 3. The courses marked with * can be registered only by those who passed at least one of the subjects of the Basic QE (Microeconomics, Macroeconomics, and/or Econometrics). 4. A student who has passed the Basic QE is required to attend the Policy Analysis Research Workshop and make at least two presentations prior to submitting the Ph.D. dissertation. 5. Students are required to submit a policy paper as a requirement for the Master's degree. In the PA program, this is done in Graduate Seminar I. 6. Students who do not have any sufficient backgrounds in intermediate level microeconomics, macroeconomics, and econometrics should take Microeconomics I, II, Macroeconomics I, II, and Introduction to Applied Econometrics. 7. ** Credits earned in these courses cannot count toward the degree. 8. The degree title shall be 'Ph.D. in International Economics', 'Ph.D. in Development Economics' or 'Ph.D. in Public Economics' determined according to the electives taken by the student, the content of the dissertation and the advice of the Program Director. 9. Courses offered in the Program are subject to change.							

Academic Year 2024-2027 Curriculum
(1)-2 Policy Analysis (Three Year Ph.D. Course)

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Ph.D.
I Required Courses	ECO6000E	* Advanced Microeconomics I	YAMAZAKI Akio	Fall (Session I)	2	24 34
	ECO6010E	* Advanced Microeconomics II	YAMAZAKI Akio	Fall (Session II)	2	
	ECO6050E	* Advanced Macroeconomics I	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session I)	2	
	ECO6060E	* Advanced Macroeconomics II	FUJIMOTO Junichi	Fall (Session II)	2	
	ECO6700E	* Advanced Econometrics I	LEON-GONZALEZ Roberto	Fall (Session I)	2	
	ECO6710E	* Advanced Econometrics II	LITSCHIG Stephan	Fall (Session II)	2	
	ECO7010E	Graduate Seminar I	LITSCHIG Stephan, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro, GOTO Jun	Spring/Fall	4	
	ECO7020E	** Graduate Seminar II	LITSCHIG Stephan, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro, GOTO Jun	Spring/Fall	4	
	ECO7030E	** Graduate Seminar III	LITSCHIG Stephan, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro, GOTO Jun	Spring/Fall	4	
II Recommended Courses	ECO6020E	* Advanced Microeconomics III	MUNRO Alistair	Spring (Session I)	2	6
	ECO6030E	* Advanced Microeconomics IV	TBA	Spring (Session II)	2	
	ECO6070E	* Advanced Macroeconomics III	BRAUN Richard Anton	Spring (Session II)	2	
	ECO6080E	* Advanced Macroeconomics IV	HSU Minchung	Spring (Session I)	2	
	ECO6720E	* Advanced Econometrics III	TBA	TBA	2	
	ECO6730E	* Advanced Econometrics IV	GOTO Jun	Spring (Session II)	2	
		See Auxiliary Table				
III Elective Courses		Courses not listed in this table (with Program Director's approval).				
X Others		*** Courses offered by the Center for Professional Communication				

Notes:

1. This table applies to those who commenced from a GRIPS master's program with a Master's degree (internal students hereafter), and to those with equivalent ability to internal students.
2. Course requirements: For the Ph.D. degree, students must complete a minimum of 34 credits, 24 of which must come from Category I and 6 from Category II.
3. Internal Students may claim up to 10 credits to be transferred to the courses marked with *. With the permission of the Program Director, students who have taken all the required 6 Advanced courses as GRIPS Masters students may substitute one other ECO course.
4. The courses marked with ** can be registered only by those who passed at least one of the subjects of the Basic QE (Microeconomics, Macroeconomics and/or Econometrics).
5. A student who has passed the Basic QE is required to attend the Policy Analysis Research Workshop and make at least two presentations prior to submitting the Ph.D. dissertation.
6. If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course will count toward the degree.
7. *** Credits earned in these courses cannot count toward the degree.
8. The degree title shall be 'Ph.D. in International Economics', 'Ph.D. in Development Economics' or 'Ph.D. in Public Economics' determined according to the electives taken by the student, the content of the dissertation and the advice of the Program Director.
9. Courses offered in the Program are subject to change.

[AuxiliaryTable] Policy Analysis Program

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit
II Recommended Courses	ECO2020EA	Government and Market	OKAMOTO Ryosuke	Winter	2
	ECO2610E	Finance and Economic Growth	TBA	TBA	2
	ECO2770E	Applied Econometrics	LITSCHIG Stephan	Winter	2
	ECO2780E	Applied Econometrics Practice	LITSCHIG Stephan	Winter	2
	ECO2790E	Data Science for Public Policy	GOTO Jun	Spring	2
	ECO3104E	Political Economy	IZUMI Yutaro	Spring	2
	ECO3130E	Economics of Tax Policy	YAMAZAKI Akio	Winter	2
	ECO3210E	Competition and Regulatory Economics	TANAKA Makoto	Spring	2
	ECO3400E	International Trade	HSU Minchung	Spring (Session I)	2
	ECO3490E	International Economic Policy Analysis	KAWASAKI Kenichi	Spring	2
	ECO3510E	Environmental Economics	MUNRO Alistair	Spring	2
	ECO3530E	Resource and Energy Economics	TANAKA Makoto	Winter	2
	ECO3710E	Time Series Analysis	TBA	TBA	2
	ECO3720E	Cost Benefit Analysis I	KIDOKORO Yukihiro	Winter	2
	ECO3740E	Economic Modeling for Policy Simulations	HOSOE Nobuhiro	Summer	2
	ECO3840EB	Development Economics	KIJIMA Yoko	Winter	2
	ECO3870E	Agricultural Development	KIJIMA Yoko	Spring (Session I)	2
	ECO3890E	Development Econometrics	TAKAHASHI Kazushi	Summer	2
	ECO3920E	Economic History and Institutions	IZUMI Yutaro	Spring	2
	ECO5910E	Guided Self-Study I	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2
	ECO5920E	Guided Self-Study II	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2
	ECO6770E	Computer Programming for Economics	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session II)	2
	ECO6810E	Advanced Development Economics	YAMAUCHI Chikako	Spring	2
	ECO6820E	Economics of Health and Education	YAMAUCHI Chikako	Fall (Session I)	2
	ECO9010E	Advanced Research Methods in Macroeconomics	BRAUN Richard Anton	Spring(session II) through Fall	2
Notes:					
Students need the approval of the program director and the supervisor (if assigned) to register in these courses.					

Academic Year 2024-2027 Curriculum

(2) GRIPS Global Governance Program (G-cube) (Three Year Ph.D. Course)

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Ph.D.
I Required Courses	GGG5040EA	Dissertation Proposal Seminar	TAKAHASHI Kazushi	Fall through Winter	1	4
	GGG6000E	Executive Seminar	TAKAHASHI Kazushi	Summer	1	
	GGG6050E	G-cube Workshop	IWAMA Yoko, KIJIMA Yoko, TAKAGI Yusuke	Fall/Winter/Spring/Summer	2	
II Recommended Courses		See Auxiliary Table				18
	GGG5110E	* Tutorial I	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2	
	GGG5120E	* Tutorial II	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2	
	GGG5130E	* Tutorial III	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2	
III Elective Courses		Courses not listed in this table (with the advisory committee's approval)				22
X Others		** Courses offered by the Center for Professional Communication				

Notes:

- Students are required to complete a minimum of 22 credits. Of these credits, 4 credits must come from Category I and 14 credits from Category II. The remaining 4 credits may be taken from Category II or III.
- Students are required to pass the qualifying exam (QE) consisting of three written exams and an oral exam.
- To take the QE, students in GGS and IDS Concentration are required to complete Dissertation Proposal Seminar (GGG5040EA) and 10 credits from Category II including 2 credits of Tutorial (GGG5110E or GGG5120E). Students in SIS Concentration are required to complete Dissertation Proposal Seminar (GGG5040EA) and 10 credits from Category II including 4 credits from Group A in Auxiliary Table.
- Students can take G-cube Workshop (GGG6050E) and Tutorial III (GGG5130E) for credit only after passing the QE.
- * Tutorials are small-sized classes with two to five students. Tutorials count toward the degree only if they satisfy the rules specified by the G-cube Tutorial Guideline.
- ** Credits earned in these courses cannot count toward the degree.
- Courses offered in the Program are subject to change.

[AuxiliaryTable] GRIPS Global Governance Studies Concentration

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Ph.D.
II Recommended Courses	GOV3280E	Analysis of Great Power Politics	IWAMA Yoko, et al.	Spring	2	8
	GOV6300E	State and Governance	TAKAGI Yusuke	Spring	2	
	GOV6460E	Advanced International Relations in East Asia	TAKAGI Yusuke	Fall	2	
	GOV6461E	The Making of Modern Japan (Advanced)	PRESSELLO Andrea	Fall	2	
	GOV6901E	Advanced Comparative Development Studies of Asia	LIM Guanie	Winter	2	
	GOV7231E	Politics and Diplomacy in Postwar Japan	PRESSELLO Andrea	Spring	2	
	GOV7241E	Advanced International Security Studies	MICHISHITA Narushige	Fall	2	
	GOV7311E	Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2	
	GOV7461E	State and Politics in Southeast Asia (Advanced)	LIM Guanie	Spring (Session I)	2	2
	GOV8311E	Advanced Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veerayooth	Spring	2	
	GOV8401E	Advanced International Relations in Europe	IWAMA Yoko	Spring	2	
	GEN8001E	International Development Policy	OHNO Izumi	Winter	2	
	ECO2720EA	* Introduction to Applied Econometrics	WIE Dainn	Fall	2	
	ECO2720EB	* Introduction to Applied Econometrics	IZUMI Yutaro	Fall	2	
	ECO2770E	Applied Econometrics	LITSCHIG Stephan	Winter	2	
	ECO2780E	Applied Econometrics Practice	LITSCHIG Stephan	Winter	2	
	ECO2790E	Data Science for Public Policy	GOTO Jun	Spring	2	
	ECO3490E	International Economic Policy Analysis	KAWASAKI Kenichi	Spring	2	
	ECO3530E	Resource and Energy Economics	TANAKA Makoto	Winter	2	
	ECO3620E	Fiscal and Monetary Policy in a Changing World	KURODA Haruhiko	Spring	2	
	ECO3810E	Economic Development of Japan	HASHINO Tomoko, MATSUNAGA Masaei	Fall	2	
	ECO3840EB	Development Economics	KIJIMA Yoko	Winter	2	
	ECO3860E	Development History of Asia: Policy, Market and Technology	NAKAO Takehiko	Spring	2	
	ECO3870E	Agricultural Development	KIJIMA Yoko	Spring (Session I)	2	
	ECO3890E	Development Econometrics	TAKAHASHI Kazushi	Summer	2	
	ECO3920E	Economic History and Institutions	IZUMI Yutaro	Spring	2	
	ECO6090E	Theoretical Foundation of Economic Policy	TAKAHASHI Kazushi	Fall	2	
	ECO6810E	Advanced Development Economics	YAMAUCHI Chikako	Spring	2	
	ECO6820E	Economics of Health and Education	YAMAUCHI Chikako	Fall (Session I)	2	
	ECO7881E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	Fall	2	

Notes:

The students in the GGS Concentration need to earn at least 8 credits from GOV courses and 2 credits from ECO or GEN courses listed under Category II.
 *The students are not allowed to take both ECO2720EA and ECO2720EB for credit.

[AuxiliaryTable] GRIPS International Development Studies Concentration

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Ph.D.
II Recommended Courses	GOV3280E	Analysis of Great Power Politics	IWAMA Yoko, et al.	Spring	2	2
	GOV6300E	State and Governance	TAKAGI Yusuke	Spring	2	
	GOV6460E	Advanced International Relations in East Asia	TAKAGI Yusuke	Fall	2	
	GOV6461E	The Making of Modern Japan (Advanced)	PRESSELLO Andrea	Fall	2	
	GOV6901E	Advanced Comparative Development Studies of Asia	LIM Guanie	Winter	2	
	GOV7231E	Politics and Diplomacy in Postwar Japan	PRESSELLO Andrea	Spring	2	
	GOV7241E	Advanced International Security Studies	MICHISHITA Narushige	Fall	2	
	GOV7311E	Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2	
	GOV7461E	State and Politics in Southeast Asia (Advanced)	LIM Guanie	Spring (Session I)	2	
	GOV8311E	Advanced Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veerayooth	Spring	2	
	GOV8401E	Advanced International Relations in Europe	IWAMA Yoko	Spring	2	
	GEN8001E	International Development Policy	OHNO Izumi	Winter	2	
	ECO2720EA	* Introduction to Applied Econometrics	WIE Dainn	Fall	2	8
	ECO2720EB	* Introduction to Applied Econometrics	IZUMI Yutaro	Fall	2	
	ECO2770E	Applied Econometrics	LITSCHIG Stephan	Winter	2	
	ECO2780E	Applied Econometrics Practice	LITSCHIG Stephan	Winter	2	
	ECO2790E	Data Science for Public Policy	GOTO Jun	Spring	2	
	ECO3490E	International Economic Policy Analysis	KAWASAKI Kenichi	Spring	2	
	ECO3530E	Resource and Energy Economics	TANAKA Makoto	Winter	2	
	ECO3620E	Fiscal and Monetary Policy in a Changing World	KURODA Haruhiko	Spring	2	
	ECO3810E	Economic Development of Japan	HASHINO Tomoko, MATSUNAGA Masaei	Fall	2	
	ECO3840EB	Development Economics	KIJIMA Yoko	Winter	2	
	ECO3860E	Development History of Asia: Policy, Market and Technology	NAKAO Takehiko	Spring	2	
	ECO3870E	Agricultural Development	KIJIMA Yoko	Spring (Session I)	2	
	ECO3890E	Development Econometrics	TAKAHASHI Kazushi	Summer	2	
	ECO3920E	Economic History and Institutions	IZUMI Yutaro	Spring	2	
	ECO6090E	Theoretical Foundation of Economic Policy	TAKAHASHI Kazushi	Fall	2	
	ECO6810E	Advanced Development Economics	YAMAUCHI Chikako	Spring	2	
	ECO6820E	Economics of Health and Education	YAMAUCHI Chikako	Fall (Session I)	2	
	ECO7881E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	Fall	2	

Notes:

The students in the IDS Concentration need to earn at least 8 credits from ECO courses and 2 credits from GOV or GEN courses listed in Category II.
 *The students are not allowed to take both ECO2720EA and ECO2720EB for credit.

[AuxiliaryTable] GRIPS Security and International Studies Concentration

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Ph.D.
II Recommended Courses	Group A	GOV6210E	International Political Economy Workshop	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2
		GOV7201EA	* Advanced International Relations	TBA	TBA	2
		GOV7201EB	* Advanced International Relations	BRUMMER Matthew	Fall	2
		GOV7241E	** Advanced International Security Studies	MICHISHITA Narushige	Fall	2
		GOV7311E	Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2
	Group B	GOV3280E	Analysis of Great Power Politics	IWAMA Yoko, et al.	Spring	2
		GOV6220E	Strategic Studies Research Seminar	MICHISHITA Narushige	Spring	2
		GOV6300E	State and Governance	TAKAGI Yusuke	Spring	2
		GOV6460E	Advanced International Relations in East Asia	TAKAGI Yusuke	Fall	2
		GOV6461E	The Making of Modern Japan (Advanced)	PRESSELLO Andrea	Fall	2
		GOV7231E	Politics and Diplomacy in Postwar Japan	PRESSELLO Andrea	Spring	2
		GOV7461E	State and Politics in Southeast Asia (Advanced)	LIM Guanle	Spring (Session I)	2
		GOV8221E	Politics of Global Money and Finance (Advanced)	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2
		GOV8311E	Advanced Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veeravooth	Spring	2
		GOV8401E	Advanced International Relations in Europe	IWAMA Yoko	Spring	2
		GEN8001E	International Development Policy	OHNO Izumi	Winter	2
		ECO3530E	Resource and Energy Economics	TANAKA Makoto	Winter	2
		ECO3620E	Fiscal and Monetary Policy in a Changing World	KURODA Haruhiko	Spring(Session II)	2
		ECO3840EB	Development Economics	KIJIMA Yoko	Winter	2
		ECO3810E	Economic Development of Japan	HASHINO Tomoko, MATSUNAGA Masaei	Fall	2
		ECO3860E	Development History of Asia: Policy, Market and Technology	NAKAO Takehiko	Spring	2
		ECO3870E	Agricultural Development	KIJIMA Yoko	Spring (Session I)	2
		ECO3890E	Development Econometrics	TAKAHASHI Kazushi	Summer	2
		ECO3920E	Economic History and Institutions	IZUMI Yutaro	Spring	2
		ECO6810E	Advanced Development Economics	YAMAUCHI Chikako	Spring	2
		ECO7881E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	Fall	2

Notes:

The students in the SIS Concentration need to earn at least 4 credits from Groups A and 6 credits from Group B.

*The students are not allowed to take both GOV7201EA and GOV7201EB for credit. Those who have taken "GOV2200EA or EB International Relations" at the Master's level cannot take "Advanced International Relations" with the same instructor.

**Those who have taken "GOV2240E International Security Studies" at the Master's level are not allowed to take this course for credit.

Academic Year 2023-2026 Curriculum

(3) Disaster Management

3) Disaster Management						
Category	Course No.	Course Title	Instructor	Term	Credit	
III Electives Courses	DEV2020E	Supply Chain Management for Infrastructure Planners	INOUE Satoshi	Fall	2	8
	DMP2800E	Hydrology	MIYAMOTO Mamoru, KOIKE Toshio	Fall through Winter	2	
	DMP2810E	Hydraulics	HARADA Daisuke, EGASHIRA Shinji	Fall through Winter	2	
	DMP7001E	Advanced Disaster Management Policies A: from Regional and Infrastructure Aspect	HIBINO Naohiko	Fall	2	
	DMP7011E	Advanced Disaster Management Policies B: from Urban and Community Aspect	KATAYAMA Koji	Fall	2	
	DEV7501E	Nature Management and Infrastructure (Advanced)	CHIBANA Takeyoshi	Summer	2	
	DMP7821E	Advanced Integrated Flood Management	TAKEUCHI Kuniyoshi	Fall through Winter	2	
	DMP7871E	Advanced Urban Flood Management and Flood Hazard Mapping	TANAKA Shigenobu	Fall through Winter	2	
	DMP7901E	Socio-economic and Environmental Aspects of Advanced Sustainability-oriented Flood Management	OHARA Miho, SUMI Tetsuya	Fall through Winter	2	
	DMP8811E	Advanced Flood Hydraulics and River Channel Design	FUKUOKA Shoji	Fall through Winter	2	
	DMP8821E	Advanced Mechanics of Sediment Transportation and Channel Changes	EGASHIRA Shinji	Fall through Winter	2	
	DMP8830E	Advanced Hydrometeorology	KOIKE Toshio RASMY Mohamed USHIYAMA Tomoki	Spring	2	
	DMP8840E	Advanced Hydrodynamics	YOROZUYA Atsuhiko	Spring	2	
	DMP8850E	International Policies on Water and Disasters	HIROKI Kenzo	Fall	2	
		Courses not listed in this table (with the program director's approval)				
Notes						
1. Course requirements: For Ph.Ds., students must complete a minimum of 8* credits from category III, pass the Qualifying Examination (QE), and pass the final thesis evaluation. * In addition, if a student is advised to take disaster management courses by supervising committee, he or she will be required to take these for up to 4 credits from category III.						
2. The written component of the QEs will be conducted for one course given by the supervisor, and two or three courses given by the advisors.						
3. After starting dissertation work, students are required to report on research that they are planning or working on, at Preliminary Presentations(Ph.D. Candidate Seminars).						
4. Courses offered in the Program are subject to change.						

5. 博士課程

Academic Year 2024-2027

(4) Science, Technology and Innovation Policy

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Requirement
I Required Courses	ST18011E	Research Seminar I	Various	Fall through Winter/Spring through Summer	1	4
	ST18021E	Research Seminar II	Various	Fall through Winter/Spring through Summer	1	
	ST18031E	Research Seminar III	Various	Fall through Winter/Spring through Summer	1	
	ST18041E	Research Seminar IV	Various	Fall through Winter/Spring through Summer	1	
II Recommended Courses	EC07721EA	Introduction to Applied Econometrics (Advanced)	WIE Dainn	Fall	2	6
	EC07881E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	Fall	2	
	EC08841EA	Development Economics (Advanced)	YAMAUCHI Chikako	Spring	2	
	MOR7011E	Quantitative Data Analysis	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Fall	2	
	MOR1100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 I	TSUCHIYA Takashi, TAKENOUCHI Takashi	Spring	2	
	MOR2100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 II	TSUCHIYA Takashi, TAKENOUCHI Takashi	Fall	2	
	DMP8850E	International Policies on Water and Disasters	HIROKI Kenzo	Fall	2	
	GOV7201EB	Advanced International Relations	BRUMMER Matthew	Fall	2	
	ST16001E	Economics of Innovation	INTARAKUMNERD Patarapong	Fall	2	
	ST16011J	科学技術政策過程論	SUNAMI Atsushi	Biyearly Spring	2	
	ST16061J	科学技術イノベーション政策概論	HAYASHI Takayuki, SUMIKURA Koichi, SUZUKI Jun, NEI Hisanori, IIZUKA Michiko, SUNAMI Atsushi, ARIMOTO Tateo	Spring (Session II)	2	
	ST16071J	公的機関からのイノベーション創出	SUMIKURA Koichi, HAYASHI Takayuki, IIZUKA Michiko	Spring (Session II)	2	
	ST16081J	科学技術イノベーション政策立案演習	HAYASHI Takayuki, SHICHIO Naohiro	Summer	2	
	ST16091E	Politics of Innovation	BRUMMER Matthew	Biyearly Spring	2	
	ST16101J	イノベーションと経済学	SUZUKI Jun	Spring (Session I)	2	
	ST16111J	科学技術イノベーション政策のためのミクロ経済学	NAGANE Hiromi	Fall(session II)	2	
	ST17031E	Bibliometrics and Applications	HAYASHI Takayuki	Biyearly Spring	2	
	ST17031J	ビブリオメトリクスとその応用	HAYASHI Takayuki	Biyearly Spring	2	
	ST17061E	Policy for Higher Education and University-Industry Cooperation	SUMIKURA Koichi	Fall	2	
	ST17061J	高等教育・産学連携政策	SUMIKURA Koichi	Biyearly Spring	2	
	ST17071J	科学技術外交論	HIROKI Kenzo, SUNAMI Atsushi	Fall(session II)	2	
	ST17081E	Comparative Analysis of Science, Technology and Innovation Policy: Asian Experiences	INTARAKUMNERD Patarapong	Fall	2	
	ST17151E	Comparative Paths of Science, Technology and Innovation Policy	UEYAMA Takahiro	TBA	2	
	ST17151J	科学技術イノベーション政策の史的比較	UEYAMA Takahiro	TBA	2	
	ST17161E	Outline of Energy Policy	TAKAHASHI Kazuaki	Fall(Session I)	2	
	ST17171E	Energy and Environmental Science&Technology	NEI Hisanori, SHIBATA Yoshiaki	Spring	2	
	ST17180E	Advanced Energy Policy	NEI Hisanori, SAKAMOTO Toshiyuki	Spring (Session II)	2	
	ST17191E	Roles of Intellectual Property Rights in Globalized World	SUMIKURA Koichi, ESCOFFIER Luca	Biyearly Spring	2	
	ST17201J	科学技術とアントレプレナーシップ	SUMIKURA Koichi, MAKI Kanetaka	Spring	2	
	ST17211E	Science, Technology and Innovation Policy in Developing Country Context	IIZUKA Michiko	Fall	2	
	ST17221J	科学技術イノベーション政策と評価 (Evaluation of Science, Technology and Innovation Policy)	HAYASHI Takayuki	Fall	2	
	ST17231E	Energy Data Analysis	TBA	Fall (Session II)	2	
	ST17241E	History of Japanese Science, Technology and Innovation Policy	ARIMOTO Tateo	Fall	2	
	ST17251J	計量分析演習	SUZUKI Jun	Fall (Session I)	2	
	ST17261J	科学技術行政システムと指標	HAYASHI Takayuki, IIZUKA Michiko, IJICHI Tomohiro	Spring (Session I)	2	
	ST17271J	知的財産マネジメント I	SUMIKURA Koichi	Spring	2	
	ST17281J	知的財産マネジメント II	SUMIKURA Koichi	Fall	2	
	ST17291J	デジタルトランスフォーメーション政策	IIZUKA Michiko, HAYASHI Takayuki	Summer	1	
	ST17291E	Digital Transformation Policy	TBA	TBA	1	
	ST18051E	Energy Security	NEI Hisanori, KUTANI Ichiro	Spring	2	
	ST18061E	Energy Policy in Japan	NEI Hisanori	Spring	2	
	ST18071E	Research Seminar V	Various	Fall through Winter/Spring through Summer	1	
	ST18081E	Research Seminar VI	Various	Fall through Winter/Spring through Summer	1	
	ST18101J	科学技術イノベーション政策特論 I	TBA	TBA	2	
	ST18111J	科学技術イノベーション政策特論 II	TBA	TBA	2	
	ST18121J	科学技術イノベーション政策特論 III	TBA	TBA	2	
	ST18131J	科学技術イノベーション政策特論 IV	TBA	TBA	2	
	ST18141J	科学技術イノベーション政策特論 V	SUMIKURA Koichi	Biyearly Summer	1	
	ST18151J	科学技術イノベーション政策特論 VI	TBA	Biyearly Summer	1	
	ST18161J	科学技術イノベーション政策特論 VII	UEYAMA Takahiro	Fall (Session I)	1	
	ST18171J	科学技術イノベーション政策特論 VIII	TBA	TBA	1	
	ST18200E	Advanced Topics I	TBA	TBA	1	
III Elective Courses		Courses not listed in this table (with Program Director's approval)				
X Others		Courses offered by the Center for Professional Communication				

Notes:

1. Course Requirements

Students must fulfill the requirements shown below and pass an oral dissertation defense.

- a) Category I: 4 credits
- b) Category II: at least 6 credits
- c) Category II - III: at least 4 credits

Students are expected to take OE after earning at least 2 credits from Category I, at least 6 credits from Category II and 2 credits from Category II & Category III (total 10 credits).

If students neither have completed a master degree program relating to the science, technology and innovation policy nor do have sufficient knowledge in this field, it is strongly recommended in this program that they acquire approximately 16 credits before taking OE and totally 20 credits until their completion.

2. If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course will count toward the degree.

3. * Credits earned in these courses cannot count toward the degree.

4. Courses offered in the Program are subject to change.

5. In addition to the above, students can take "科学技術社会論概説", "地域サステナビリティ" and "東アジア地域の科学技術イノベーション政策" which are the courses offered by Kyushu University, as courses required for completion (Category II Recommended Courses), following prescribed procedures. The names of courses offered at Kyushu University are subject to change.

Academic Year 2024-2027 Curriculum
(5) Policy Professionals 政策プロフェッショナルプログラム

区分	科目番号	科目名	担当教員	学期	単位	
II 選択必修科目	GOV6100J	政策過程論特別演習 (Special Seminar for Policy Process)	IIO Jun	Spring	2	4
	GOV6910J	事例研究方法論 (Scope and Methods of Case Studies)	IIO Jun	Summer/Winter	2	
	GOV6920J	社会科学方法論＝質的分析 (Social Science Methodology for Qualitative Analysis)	IIO Jun	Fall	2	
	GOV6930J	社会科学方法論＝量的分析 (Social Science Methodology for Quantitative Analysis)	MASUYAMA Mikitaka	Spring	2	
III 選択科目	GOV6110J	日本政治研究特別演習 (Special Seminar for Japanese Politics)	TAKENAKA Harukata	Fall	2	10
	GOV6460E	Advanced International Relations in East Asia	TAKAGI Yusuke	Fall	2	
	GOV6520J	行政学特別演習 (Special Seminar for Public Administration)	TBA	TBA	2	
	GOV7101J	政策過程論 (Policy Process)	IIO Jun	Spring	2	
	GOV7201EB	Advanced International Relations	BRUMMER Matthew	Fall	2	
	GOV7231E	Politics and Diplomacy in Postwar Japan	PRESSELLO Andrea	Spring	2	
	GOV7241E	Advanced International Security Studies	MICHISHITA Narushige	Fall	2	
	GOV7311E	Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2	
	GOV8221E	Politics of Global Money and Finance (Advanced)	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2	
	GOV8311E	Advanced Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veerayooth	Spring	2	
	GOV8401E	Advanced International Relations in Europe	IWAMA Yoko	Spring	2	
	MOR6300E/J	Mathematical Modeling Analysis / 数理モデル分析	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Spring	2	
	MOR7011E	Quantitative Data Analysis	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Fall	2	
	STI6061J	科学技術イノベーション政策概論	HAYASHI Takayuki, SUMIKURA Koichi, SUZUKI Jun, NEI Hisanori, IIZUKA Michiko, SUNAMI Atsushi, ARIMOTO Tateo	Spring (Session II)	2	
	本学で開講されている科目のうち、政策プロフェッショナルプログラム委員会が定めた科目 (Courses not listed in this table, admitted by the Program Committeee.)					
X その他		プロフェッショナル・コミュニケーションセンター開講科目				
備考						
1 修了要件						
政策事例研究演習 (Seminar for Policy Case Studies)(通年)を受講し、						
次の①および②に示す要件を満たし、Qualifying Examination (QE)に合格した上で、最終論文試験に合格すること。						
① 区分 II 4単位以上						
② 区分 II・III 10単位以上						
なお、入学の際に、プログラム・コミッティーが、上記単位数以上の履修を要求したときには、それに従うこと。						
2. 授業科目は、年度途中で追加開設・変更される場合がある。						
3 授業内容が同様である日本語の授業科目と英語の授業科目の両方を履修した場合は、いずれか一方の単位を修了に必要な単位としてカウントする。						
4 区分Xで取得した単位は修了要件に含まない。						

政策研究データサイエンス認定証制度について

I 概要

本学は、一連のデータサイエンス関連科目の履修を通じて、学生がエビデンスに基づく政策立案に資する分析能力を獲得させることを目指し、政策研究データサイエンス（DS）認定証制度を設置している。以下に定める要件をすべて満たしたものには認定証を授与する。

II 認定証授与要件

① データサイエンスの基幹的・基礎的科目として下記科目のうち2単位以上を修得する。

- ・データサイエンス基礎
- ・政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 I
- ・実践データサイエンス
- ・政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 II
- ・Introduction to Data Science I
- ・Introduction to Data Science II
- ・Data Science for Public Policy

② 上記の①で修得した科目を含む、データサイエンス関連科目（次項「DS 関連科目群リスト」参照）を2単位×5=10単位以上を修得する。

※認定書の申請手続及びその他の注意事項については、別途案内するので確認すること。

DS関連科目群リスト/ List of DS-related Courses

As of April 1st, 2024

Course Number	Courses	Instructor	Term	Credit
MOR1000E	Introduction to Quantitative Methods	MOROHOSI Hozumi	Fall	2
*MOR1030E	Introduction to Data Science	TBA	TBA	2
*MOR1050EA	Introduction to Data Science I	TSUCHIYA Takashi	Fall(Session I)	2
*MOR1050EB	Introduction to Data Science I	MOROHOSI Hozumi	Fall(Session I)	2
*MOR2020E	Data Science in Practice	TBA	TBA	2
MOR2050E	Introduction to Data Science II	TAKENOUCHI Takashi	Fall (Session II)	2
MOR2500E	Quantitative Social Systems Analysis	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Spring	2
MOR3050E	Practice STATA	TSUCHIYA Takashi	Winter	1
MOR3060E	Practice R	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Winter	1
MOR6300E/J	Mathematical Modeling Analysis / 数理モデル分析	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Spring	2
MOR7011E	Quantitative Data Analysis	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Fall	2
ECO2720EA	Introduction to Applied Econometrics	WIE Dainn	Fall	2
ECO2720EB	Introduction to Applied Econometrics	IZUMI Yutaro	Fall	2
ECO2760E	Applied Time Series Analysis for Macroeconomics	LEON-GONZALEZ Roberto	Winter	2
ECO2770E	Applied Econometrics	LITSCHIG Stephan	Winter	2
ECO2780E	Applied Econometrics Practice	LITSCHIG Stephan	Winter	2
*ECO2790E	Data Science for Public Policy	GOTO Jun	Spring	2
ECO3000E	Mathematics for Economic Analysis	MUNRO Alistair	Fall	2
ECO3710E	Time Series Analysis	TBA	TBA	2
ECO3720E	Cost Benefit Analysis I	KIDOKORO Yukihiro	Winter	2
ECO3740E	Economic Modeling for Policy Simulations	HOSOE Nobuhiro	Summer	2
ECO3890E	Development Econometrics	TAKAHASHI Kazushi	Summer	2
ECO6770E	Computer Programming for Economics	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session II)	2
ECO6700E	Advanced Econometrics I	LEON-GONZALEZ Roberto	Fall (Session I)	2
ECO6710E	Advanced Econometrics II	LITSCHIG Stephan	Fall (Session II)	2
ECO6720E	Advanced Econometrics III	TBA	TBA	2
ECO6730E	Advanced Econometrics IV	GOTO Jun	Spring (Session II)	2
ECO7721EA	Introduction to Applied Econometrics (Advanced)	WIE Dainn	Fall	2
ECO7721EB	Introduction to Applied Econometrics (Advanced)	IZUMI Yutaro	Fall	2
ECO7771E	Applied Econometrics (Advanced)	LITSCHIG Stephan	Winter	2
STI2030E	Bibliometrics and Applications	HAYASHI Takayuki	Biyearly Spring	2
STI2230E	Energy Data Analysis	TBA	Fall(Session II)	2
STI7031E	Bibliometrics and Applications	HAYASHI Takayuki	Biyearly Spring	2
STI7231E	Energy Data Analysis	TBA	Fall (Session II)	2
*MOR1030J	データサイエンス基礎	土谷 隆	春前	2
*MOR1100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 I	土谷 隆、竹之内 高志	春	2
MOR2000J	計画と評価の数理	諸星 穂積	春	2
*MOR2020J	実践データサイエンス	竹之内 高志	春後	2
*MOR2100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 II	土谷 隆、竹之内 高志	秋	2
MOR3010J	数理モデル分析演習	土谷 隆、諸星 穂積、竹之内 高志	秋	2
ECO2700J	計量経済学	黒澤 昌子	春	2
ECO2710J	費用便益分析	城所 幸弘	春後	2
ECO3330J	都市政策の空間分析	金本 良嗣、河端 瑞貴、安田 昌平	春	2
ECO3700J	計量経済学の実用と実践	後藤 潤	夏	2
ECO3750J	経済シミュレーション分析	細江 宣裕	秋	2
ECO3760J	費用便益分析の実用と実践	城所 幸弘	夏	2
GOV6930J	社会科学方法論＝量的分析 (Social Science Methodology for Quantitative Analysis)	MASUYAMA Mikitaka	Fall	2
STI2030J	ビブリオメトリクスとその応用	林 隆之	隔年春	2
STI2250J	計量分析演習	鈴木 潤	秋前	2
STI7031J	ビブリオメトリクスとその応用	HAYASHI Takayuki	Biyearly Spring	2
STI7251J	計量分析演習	SUZUKI Jun	Fall (Session I)	2
	Selected Topics in Policy Studies(International Economic Policy Analysis)	KAWASAKI Kenichi	Spring	2

※1 “*”を付した科目はデータサイエンス基幹的・基礎的科目。
Courses with “*” are data science basic/core courses.

※2 開講学期の変更や開講しない場合がある。
The term of a course may be changed or it may not be offered.

※3 修了直前の夏学期または冬学期の科目は、成績評価のスケジュールの都合上、DS認定証授与要件には含まれない場合があるので注意すること。
Note that data science related courses completed in the summer or winter term immediately before completion may not be registered at the time of certificate judgement, due to the timing of grading.

As of March 6, 2024

* This timetable is subject to change

Term	Day	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room
Fall (Oct. 7 - Jan. 28)																	
	Mon		DMP 621 E		Hsai	G											
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
Fall (Oct. 7 - Jan. 28)	Mon	7091 E	Comparative Analysis of Science Technology and Innovation Policy: Asian Experiences	Intraikulam	E												
	Tue	7091 E	ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
Fall (Oct. 7 - Jan. 28)	Wed	7211 E	Science, Technology and Innovation Policy in Developing Country Context	Ito	C												
	Thu	7201 J	ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
Fall (Oct. 7 - Jan. 28)	Fri	7201 J	ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
Fall (Oct. 7 - Jan. 28)	Fri	7201 J	ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														
			ECO 630 E														

Term	Day	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room
Fall (Oct. 7 - Jan. 28)	Mon																
Fall (Oct. 7 - Jan. 28)	Mon																

*Intensive Course:

*This timetable is subject to change.

博士課程学生への経済的支援

博士課程学生への経済的支援として、

- ・ 博士課程授業料免除制度
- ・ ティーチング・アシスタント／リサーチ・アシスタント
- ・ 博士課程学生研究支援制度

があります。

博士課程授業料免除制度

応募条件

本学博士課程に3年以上在学*し、成績が優秀で、かつ、次のいずれかに該当すること。

- (1) 博士論文を提出し、審査を経たもので、最終合格のための論文修正を行っている学生
- (2) 免除を希望する年の4月又は10月から起算して1年以内に博士論文の提出及び学位授与が見込まれる学生
- (3) 病気その他やむを得ない事由により休学していた者が復学し、復学後1年以内に博士論文の提出及び学位授与が見込まれる学生

* 休学期間は含みません。

審査

選考委員会が博士論文の執筆状況、成績、研究成果・業績、その他学生の事情等を基準に審査を行います。

免除期間

原則として1年を上限とします（免除申請期間ならびに論文執筆状況を基準とし、選考委員会が決定します）。

申請方法

年に2回、以下の時期に申請を受け付けます。所定の期日までに、主指導教員の推薦状を添えて「授業料の免除申請書」を教育支援課総務担当に提出してください。期の途中からの免除を希望する場合も、所定の期日までに漏れなく申請してください。

- ・ 前期授業料（4月～9月）：2月
- ・ 後期授業料（10月～翌年3月）：8月

結果の通知

申請期限より1ヶ月前後で、文書にて通知します。

ティーチング・アシスタント／リサーチ・アシスタント

博士課程学生は、教育・研究上有意義で、かつ学業の遂行に悪影響がないとプログラム・ディレクターが判断した場合、ティーチング・アシスタント（TA）又はリサーチ・アシスタント（RA）として、本学で就労することができます。TA及びRAの採用申請は、講義又は研究プロジェクト担当教員が行います。

博士課程学生研究支援制度

1. 目的

本制度は、博士課程学生による申請に基づき、研究及び研究成果の発表を支援することにより、博士課程学生による研究活動をより一層活性化し、学位取得の促進を図ることを目的とします。

2. 申請要件

本制度による支援を申請できる者は、本学の博士課程に在学する学生で、以下の各号に掲げる要件をすべて満たす者とします。ただし、博士論文をすでに提出した者、支援の開始時期までに提出する予定の者の申請は認められません。

- (1) 研究期間開始までに QE（Policy Analysis Program）の学生については Basic QE）に合格していること
- (2) 研究倫理・コンプライアンス教育を受講していること

3. 支援内容

- (1) 本制度による支援は、博士課程学生一人各年度1回、30万円を限度とします。
- (2) 本制度による支援経費は、博士課程学生の研究の実施及び研究成果発表に必要な経費全般とし、支援対象となる経費は、奨学金等委員会の議を経て決定します。

4. 申請手続

- (1) 本制度により支援を受けることを希望する者は、

博士課程学生研究支援制度申請書（別紙様式 1）に必要事項を記入し、指導教員に提出してください。事前申請を基本としますが、事後申請も受け付けます。ただし、事後申請の場合、すべての経費を支援対象とできない場合があるので注意してください。

- (2) 主指導教員は、博士学位論文執筆に資するか否かの観点から申請内容を精査し、また、支援が決まった場合には申請の最終的な責任者として学生を指導することができる旨を確認し、申請書を承認します。
- (3) 主指導教員の承認を受けた者は、指導教員の承認を受けた申請書類一式を教育支援課に提出してください。

提出先：docresearchgrant@grips.ac.jp

※指導教員を CC に入れること

5. 支援の決定

本制度による支援対象者及び支援内容は、奨学金等委員会の議を経て決定し、その結果を速やかに本人に通知します。

6. 完了報告

本支援により支援を受けた者は、支援期間終了後 1 ヶ月以内又は当該支援を受けた年度の末日のいずれか早い期日までに、博士課程学生研究支援制度報告書（別紙様式 2）を作成し、教育支援課に提出してください。

提出先：docresearchgrant@grips.ac.jp

※指導教員を CC に入れること

7. 支援対象となる経費

(1) 旅費

- ・ 原則として、政策研究大学院大学旅費規程に準じます。
- ・ 航空券については、事前に教育支援課に相談してください。事前に相談がない場合又は相談したときと異なる内容で航空券を購入・使用した場合は、支援対象とできないことがあるので注意してください。

(2) その他の経費（消耗品費、諸雑費等）

- ・ 物品費（単価 10 万円以下の文房具や書籍等。カメラ、PC、タブレット端末、スマートフォン等の換金性の高い物品の購入は不可。）

- ・ 学会費、学会参加費
- ・ 調査委託費（必ず事前に相談すること）
- ・ 研究協力者への謝金（謝金の単価は大学の基準による。必ず事前に相談すること）
- ・ 言語支援、サブスクリプション・サービス等利用費
- ・ ソフトウェア購入費
- ・ 研究及び研究成果発表に関連性が薄いもの（筆記用具、コピー用紙等の一般的な事務用品等）は支援対象となりません。ただし、研究及び研究成果発表に特別に利用する場合は支援対象とします（例：筆記形式によるアンケート調査実施のため多数の筆記具及び調査票を要する場合など）。

8. 本制度による支援を受けて収集した研究データの取扱い

本制度による支援を受けた者は、本制度による支援により収集した研究データを学位取得または退学までに政策研究大学院大学データサイエンスセンターに提出することが求められます。提出された研究データは、同センターにおいてアーカイブされ、公開されるため、必要に応じて、データアーカイブのための作業に協力してください。ただし、研究データの特性により、必要な期間、研究データの公開を行わないことができます。研究データのアーカイブ及び公開については、同センターが別に定めます。

9. その他

- ・ 本制度以外に利用できる研究費等がある者は、その制度の利用を優先して利用してください。
- ・ 経費の執行は本学の旅費規程、予算執行の手引き等の学内規定によります。

問合せ先・様式請求先

教育支援課

E-mail: docresearchgrant@grips.ac.jp

データサイエンスセンター

GRIPS におけるデータサイエンス教育

データサイエンスリテラシーは、21 世紀の政策立案者にとって不可欠なものとなりつつあります。そのため、本学の学生全員が現実データの分析を行うための幅広いデータサイエンス能力を身につけることが理想的です。現在、本学ではデータサイエンス教育を強化するため、カリキュラムの再編成を行い、データサイエンスの指導により多くの教員を配置するよう取り組んでいます。具体的には、データサイエンス教育のコア科目として、「データサイエンス基礎」と「実践データサイエンス」を設置し。そのほか、計量経済学、オペレーションズ・リサーチ、地理情報システムなど、データサイエンスに関連する多くの科目を開講しています。また、政策研究データサイエンス (DS) 認定証制度を通じて、学生の皆さんのデータサイエンスへの関わりを奨励しています。(詳細は以下をご覧ください。)

https://www.grips.ac.jp/jp/education/nd_certificate/certificate_ds/

量的分析を含む政策立案を行う場合、これらの科目の受講は大変有意義なものとなります。これまでも、研究能力の高さを示す貴重で興味深いデータの収集に成功しながら、データ分析のスキル不足のために単純な記述分析にとどまってしまうケースがあり、これは学生本人だけでなく、本学にとっても大きな機会損失となり得ます。このような観点から、研究においてデータの活用を考えている場合は、本学での学びの初期段階よりデータサイエンスに慣れ親しむことが極めて重要です。

データサイエンスセンター

データサイエンスのスキルを身につけることは、運転免許取得のために運転の仕方を学ぶことに例えられます。つまり、誰にでも可能なことではあるものの、データサイエンスの授業で集中的なトレーニングを受けるだけでは十分ではありません。実際にコンピュータ・プログラミングやモデリングの継続的な経験が併せて必要であり、自身のデータを用いた習得が望まれます。したがって、本学での学びを通じて、データ分析を日常的な活動として繰り返す

行うことが理想的であり、それにより、「単位以上のもの」を得ることができます。

このようなデータサイエンスへの関わりを後押しするため、本学では 2022 年 4 月にデータサイエンスセンター (CDS) を開設しました。センターの目的は、学生がデータサイエンスを学び、知識を深め、スキルを磨くことを支援することにあります。センターの教員は、所長の土谷隆教授のほか、ロベルト・レオン・ゴンザレス教授、諸星穂積教授、竹之内高志教授の 3 名です。

センターは 5 階の C505 室で、講義室 A-H に面した廊下の突き当たりにあります。センターの主な目的は次のとおりです。

- (1) データサイエンス関連講義のフォローアップ
- (2) データサイエンスを研究に活用する学生・研究者からの相談受け付け
- (3) R 言語、Stata 等のデータサイエンス用ソフトウェアの使用方法、データサイエンスの理論的側面を十分に深く理解するために必要な数理のトレーニング
- (4) 学内外のデータサイエンスに関する共同研究の推進、関連シンポジウムの開催
- (5) 本学のデータアーカイブスの整備

センターの受付時間は平日 13 時 20 分～18 時 10 分です。親しみやすい雰囲気の中で、教員や学生相談員がプログラミング、統計モデリング、機械学習に関するどのような質問にもお答えします。また、皆さんのデータサイエンス学習をサポートするため、コンピュータ・プログラミング、統計学、機械学習、関連する数学に関する小規模で気軽に参加出来るワークショップを開催しています。

最後に、センターのホームページ (下記 URL) もぜひご覧ください。データサイエンスの学習に役立つヒントや情報を掲載しています。

<https://www.grips.ac.jp/jp/education/datasciencecenter/>

プロフェッショナル・コミュニケーションセンター

プロフェッショナル・コミュニケーションセンター（CPC）は、学生及び教職員を対象に、多様な交渉相手と生産的なコミュニケーションを行うために必要な、職業人としての効果的なコミュニケーション・スキルと能力を身につける支援をしています。そのために、英語と日本語のプロフェッショナル・コミュニケーションが必要となる場面におけるさまざまな指導、サービス、サポートを提供しています。

当センターの教員は、高度な学術的トレーニングと長年の専門的経験を積んだ、プロフェッショナル・コミュニケーション、専門分野のライティング、言語学習・教育の専門家であり、その多くが博士号を持ち、学術・研究業績も高く評価されています。教員の専門分野は、経済学、政治学、公共政策、教育学、心理学、応用言語学など多岐にわたります。

当センターでは、教育理論と実践における広範な学識をもとに、エビデンスに基づくカリキュラム開発と指導を推進し、教育と学習におけるベストプラクティスを確立するとともに、日本のみならず世界でも優れたセンターとして認められるよう努めています。

英語と日本語による総合的なアカデミックライティング・プログラム

アカデミックライティング・プログラムは、大学院で研究論文を書く上で、また学術的な価値観と活動方法を身につける上での基礎となります。

本プログラムの目的

- ・ 本学の全プログラムにおける一貫した学術的効果の最低許容基準の明確化
- ・ 学生が目標とする言語コミュニティと交流する機会の促進
- ・ 本学におけるポリシーペーパー、学位論文、博士論文の執筆支援

プログラムには、以下の要素が統合されています。

- ・ 年度開始時の学生のアカデミックライティング能力の評価
- ・ 剽窃防止のための文章の借用についての指導とガイダンス
- ・ 年間を通じたアカデミックライティングの講義
- ・ アカデミックスキルに関するワークショップやライティングに関する幅広いトピックを扱うセミナー
- ・ 英語と日本語での研究計画書、学位論文、最終論文の執筆の個別指導
- ・ 当センターの教員が作成し、学生の自習、ガイド付き学習、研究用にカスタマイズされた、アカデミックライティングや言語学習に関するハンドブック、ガイドブック、その他の教材

プロフェッショナル・コミュニケーション・スキルプログラム

学生のプロフェッショナルとしての優れたコミュニケーション・スキルの育成に重点を置き、異文化コミュニケーションを促進するとともに、日本人学生と留学生との交流の機会を提供します。現在以下の講義等を行っています。

- ・ プレゼンテーション、交渉、プロフェッショナルライティング、ビジネスライティング、助成金申請書の作成、パブリックスピーキングなど、英語と日本語によるプロフェッショナル・コミュニケーションのあらゆる側面に関する単位認定科目および単位認定外科目
- ・ 政策文書の執筆、学術研究、近代日本の歴史・文化・社会、異文化コミュニケーションなど、幅広いテーマについて英語と日本語による専門的なコミュニケーション・スキルを学ぶミニ講義、セミナー、ワークショップ
- ・ プロフェッショナル・コミュニケーション、専門能力開発、言語学習、日本の伝統文化を含む日本文化など、さまざまなトピックについて英語と日本語で行われる特別イベント

編集・校正サポート

本学の教員や博士課程の学生を対象に、研究成果の発表や専門分野での利用を目的とした原稿作成のサポートを行っています。具体的には、編集、校正、言語サポートサービスのほか、学会発表の専門トレーニングなどを提供しています。

- ・ 言語学習対策、学習スキル、その他自律的な学習における重要な分野のワークショップ
- ・ 日本人学生と留学生が関心のあるテーマについて話し合うディスカッション・グループ
- ・ 言語スキルの向上に関心のある人のための語学交流

コミュニケーション・ラウンジ

学生の自律的な学習を促し、優れた学習者に必要なスキルとリソースを学生に提供するとともに、日本人学生と留学生が言語、文化、学問、そして特定の関心事について交流ができる中心的な場を設けています。ラウンジでは、以下のアクティビティを提供しています。

受付時間と予約

当センターでは、予約なしで相談を受けられる時間を定期的に設けています。英語のアカデミックライティングに関しては C507 室で相談を受けており、Eメール（cpc@grips.ac.jp）での予約が可能です。日本語の学習に関しては C502 室で相談を受けており、Eメール（cjll@grips.ac.jp）での予約が可能です。

図書館

開館時間やサービス内容を変更することがあります。最新情報は一斉メール等をご確認ください。

開館情報

開館時間

平日：9:00～21:00

土曜日：10:30～17:00

休館日

日曜日、祝休日

年末年始（12月28日～1月4日）

その他臨時に休館する場合は予め一斉メールでお知らせします。

入館・退館

図書館の来館利用には学生証が必要です。学生証は必ずご自分のものをお使いください。入館は学生証を入館ゲートにかざして、一人ずつお通りください。

退館は学生証をかざす必要はありません。退館ゲートのバーを押してお通りください。

図書館ウェブサイト

図書館のウェブサイトでは、図書館に関するお知らせを随時掲載しています。また OPAC や各種オンライン・データベースへのリンクもこちらからご利用いただけます。

<https://www.grips.ac.jp/main/lib/>

資料・文献・情報を探す

蔵書検索システム（OPAC）

図書や雑誌を検索して所蔵の有無とその所在場所を確認することができます。また本学で契約している電子ブックはここから検索して本文を利用することができます。

<https://glib.grips.ac.jp/drupal/?q=ja>

（図書館ウェブサイトトップページの検索窓で「OPAC」を選択して検索することもできます。）

GRIPS Discovery Service

電子ジャーナル、電子ブックやデータベース等の電子リソースをまとめて検索し、ジャーナル／ブックのタイトルや論文記事等の情報を探すことができます。本学で契約しているものや無料アクセス可能

なものについては、本文を利用することができます。図書館ウェブサイトトップページの検索窓で、「Discovery Service」を選択して検索してください。
※ 図書館所蔵の図書、雑誌については OPAC で検索してください。

オンライン・データベース

雑誌に掲載されている論文、新聞記事、統計、判例、法令、特許情報などを検索したり、本文にアクセスしたりすることができます。

目的に合ったデータベースをこちらから選んでご利用ください。

<https://www.grips.ac.jp/main/lib/search/database/>

（図書館ウェブサイトトップページの「資料の検索」から「データベース・電子ジャーナル」へリンクしています。）

持込 PC によるアクセス／学外からのアクセス

EZproxy サービスにより、構内に持込んだご自分の PC や学外の PC から電子ジャーナルや電子ブック、データベースを利用できます。

https://www.grips.ac.jp/main/lib/search/off_campus_access/

資料を使う

貸出

借り出したい図書と学生証をカウンターにお持ちください。また自動貸出機も使えます。

- ・ 貸出冊数：30 冊以内
- ・ 貸出期間：1 ヶ月以内

返却

返却期限までに図書をカウンターにお持ちください。学生証は必要ありません。なお図書館が閉館している時は館外に設置しているブックポストに入れてください。

予約

借りたい図書が貸出中の場合、予約をすることができます。

→ 『マイライブラリ』をご覧ください。

予約した図書が利用可能になりましたら、図書館からメールでお知らせします。

館外貸出できない資料

以下の資料は貸出禁止です。図書館内でご利用ください。

- ・ テキストコーナーの資料
- ・ 参考図書コーナーの資料
- ・ 雑誌
- ・ 新聞、新聞の縮刷版
- ・ CD/DVD-ROM、視聴覚資料、マイクロ資料
- ・ 破損した資料、およびその恐れのあるもの
- ・ その他特に館長が指定したもの

複写

学生証でコピーをすることができます。コピー機備付けの「文献複写申込書」を記入してからコピーを行ってください。

- ・ 複写できる資料：図書館所蔵資料
- ・ 複写できる範囲：著作権法の認める範囲（「文献複写申込書」を確認してください。）

（科目等履修生等、学生証でコピーできない方はPASMO、Suica等の交通系電子マネー（私費）でコピーしてください。）

レファレンスサービス

図書館の使い方、資料の探し方、資料の入手方法、データベースの使い方など不明なことがありましたら、図書館カウンターにお問い合わせください。

購入希望

本学での学習・研究に役立つ図書、必要な図書がありましたら、購入希望としてリクエストしてください。検討の上、図書館の蔵書として購入します。

『マイライブラリ』よりお申込みください。

※ 既に所蔵している図書の複本は購入しません。

グループ学習室

利用時間

平日：9:00～20:00

土曜日：10:30～16:00

グループで会話をしながら、学習・研究ができる部屋です。ご自由にご利用ください。テーブル、部屋全体のご予約も可能です。図書館カウンターまたはメールにてお申込み下さい。

ご注意ください

- ・ 図書館内では静粛をお願いします。
- ・ 喫煙、飲食、携帯電話の通話は禁止です。
- ・ 図書館の資料は共有の財産です。破損、紛失、書き込み等しないよう取り扱いにご注意ください。

他大学図書館の資料を使う

相互貸借(ILL サービス)

探している図書や論文がGRIPS 図書館にない場合、他大学等の図書館から取り寄せることができます。『マイライブラリ』よりお申込みください。詳しくは図書館ウェブサイトをご覧になるか、図書館カウンターにお問い合わせください。

紹介状の発行

他大学図書館を来館利用するためにはGRIPS 図書館の紹介状が必要な場合があります。図書館カウンターにご相談ください。

オリエンテーション・講習会

図書館ではご希望に応じて、利用講習やデータベースの講習会を行っています。詳しくは図書館カウンターにお問い合わせください。

図書館に関する質問やご要望がありましたら、いつでもお寄せください。 lib@grips.ac.jp

OPAC の使い方

蔵書検索

OPAC (Online Public Access Catalog) は、GRIPS 図書館で所蔵している図書や雑誌、本学で契約している電子ブックを調べることができる、オンライン蔵書検索システムです。

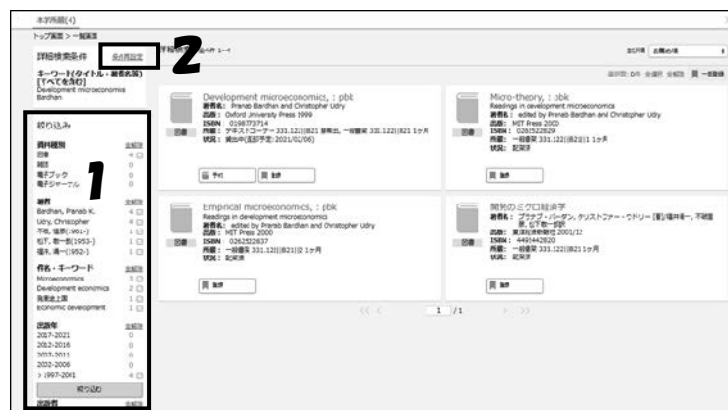
* 本学で契約している電子ジャーナルについては、GRIPS Discovery Service の「電子ジャーナル・電子ブック検索」で検索してください。



検索条件入力

1. キーワードを入力します。
 2. 資料種別を選択します。
 3. 検索ボタンを押します。
 4. 探している資料が見つからない場合は、「他大学所蔵」を選択し、検索すると他大学図書館の所蔵を調べることができます。
- 前頁の「他大学図書館の資料を使う-ILL サービス」をご覧ください。

検索結果一覧

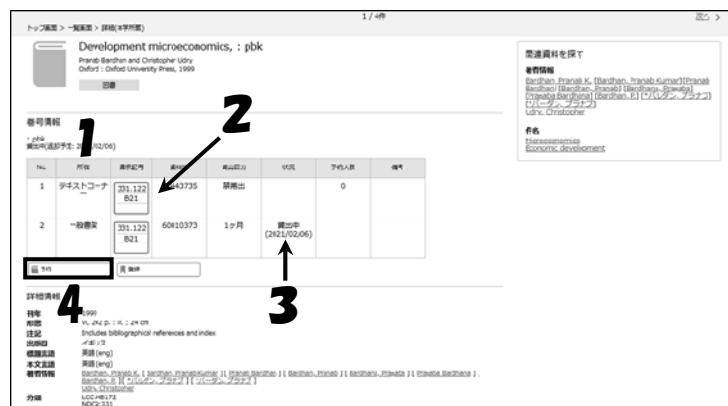


条件に該当した検索結果の簡略表示一覧です。タイトルをクリックしてさらに詳細を確認してください。

結果が多すぎる場合は、絞込みや検索条件の再設定を行ってください。

1. 資料種別や著者、出版年等による絞込みができます。
2. 「条件再設定」をクリックして、キーワードを追加、変更することができます。

検索結果詳細(図書)



1. 「所在」を確認します。
2. 図書は各「所在」に請求記号順に配架されています。請求記号は背表紙ラベルの番号と同じです。
3. 貸出中の場合、返却期限日が表示されます。
4. 貸出中の場合、予約ボタンから予約ができます。

→ マイライブラリ参照

検索結果詳細(雑誌)

雑誌についての詳しい情報や、その所在、所蔵している巻号が表示されます。

* OPAC では雑誌に掲載されている論文のタイトルや著者は検索できません。

論文単位の検索をする場合は、別のデータベースをご利用ください。

雑誌の所蔵

No.	所蔵巻号	所在	所蔵年	受入継続	項目1
1	427-522,524-614,617-877+	雑誌コーナー	1983-2020	継続中	

詳細情報

創刊・終刊 1号 (昭和22.9) ← 5
形態 冊; 21cm

1. 所蔵巻号: この場合、1～426 号、523 号、615～616 号は所蔵していません。
2. 所在: 雑誌はタイトル順に配架されています。
3. 所蔵年: 図書館で所蔵している巻号の年次の範囲です。
4. 受入継続: 受入中止の場合は空欄です。
5. 創刊: 雑誌の初号です。GRIPS 図書館で所蔵している号とは異なる場合があります。

検索結果詳細 (電子ブック)

電子ブック

No.	所在	電子ブック	電子ID	電子区分	状況	所蔵人数	備考
1	電子ブック	電子	EDN000810	雑誌		0	Click the URL indicated in "IDENT" field (Only inside GRIPS)

詳細情報

刊行 2015
G/SMD 雑誌
形態 1 online resource (no. 540 p.)
注記 Includes bibliographical references (p. [511]-513) and index
言語 英語 (eng)
形態 電子ブック
電子ID https://www.grips.ac.jp/main/lib/search/off_campus_access/

OPAC の検索結果から、本学で契約している電子ブックへアクセスできます。

1. 「電子資料を表示」や「IDENT」をクリックすると、電子ブックへアクセスできます。
2. 同時アクセス数などの利用上の注意です。

<< 持込 PC によるアクセス/学外からのアクセス>>

EZproxy サービスにより、構内に持込んだご自分の PC や学外の PC から GRIPS の契約する電子ジャーナルやデータベースを利用できます。

- ・「データベース・電子ジャーナル」ページで、使用したい電子リソースの「Remote」リンクをクリックし、EZproxy の ID とパスワードでログインしてください。利用終了後は必ずログアウトしてください。

<https://www.grips.ac.jp/main/lib/search/database/>

- ・EZproxy 利用方法詳細 https://www.grips.ac.jp/main/lib/search/off_campus_access/

*EZproxy は MyLibrary や G-way とは別のサービスです。

マイライブラリ

マイライブラリでできること

貸出状況の確認

借出中の図書や返却期限日、延長回数を確認することができます。

貸出延長

貸出図書に予約が入っていないければ、貸出期間の延長ができます。延長期間は1ヶ月で、5回まで延長できます。

予約

他の利用者が借りている図書の予約、予約の確認、キャンセルができます。予約した図書が貸出可能になったときは、図書館からメールでお知らせします。

相互貸借(ILL サービス)

図書館にない図書や文献を他大学から取り寄せることができます。

図書の購入希望

本学での学習・研究に必要な図書を購入希望としてリクエストできます。リクエストを検討の上、図書館の蔵書として購入します。

ログイン

1. ログイン画面には、G-way、OPAC、図書館ウェブサイトからアクセスできます。

G-way 左メニューLink



OPAC 画面右上リンク



図書館ウェブサイト
上メニュー

2. GRIPS ID とパスワードでログインしてください。

マイライブラリメインメニュー

マイライブラリ

予約中の資料1件の情報ができました。詳細を見る ← お知らせ

借用中の資料：貸出の延長もできます	入手待ちの資料：予約の取消もできます	新規申し込み
図書館から借りている資料 1件	予約中の資料 2件	学外から取寄せ(文献複写)
	他機関に複写を依頼中の資料 1件	学外から取寄せ(現物貸借)
	購入を依頼中の資料 2件	図書購入希望

お知らせ

貸出中の図書、予約図書、ILL や購入希望を申し込んだ資料についてのお知らせが表示されます。

借用中の資料

貸出中の図書の確認、貸出期間の延長ができます。

入手待ちの資料

予約した図書、ILL や購入希望の申し込みについて、状況の確認や取り消しができます。

<新規申し込み>

学外から取寄せ(文献複写・現物貸借)

学外の図書館から文献複写や図書の取寄せ依頼(ILL)ができます。

図書購入希望

学習・研究等に必要な図書の購入希望をリクエストできます。

予約方法

貸出中の図書を予約するには、OPAC 検索結果画面で「予約」をクリックしてください。貸出中でない図書の予約はできません。

詳解 労働者派遣法, 第2版
著者名: 高松昌雄
出版: 日本労働研究機構 2001/3
ISBN: 4538411388
所蔵: 一般書架 366.14|T946 1ヶ月
状況: 貸出中(返却予定: 2021/01/16)

図書

予約

予約取消

「入手待ちの資料」の「予約中の資料」で一覧表示し、「予約取消」をクリックしてください。

入手待ちの資料: 予約中の資料 全2件 1~2

予約中の資料

他機関に複写を依頼中の資料
購入を依頼中の資料

詳解 労働者派遣法
著者: 高松昌雄
出版社: 日本労働研究機構
年月情報: 2001/3
予約番号: 10007149
予約待機: 1

図書

資料が返却されるまでお待ちください。 予約取消

貸出期間の延長

「借用中の資料」の「詳細を見る」で貸出中の資料の一覧を表示し、「延長する」をクリックします。延長が完了すると、新しい返却期限が表示されます。1ヶ月間延長されます。

借用中の資料：貸出の延長もできます

図書館から借りている資料

Japan's trade policy : action or reaction?
著者: Yumiko Mikanagi
出版社: Routledge
年月情報: 1996
資料ID: 00645455
返却予定: 2021/01/16
延長回数: 0

2021/01/16までに返却してください。 延長する

- ・予約のある図書は貸出延長ができません。
- ・延滞図書がある場合は、貸出・延長ができません。
- ・貸出延長ができるのは5回までです。それ以上は、図書館カウンターに図書と学生証をお持ちください。

学外から取寄せ(文献複写・現物貸借) (ILL サービス)

必要な資料が図書館にない場合、学外の図書館から文献複写や図書を取り寄せることができます。文献や図書が特定できるよう必要事項を入力して「確認に進む」ボタンをクリックします。

【自動入力】 OPAC 詳細検索で「他大学所蔵」にチェックを入れて検索すると、図書館で所蔵していない資料も検索することができます。検索結果画面で ILL 依頼ボタンを押すと、書誌事項が自動で入力されます。

- ・ 書誌事項（書名・著者名・出版社など）が自動的に入力される。
- ・ 文献の複写依頼→論文著者名・論文名、巻号、出版年などを入力して「確認に進む」をクリック。
- ・ 資料の借用依頼→書誌事項を確認して「確認に進む」をクリック。

政策研究大学院大学図書館 OPAC
National Graduate Institute for Policy Studies Library

通常検索 カテゴリ検索 詳細検索 ブックマーク ログアウト English ヘルプ

トップ画面 > 詳細検索

検索先サイト ☐ 本学所蔵 ☒ 他大学所蔵

資料種別

キーワード

検索結果: 1-10

日本貿易会月報
著者: 日本貿易会 (編)
出版年: 1979
所蔵数: 14

日本貿易会の月報: 日本貿易会 (編)
出版年: 1979
所蔵数: 14

ILL依頼 (文庫貸借) 1件

大学図書館所蔵
全74件

No.	所蔵館	所蔵館OPAC
1	日本大学 経済学部図書館	詳細を見る

文献の複写依頼: 入力

入力 確認 完了

論文著者名

論文名 (必須)

誌名 (書名) (必須)

巻号

出版年

ページ

出版社

ISSN

ISBN

利用者

利用者区分

メールアドレス

連絡欄

中止 確認に進む

図書購入希望

資料の購入依頼: 入力

入力 確認 完了

書名 / 著者名 (必須)

出版社 (必須)

出版日付

ISBN
指定できるISBNは1件です。

単価定価

購入冊数

利用者

利用者区分

メールアドレス

希望理由 (必須)

中止 確認に進む

学習・研究に役立つ図書や必要な図書がある場合は、購入希望としてリクエストすることができます。検討の上、図書館の蔵書として購入します。

- ・ 購入を希望する図書の情報を入力し、必ず「希望理由」を記入して「確認に進む」をクリック。
- ・ OPAC 詳細検索で「他大学所蔵」にチェックを入れて検索し、検索結果から書誌事項を自動入力することもできます。

- ※ すでに所蔵している図書の複本は受け付けません。
- ※ 各種資格試験対策・語学学習本は受け付けません。
- ※ 雑誌、電子ジャーナル、データベース等は対象外です。

教育支援情報サービスシステム-GRIPS Gateway (G-way)

G-way とは

G-way とは GRIPS が提供しているオンラインシステムであり、学生が履修登録、成績照会、各種掲示の閲覧、各種申請等をオンラインで行うことができます。

G-way にログインする

(1) G-way (<https://gportal.grips.ac.jp/fw/dfw/ASTSV004/>) にアクセスします。

GRIPS ホームページの [Intranet] からアクセスできます。



(2) ログイン画面が表示されたら、配布された GRIPS ID と GRIPS パスワードを入力し、[Login] をクリックしてください。



National Graduate Institute For Policy Studies

GRIPS ID (学籍番号) とGRIPSパスワードを入力し、
[Login] をクリック

(3) ご登録のアドレスに届くワンタイムパスワードを入力してください。

トップ画面

トップ画面には次の3種類の情報が表示されます。

- ・ 講義情報：当日から1週間以内の履修科目についての変更情報（現在は利用していません。）
- ・ 時 間 割：当日のスケジュール
- ・ 連絡事項：学年暦や各種マニュアル等、在学期間中を通して必要となる情報

The screenshot shows the GRIPS Gateway website interface. On the left is a sidebar menu with options like '履修・シラバス・成績' (Selected), '講義情報' (Lecture Information), '掲示板' (Bulletin Board), '各種申請' (Various Applications), '教員・学生検索' (Faculty/Student Search), 'アンケート' (Survey), '授業評価' (Class Evaluation), '一読' (Read), '修了生情報更新' (Graduate Information Update), 'Link', and '個人設定' (Personal Settings). The main content area is divided into three sections:

- 講義情報 (Lecture Information):** A table listing lectures with columns for '講座日' (Lecture Day), '時間' (Time), and '科目名 / 講義室' (Subject / Lecture Room). It shows entries for Microeconomics II on 01/23 and 01/27.
- 時間割 (Timetable):** A table showing the daily schedule with columns for '時間' (Time), '科目名 / 講義室' (Subject / Lecture Room), and '担当' (Instructor). It lists Operations Research and Quantitative Data Analysis.
- 新着情報 (New Information):** A section for recent news and announcements, including links to lecture information, notices, and administrative matters.
- 連絡事項 (Contact Information):** A section for contact information, including links to manuals, academic calendars, and application procedures.

MENU

画面の左側の MENU には利用可能な各種サービスが表示されています。

[+] をクリックすると詳細メニューが表示されます。



ポップアップブロックが表示された場合

メニューから各処理画面に移る際に次のようなメッセージが表示される場合は、[このサイトのオプション(O)]及び[常に許可(A)]を選択します。メッセージの表示が異なる場合は、ブラウザのヘルプ画面を参照してください。



[↑ IE : Internet Explorer]



[↑ Firefox の画面]



[↑ Google Chrome の画面]

各種リンク

左側のメニュー画面に各種学内サービスへのリンクが表示されるので、利用したいサービスをクリックして使用してください。

GRIPS Gateway 2022/01/06 LOGIN / [] 日本語 English

MENU

- 履修・シラバス・成績
- 講義情報
- 掲示板
- 各種申請
- 教員・学生検索
- アンケート
- 修了生情報更新

Link

- GRIPS Mail
- GRIPS Homepage
- Library Web
- My Library
- GRIPS OPAC (Books & Journal)
- 学外アクセス (Ezproxy)
- 研究助成情報 (学内向け)
- 不正防止への取組 (学内向け)
- ハラスメントの防止と相談窓口
- GRIPS公式デンプレート集
- File Server
- Change Password (Unavailable 23:00-25:00 JST)
- IT Support Center
- 個人設定

時刻表

時間	科目名 / 講義室
1	
2	
3	
4	
5	
6	

新着情報

- 授業連絡** ① 2021年度 秋学期・秋後期授業アンケート
- 授業連絡** 講義室変更のお知らせ Macroeconomics II (ECO2060EB)
- 授業連絡** 講義室変更のお知らせ Advanced Macroeconomics II (ECO6060E)
- 授業連絡** GRIPS Forum 10月11日 講演資料
- 授業連絡** GRIPS Forum II (GEN5040J) 10月18日(月) 講義のお知らせ
- 授業連絡** [Course Materials] Economics of Innovation(STI1000E)
- 授業連絡** [Course Materials] Comparative Analysis of Science, Technology and Innovation Policy: Asian Experiences(STI2080E)
- 授業連絡** [Course Materials] Comparative Analysis of Science, Technology and Innovation Policy: Asian Experiences(STI17081E)
- 授業連絡** ① 【更新】 GRIPS Forum II スケジュール (2021年度秋学期)
- 授業連絡** Moodle Enrolment key to "International Security Studies"(Professor Tokuchi)
- 授業連絡** GRIPS Forum II (GEN5040J) 10月11日(月) 講義のお知らせ
- お知らせ・行事案内** ① LIM Gunie先生担当授業の開講学期変更について
- お知らせ・行事案内** ① ECO6820E Economics of Health and Educationの開講学期について
- お知らせ・行事案内** ① 共用PCの搬去について
- お知らせ・行事案内** 教育ソフトについて
- お知らせ・行事案内** セコム安否確認サービスのお知らせとお断りについて
- お知らせ・行事案内** ① 修士・博士論文の表紙へのSDGsロゴ掲載についてのお願い

GRIPS Homepage	GRIPS ホームページ
Library Web	図書館ホームページ
My Library	図書館システム (本の貸し出し管理や予約など)
GRIPS OPAC	図書館システム (蔵書の検索)
研究助成情報	各種研究助成情報
不正防止への取組	研究上の不正防止に関する各種資料
ハラスメントの防止	ハラスメントの防止と相談窓口

※ 表示されるリンク内容は変わることがあります。

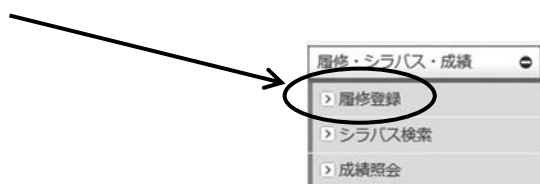
履修登録・成績照会

7

履修登録

履修登録画面を表示

G-way のメニュー (MENU) 「履修・シラバス・成績」 から [履修登録] をクリックすると、履修登録、履修登録取消ができます。



各学期で定められた期間に応じて、「履修登録」、「履修登録取消」、「履修登録確認票参照」のいずれかの画面が開きます。

・履修登録・更新画面（履修登録期間中）

プログラム	学籍番号	氏名
Young Leaders Program (School of Local Governance)	sg-stu	PlannersX 太郎X
mon	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	

・履修登録取消画面（履修取消期間中）

曜日	時間	学期	科目番号	科目名	担当者	履修登録取消
mon	1	Winter	LAN0000E	Strategies for Editing and Revising		<input type="checkbox"/>
	2	Winter	PAD2500E	Global Governance: Leadership and Negotiation		<input type="checkbox"/>
	3					
	4	Winter	LAN1020JA	Basic Japanese 2A		<input checked="" type="checkbox"/>

- ・履修登録確認票
(上記の期間以外)

(1) 履修登録期間中は次のような画面が開きます。

- (5) 履修を希望する科目の選択が終わったら「登録」ボタンをクリックしてください。
「履修登録」画面で科目を選択しただけでは登録は完了しないので注意してください。

(6) 履修登録確認票

履修登録科目が適切な場合、登録処理が完了し、「履修登録確認票」が表示されます。

政策研究大学院大学 2011 履修登録確認票

プログラム	学籍番号	氏名	修得見込単位数計 (履修予定含む)	修得単位数計
Young Leaders Program (School of Local Governance)	sg-stu	PlannersX 太郎X	20	

	1	2	3	4	5	6
Mon	Strategic for Editing and Revising 1 credits Lecture Room E 講義 1000	Global Governance: Leadership and Negotiation Seminars 1 credits Lecture Room D 講義 1000		Basic Japanese 2A 1 credits Lecture Room E 講義 1000		
Tue	Enquiries of Macroeconomic Policies and International Finance Seminars 1 credits Lecture Room D 講義 1000 (計算機室)	Enquiries of Macroeconomic Policies and International Finance Seminars 1 credits Lecture Room D 講義 1000 (計算機室)		State Building and Development Seminar 1 credits Lecture Room D 講義 1000 and ONWARD Takashi		
Wed				State Building and Development Seminar 1 credits Lecture Room D 講義 1000		
Thu		Global Governance: Leadership and Negotiation Seminars 1 credits Lecture Room D 講義 1000	Education Policy Seminars 1 credits Lecture Room D 講義 1000	Education Policy Seminars 1 credits Lecture Room D 講義 1000		
Fri						
Sat						
Others						

Remarks

I. Required Courses: You have earned/are expected to earn 8 credits (including ongoing courses) out of 18 credits.

II. Core Elective Courses: You have earned/are expected to earn 2 credits (including ongoing courses) out of 4 credits.

Total: I. Required Courses, II. Core Elective Courses, III. Recommended Courses, IV. Elective Courses: You have earned/are expected to earn 14 credits (including ongoing courses) out of 30 credits.

sg-stu 2012/10/11 14:30:26

履修登録確認票は、履修登録処理を完了した際に画面が開きます。

また、履修登録期間ではない場合には、登録処理画面が開かずに、履修登録確認票が直接開きます。
必要に応じて印刷したり、PDF ファイルとしてダウンロードし保存したりすることができます。

(7) 必ず履修登録内容を確認してください。

(8) 履修登録科目が適切でない場合は以下の画面が表示されます。「戻る」ボタンをクリックし、「履修登録」画面に戻ってエラー箇所を修正し再度「登録」ボタンをクリックしてください。

7. 学生生活 —G-way—

(9) 履修登録期間中は何度でも登録内容の修正が可能です。登録済みの科目は「履修登録」画面に表示されます。また、当学期以前から履修している科目や事前に教務担当が登録した科目（黄色ハイライト）は、登録を取り消すことはできません。

(10) 一度登録した科目を取り消すには、履修可能な科目一覧の最上段にあるブランク行を選択して、再度、
[登録] ボタンをクリックしてください。

(11) 履修登録画面に表示されない科目がある場合、画面左下にある” others” ボタンを押してください。
「集中型授業」の場合もこちらに表示され、登録することができます。

シラバス閲覧

(1) 各時限のボタンをクリックすると、履修可能な科目の一覧が表示されます。

Gateway to Global Leadership
GRIPS

時間割 履修登録申請書 CSV出力 履修登録確認 登録

履修登録・更新

プログラム	学籍番号	氏名
Young Leaders Program (School of Local Governance)	sg-stu	PlannersX 太郎X
mon	1	Strategies for Editing and Revising () [Winter]
	2	Global Governance: Leadership and Negotiation () [Winter]
	3	
	4	Basic Japanese 2A () [Winter]
	5	
	6	
tue	1	Empirics of Macroeconomic Policies and International Finance () [Winter]
	2	Empirics of Macroeconomic Policies and International Finance () [Winter]
	3	
	4	State Building and Development () [Winter]
	5	
	6	
wed	1	
	2	
	3	
	4	State Building and Development () [Winter]
	5	
	6	
thu	1	
	2	Global Governance: Leadership and Negotiation (KOMATSU Masayuki) [Winter]
	3	Education Policy () [Winter]
	4	Education Policy () [Winter]
	5	
	6	

(2) [閲覧] ボタンをクリックすることでシラバスを参照することができます。

Gateway to Global Leadership
GRIPS

政策研究大学院大学

Academic Matters 科目一覧

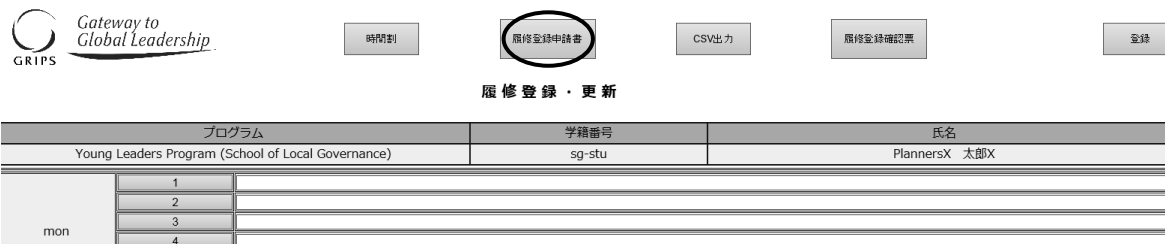
曜日: tuesday 時限: 2

学期	科目番号	科目名	担当者	シラバス
Winter	ECO2890E	Project Cycle Management and International Development Evaluation		閲覧
Winter	ECO3470E	Empirics of Macroeconomic Policies and International Finance		閲覧

履修登録申請書と時間割

(1) 履修登録申請書

「履修登録」画面に表示されない科目の履修を希望する場合は、[履修登録申請書] ボタンをクリックして申請書をダウンロードします。申請書に必要事項を記入し、教務担当 (ast@grips.ac.jp) まで E メールにて提出してください。



Gateway to Global Leadership

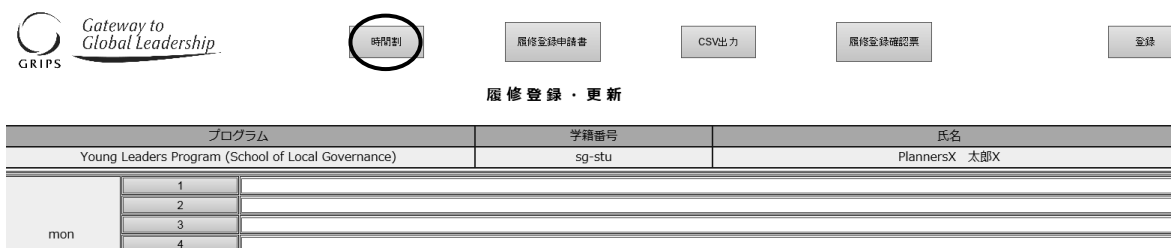
時間割 履修登録申請書 CSV出力 履修登録確認票 登録

履修登録・更新

プログラム	学籍番号	氏名
Young Leaders Program (School of Local Governance)	sg-stu	PlannersX 太郎X
mon	1	
	2	
	3	
	4	

(2) 時間割

「履修登録」画面にある[時間割]ボタンをクリックすると、その学期の時間割を確認することができます。



Gateway to Global Leadership

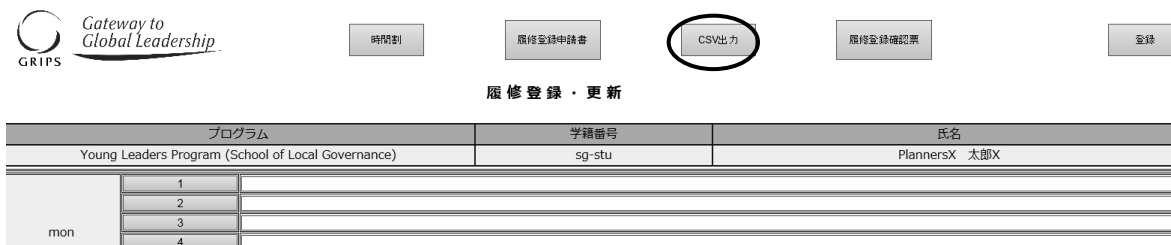
時間割 履修登録申請書 CSV出力 履修登録確認票 登録

履修登録・更新

プログラム	学籍番号	氏名
Young Leaders Program (School of Local Governance)	sg-stu	PlannersX 太郎X
mon	1	
	2	
	3	
	4	

CSV 出力

[CSV 出力] ボタンをクリックするとその時点で登録している履修科目の一覧を CSV ファイルでダウンロードできます。ファイルを開く場合は[開く]ボタンをクリックし、保存する場合には[保存]ボタンをクリックしてください。

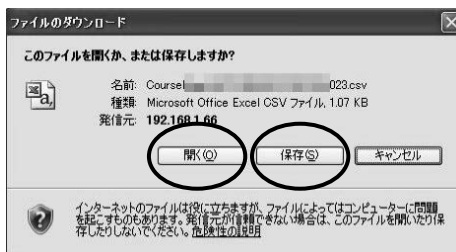


Gateway to Global Leadership

時間割 履修登録申請書 CSV出力 履修登録確認票 登録

履修登録・更新

プログラム	学籍番号	氏名
Young Leaders Program (School of Local Governance)	sg-stu	PlannersX 太郎X
mon	1	
	2	
	3	
	4	

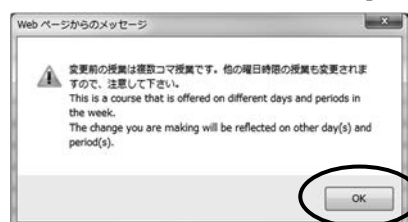


履修登録取消

(1) 履修登録取消期間中は次のような「履修登録取消」画面が開きます。

(2) 履修登録を取り消したい場合は、対象科目の【履修登録取消】ボックスをクリックしてチェックを入れます。履修登録取消の対象から解除したい場合は、チェックの入っている【履修登録取消】ボックスを再度クリックしてチェックを外します。（※教務担当が履修登録した科目は自分では取り消しできません。教務担当にご連絡ください。）

(3) 複数の曜日時限に開講される科目の場合は、いずれかの選択内容を変更すると、連動して他の曜日時限の内容も更新されます。以下のメッセージが表示されるので、確認後 [OK] ボタンをクリックしてください。



(4) 最後に【履修登録取消】ボタンをクリックしてください。

7. 学生生活 —G-way—

(5) 履修登録取消期間中は何度でも履修登録取消の修正が可能です。履修登録取消をした科目は、「履修登録取消」画面の科目右側にある[履修登録取消]ボックスにチェックが入った状態で表示されます。

成績照会

(1) GRIPS Gateway メニュー「履修・シラバス・成績」から[成績照会]をクリックすると、成績を照会することができます。

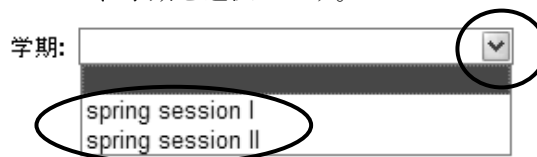


(2) メニュー画面には以下の3種類のボタンがあります。



成績照会(学期)

(1) プルダウンメニューをクリックして、学期を選択します。



(2) 学期を選択した後に[成績照会 (学期)] ボタンをクリックしてください。



(3) それぞれの科目名の上に成績評価が表示されます。履修中の場合は「*」が表示されます。

政策研究大学院大学 2011 Winter 冬学期 成績照会(学期)

プログラム Young Leaders Program (School of Local Governance)		学籍番号 se-stu	氏名 PlannersX 太郎X			
			1	2	3	4
Mon	Grade 9 Strategies for Editing and Negotiating Credit: 2 KOMATSU		Grade A Global Governance: Leadership and Negotiation Credit: 2 KOMATSU		Grade A Basic Japanese 2A Credit: 1 Kondoh	Grade D Urban Development and Real Estate Policy Credit: 2 KANEMOTO
Tue	Grade B Empirics of Macroeconomic Policies and International Finance Credit: 2 KOEDA		Grade B Empirics of Macroeconomic Policies and International Finance Credit: 2 KOEDA		Grade Pass State Building and Development Credit: 2 SONOBE	
Wed					Grade Pass State Building and Development Credit: 2 SONOBE	Grade D Urban Development and Real Estate Policy Credit: 2 KANEMOTO
Thu			Grade A Global Governance: Leadership and Negotiation Credit: 2 KOMATSU	Grade B Education Policy Credit: 2 OKAMOTO	Grade B Education Policy Credit: 2 OKAMOTO	
Fri						
Sat						
Others						

戻る

成績照会(全体)

[成績照会 (全体)] ボタンをクリックすると、2種類の表が表示されます。

Gateway to Global Leadership
GRIPS 政策研究大学院大学

Menu

成績照会(学期) 学期:

※Available only after the grade release dates of each term.

成績照会(全体) 学期:

履修登録状況 CSV出力

- 上段の表には、これまでに履修した全ての科目とその成績評価が表示されます。履修中の場合は「*」が表示されます。
- 下段の表には、区分ごとの単位修得状況が表示されます。

成績照会(全体)

プログラム Young Leaders Program (School of Local Governance)	学籍番号 se-stu	氏名 PlannersX 太郎X	修了予定年月 2012/02
科目名	担当	単位数	修得時期
【II Core Elective Co.】			
Global Governance: Leadership and negotiation	KOMATSU Masayuki	2	A
【IV Elective Courses】			
Managing Cultural Diversity	AIKAWA-FAURE Noriko	2	C
Introduction to Quantitative Methods	OYAMA Tatsuo and MOROHOSHI Hozumi	2	B
Macroeconomics II	DEGUCHI Kyoko	2	B
Microeconomics II	YOSHIDA Yuchiro	2	A
Education Policy	OKAMOTO Kaoru	2	B
Labor Economics	KUROSAWA Masako	2	B
【OTHER】			
Empirics of Macroeconomic Policies and International Finance	KOEDA Junko	2	B
Urban Development and Real Estate Policy	KANEMOTO Yoshitsugu	2	D
State Building and Development	SONOBE Tetsushi and SHIRAIISHI Takashi	2	Pass
Basic Japanese 2	Kondoh et al.	1	A
【OTHER R】			
Strategies for Editing and Revising	NAKATSUGAWA Miyuki	1	*
(Prospective number of credits (including * ongoing courses))		1	
(Number of credits earned)		21	

●修了要件

区分	必要単位数	修得単位数
I Required Courses	18	0
II Core Elective Courses	4	2
Total I Required Courses, II Core Elective Courses, III Recommended Courses, IV Elective Course	30	14

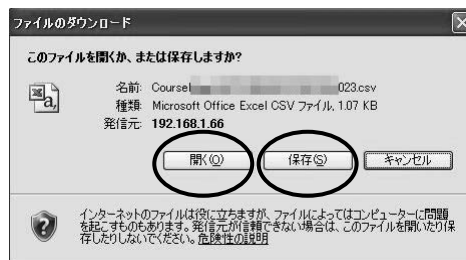
戻る

履修登録状況 CSV 出力

(1) プルダウンメニューをクリックして、学期を選択します。



(2) [履修登録状況 CSV 出力] ボタンをクリックするとその時点で登録している履修科目の一覧が CSV ファイルでダウンロードできます。ファイルを開く場合は [開く] ボタンをクリックし、保存する場合には [保存] ボタンをクリックしてください。



授業連絡

7

講義情報（資料、休講、課題等）の学生への連絡は、Microsoft Teams を使用します。

Teams のログイン方法

Teams を利用するためには Office365 へログインする必要があります。Office365 (<https://www.office.com/>) にアクセスします。

ログイン画面が表示されたら、学籍番号（小文字） @grips.ac.jp の E-mail アドレス と GRIPS パスワード を入力してください。

Teams 登録方法

各講義の Teams に登録するには、履修登録案内で通知される、Teams のチームコードを用いて講義毎に作成されたチームに登録する必要があります。講義資料や休講補講の連絡、オンライン講義の URL など受講に必要な情報は Teams に掲示されますので、履修予定の講義には早めに登録することをお勧めします。

なお、Teams は講義内での情報共有のために使用するものです。正式な履修登録は「履修登録・成績照会」に記載の方法で行ってください。Teams に登録しただけでは履修登録をしたことにはなりませんのでご注意ください。

登録手順

(1) 履修登録案内で下記のような、講義毎に生成されたコード一覧が配布されます。

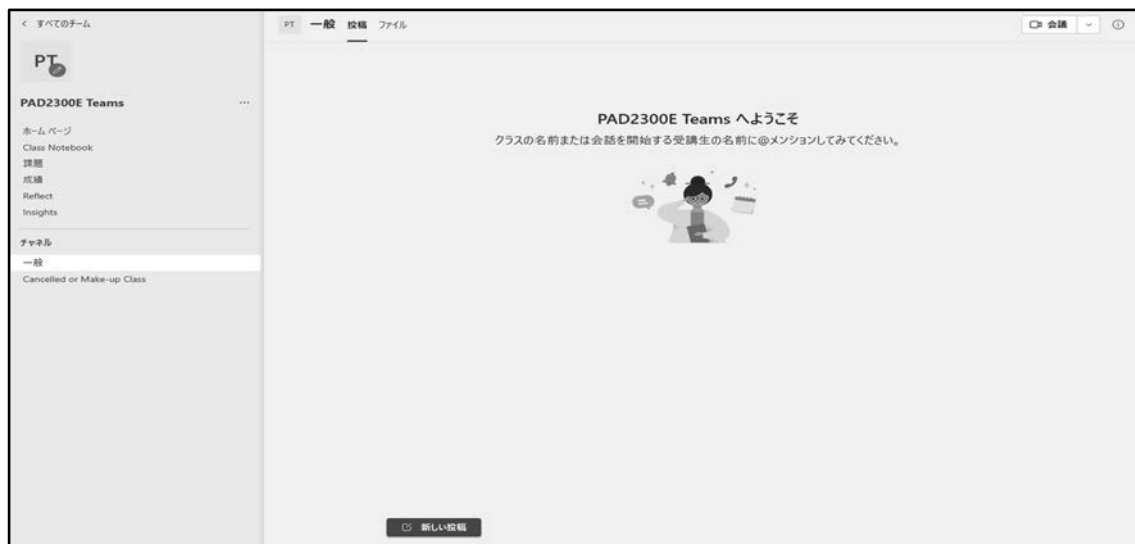
Teamcode	Course name
gz6ji2q	MEP4120E Thesis Seminar II FUJIMOTO Junichi, et al.
ux9pny2	[Fri2Fri3]ECO2000EA_Microeconomics II_XING Yuqing
1hvvp0f	[Fri3Fri4]STI2230E_Energy Data Analysis_NEI Hisanori
1hvvp0f	[Fri3Fri4]STI17231E_Energy Data Analysis_NEI Hisanori
zmnzrgl	[Mon2Mon3]ECO6080E_Advanced Macroeconomics II_FUJIMOTO Junichi
oqfiuqj	[Mon3Mon4]MOR2020E_Data Science in Practice TAKENOUCHI Takashi
hch3pkk	[Sat1Sat2]STI2070J_科学技術外交論_廣木 謙三

(2) 左側のアプリバーから「チーム」選択し、右上の「チームに参加/チームを作成」ボタンをクリックしてください。下記のような画面が表示されたら参加する講義のコードを入力し、「チームに参加」をクリックして登録します。



※一度登録したチーム（講義）は、学生では削除できません。特別な場合を除き、履修登録確定後に削除されます。

(3) 登録が完了すると以下のような画面が表示されます。



授業連絡の確認方法

講師からの連絡は「一般」のチャンネルで確認することができます。その他のチャンネルに投稿された場合はクリックしてチャンネルを切り替えて下さい。



講義資料の確認方法

チャンネル名の右側にある「ファイル」をクリックするとアップロードされたファイルを確認することができます。



課題の提出方法

講師が課題の提出を求めることがあります。その場合は以下の手順で提出してください。

- (1) 課題が作成されると「一般」チャンネルに下記のように表示されます。[課題の表示] をクリックしてください。



- (2) [添付] をクリックし、ファイルをアップロードしてください。



- (3) 画面右上の[提出] ボタンをクリックすると提出完了です。



学籍異動・各種証明書の申請

7

各種申請

G-way のメニュー (MENU)「各種申請」から学籍の異動や各種証明書の発行を申請することができます。



学籍異動申請

(1) [学籍異動申請] をクリックしてください。



(2) [新規申請] をクリックすると新規申請画面が表示されます。



(3) 「異動区分」で申請する区分を選択し、必要事項を入力の上、[申請] ボタンをクリックしてください。



(4) 申請内容が画面に表示されます。

(5) 申請内容を修正する場合は [MODIFY] をクリックし、申請を取り消す場合は [DELETE] をクリックしてください。(※この操作は、「申請状況」が「申請中」の時のみ有効ですので、注意してください。)



7. 学生生活 —G-way—

各種証明書発行申請

(1) [証明書発行申請] をクリックしてください。



(2) [新規申請] をクリックすると新規申請画面が表示されます。



(3) 「証明書の種類と必要発行部数」に発行可能な証明書の種類が表示されるので、証明書の種類と部数を選択し、「申請理由」に申請理由を入力してください。



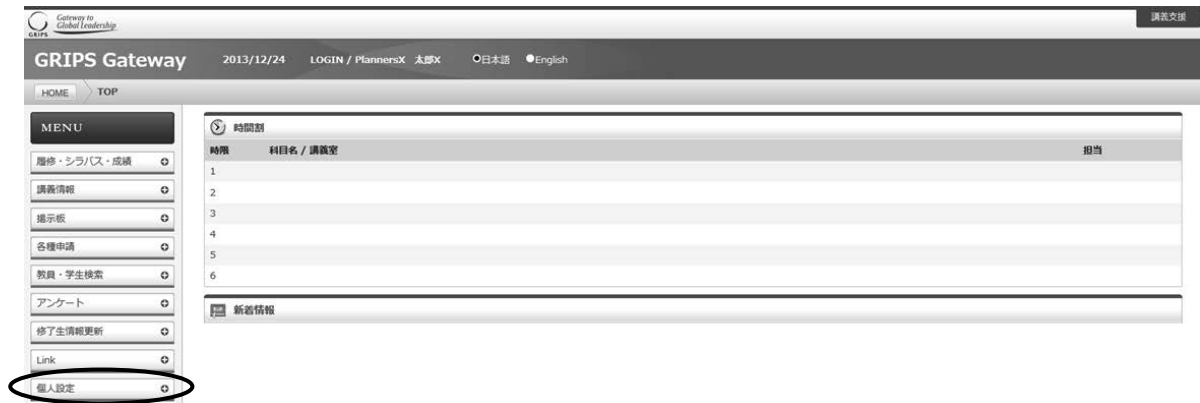
(4) 入力後、[申請] ボタンをクリックすると、申請内容が画面に表示されます。

(5) 申請内容を修正する場合は [MODIFY] をクリックし、申請を取り消す場合は [DELETE] をクリックしてください。(※この操作は、「申請状況」が「申請中」の時のみ有効ですので、注意してください。)



個人設定

個人設定



プライバシー設定

[プライバシー設定] をクリックすると、「教員・学生検索」で表示される情報の公開可否を設定することができます。

Gateway to Global Leadership GRIPS 政策研究大学院大学	
Directory Search	Student Privacy Setting

メールアドレス1:	<input checked="" type="radio"/> 許可しない <input type="radio"/> 許可する
メールアドレス2:	<input checked="" type="radio"/> 許可しない <input type="radio"/> 許可する
メールアドレス3:	<input checked="" type="radio"/> 許可しない <input type="radio"/> 許可する
顔写真:	<input checked="" type="radio"/> 許可しない <input type="radio"/> 許可する
住所:	<input checked="" type="radio"/> 許可しない <input type="radio"/> 許可する
郵便番号:	<input checked="" type="radio"/> 許可しない <input type="radio"/> 許可する
電話番号:	<input checked="" type="radio"/> 許可しない <input type="radio"/> 許可する
携帯電話番号:	<input checked="" type="radio"/> 許可しない <input type="radio"/> 許可する

IT サービス(IT サポートセンター)

IT サポートセンターの紹介

IT サポートセンターは、GRIPS 内の全ての教員・学生・職員の皆様に対し、快適にご利用いただけるネットワーク環境の提供を目指しております。

IT サポートセンターの業務内容

- ・ GRIPS ネットワークシステム利用に関するご質問にお答えします。
- ・ GRIPS ネットワークシステムにおけるセキュリティ対策およびウイルス対策を行います。

IT サポートセンターで対応できないこと

- ・ プリンタの用紙やトナー等の補充、注文。
- ・ PC 付属品等の物品購入。
- ・ 個人 PC に対するサポート。
- ・ 自宅等への学外出張。

個人 PC の使用ルールとお願い

- ・ 持ち込まれた PC は、利用者各人の責任のもとご利用ください。
- ・ ウイルスに感染すると、本人だけではなく学内のネットワーク全てに影響が出る可能性があります。万一ウイルスに感染した場合は、すぐにネットワークを切断した後、駆除を行ってください。
- ・ 学内のネットワークを利用する場合は研究以外の目的で使わないでください。
- ・ PC をサーバーとして利用しないでください。
- ・ ライセンス規約、および著作権法に違反するソフトウェアの使用は禁止されています。
- ・ PC、情報ネットワーク利用において法に抵触する行為はしないでください。
- ・ 統計ソフトウェアについての質問は教育支援課教務担当までお願いします。

重要なデータの管理に関して

- ・ PC が故障した場合やウイルスに感染した場合などに備えて、重要なデータについては、各自バックアップを作成し、適切な管理を行ってください。
- ・ データ等の紛失、破損などが発生しても大学側では責任を持ちません。

GRIPS ネットワークサービス

- ・ アダルトサイトや違法ダウンロードサイトなど、有害なコンテンツや不正なコンテンツを含むサイトにはアクセスしないでください。

無線 LAN サービス(grips-spot)

- ・ 学内には無線 LAN アクセスポイントが設置されています。
- ・ WPA3 に対応していない PC（目安として、2018 年 6 月以前に製造されたもの）は接続することができません。
- ・ 場所によっては接続しにくい場所があります。
- ・ パスワードは各講義室、IT サポートセンターに掲示されています。

G-way

- ・ 本学が提供している各種サービス（シラバス、履修登録、成績照会、アンケート回答・確認、図書館システム等）へアクセスするためのポータルサイトです。

2 段階認証システム

- ・ 学内システム（G-way）へログインする際はワンタイムパスワードの認証方式でセキュリティ対策を行っています。

GRIPS メール

- ・ 各自に学籍番号（小文字）@grips.ac.jp の E-mail アドレスが与えられます。
- ・ このアドレスは GRIPS 修了後、使えなくなります。

共用 PC

- ・ 共用 PC は講義室 A、CPC ランゲージラボ、および図書館に設置されています。講義室 A の共用 PC には、GRIPS 所有の統計ソフトウェアがインストールされています。
- ・ PC に保存されているデータはシャットダウン、または再起動により自動的に消去されます。
- ・ 研究以外の目的で使わないでください。

共有プリンタ

- ・ 4Fに1台、5Fに3台、6Fに2台設置してあります。
- ・ 共用PC経由もしくはUSBメモリ経由で印刷できます。なお、USB経由の場合にはPDF形式のファイルのみ印刷可能です。
- ・ 紙やトナー、コピーポイントに関するお問い合わせは教育支援課教務担当までお願いします。

スキャナ

- ・ 共有プリンタでUSBメモリへの保存が出来ます。

学内 IT サポートセンター窓口連絡先

内線：6092 / 2501

外線：03-6439-6092

E-mail：support@grips.ac.jp

受付時間：月～金 9:00～18:00

G-way2段階認証システム

1. GRIPS の HP (<https://www.grips.ac.jp/>) にアクセスし、[Intranet] をクリック



2. [GRIPS ID] と [GRIPS PASSWORD] を入力 → [Login] をクリック

3. ワンタイムパスワード (OTP) の入力画面が表示されるので、表示されているメールアドレスが登録したメールアドレスと同じであることを確認してください。

4. 登録したメールアドレスで受信した OTP メールを確認し、本文に記載されている OTP をコピー → G-way のログイン画面に OTP を入力 → [send] をクリック → G-Way にログイン

GRIPS メール

GRIPS メール（Microsoft Outlook）初回ログイン方法

1. GRIPS メール（<https://outlook.office.com>）にアクセスし、GRIPS メールアドレスを入力 → [次へ] をクリック

2. GRIPS パスワードを入力 → [サインイン] をクリック

3. [次へ] をクリック

7. 学生生活
ーITサービスー

4. [別の方法を設定します] をクリック

※ここでは電話番号の認証設定をご案内します。

アカウントのセキュリティ保護

組織により、身元を証明するための次の方法を設定することが求められています。

Microsoft Authenticator

最初にアプリを取得します

お客様の電話に Microsoft Authenticator アプリをインストールします。今すぐダウンロード

デバイスに Microsoft Authenticator アプリをインストールした後、[次へ] を選択します。

次へ

別の方法を設定します

5. [方法を選択します] をクリックし [電話] を選択 → [確認] をクリック

別の方法を選択します ×

どの方法を使用しますか?

方法を選択します

認証アプリ

電話

別の方法を選択します ×

どの方法を使用しますか?

電話

キャンセル

確認

6. [Japan+81] を選択し、電話番号を入力 → [次へ] をクリック

※[コードを受け取る] または [電話する] は任意で選択してください。

電話

電話で呼び出しに応答するか、電話でコードを受け取ることで、本人確認ができます。

どの電話番号を使用しますか?

Japan (+81)

09012345678

☒ コードを受け取る

☐ 電話する

メッセージとデータの通信料が適用される場合があります。[次へ] を選択すると、次に同意したことになります。サービス使用条件 および プライバシーと Cookie に関する声明。

次へ

7. [コードを受け取る] を選択した場合、SMS で送られた 6 桁のコードを入力し [次へ] をクリック

電話

+81 [redacted] に 6 桁のコードをお送りしました。コードを以下に入力してください。

123456

コードの再送信

戻る

次へ

8. 「次へ」をクリック

電話

✓ 検証が完了しました。電話が登録されました。

次へ

9. 「完了」をクリック

成功

セキュリティ情報が正常にセットアップされました。「完了」を選択し、サインインを続行します。

既定のサインイン方法:

電話
+81

完了

[注意]

- ・ 項番 4-6 は初ログイン時のみの作業となります。
- ・ GRIPS メールは 1 通あたり添付ファイルを含めて最大 20MB まで送受信できます。

共有プリンタ

共有PCから印刷

1. プリンタ選択画面から、印刷を出力するプリンタを選択
[両面]、[まとめて1枚]、[カラーモード] の設定が必要な場合には印刷設定画面にて変更し、[OK] をクリック



[5F-1、5F-2]



[4F-1、5F-3、6F-1、6F-2]

2. [蓄積用ユーザーID] を入力 → [OK] をクリック
※ユーザーID は (学籍番号など) 任意のもので構いません。



3. プリンタの横にあるカードリーダーにカードを挿入 ※カード間のポイント移動はできません。



① GRIPS ID カード用



② 交通系カード用 (SUICA・PASMO)

4. 言語設定

1) 5F-1、5F-2 のプリンタの言語設定

[電源/節電] ボタンを押す → [地球儀] アイコンをタップ



言語を選択 → [OK] をタップ



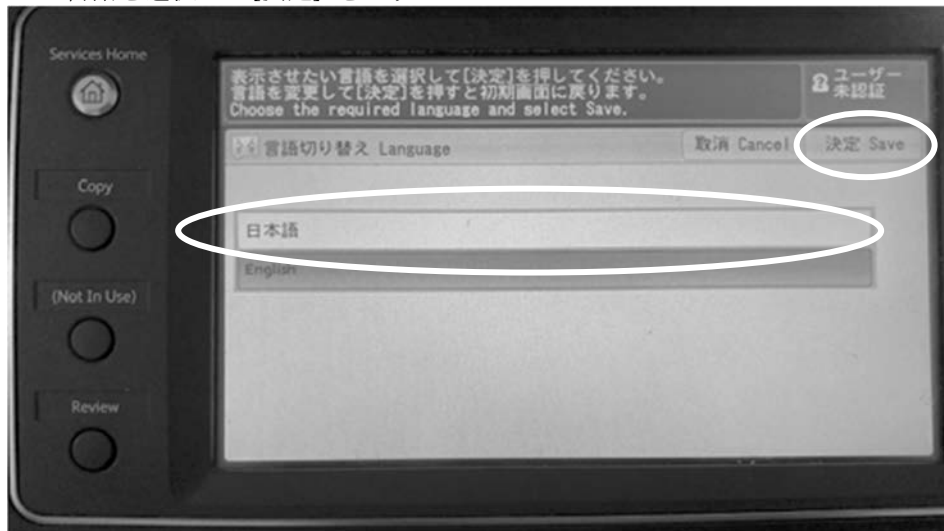
2) 4F-1、5F-3、6F-1、6F-2 のプリンタの言語設定

プリンタ左上の [Service Home]を押す → [言語切り替え/ Language] をタップ

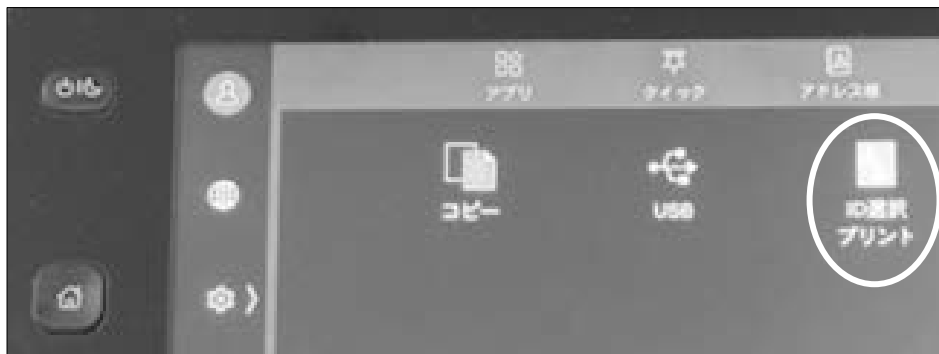


7. 学生生活
ーITサービスー

言語を選択 → [決定] をタップ

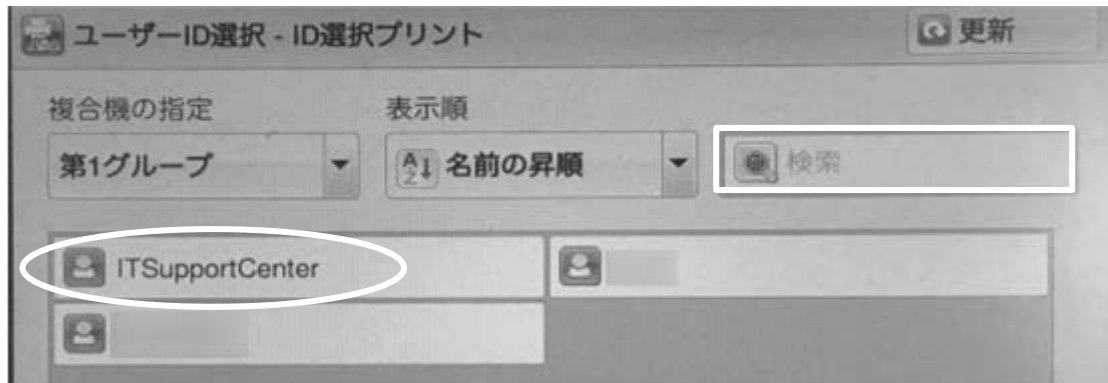


5. [ID 選択プリント] をタップ

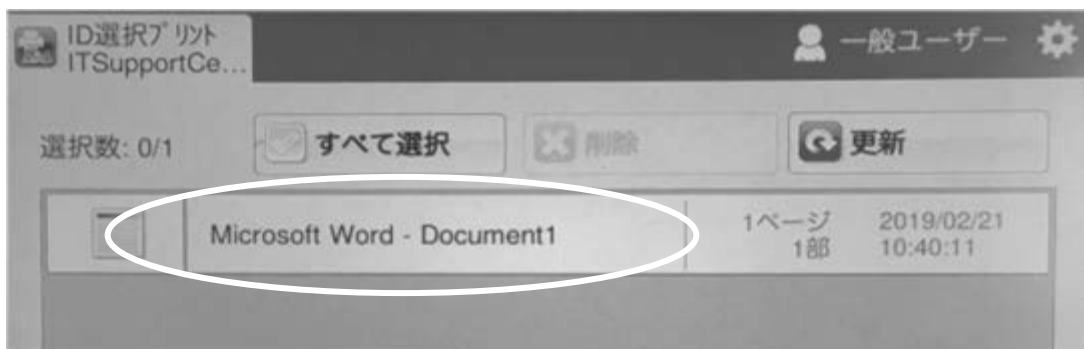


6. ID一覧の中から手順2で入力したユーザーIDを選択

※ID一覧に対象のIDが確認できない場合、画面右上の【検索】ボックスから検索することもできます。



7. 印刷したいドキュメントを選択 → 【スタート】をタップ



USB から印刷

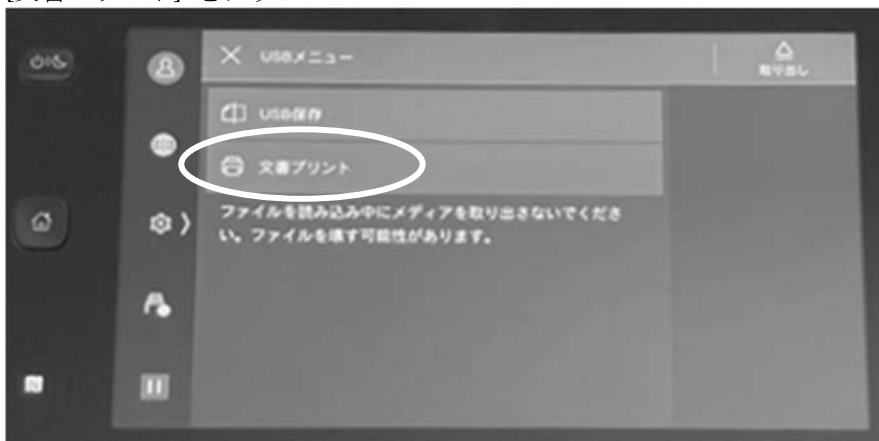
5F-1、5F-2 のプリンタの場合

1. USB メモリをプリンタに接続 → [確認] をタップ

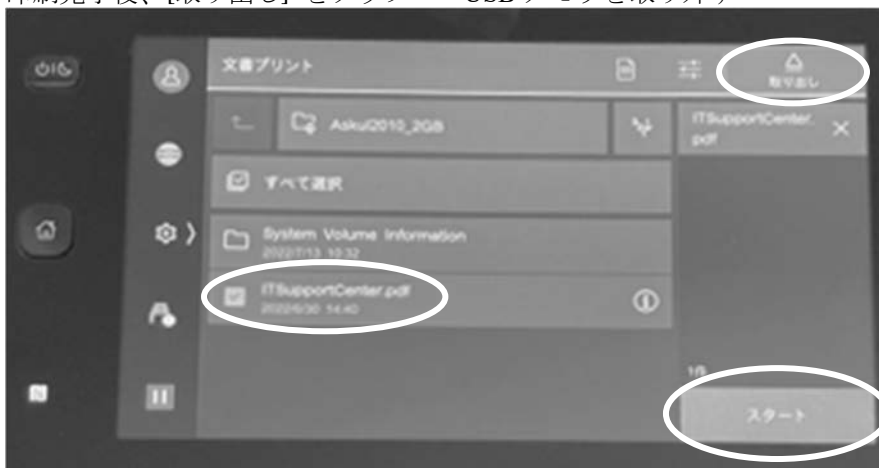
※NTFS と exFAT のフォーマットはサポートされていません。



2. [文書プリント] をタップ



3. 印刷したいファイル名を選択 → [スタート] をタップ
印刷完了後、[取り出し] をタップ → USB メモリを取り外す



※メニューアイコンをタップ → 印刷設定の変更ができます



4F-1、5F-3、6F-1、6F-2 のプリンタの場合

1. USB メモリをプリンタに接続 → [文書プリント] をタップ
 ※USB から印刷する場合には **PDF ファイル**のみ読み込みできます。
 ※NTFS と exFAT のフォーマットはサポートされていません。



2. [すべてを選択] が選択されていることを確認 → 設定(カラーモード等)変更 → 本体の [Start] を押す
 ※特定のファイルを印刷したい場合、[一覧から選択] を選択 → プリントしたいファイルを指定 → 本体の [Start] を押す



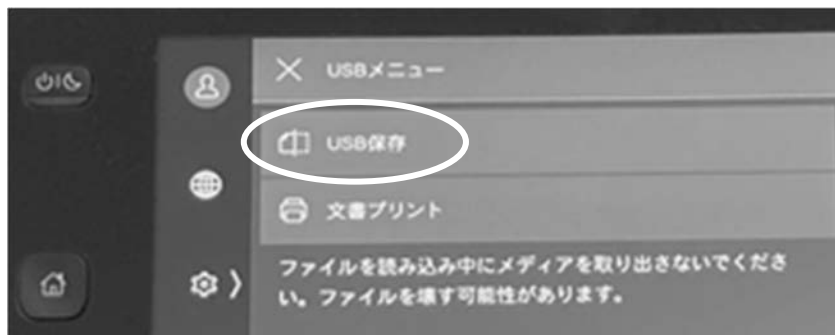
スキャナー

5F-1、5F-2 のプリンタの場合

1. USB メモリをプリンタに接続 → [確認] を押す
※NTFS と exFAT フォーマットの USB は使用できません



2. [USB 保存] を押す



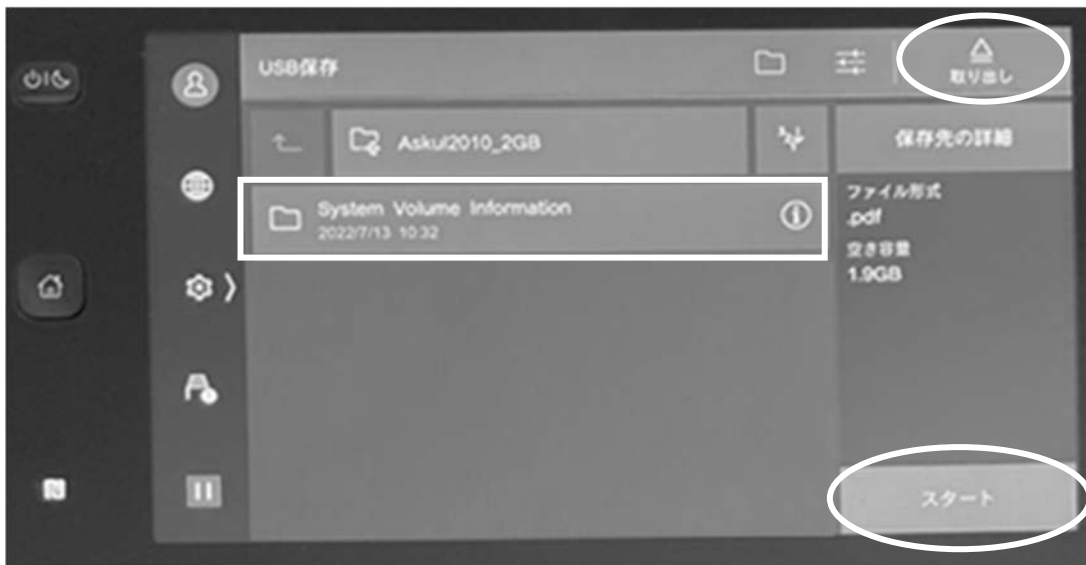
3. [メニュー] アイコンを押す → 設定を変更



4. スキャンする書類を以下のどちらかの方法でプリンタにセット
- ① スキャンする面を上にして自動トレイにセット
 - ② スキャンする面を下にして蓋を閉める



5. 保存先を選択 → [スタート] を押す
スキャン完了後、[取り出し] を押す → USB メモリを取り外す



7. 学生生活 —ITサービス—

4F-1、5F-3、6F-1、6F-2 のプリンタの場合

1. USB メモリをプリンタに接続 → [スキャナー (USB メモリ保存)] を押す
※NTFS と exFAT フォーマットの USB は使用できません



2. 画面下部の [出力するファイル形式] を指定



3. スキャンする書類を以下のどちらかの方法でプリンタにセット → 本体の [Start] を押す
 - ① スキャンする面を上にして自動トレイにセット
 - ② 読み取り面を下にして蓋を開める



4. 以下の画面が表示されたら、[閉じる] を押す → USB メモリを取り外す



共用 PC

共用 PC

講義室 A (5 階)、CPC ランゲージラボ (5 階)、図書館 (2 階) に共用 PC が設置されています。

言語設定

PC 起動後に、使用する OS の言語（英語か日本語）の切り替え画面が表示されます。

英語で使用する場合：Win10_L570_English_202***** を選択 → [Enter] を押す

日本語で使用する場合：Win10_L570_日本語_202***** を選択 → [Enter] を押す

※ LAN ケーブルは抜かないでください。



【注意！】

PC 上に保存されたデータはシャットダウンや再起動の際、すべて自動的に消去されます。

共用 PC で作業する際はデータをご自身の USB メモリ等に保存してください。

重要な確認事項

各種問い合わせ先

G-wayに関するお問い合わせ	➡	教育支援課教務担当
机上の物（机、ロッカー、電球、電源など）	➡	スチューデントオフィス
パスワードトラブル（G-way） プリンタの不具合 キャンパス内のインターネットへの接続トラブル	➡	IT サポートセンター

各種 URL

サービス名	URL	内容
G-way	https://gportal.grips.ac.jp/fw/dfw/GSSOF/redirect.php	学内ポータルサイト兼 教育支援情報サービスシステム
GRIPS Mail	https://outlook.office.com	Web メールサービス

ご不明な点がございましたら、IT サポートセンターまでご連絡ください。

内線：6092 /2501

Email：support@grips.ac.jp

学内における学生の PC 使用について

GRIPS 学生の PC 使用について

GRIPS に在籍している間、学生は個人の PC 又は学内に設置されている共用 PC のいずれかを使用して、学位論文の執筆や、履修登録などの学事手続きを行います。GRIPS では、学生が個人の PC を持参することを推奨しています。

ソフトウェア

Microsoft Office、STATA、MATLAB、ArcGIS などの大学所有のソフトウェアは、所定の手続きを経て、学生個人の PC にインストールすることができます。

学生個人 PC のセキュリティ要件

個人 PC は、ウイルス対策ソフトウェアをインストールする必要があります。

GRIPS の共用 PC

約 50 台の共用 PC が、講義室 A、図書館、CPC ランゲージラボに設置されています。学生は、これらの PC を学修や、各種学事手続きのために使うことができます。ただし長時間独占的な利用はできません。

お問い合わせ

教務担当

内線:6042

メール: ast@grips.ac.jp



図書館（2 階）



講義室 A(5 階)

教育支援課

教育支援課では、様々な学生支援を行っています。(受付時間：月～金 9時～12時、13時～17時)

担当	学生支援内容	
総務担当 E-mail : kyouiku@grips.ac.jp	奨学金 博士課程授業料免除制度 ティーチング・アシスタント	講義室・コピー室・ 院生研究室の消耗品 ・ホワイトボードペン ・蛍光灯 ・コピー用紙 ・複合機カートリッジ
教務担当 E-mail : ast@grips.ac.jp	カリキュラム 履修登録 時間割 講義室・ゼミ室 休学・復学・退学手続 住所変更届 各種証明書発行	
プログラム運営担当 E-mail : pmt-ml@grips.ac.jp	教育プログラムに関すること	
スチューデントオフィス E-mail : studentoffice@grips.ac.jp	学生生活・宿舎に関する相談 文化交流イベントの紹介 学生教育研究災害傷害保険 学割証発行 屋内運動場（卓球用具貸出等） 院生研究室、院生談話室	
E-mail : alumni-ml@grips.ac.jp	院生会のサポート 修了生データ管理	

各種証明書の発行

※ 定期券購入には必要ありません。

成績証明書・在学証明書・修了見込証明書

- ・ G-way からオンラインで申請してください。
- ・ 成績証明書は、春学期の成績発表以降に申請可能です。
- ・ 修了見込証明書は、1年制修士課程学生については春学期の成績発表以降、2年制修士課程学生については在学2年目、博士課程学生については最終論文発表会以降に申請可能です。
- ・ 証明書発行に関しての質問は、ast@grips.ac.jp までお願いします。

発行までの日数及び受領方法

- ・ 成績証明書・在学証明書・修了見込証明書・学割証は、申請日翌日から3業務日以内に受け取ることができます。
- ・ 発行した証明書は、学生のメールボックスに投函します。

各種届

- ・ 以下の場合、速やかに教務担当に届け出てください。

学割証(学校学生生徒旅客運賃割引証)

- ・ スチューデントオフィスにて申請してください。

(1) 学生証を紛失または破損した場合

※ 再発行のための実費 2,500 円を徴収します。

※ 学生証には IC チップが内蔵されており、夜間や週末に大学へ入構する際及び図書館へ入館する際に必要となりますので、取扱いに注意してください。

- (2) 通学定期乗車券発行控を紛失した場合
- (3) 住所、連絡先等が変更となった場合
- (4) 休学、退学、復学又は休学期間の延長を希望する場合（G-way からオンラインで申請）

※ 特別の事由のある場合を除き、学籍異動希望日の 3 週間前までに申請してください。

教材等のコピー・印刷

授業関係の配付物

- ・ 授業関係の配付物は、授業の際に直接配付される他、TEAMS の掲示板上に配信されます。

コピーポイント

- ・ 学生証には、学内専用のコピー用ポイントが年間 10,000 ポイント付与されています。使用開始前に必ず、ポイントが付与されているか確認してください。
- ・ 学生証のカード初期不良時以外、紛失等の際のコピーポイント再付与は一切いたしませんのでご注意ください。

ICカード（Suica、PASMO等）の利用

- ・ 学内のコピー機では、お手持ちの IC カードにチャージされた電子マネーを利用することも可能です。学生証に付与されたコピーポイントを使い終わった後は、IC カードをご利用ください。

白黒印刷・コピー：5 ポイント（5 円）/ページ
 カラー印刷・コピー：25 ポイント（25 円）/ページ

教材用コピーカード

- ・ 授業用教材について、教員が「教材コピー指示書」を添えて、履修者の代表にコピーを指示することがあります。その場合は、教材と指示書を教務担当まで持参してください。学生証と交換で教材用コピーカードを貸し出します。

大学からの連絡

- ・ 休講、補講、講義室変更、その他大学からの連絡事項は、TEAMS と SharePoint に掲載されます。頻繁に確認をするか、更新通知をメールで受領できるよう、あらかじめ設定してください。

学外からの連絡

郵便物

- ・ 学生宛ての郵便物は受領できません。自宅等の住所を郵便物の送付先として指定してください。

派遣元等からの電話連絡

- ・ 緊急時を除いて取り次ぎはできかねます。連絡にはメールをご使用ください。調査等を実施する際も、各自の電話連絡先は、本学ではなく、個人の携帯番号等としてください。

学生用保険

- ・ 本学の学生は全員「学生教育研究災害傷害保険（略称『学研災』）（通学中等傷害危険担保特約付帯）」に加入することになっています。
- ・ 保険の詳細については、加入手続きの際に配布される「学生教育研究災害傷害保険加入者のしおり」を参照してください。
- ・ 万が一、この保険の対象となる事故で怪我等をした場合は各自で保険金請求を行ってください。
<http://www.jees.or.jp/gakkensai/inform.htm>
 保険会社へ事故通知を送付後、スチューデントオフィスにお知らせください。

学籍異動に関する案内

在学可能期間と休学可能期間

	最大在学可能期間	最大休学可能期間
修士課程	4 年	2 年
博士課程	6 年	3 年

休学

休学の条件

病気その他やむを得ない事由により、引き続き 3 ヶ月以上就学することができない場合は、所定の申請手続きに基づき、学長の許可を得て休学することができます。

休学期間

休学期間は、原則として月ごと（初日から末日）に取得できます。修士課程では通算 2 年、博士課程では通算 3 年を超えることはできません。（休学期間は、修業年限及び在学期間に算入されません。）

休学の手続き

- (1) 休学を希望する者は、指導教員及びプログラムディレクターと面談し、復学後の履修・研究計画について、十分に相談してください。
- (2) 休学申請前に以下の事項を完了してください（休学申請時に「休学手続確認票」を提出）。
 - ・ 図書返却
 - ・ 院生研究室座席まわりの私物の撤去
 - ・ 奨学金関係の手続き（該当者のみ）
 - ・ 休学前までの授業料納付（未納者のみ）
- (3) 休学開始希望日の原則として 3 週間前までに、G-way からオンラインで「休学」を申請してください。なお、病気による休学の場合は、医師の診断書を教務担当に提出してください。
- (4) 休学の許可が下りた後、教務担当にて「休学許可書」を直接もしくは郵送にて交付します。

授業料の取扱い

休学中の授業料は免除されます。ただし、期の途中から休学をする場合、一旦納付した授業料は返還されませんので、注意してください。期の途中から休学することがあらかじめわかっている場合は、前期（4～9 月）の場合は 2 月末日までに、後期（10～

3 月）の場合は 8 月末日までに教務担当までメールにて連絡してください。連絡がない場合は 6 ヶ月分の授業料を納付していただきます。

休学期間中のサービス

休学期間中も引き続き、以下のサービスを受けることができます。

- ・ 各種証明書の発行
- ・ GRIPS メールアドレスの利用
- ・ 図書館の利用（休学前に借りていた図書の返却及び休学期間中の利用登録が必要）

休学延長の手続き

病気その他やむを得ない事由により、休学の延長をする場合は、指導教員及びプログラムディレクターに相談の上、休学期間満了日の 3 週間前までに、G-way からオンラインで「休学継続」を申請してください（「休学手続確認票」、医師の診断書（病気による休学継続の場合）の提出は不要です）。

休学延長の手続きをせずに休学期間満了日を迎えた場合は、授業料債権が発生し、納付が必要となるので注意してください。

住所変更、連絡先の変更

休学中に住所、連絡先等に変更が生じた場合は、速やかに教務担当まで連絡してください。

復学

期間満了による復学手続

休学期間満了による復学の場合は、指導教員及びプログラムディレクターに相談の上、休学期間満了日の原則として 3 週間前までに、G-way からオンラインで「休学期間満了」を申請してください。なお、病気による休学から復学する場合は、医師の診断書を教務担当に提出してください。

休学期間満了前の休学解除手続き

休学の事由が消滅したときは、休学期間途中であっても、学長の許可を得て復学することができます。その場合は、指導教員及びプログラムディレクターに相談の上、復学希望日の原則として 3 週間前まで

に、G-way からオンラインで「休学解除」を申請してください。なお、病気による休学から復学する場合は、医師の診断書を教務担当に提出してください。

その他

復学に際して、カリキュラム等に不明な点がある場合は、教務担当まで問い合わせてください。

退学

(1) 退学を希望する者は、指導教員及びプログラムディレクターの承認後、退学希望日の原則として 3 週間前までに、G-way からオンラインで「退学」を申請してください。なお、病気による退学の場合は、医師の診断書を教務担当に提出してください。

(2) 退学申請前に以下の事項を完了してください。

- ・ 図書返却
- ・ 院生研究室座席まわりの私物の撤去
- ・ 奨学金関係の手続き（該当者のみ）

- ・ 退学前までの授業料納付（未納者のみ）

(3) 退学に際しては、学生証を返却してください。

連絡先

政策研究大学院大学

教育支援課教務担当

〒106-8677 東京都港区六本木 7-22-1

Tel : 03-6439-6042 Fax : 03-6439-6040

E-mail : ast@grips.ac.jp

授業料及び奨学金

授業料

授業料は、前期（4月～9月）及び後期（10月～翌年3月）、それぞれ321,480円です。前期は4月末日、後期は10月末日までに納付してください。納付額、期限及び振込先口座は、各期の初めに発行する請求書に記載されています。

なお、納付した授業料は還付されません。振込手数料は各自負担してください。また、在学中に授業料の改定があった場合は、改定後の授業料額が適用されます。

奨学金

日本学生支援機構(JASSO)奨学金

意欲と能力のある学生に「教育を受ける機会」を保障し、自立した学生生活を送れるよう支援するもので、第一種奨学金（無利息）、第二種奨学金（利息付）の2種類があり、どちらの奨学金も貸与終了後、

返還の義務が生じます。申込みは大学を通じて行うことになっておりますので、希望される方は、教育支援課総務担当までご相談ください。

詳細は、JASSO ホームページでご確認ください。
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/index.html>

大学院修士段階の「授業料後払い制度」については教育支援課総務担当までご相談ください。

その他の奨学金

その他の財団法人等から奨学金の募集があった場合は掲示しますので、ご確認ください。

インターンシップ

日本国内または国外で実施されるインターンシップ（本学の正規の授業として位置づけられているものを除く）に参加する場合は、下記学内手続きを行ってください。

1. インターンシップ参加届の提出

インターンシップ参加届に必要事項をご記入の上、プログラムディレクター（*博士課程学生は指導教員及びプログラムディレクター）の承諾を得たうえで（プログラムディレクターのサインが必要です）、教育支援課プログラム運営担当（PMT）に、少なくともインターンシップ開始日の2週間前までに提出してください。

（参加届様式は PMT に取りに来るか、または学生向けポータルサイトからダウンロードしてください。）

2. 保険への加入

スチューデントオフィスにて、次の付帯保険に追加加入してください。

- ・インターンシップ等賠償責任保険（学研災付帯賠償責任保険）（インターン賠）

3. インターンシップ終了報告

インターンシップ終了後、教育支援課プログラム運営担当（PMT）にて、インターンシップ参加申請書の終了報告欄にサインをしてください。

施設

入構

- ・ 構内には、24 時間入構することができます。
- ・ 平日は 20:30 から翌朝 8:00 まで、土曜日は 18:00 から月曜日の朝 8:00 まで、日曜日及び祝日は終日、入口が施錠されますが、学生証を建物入口のカードリーダーにかざすことにより、入構することができます。

院生研究室(4 階・5 階・6 階)

講義室(5 階)・ゼミ室(6 階)

- ・ 院生研究室は施錠しませんので、私物は個人の責任において管理してください。特に貴重品の管理には注意してください。
- ・ 院生研究室・院生談話室の清掃は、各自で行ってください。5 階及び 6 階の院生研究室に掃除用具が常備されています。
- ・ 院生研究室の壁面への張り紙は禁止します（パーティションへの張り紙は可）。
- ・ 院生研究室内での私語や携帯電話の利用は控えてください。
- ・ 院生研究室、講義室及びゼミ室の蛍光灯やホワイトボード用の水性ペンが切れた場合は、教育支援課までお知らせください。
- ・ 院生研究室、講義室及びゼミ室での飲食は厳禁です（ペットボトル又はふた付きのボトルに入った飲み物であれば持ち込み可）。飲食は、院生談話室、コモンスペース及びラウンジにて行うようにしてください。
- ・ 講義終了後や、院生研究室、講義室及びゼミ室使用後は、最後に部屋を出る方が照明や冷暖房のスイッチを切り、節電にご協力下さい。また、ホワイトボードは次に使用する人のために消してください。
- ・ 自主ゼミ等のために講義室やゼミ室を使用した方は、必ず事前に教務担当にて予約してください。予約は 2 日分までのみ受け付けます。
- ・ 講義室には、教卓用ノート PC、プロジェクタ、DVD プレーヤーが設置されています。
- ・ 通常土日祝日の講義室は授業がある場合を除き、施錠されています。ただし、講義室 A（共用 PC 設置教室）及び講義室 B は 8:00～22:00 まで開

放しています。

- ・ プロジェクタ、マイクスピーカーシステムを教務担当にて貸し出しています。使用したい場合は、事前に教務担当まで申し出てください（原則、当日 17:00 までの貸し出しとなります）。

コピー・プリンタ複合機(2 階・4 階・5 階・6 階)

- ・ 4 階院生研究室 1 台、5 階コピー室 2 か所にそれぞれ 2 台と 1 台、6 階コピー室に 2 台、図書館に 2 台（うち 1 台は事務室内、コピー機能のみ）、設置されています。
- ・ 4 階、5 階、6 階の複合機は、講義室 A（PC 教室）とネットワークで接続されており、プリンタとして使用できます。
- ・ 複合機使用にあたっては、学生証に付与されているコピーポイント又は教材用コピーカードが必要です。使用度数は、モノクロが 5 ポイント、カラーが 25 ポイントです。IC カード（Suica、PASMO 等）にチャージされた電子マネーも利用が可能です。金額は、モノクロが 5 円、カラーが 25 円です。
- ・ プリンタ、コピーとも両面印刷利用にご協力ください。
- ・ コピー用紙はコピー機の横にあります。在庫が少なくなった場合は教育支援課まで取りに来てください。

メールボックス(3 階教育支援課内、6 階院生研究室内)

- ・ 各学生にメールボックスが用意されています。配布物などはこのメールボックスに投函しますので、来学の際は必ず確認してください。

掲示板(4 階・5 階・6 階)

- ・ 大学からの通知や案内が掲示されますので、注意してください。
- ・ 学生間の情報交換には、5 階学生用掲示板を利用してください。

コモンルーム(3 階)

- ・ 開室時間：平日 9 時～17 時
- ・ コモンルームは教員用のラウンジです。
- ・ 教員用メールボックスが設置されています。教員との連絡に利用してください。

院生談話室(5 階・6 階)

- ・ 学生同士がコミュニケーションを図り、休憩スペースとして使用できる場所です。
- ・ ロッカーが配置されています。使用を希望する場合は、スチューデントオフィスにて申し込んでください(保証金：4,000 円、修了時返金)。
- ・ 5 階の院生談話室内には院生会室があり、院生会の活動に利用できます。
- ・ 清掃や管理は、院生会を中心として、学生で行ってください。

給湯室(4 階・5 階・6 階)

- ・ 4 階、5 階及び 6 階高層棟側に給湯室があり、電子レンジ及び熱湯の出る蛇口が設置されています。
- ・ 冷蔵庫(5 階と 6 階)の中身の管理、清掃及び電子レンジの清掃は学生が行ってください。

コモンスペース(4 階・5 階)

- ・ テーブルと椅子があり、飲食ができます。なお、4 階テラスは屋外です。

ラウンジ(1 階)

- ・ 開室時間：9 時～23 時
- ・ 自動販売機、ウォーターサーバー及び電子レンジがあります。
- ・ 院生会主催で交流会等を行う際は、基本的にラウンジを使用してください。利用の際は許可が必要ですので、事前にスチューデントオフィスにて手続きを行ってください。

全面禁煙

- ・ 敷地内は全面禁煙です。

自転車・バイク置き場

- ・ 正面玄関右手奥、及び南門右手に自転車・バイク置き場があります。自転車・バイクで来学の場合はこの場所に駐輪してください。

- ・ 自動車での通学は禁止です。

屋内運動場(1 階)

- ・ 平日：10 時～20 時
- ・ 土日、祝日及び年末年始休暇中は利用できません。
- ・ 利用に際しては、トレーナーによる講習の受講が必須となります。講習会の日程は別途連絡します。
- ・ 更衣室、靴箱等には私物を放置せず、必ず持ち帰るようにしてください。

防災管理センター(1 階)

- ・ 拾得物は防災管理センターまで届けてください。

データサイエンスセンター(5 階)

- ・ データサイエンスセンターでは、実証分析を行う学生がデータクリーニングやプログラムの使い方等について相談して指導を受けたり、数理統計学やデータサイエンスについての基礎的知識が十分ではない学生が理解度を深めたりすることができるよう、学生向けコンサルテーションを提供しています。また、外部データベースが利用できる環境も整備しています。

プロフェッショナル・コミュニケーションセンター(5 階)

- ・ プロフェッショナル・コミュニケーションセンター(CPC)では、政策プロフェッショナルに求められる言語運用能力およびコミュニケーション能力の育成のために、さまざまな学習支援、教育手法の開発及び学習機会の提供を行っています。CPCには、英語部門と日本語部門があり、その内容として、英語および日本語のアカデミックライティング(論文作成)やプレゼンテーションスキルに関する講義、セミナーやカウンセリング、留学生のための日本語の講義を実施しています。また、異文化コミュニケーション関連のワークショップ、日本文化体験イベントなどを通して、留学生と日本人学生の皆さんの交流・学習の場を提供しています。

セコム安否確認システムの登録について

本学では、大規模災害発生時における安否確認等の緊急連絡の手段として、「セコム安否確認システム」を導入しております。

セコム安否確認システムは、大規模災害発生時やネットワーク障害等の緊急事態に、予めご自身でご登録いただいた個人メールアドレス（Web, 携帯等）に対して、自動的にメール等を発信します。

安否確認システムから発信を行うメールアドレスの一つには、大学が発行しているアドレス（grips.ac.jp ドメインのもの）を予め登録しておりますが、システム障害等で本学のメールアドレスにアクセスできない場合に備えて、必ず大学が発行しているアドレス以外の個人メールアドレスのご登録をお願いいたします。

メールアドレス等の連絡先情報は、登録した本人のみ確認・修正することが可能です。
セコム安否確認サービスにログインするために必要な情報は、下記のとおりです。

○登録 URL : <https://www.e-kakushin.com/login/>

○企業コード : 0364396000（大学の代表番号と同様です。）

○ユーザ ID : 学籍番号（アルファベットは大文字）

○初期パスワード : 企業コードと同様です。

○注意事項 : ログイン後の具体的な登録方法については、登録マニュアルをご確認ください。また、ログイン後、初めてメールアドレス等の情報を保存する際には、初期パスワードを任意のものに変更する必要がありますのでご注意ください。

なお、避難訓練の際、学生の皆さまには当システムを通じたテストメールが発信される予定ですので、それまでに個人メールアドレスのご登録をお願いいたします。

【本件担当】

教育支援課 教務担当

Email : ast@grips.ac.jp

利用者初期登録マニュアル【自主報告機能あり】

-ver.2.1.0-

ここで登録したメールアドレスは災害発生時に管理者からの安否を確認するメールを受信します。

※ご登録いただいたメールアドレス/電話番号等の情報は、管理者であっても閲覧できません。（※安否確認サービスSCMをご契約の場合のみ、設定による例外がございます。）

パソコンで初期登録

1. インターネットを利用して <https://www.e-kakushin.com/login/> に接続し「ログインページ」ボタンを押します。
企業コード・ユーザーID・初期パスワードを入力し、「ログインする」ボタンを押します。

2. 「アカウント管理」から「パスワード変更」を選択します。初期パスワード（現在のパスワード）から任意のパスワードへ変更します。

※設定の状態やご契約のサービスによって「本人情報詳細」「家族情報」は表示されません。

3. パスワード変更後、[本人情報]画面が表示されます。
「本人情報を変更する」ボタンを押すと[本人情報変更]画面が表示されるので、各項目を入力後「本人情報を変更する」ボタンを押します。

- ① パスワード忘れの質問と回答を入力します。（例: 出身校は? / ○○小学校）
- ② サービスで利用する言語（日本語/英語）を選択します。
※初期値は日本語で設定してあります。
- ③ 『居住地(都道府県)』、『勤務地(都道府県)』で都道府県を選択します。
- ④ 連絡先（メールアドレス/電話番号）を入力します。

4. 「メールアドレスが更新されました。アドレス確認メールを送信しますか?」のメッセージが表示されるので、「OK」ボタンを押します。
登録したアドレスへアドレス確認メールが送信されます。
「メールを送信しました。」のメッセージが表示されるので、「OK」ボタンを押します。登録したメールアドレスに確認メールが届くことを必ず確認してください。

5. 続いて、自主報告専用の URL を通知します。

自主報告専用 URL 取得 QR コードを携帯電話のカメラ機能で読み取ります。もしくは、「URL 通知メールを送信する」ボタンを押します

6. QRコードを読み取った場合、表示されたURLをそのまま「お気に入り」へ登録します。「URL 通知メールを送信する」ボタンを押した場合は、登録したメールアドレス宛に自主報告専用のURLが送信されますので、受信したメールに記載されたURLをそのまま「お気に入り」へ登録します。

※お気に入りには「安否報告画面」など分かりやすい名前をつけていただくことをお勧め致します。

※URL接続後に別画面に進まれた場合は、そのURLはお気に入り登録しないでください。

▼自主報告専用 URL のお知らせ

絆 四郎 様

安否確認メールは、通信の輻輳（ふくそう）や障害等が発生した場合、携帯端末等へのメール着信が遅れる場合があります。
下記の自主報告専用URLにつきましては、携帯電話またはパソコンのインターネット接続用として「お気に入り」にご登録してください。

■自主報告専用のURL

http://www.e-kakushin.com/eanpi/*****

※メールが着信しない場合には、予めお気に入り登録しておいた自主報告専用のURLを利用してセコム安否確認サービスにアクセスいただき、報告すべき災害を選択して安否報告を行ってください。

セコムXXXXサービス

このURLを「お気に入り」へ登録してください。

操作中のパソコンのアドレスを登録する

1. 「アカウント管理」から、「本人情報」を選択します。

2. [本人情報]画面が表示されるので、「空メールでアドレスを更新する」を選択します。自動的にメール送信機能が立ち上がりしますので、件名を変更せずそのまま空メールを送信します。しばらくすると『連絡先登録結果』メールが届きます。

▼連絡先登録結果メール

メールアドレスが登録されました。
The E-mail address has been registered successfully.

セコムe-革新サービス
SECOM e-Innovation service

<https://www.e-kakushin.com/login>

※メール着信が遅い場合は、「アカウント管理」から「本人情報」を選択してメールアドレスが登録されたかを確認してください。

3. 『連絡先登録結果』メールが届いたら、「アカウント管理」から「本人情報」を選択します。

登録されたメールアドレスが表示されていれば、パソコンのメールアドレスの登録が完了です。

※登録エラーメールを受信した場合は再度操作をやり直すか、「パソコンで初期登録」をご参照のうえ、画面上に直接メールアドレスを入力する方法で登録を実施してください。

ヒント

連絡先登録結果メールや、確認メールが届かない場合、下記の点を確認し、再度メール送信の操作を実施してください。

- ・登録されたアドレスに間違いはありませんか？大文字・小文字、「.」、「,」にご注意ください。

フリーメール(hotmail/msnメール/AOL等)を含む一般プロバイダメールの場合、メールの処理手続きで「迷惑メール」として処理をされる可能性があります。

これは不特定多数のサイトからのメールを「迷惑メール」として排除し、快適にメールを使用するために各社独自に判断しています。
よってアドレスの登録は可能ですが、確実に配信されるか不明のためお勧めはできません。

スマートフォンで初期登録

1. インターネットを利用して <https://www.e-kakushin.com/login/> に接続し、企業コード・ユーザーID・初期パスワードを入力して、「ログインする」ボタンを押します。

2. 「メニュー」を押し、「アカウント管理」から「パスワード変更」を選択します。初期パスワード(現在のパスワード)から任意のパスワードへ変更します。

※設定の状態やご契約のサービスによって「本人情報詳細」「家族情報」は表示されません。

3. パスワード変更後、「本人情報」画面が表示されます。本人情報を変更するボタンを押すと「本人情報変更」画面が表示されるので、各項目を入力後「本人情報を変更する」ボタンを押します。

- ①パスワード忘れの質問と回答を入力します。(例:出身校は?/〇〇小学校)
- ②サービスで利用する言語(日本語/英語)を選択します。
※初期値は日本語で設定してあります。
- ③『居住地(都道府県)』、『勤務地(都道府県)』で都道府県を選択します。
- ④連絡先(メールアドレス/電話番号)を入力します。

4. 「メールアドレスが更新されました。アドレス確認メールを送信しますか?」のメッセージが表示されるので、「OK」ボタンを押します。登録したアドレスへアドレス確認メールが送信されます。「メールを送信しました。」のメッセージが表示されるので、「OK」ボタンを押します。登録したメールアドレスに確認メールが届くことを必ず確認してください。

5. 続いて、自主報告専用の URL を通知します。「URL 通知メールを送信する」ボタンを押します。

本人情報

本人情報の変更を行うには、「本人情報を変更する」を押してください。

基本情報

ご利用者名

姓 四郎

ご利用者名(カナ)

キズナ シロウ

ユーザーID

00002

(2) 以下のボタンを押すことによって、予めご登録いただいているメールアドレスにURL通知メールを送信いただく方法

URL通知メールを送信する

6. 登録したメールアドレス宛に自主報告専用のURLを通知致します。メール内のURLをそのまま「お気に入り」へ登録してください。
※お気に入りには「安否報告画面」など分かりやすい名前をつけていただくことをお勧め致します。
※URL接続後に別画面に進まれた場合は、そのURLはお気に入り登録しないでください。

▼自主報告専用 URL のお知らせ

姓 四郎 様

安否確認メールは、通信の輻輳(ふくそう)や障害等が発生した場合、携帯端末等へのメール着信が遅れる場合があります。

下記の自主報告専用URLにつきましては、携帯電話またはパソコンのインターネット接続用として「お気に入り」にご登録してください。

■自主報告専用のURL

http://www.e-kakushin.com/eanpi/*****

※メールが着信しない場合には、予めお気に入り登録しておいた自主報告専用のURLを利用してセコム安否確認サービスにアクセスいただき、報告すべき災害を選択して安否報告を行ってください。

セコムXXXXXサービス

このURLを「お気に入り」へ登録してください。

注意事項

◇自宅パソコン(家族共有端末など)のメールアドレスを登録された場合は、ご家族の方へ弊社サービスからのメールが届く場合があることを事前にご案内いただくようお願いいたします。「知らないメールが届く」と、ご家族の方から問合せが多くなっております。

◇パスワードを間違えて連続入力すると、パスワードが無効になりログインができなくなります。ログインページの「パスワードを忘れた方はこちら」よりパスワードの再設定をお願いいたします。
※手順の詳細は「利用者用操作マニュアル」の『パスワードを再設定する(パスワードを忘れた場合、ログインできない場合)』をご確認ください。
ご登録いただいているメールアドレスが利用出来ない場合等は、貴社の管理担当部署に(SCMをご利用の場合は取引先の管理担当部署に)パスワード初期化の依頼をしてください。パスワードが初期パスワードにリセットされ、ログインできる状態になります。

操作中のスマートフォンのアドレスを登録する

1. 「メニュー」押し、「アカウント管理」から「本人情報」画面を表示します。

2. 「空メールでアドレスを更新する」を選択すると、自動的にメール送信機能が立ち上がりますので、件名を変更せずそのまま空メールを送信します。しばらくすると『連絡先登録結果』メールが届きます。

※メール着信が遅い場合は、画面右上にある「メニュー」押し、「アカウント管理」から「本人情報」を選択してメールアドレスが登録されたかを確認してください。

3. 『連絡先登録結果』メールが届いたら、「メニュー」押し「アカウント管理」から「本人情報」を選択します。登録されたメールアドレスが表示されていれば、携帯電話のメールアドレスの登録が完了です。

※ご利用の機種によっては『連絡先登録結果』メールを受信ボックスで確認してしまうと、操作中の画面に戻れない場合があります。その際はメールに添付されているURLより再度ログインしてください。

※登録エラーメールを受信した場合は再度操作をやり直すか、「スマートフォンで初期登録」をご参照のうえ、画面上に直接メールアドレスを入力する方法で登録を実施してください。

ヒント

連絡先登録結果メールや、確認メールが届かない場合、下記の点を確認し、再度メール送信の操作を実施してください。

- ・登録されたアドレスに間違いはありませんか？大文字・小文字、「.」「,」「」にご注意ください。

フリーメール(hotmail/msnメール/AOL等)を含む一般プロバイダメールの場合、メールの処理手続きで「迷惑メール」として処理をされる可能性があります。

これは不特定多数のサイトからのメールを「迷惑メール」として排除し、快適にメールを使用するために各社独自に判断しています。

よってアドレスの登録は可能ですが、確実に配信されるか不明のためお勧めはできません。

安否報告アプリで初期登録

安否報告アプリをダウンロードする

※スマートフォンの機種、設定により画面イメージや設定方法が異なります。

※安否報告アプリで「あんぴくん」(オプション)機能はございません。ご家族にプッシュ通知が送信されることはございません。
※安否報告と同様、連絡報告(管理者様の設定によっては報告する必要がございません)、連絡一覧の確認も可能です。

1. ストア内で「セコム安否確認サービス」または「セコム安否確認サービス 安否報告アプリ」と検索します。
もしくは下記 QR コードを読み取ります。



【Android・・・GooglePlay
よりダウンロード】



【iPhone・・・AppStore
よりダウンロード】



2. ソフトウェア使用許諾契約書に同意の上、インストールします。
下記セコム安否報告アプリのアイコンであることをご確認の上、ダウンロードください。



3. 安否報告アプリを開きます。



ヒント

プッシュ通知とは・・・

アプリケーションからのお知らせを、スマートフォン端末の待ち受け画面やバナーに表示する仕組みです。

※安否報告アプリのプッシュ通知をご利用される場合は、事前に利用申込みをしている事が必要となります。

プッシュ通知配信の利用申込み有無に関してはお客様が所属する法人の管理担当部署へお問い合わせください。

※プッシュ通知の配信有無に関わらず、アプリを起動して安否報告することも可能です。

4. 「企業コード」「ユーザーID」「パスワード」を入力しログインします。

※ログインをしないとプッシュ通知は届きません。

※Web サイトのログインに入力する値と同じです。



5. ログイン完了。トップ画面が表示されます。



6. ホーム画面へ戻り、セットアップ完了です。



ご注意

プッシュ通知が受信できるよう、スマホ端末の設定をご確認ください。

【Android のプッシュ通知設定方法】

設定＞アプリ(アプリケーション管理)＞安否報告アプリをタップ＞「通知を表示」をチェック

【iPhone のプッシュ通知設定手順】

設定＞通知(通知センター)＞安否報告アプリをタップ＞「通知」を許可＞「通知センター」に表示をオン＞「通知のスタイル」のバナー、もしくは通知を選択

※iPhone、App Store は Apple Inc.の商標です。※iPhone 商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
※Android、Google Play は Google Inc.の商標または登録商標です。

パスワードを変更する

1. 「安否報告アプリ」を起動後、左上の設定をタップし、「アカウント管理」から「パスワード変更」をタップします。



2. 生体認証、または企業コード/ユーザーID/パスワードを入力して認証します。



3. 「現在のパスワード」のボックスに現在利用しているパスワードを入力します。続けて「新規のパスワード」/「新規のパスワード確認」を入力し、「パスワードを変更する」ボタンを押します。変更完了後は「アカウント管理」に遷移します。



本人の基本情報を変更する

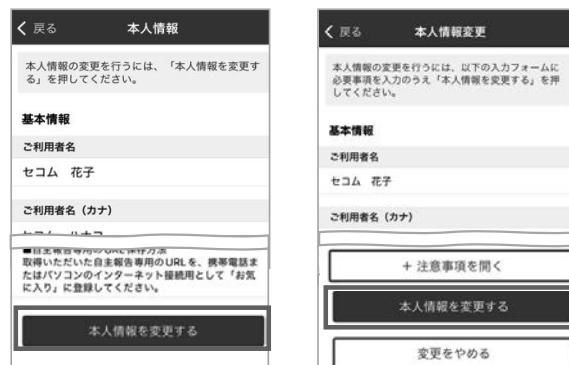
1. 「安否報告アプリ」を起動後、左上の設定をタップし、「アカウント管理」から「本人情報」をタップします。



2. 生体認証、もしくは企業コード/ユーザーID/パスワードを入力して認証する。



2. 本人情報画面で「本人情報を変更する」ボタンを押します。各項目を入力し、「本人情報を変更する」ボタンを押します。



携帯電話で初期登録

初期パスワードを変更する

1. インターネットを利用して <https://www.e-kakushin.com/login/> に接続し「ログイン」を選択します。企業コード・ユーザーID・初期パスワードを入力し、「ログイン」ボタンを押します。

▼QRコードをご利用の場合はこちら

ドコモの携帯電話でアクセスした場合のみ表示されます。
【ドメイン受信設定】ボタンを押す
とiモードサイトへ移動します。

※ログインしても画面が変わらない場合は、「メニュー」をクリックしてください。

【重要事項】
本サイトの使用条件は、パソコンから確認下さい。

2. メニュー画面から[8.本人情報]→[1.パスワード]を選択します。「現在のパスワード」のボックスに現在利用している初期パスワードを入力します。続けて「新規のパスワード」/「新規のパスワード確認」を入力し、[更新]ボタンを押します。

現在のパスワード
.....
新規のパスワード (半角・英数字)
.....
新規のパスワード確認 (半角・英数字)
.....
[更新]

このメッセージが表示されたら変更完了。

パスワードを変更しました。

8.戻る
9.ログアウト

操作中の携帯電話のアドレスを登録する

1. パスワード変更後[8.戻る]ボタンを押しメニュー画面に戻ります。
[8.本人情報]→[2.連絡先]を選択します。

1.パスワード
2.連絡先
3.居住地/動機地
4.使用履歴
5.パスワード忘れの履歴と回答
6.家賃情報
7.自主報告専用のURL送信
8.戻る
9.ログアウト

2. [アドレス登録]を選択すると、自動的にメール送信機能が立ち上がりまので、件名を変更せずそのまま空メールを送信します。しばらくすると『連絡先登録結果』メールが届きます。

※アドレス登録機能の注意

※迷惑メール対策設定について
e革新サービスからのメールを受信するために、下記ドメインを指定受信設定してください。
pa-e-kakushin.com

◇メールアドレス◇
▼メールアドレス(PC)
*****@docomo.ne.jp
アドレス更新(空メールの送信)

◇電話番号◇
▼電話番号(携帯)
090*****

▼電話番号(一般)
03*****

【収集した個人情報の利用目的】
e革新サービスをご提供するうえで必要となる連絡に利用します。
e革新サービスをご提供する範囲内で取扱い、第三者へ提供することはありません。
※上記利用目的にご同意のうえ情報をご登録ください。

※メールアドレス登録機能の注意

※迷惑メール対策設定について
e革新サービスからのメールを受信するために、下記ドメインを指定受信設定してください。
pa-e-kakushin.com

▼メールアドレス(PC)
*****@docomo.ne.jp
アドレス更新(空メールの送信)

※メール着信が遅い場合は、画面上にある[8.戻る]ボタンを押してメールアドレスが登録されたかを確認してください。

3. 『連絡先登録結果』メールが届いたら、[8.戻る]ボタンを押し、再度[2.連絡先]を選択します。登録されたメールアドレスが表示されていれば、携帯電話のメールアドレスの登録が完了となります。

【収集した個人情報の利用目的】
e革新サービスをご提供するうえで必要となる連絡に利用します。
e革新サービスをご提供する範囲内で取扱い、第三者へ提供することはありません。
※上記利用目的にご同意のうえ情報をご登録ください。

※メールアドレス登録機能の注意

※迷惑メール対策設定について
e革新サービスからのメールを受信するために、下記ドメインを指定受信設定してください。
pa-e-kakushin.com

▼メールアドレス(PC)
*****@docomo.ne.jp
アドレス更新(空メールの送信)

※携帯電話の機種によっては『連絡先登録結果』メールを受信ボックスで確認してしまうと、操作中の画面に戻れない場合があります。その際はメールに添付されているURLより再度ログインしてください。

※登録エラーメールを受信した場合は再度操作をやり直すか、次の「直接入力」を利用して連絡先を登録する」をご参照のうえ、画面上に直接メールアドレスを入力する方法で登録を実施してください。

直接入力を利用して連絡先を登録する

1. メニュー画面から[8.本人情報]→[2.連絡先]を選択します。画面を一番下までスクロールし、「変更」ボタンを押します。
(「操作中の携帯電話のアドレスを登録する」から引き続き登録をされる場合は、登録済みのメールアドレスが表示されている画面をスクロールさせると「変更」ボタンがあります。)

1.パスワード
2.連絡先
3.居住地/動機地
4.使用履歴
5.パスワード忘れの履歴と回答
6.家賃情報
7.自主報告専用のURL送信
8.戻る
9.ログアウト

【収集した個人情報の利用目的】
e革新サービスをご提供するうえで必要となる連絡に利用します。
e革新サービスをご提供する範囲内で取扱い、第三者へ提供することはありません。
※上記利用目的にご同意のうえ情報をご登録ください。

変更

2. 連絡先メールアドレスと電話番号を直接入力し、「更新」ボタンを押します。

※ドメインを選び、「ドメイン反映」ボタンを押すと、メールアドレスの@マーク以降を目盛りで追加します。

▼メールアドレス1
ドメイン

1.ドメイン反映

*****@
docomo.ne.jp

▼メールアドレス2
ドメイン

2.ドメイン反映

*****@
docomo.ne.jp

▼電話番号1
090*****

▼電話番号2
03*****

更新

3. 連絡先が登録されました。

※メールアドレスを入力した場合は[アドレス確認メール送信]を選択します。
「メールを送信しました。」と表示されたら送信完了となります。
「メールアドレス確認メール」が届くことを確認してください。

連絡先を更新しました。
アドレス確認メールを送信しますか？

アドレス確認メール送信

▼メールアドレス1
*****@docomo.ne.jp

メールを送信しました。
数分経過後にもメールを受信できない場合は、メールアドレスの登録内容を、確認ください。
携帯電話の場合は迷惑メール対策設定もご確認ください。

戻る
ログアウト

ヒント

連絡先登録結果メールや、確認メールが届かない場合、下記の点を確認し、再度メール送信の操作を実施してください。

- 登録されたアドレスに間違いはありませんか？大文字・小文字、「.」、「,」にご注意ください。

フリーメール(hotmail/msnメール/AOL等)を含む一般プロバイダメールの場合、メールの処理手続きで「迷惑メール」として処理をされる可能性があります。
これは不特定多数のサイトからのメールを「迷惑メール」として排除し、快適にメールを使用するために各社独自に判断しています。
よってアドレスの登録は可能ですが、確実に配信されるか不明のためお勧めはできません。

居住地・勤務地を登録する

1. 家族情報登録後、[8.戻る]を選択しメニュー画面に戻ります。
[3.居住地/勤務地変更]を選択します。

No.7
お名前: []
ログインID: []
続柄: ○本人 ○本人以外
使用言語: ○日本語 ○英語
メールアドレス: []

登録

8.戻る
9.ログアウト

e-革新
【絆 四郎】
1.パスワード
2.連絡先
3.居住地/勤務地
4.使用言語
5.パスワード忘れの質問と回答
6.家族情報
■ 自主報告専用のURL送信
8.戻る
9.ログアウト

2. 居住地変更もしくは勤務地変更を押して、都道府県をリストボックスから選択し[次へ]ボタンを押した後、[更新]ボタンを押します。

▼居住地
東京都
居住地変更

▼勤務地
東京都
勤務地変更

8.戻る
9.ログアウト

都道府県(居住地)

東京都
北海道
青森県
岩手県
秋田県
山形県
福島県
茨城県
栃木県
群馬県
埼玉県
千葉県
東京都
神奈川県
新潟県
富山県
石川県
福井県
山梨県
長野県
岐阜県
静岡県
愛知県
三重県
滋賀県
京都府
大阪府
兵庫県
奈良県
和歌山県
鳥取県
徳島県

使用言語を設定する

1. メニュー画面から[4.使用言語]を選択します。
サービスで使用する言語(日本語/英語)にチェックをつけ、「更新」ボタンを押します。

e-革新
【絆 四郎】
1.パスワード
2.連絡先
3.居住地/勤務地
4.使用言語
5.パスワード忘れの質問と回答
6.家族情報
■ 自主報告専用のURL送信
8.戻る
9.ログアウト

e-革新
【絆 四郎】
○ 日本語(Japanese)
○ 英語(English)
【言語について】
e-革新サービスで使用する言語を選択して下さい。
設定を変更すると次回ログイン時から選択された言語で表示します。
更新
8.戻る
9.ログアウト

パスワード忘れの質問と回答を設定する

1. 使用言語登録後、[8.戻る]を押してメニュー画面に戻ります。[5.パスワード忘れの質問と回答]を選択します。
パスワード忘れの質問と回答を入力し、「更新」ボタンを押します。

e-革新
【絆 四郎】
1.パスワード
2.連絡先
3.居住地/勤務地
4.使用言語
5.パスワード忘れの質問と回答
6.家族情報
■ 自主報告専用のURL送信
8.戻る
9.ログアウト

e-革新
【絆 四郎】
パスワード忘れの質問
出身校は？
パスワード忘れの回答
〇〇小学校
更新
8.戻る
9.ログアウト

自主報告専用のURLを登録する

1. メニュー画面から[8.本人情報]→[自主報告専用のURL送信]を選択します。

2. 登録したメールアドレス宛に自主報告専用のURLを通知致します。
メール内のURLをそのまま「お気に入り」へ登録してください。
※URL接続後に別画面に進まれた場合は、そのURLはお気に入り登録しないでください。

注意事項

◇自宅パソコン(家族共有端末など)のメールアドレスを登録された場合は、ご家族の方へ弊社サービスからのメールが届く場合があることを事前にご案内いただくようお願いいたします。「知らないメールが届く」と、ご家族の方から問合せが多くなっております。

◇パスワードを間違えて連続入力すると、パスワードが無効になりログインができなくなります。ログインページの「パスワードを忘れた方」よりパスワードの再設定をお願いいたします。

※手順の詳細は「利用者用操作マニュアル」の『パスワードを再設定する(パスワードを忘れた場合、ログインできない場合)』をご確認ください。

ご登録いただいているメールアドレスが利用出来ない場合等は、貴社の管理担当部署に(SCMをご利用の場合は取引先の管理担当部署に)パスワード初期化の依頼をしてください。パスワードが初期パスワードにリセットされ、ログインできる状態になります。

【スマートフォンのホーム画面に自主報告専用 URL のアイコンを追加する方法】

iPhone の場合

1. safari を開いて下さい。
2. アドレスバーに自主報告専用の URL を入力し、アクセスします。
3. 「アクション」アイコンをタップします。
4. 「ホーム画面に追加」をタップします。

Android の場合

1. 自主報告専用の URL にアクセスします。
2. アクセスしたら、「メニュー」を開き「ブックマーク」をタップします。
3. ブックマーク画面を開いたら「追加」をタップし、「OK」を選択すると、ブックマークへ追加されます。
4. ブックマークに表示されているサイトの中から、自主報告専用の URL のページを長押しします。
5. メニューが開くので、「ショートカットを作成」をタップします。



※アイコンイメージは左記となります

【注意事項】

- ・ホーム画面にアイコンがいっぱいだった場合は、エラーが出て追加出来ません。
必ず、ホーム画面に空きがあることを確認してから操作を行って下さい。
- ・本資料に掲載する画面イメージや操作手順は、スマートフォンの機種により実際の画面と異なる場合があります。
あらかじめご了承ください。

【携帯電話の迷惑メール対策について】

ご利用の携帯電話でセコム安否確認サービスから送信されるメールが受信できない場合、「迷惑メール対策」の設定がされている可能性があります。「迷惑メール対策」について現在の設定内容をご確認ください。

迷惑メール対策って何ですか？

知らない相手から突然送られてくる広告・勧誘メールなどの悪質なメールを迷惑メールといいます。これらの迷惑メールを受け取らないようにする設定が迷惑メール対策です。

迷惑メール対策には、以下の2つがあります。

- ① あらかじめ指定したアドレス(ドメイン)からのメール以外の受信を拒否します。
- ② メール本文に URL の記載があるメールの受信を拒否します。

設定内容は何を確認すればよいですか？

- ① e-革新サービスから送信するメールは、下記のメールアドレス(ドメイン)から送信いたします。
下記アドレス(ドメイン)からのメールが受信できる設定になっているかご確認ください。
※ご契約サービスに係るアドレス(ドメイン)だけご設定ください。

▼セコム安否確認サービス(セコム安否確認サービス SCM/セコム非常呼集サービス)

admin@pa.e-kakushin.com

message@pa.e-kakushin.com

▼セコム災害情報サービス

info@pa.e-kakushin.com

▼セコム安否確認サービス GS

risk@pa.e-kakushin.com

▼リアルタイム災害情報サービス

info@secom-anshin.jp

- ② URL付メールの受信を拒否する設定についてご確認ください。

e-革新サービスから送信するメールにはURLが記載されています。

各携帯電話の事業者によって、メールアドレス(ドメイン)指定受信の設定がされていても、URL付メールの受信を拒否しているとメールが受信できない場合がございます。

確認方法が分からないときはどうすればよいですか？

各携帯電話の事業者や、ご利用の機種によって操作方法が異なります。迷惑メール対策の詳細(設定方法など)は、各携帯電話の事業者へ直接お問い合わせください。

【参考 URL】

※下記、各携帯電話事業者のURLおよび連絡先については、予告なく変更される場合がございます。

▼ドコモ <http://www.nttdocomo.co.jp/>

▼au <http://www.au.kddi.com/>

▼ソフトバンク <http://mb.softbank.jp/mb/>

▼Y!mobile <http://www.ymobile.jp/>

【スマートフォンの設定方法について】

スマートフォンでe-革新サービスをご利用の場合、あらかじめブラウザの設定が必要となります。

【 設定項目 】

■Cookieを受け入れる ■JavaScriptを有効にする ■画像を読み込む

📖 スマートフォンをご利用のお客様からよくあるご質問

ご質問		解決方法
1	「データアクセスエラー サーバーのリダイレクトが多すぎます」、「ページを開けません。多くのリダイレクトが発生しています。」というエラーが表示される。 ※機種によってエラーメッセージが異なります	Cookie を受け入れる設定にする
2	報告画面にて「報告」ボタンが押せない。	Java Script を有効にする
3	報告画面にて「報告」ボタンが表示されない。	画像を読み込む設定にする
4	スマートフォンでログインできない。 (※PCではログインできる)	<p>■「ログインに失敗しました。もう一度ログインしてください。」というエラーメッセージがでる。</p> <p>■以前に入力されたパスワードが自動入力されてしまう。</p> <p>■画面が遷移しない、真っ白になる</p> <p>■報告用 URL をクリックするとログインページに遷移する。</p>
		<p>パスワードの自動入力(オートコンプリート)データを消去する</p>
5	1、2、3 の確認(変更)を行ったが、それでも解決しない。	<p>①履歴やキャッシュのクリア</p> <p>②開いているブラウザを全て閉じてやり直す</p> <p>③再起動する</p>

【ご注意】

各携帯電話の事業者や、ご利用の機種によって操作方法が異なります。設定方法などの詳細につきましては、各携帯電話の事業者へ直接お問い合わせください。

保健管理センター

保健管理センター(3 階)

快適で充実した学生生活を過ごすためには、自分自身が留意して健康の保持増進に努めることが大切です。保健管理センターでは、保健師と学校医が皆様の健康支援を行っています。

開室時間：平日 10 時～16 時 45 分まで
(昼休み 12 時 30 分～13 時 30 分を除く)

内線：6091

外線：03-6439-6091

E-mail： grips-hsc@grips.ac.jp

応急処置及び身体測定

学内で怪我をした時、気分が悪くなった時などに利用できます。医師の処方箋は発行できません。また身長・体重測定、体脂肪測定、血圧測定を実施できます。

健康相談

心身の健康に関する疑問や悩みなどについて、相談に応じます。

医療機関への紹介

検査や受診が必要な場合は、総合病院や近隣クリニックなどを適宜紹介します。

健康診断

毎年入学時(4 月ないし 10 月)に学内で実施し、健康状態の把握に努めています。対象者は必ず受診してください。詳細は追ってお知らせします。

学校伝染病

新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、百日咳、麻疹(はしか)、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、風疹、水痘(みずぼうそう)、咽頭結膜炎(プール熱)、結核などの伝染病と診断された場合、登校は禁止です。ただし、登校禁止期間中は、授業を欠席扱いにはしません。それぞれの伝染病の登校禁止期間に関しては、以下の HP をご参照ください。

<http://www.grips.ac.jp/jp/education/health/center/diseases/>

同窓会

本学とその前身である埼玉大学大学院政策科学研究科（GSPS）の修了生は、世界 100 ヶ国以上に活躍しており、その数は、国内外合わせて 5000 人以上に上ります。修了生の多くは、行政官として自国の政策形成に大きな役割を担っています。

本学学生は、在学中だけでなく修了後も、このネットワークを通じて、他の修了生や本学と繋がっていくことができます。さらに、本学創設 20 周年を迎えた 2017 年には、国内同窓会組織が設立され、毎年、GRIPS 国内同窓会報を発行しています。現在は、徐々に、都道府県やプログラム（コース）単位での同窓会支部も設立されてきており、今後、同窓会活動はますます活発化していきます。

本学修了生は、主に、次のようなサービスを受けます。

オンライン同窓会データベース

本学では現在新しい修了生のデータベースを導入する準備をしております。修了前に案内をお送りしますので、修了後はぜひ活用してください（修了生が開示を許可する情報のみ見ることができます）。

同窓会の開催

毎年、本学にて、同窓会を開催しています（近年はハイブリッドで開催することが多いです）。ぜひご参加ください。

開催の際には修了生データベースを通して案内をお送りしますので、修了時には、継続して連絡が取れるメールアドレスのご登録をお願いします。

なお、国内だけでなく海外においても、教職員の出張の機会を利用して、同窓会を開催しています。

修了生の声

修了生の声（Alumnus of the Month）として、GRIPS のホームページにて、世界各地の政府機関・国際機関・民間企業等で活躍する国内外の修了生を紹介しています。

<https://www.grips.ac.jp/jp/alumni/almo/>

図書館の利用

修了生も引き続き図書館が利用できます。詳細は GRIPS 図書館ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.grips.ac.jp/main/lib/>

その他、同窓会活動の詳細については、以下を参照ください。

<https://www.grips.ac.jp/alumni/index/>

<https://www.facebook.com/groups/GRIPSAumni/>

<https://www.linkedin.com/groups/2628687/>

本学へのアクセス

都心路線図



成田空港から成田エクスプレス利用 東京経由六本木まで約1時間30分

成田空港から成田スカイアクセス利用 日暮里経由六本木まで約1時間15分

羽田空港から東京モノレール利用、六本木まで約40分

周辺地図



本学にお越しになるには、都営大江戸線六本木駅、東京メトロ日比谷線六本木駅、東京メトロ千代田線乃木坂駅をご利用ください。

- 都営大江戸線を利用する場合⇒六本木駅から徒歩5分、7出口から出て、ファミリーマート方面へ信号を渡ります。ファミリーマート前から、右（乃木坂方面）へ進むと、左手に細い道（龍土町美術館通り）がありますので、その道を進みます。つき当たりまできたら、左に進み、横断歩道を渡ると、本学の正門です。
- 東京メトロ日比谷線を利用する場合⇒六本木駅から徒歩10分、4A出口から出て、六本木交差点を左に曲がります。そのまま乃木坂方面へ直進し、ファミリーマートを過ぎ、少し進むと、左手に細い道（龍土町美術館通り）がありますので、その道を進みます。つき当たりまできたら、左に進み、横断歩道を渡ると、本学の正門です。
- 東京メトロ千代田線を利用する場合⇒乃木坂駅から徒歩6分、5出口から出て、左へ進みます。六本木トンネルを通り終えたら、横断歩道を渡らず、そのまま左に進みます。しばらく進むと本学の南門です。

政策研究大学院大学

教育支援課教務担当

〒106-8677東京都港区六本木7-22-1

Tel: 03-6439-6042

E-mail: ast@grips.ac.jp

URL: <http://www.grips.ac.jp>

